

IBM DB2 Web Query for IBM i

Version 2 Release 1.8

DN6000000.0514

A decorative graphic at the bottom of the page consisting of several overlapping, semi-transparent shapes in various shades of blue and grey, creating a layered, abstract effect.

Active Technologies、EDA、EDA/SQL、FIDEL、FOCUS、Information Builders、Information Builders のロゴ、iWay、iWay Software、Parlay、PC/FOCUS、RStat、Table Talk、Web390、WebFOCUS、WebFOCUS Active Technologies、および WebFOCUS Magnify は Information Builders, Inc. の登録商標であり、また DataMigrator および Hyperstage は同社の商標です。

本マニュアルの性質上、多くのハードウェア、ソフトウェア製品の商標が本文内で使用されています。ほとんどの場合、製品名はそれらの会社によって商標、登録商標として指定されています。したがって、弊社ではこれらの製品名を総称として使用する意図はありません。これらの製品名を、説明されている製品を参照する以外の目的で使用する場合、商標に関わる権利に関して十分注意が必要です。

Copyright © 2014 , by Information Builders, Inc. and iWay Software. All rights reserved. Patent Pending. このマニュアルの全部、または一部の転載、コピーは Information Builders Inc. の書面による承諾なしでは許可されません。

目次

はじめに.....	5
マニュアルの表記法.....	5
1. HTML コンポーザの使用.....	7
HTML コンポーザの用途.....	8
HTML コンポーザの概要.....	8
レポートページレイアウトの作成.....	19
HTML コンポーザへのレポート、グラフ、複合ドキュメントの追加.....	20
レイアウトへのフレームの追加.....	24
レイアウトへの線の追加.....	32
レイアウトへのイメージの追加.....	34
レイアウトへのテキストの追加.....	37
レイアウトへのハイパーリンクの追加.....	42
レイアウトへのグループボックスの追加.....	49
レイアウトへのプッシュボタンの追加.....	51
レイアウトへのリセットボタンの追加.....	55
レイアウトへのタブコントロールの追加.....	57
レイアウトへのラベルの追加.....	67
プロパティウィンドウの操作.....	70
オブジェクトのレイヤ化.....	75
イベントサブタブの使用.....	76
HTML コンポーザによるパラメータの作成と使用.....	77
パラメータ値の作成.....	78
フォームコントロールを使用した入力パラメータ値の指定.....	138
入力コントロールを使用したパラメータ値の追加.....	149
外部レポートへのパラメータ値の入力.....	257
レイアウトのスタイル設定.....	275
スタイルダイアログボックスによるブラウザのデフォルトの指定.....	278
HTML コンポーザによるオブジェクトレイアウト.....	290

HTML コンポーザ環境の管理.....	298
HTML コンポーザへの Report Broker スケジュール権限追加.....	309
HTML コンポーザページでの JavaScript コードの使用.....	318
ロード画面 HTML ファイルの指定.....	318

はじめに

このマニュアルは、IBM DB2 Web Query for IBM i で使用可能な機能について説明します。

マニュアルの構成

このマニュアルは、以下の章で構成されています。

	章/付録	内容
1	HTML コンポーザの使用	ローカル開発環境で HTML コンポーザを使用して、ユーザインターフェースを作成する方法について説明します。

マニュアルの表記法

このマニュアルの表記法は、次のとおりです。

表記	説明
<code>THIS TYPEFACE</code> または <code>this typeface</code>	構文を表します。表記どおりに入力してください。
<code>this typeface</code>	プレースホルダ (または変数)、クロスリファレンス、あるいは重要な用語を表します。
<u>underscore</u>	デフォルトの設定を表します。
this typeface	テキスト中で小文字で指定する必要があるファイル名およびコマンドを強調しています。
Key + Key	キーを同時に押すことを示します。

表記	説明
{ }	2 から 3 つの選択項目を示します。選択項目の 1 つを中括弧 ({ }) を含めずに入力します。
[]	任意指定のパラメータ群を示します。必須ではありませんが、この中から 1 つを選択することも可能です。パラメータのみを入力し、大括弧 ([]) は含めません。コマンド名や、ユーザーインターフェースで使われている項目は、この記号で囲みます。
	構文中で、いずれか 1 つ選択する項目群を分離します。分離記号 () を含めず、いずれか 1 つのみ入力します。
...	パラメータを複数回入力可能であることを示します。省略記号 (...) は含めず、パラメータのみを入力します。
.	間に省略されているコマンドがあるか、後続するコマンドがある (場合も指定できる) ことを表します。

1 HTML コンポーザの使用

HTML コンポーザを使用すると、フォーム、レポート、グラフ、Web オブジェクトを組み込んだ HTML ページをグラフィカルに作成することができます。HTML コンポーザは、JavaScript およびカスケードスタイルシート (CSS) と完全に統合されています。

HTML レイアウトペインタの名前は、HTML コンポーザに変更されています。この変更は、ツールの機能には影響しません。

注意：HTML コンポーザでは、OLAP 有効レポートはサポートされません。HTML コンポーザには、DB2 Web Query Developer Workbench 経由でのみアクセスすることができます。

トピックス

- HTML コンポーザの用途
- HTML コンポーザの概要
- レポートページレイアウトの作成
- HTML コンポーザによるパラメータの作成と使用

HTML コンポーザの用途

HTML レイアウトを作成する場合、次の操作を実行することができます。

- HTML 起動ページを作成する。HTML コンポーザを使用すると、プッシュボタンやハイパーリンクの追加、さらにアプリケーションにある別の DB2 Web Query レポートを起動するためのオブジェクトの追加が可能です。
- パラメータを含む 1 つまたは複数のレポートの起動ページを作成する。
- 1 つの HTML レポートに複数のレポートおよびグラフを追加して、一体型のダッシュボードを作成する。
- イメージ、フレーム、その他の Web 要素を含んだ高度なレポートを作成する。すべてのオブジェクトの位置、サイズ、プロパティをレイアウト内で変更することができます。
- [スタイル](Style Composer) ダイアログボックスで、背景、フォント、その他のプロパティを設定する。
- リッチインターネットアプリケーション (RIA) を作成し、ブラウザ内にインタラクティブ Web ページを表示する。詳細は、「[Creating a Rich Internet Application \(RIA\) With the HTML Composer](#)」を参照してください。

HTML コンポーザの概要

手順/構文

HTML コンポーザにアクセスするには

参照

HTML コンポーザウィンドウとツールバー

標準ツールバー

コンポーネントツールバー

書式設定ツールバー

HTML レイアウトペインタの名前は、HTML コンポーザに変更されています。

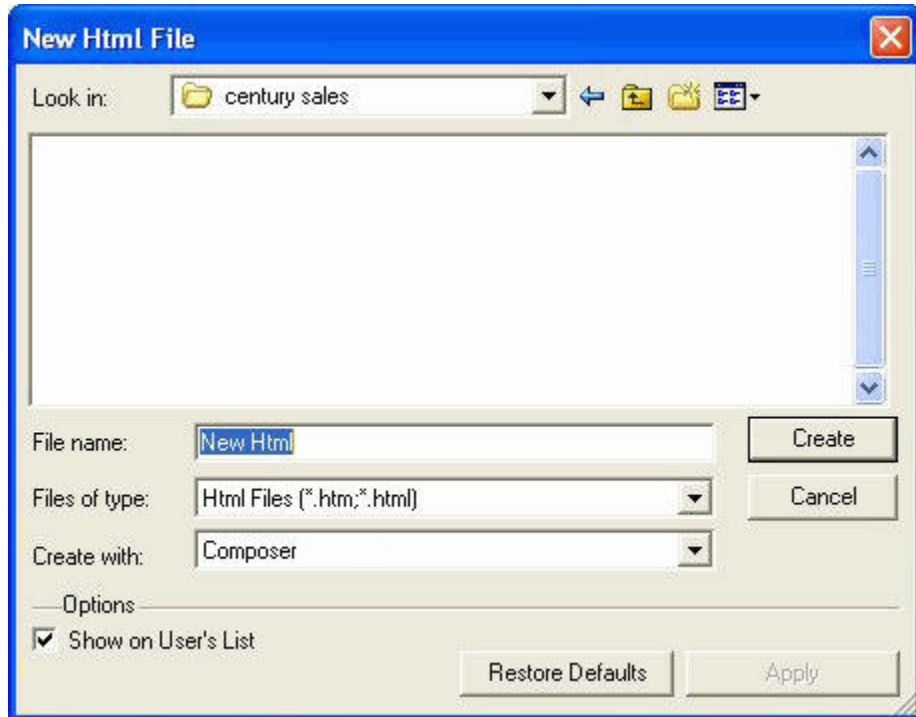
注意： 名前の変更は、このツールの機能には影響しません。HTML コンポーザでは、OLAP 有効レポートはサポートされません。このオプションを指定したレポートを HTML コンポーザから実行すると、出力ウィンドウに OLAP コントロールは表示されず、スクリプトエラーになります。このタイプのレポートを実行するには、フレームを使用する必要があります。詳細は、24 ページの「[レイアウトへのフレームの追加](#)」を参照してください。

手順

HTML コンポーザにアクセスするには

1. Managed Reporting 下の [ドメイン] (Domains) フォルダで、[レポート] (Reports) をクリックします。
2. サブフォルダをクリックし、[新規作成] (New)、[HTML ファイル] (HTML File) を選択します。

[新規 HTML ファイル] (New HTML File) ダイアログボックスが表示されます。



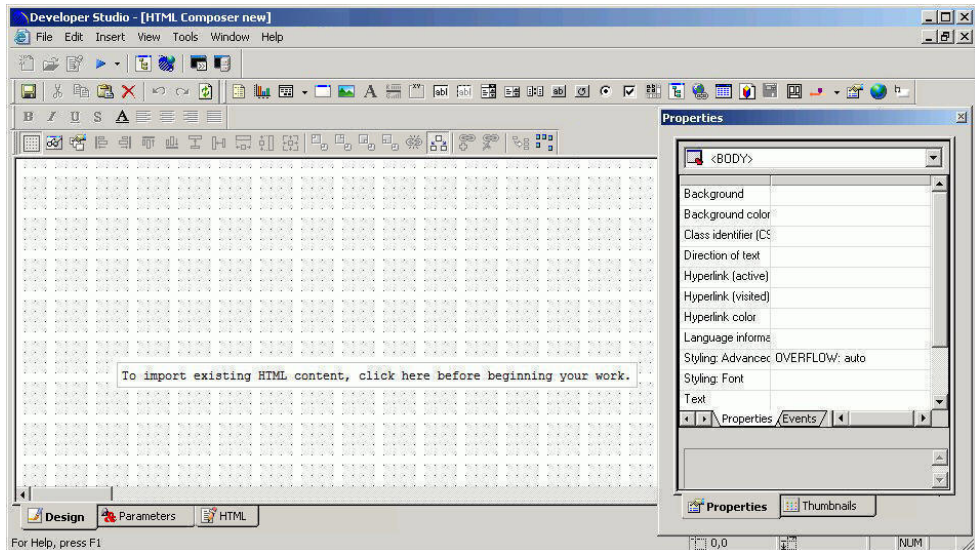
3. [ファイル名] (File name) テキストボックスに、新しい HTML ファイルの名前を入力します。

4. [作成] (Create with) ドロップダウンリストで、[HTML コンポーザ] (Composer) が選択されていることを確認します。
5. [作成] (Create) をクリックします。
HTML コンポーザが開きます。

参照

HTML コンポーザウィンドウとツールバー

下図は、HTML コンポーザの例を示しています。



HTML コンポーザの主要な要素は次のとおりです。

メニューバー

HTML コンポーザのドロップダウンメニューを表示します。

Developer Workbench ツールバー

[開く] (Open)、[実行] (Run) などのツールボタンを表示します。

標準 (Standard) ツールバー

[切り取り] (Cut) や [貼り付け] (Paste) など、レイアウトを編集するためのボタンを表示します。

コンポーネント (Components) ツールバー

レイアウトにオブジェクトおよびコントロールを追加するためのボタンを表示します。

書式設定 (Formatting) ツールバー

レイアウトにテキスト要素を使用する場合に、テキストのフォーマット設定および位置揃えに使用するボタンを表示します。

配置 (Positioning) ツールバー

レイアウトの外観を制御するボタンを表示します。詳細は、294 ページの「[配置ツールバー](#)」を参照してください。

ユーティリティ (Utilities) ツールバー

同期と連鎖を制御するボタンを表示します。詳細は、296 ページの「[ユーティリティツールバー](#)」を参照してください。

プロパティ (Properties) ウィンドウ

レイアウトでオブジェクトを選択すると、[プロパティ] (Properties) サブタブと [イベント] (Events) サブタブを含む [プロパティ] (Properties) タブが表示されます。[プロパティ] (Properties) ウィンドウには [サムネール] (Thumbnails) タブも含まれています。

- [プロパティ] (Properties) サブタブには、オブジェクトのプロパティオプションがあります。
- [イベント] (Events) サブタブには、レイアウトのオブジェクトに関連する JavaScript イベントが表示されます。

詳細は、70 ページの「[プロパティウィンドウの操作](#)」を参照してください。

サムネール (Thumbnails) タブ

ページレイアウトのサムネールを表示することができます。サムネール表示では、ページ上のオブジェクトを [パラメータ] (Parameters) タブのコントロールのアクションに追加することができます。[サムネール] (Thumbnails) タブの更新、拡大縮小、ズーム調整も可能です。レポート、グラフは、[サムネール] (Thumbnails) タブのプレースホルダオブジェクトとして表示されます。

クイックリンク (QuickLinks) ウィンドウ

ヘルプ、構成オプション、メタデータの作成、レポートとプロシジャなどの情報へのリンクを表示します。

注意：クイックリンクはデフォルト設定でオフになっています。クイックリンクにアクセスする必要がある場合は、Developer Workbench のエクスプローラを開いた状態で、[表示] (View) メニューから [クイックリンク] (QuickLinks) を選択します。

デザイン (Design) タブ

レイアウトでオブジェクトを追加、配置することができる [デザイン] (Design) 表示に切り替えます。

パラメータ (Parameters) タブ

レポートまたはグラフのパラメータ値と入力コントロールに関する情報を表示します。詳細は、78 ページの「[パラメータタブでの作業](#)」を参照してください。

クライアント JavaScript (Client JavaScript)




HTML レイアウトに、オブジェクトの HTML コードと JavaScript コードが表示されません。






注意：HTML レイアウトの下部でタブを左クリックしてドラッグすると、[デザイン] (Design) タブ、[パラメータ] (Parameters) タブ、[HTML] タブの配置を変更することができます。

参照

標準ツールバー

標準ツールバーには、次のボタンが表示されます。


ボタン	説明
	HTML ファイルを現在のプロジェクトに保存します。このボタンは、一度レイアウトを保存すると新しく変更が加えられるまで、無効になります。レイアウトに変更が加えられると、次にレイアウトが保存されるまで [保存] (Save) ボタンは有効になります。
	選択したオブジェクトを切り取り、クリップボードに保存します。
	選択したオブジェクトをクリップボードにコピーします。








ボタン	説明
	指定された位置にオブジェクトを貼り付けます。
	選択したオブジェクトを削除します。
	最後に実行した処理を元に戻して、レイアウトをリセットします。
	最後に実行した操作を繰り返します。
	<p>[すべてリフレッシュ] (Refresh All) オプションを使用して、レイアウトに加えた編集内容や変更点をすべて表示に反映させることができます。[すべてリフレッシュ] (Refresh All) オプションは、すべてのオブジェクトを再ロードし、デザイン表示のレポートとグラフを再実行します。</p> <p>注意：リフレッシュを実行すると、現在のレイアウトで参照されているレポートとグラフに加えた変更も表示されます。</p>


参照

コンポーネントツールバー




コンポーネントツールバーには、次のボタンが表示されます。

ボタン	説明
	<p>レイアウトにレポートオブジェクトを挿入します。</p> <p>詳細は、20 ページの「HTML コンポーザへのレポート、グラフ、複合ドキュメントの追加」を参照してください。</p>

ボタン	説明
	<p>レイアウトにグラフオブジェクトを挿入します。</p> <p>詳細は、20 ページの「HTML コンポーザへのレポート、グラフ、複合ドキュメントの追加」を参照してください。</p>
	<p>フォームコントロールを挿入します。</p> <p>詳細は、138 ページの「フォームコントロールを使用した入力パラメータ値の指定」を参照してください。</p>
	<p>フレームのプレースホルダを挿入します。フレームには、独自の URL を指定したり、HTML コンテンツを含めたりすることができます。また、ドリルダウンレポートのプレースホルダとして使用することもできます。</p> <p>詳細は、24 ページの「レイアウトへのフレームの追加」を参照してください。</p>
	<p>イメージのプレースホルダを挿入します。</p> <p>詳細は、34 ページの「レイアウトへのイメージの追加」を参照してください。</p>
	<p>テキストを挿入します。</p> <p>詳細は、37 ページの「レイアウトへのテキストの追加」を参照してください。</p>
	<p>線を挿入します。</p> <p>詳細は、32 ページの「レイアウトへの線の追加」を参照してください。</p>
	<p>グループボックスを追加します。</p> <p>詳細は、49 ページの「レイアウトへのグループボックスの追加」を参照してください。</p>

ボタン	説明
	<p>テキストボックスを追加します。</p> <p>詳細は、150 ページの「テキストボックスの使用」を参照してください。</p>
	<p>非表示コントロールを追加します。</p> <p>詳細は、238 ページの「非表示パラメータ値の使用」を参照してください。</p>
	<p>ドロップダウンリストを追加します。</p> <p>詳細は、159 ページの「ドロップダウンリストの使用」を参照してください。</p>
	<p>リストボックスを追加します。リストボックスは、複数選択が可能なドロップダウンリストです。</p> <p>詳細は、165 ページの「リストボックスの使用」を参照してください。</p>
	<p>ダブルリストコントロールを挿入します。</p> <p>詳細は、169 ページの「ダブルリストコントロールの使用」を参照してください。</p>
	<p>プッシュボタンを追加します。</p> <p>詳細は、51 ページの「レイアウトへのプッシュボタンの追加」を参照してください。</p>
	<p>リセットボタンを追加します。</p> <p>詳細は、55 ページの「レイアウトへのリセットボタンの追加」を参照してください。</p>
	<p>ラジオボタンを追加します。</p> <p>詳細は、193 ページの「ラジオボタンの使用」を参照してください。</p>

ボタン	説明
	<p>チェックボックスリストを追加します。</p> <p>詳細は、189 ページの「チェックボックスの使用」を参照してください。</p>
	<p>テキスト領域を挿入します。</p> <p>詳細は、155 ページの「テキスト領域の使用」を参照してください。</p>
	<p>ツリーコントロールを挿入します。</p> <p>詳細は、197 ページの「ツリーコントロールの使用」を参照してください。</p>
	<p>ハイパーリンクを挿入します。</p> <p>詳細は、42 ページの「レイアウトへのハイパーリンクの追加」を参照してください。</p>
	<p>カレンダーを追加します。</p> <p>詳細は、231 ページの「動的カレンダーの追加」を参照してください。</p>
	<p>ActiveX コントロールまたは Visual Discovery コントロールを追加します。</p> <p>HTML コンポーザに ActiveX コントロールを追加する場合、純正な ActiveX コントロールのみがリストに表示されます。ActiveX コントロールを最初に追加する際は、ActiveX コントロールがレジストリから読み込まれていることを知らせるメッセージが表示されます。次回以降の使用に備えて、このリストはキャッシュされ、ActiveX コントロールのみが追加されます。</p>
	<p>複数のオブジェクトをグループ化するためのパネルを挿入します。このパネルは、実行時には表示されません。</p> <p>詳細は、293 ページの「HTML ページのオブジェクトをグループ化するには」を参照してください。</p>



ボタン	説明
	<p>スライダパラメータコントロールバーを挿入します。</p> <p>詳細は、225 ページの「スライダコントロールの使用」を参照してください。</p>
	<p>タブコントロールを挿入します。</p> <p>詳細は、57 ページの「レイアウトへのタブコントロールの追加」を参照してください。</p>
	<p>ラベルを挿入します。ラベルは、テキストの一種です。ラベルコンポーネントを使用して、ラベルを作成して名前を付け、コントロールとのリンクを設定します。</p> <p>詳細は、67 ページの「レイアウトへのラベルの追加」を参照してください。</p>








参照

書式設定ツールバー

書式設定ツールバーには、配置オプションを除いて、テキスト要素全体および個別のテキストに適用可能なオプションがあります。配置のオプションは、個々の文字列に対してのみ有効になります。

テキスト要素の使用についての詳細は、37 ページの「[レイアウトへのテキストの追加](#)」を参照してください。

ボタン	説明
	テキストに太字を適用します。
	テキストに斜体を適用します。

ボタン	説明
	テキストに下線を適用します。
	テキストに下付き文字を適用します。
	[フォントスタイル] (Font style) ボタンを選択すると、[フォント] (Font) ダイアログボックスが開きます。ここで、テキストにフォント、フォントスタイル、サイズ、色、効果を設定することができます。
	テキスト要素を左揃えします。
	テキスト要素を中央揃えします。
	テキスト要素を右揃えします。
	テキストをテキスト要素の幅に揃えます。

レポートページレイアウトの作成

トピックス

- HTML コンポーザへのレポート、グラフ、複合ドキュメントの追加
- レイアウトへのフレームの追加
- レイアウトへの線の追加
- レイアウトへのイメージの追加
- レイアウトへのテキストの追加
- レイアウトへのハイパーリンクの追加
- レイアウトへのグループボックスの追加
- レイアウトへのプッシュボタンの追加
- レイアウトへのリセットボタンの追加
- レイアウトへのタブコントロールの追加
- レイアウトへのラベルの追加
- プロパティウィンドウの操作
- オブジェクトのレイヤ化
- イベントサブタブの使用

HTML コンポーザを使用して、レポートやグラフを起動して表示する HTML ページを作成することができます。HTML ページには、レポート、グラフ、テキスト、フォームコントロールなどの要素を追加することができます。

HTML コンポーザでは、HTML ページのプロパティを設定することもできます。詳細は、276 ページの「[HTML ページプロパティの設定](#)」を参照してください。

HTML コンポーザへのレポート、グラフ、複合ドキュメントの追加

手順/構文

レイアウトに既存のレポートまたはグラフを追加するには

参照

プロパティウィンドウ - レポートプロパティ

プロパティウィンドウ - グラフプロパティ

レイアウトの実行時に表示される HTML レイアウトに、レポートやグラフを追加できます。HTML レイアウトに追加できるのは、利用可能なサーバに格納された既存のレポートまたはグラフです。

また、レポートやグラフにパラメータを含めて、HTML コンポーザで追加したコントロールに値を割り当てることもできます。詳細は、138 ページの「[フォームコントロールを使用した入力パラメータ値の指定](#)」を参照してください。

[Developer Studio オプション] (Developer Studio Options) ダイアログボックスの [HTML ページ] (HTML Page) タブを使用して、レイアウト内のレポートまたはグラフのプレースホルダとして使用するグラフィックイメージを設定することができます。詳細は、298 ページの「[ページのプロパティを設定するには](#)」を参照してください。

手順

レイアウトに既存のレポートまたはグラフを追加するには

1. 次の操作のいずれかを実行し、レポートまたはグラフオブジェクトを挿入します。
 - コンポーネントツールバーの [レポート] (Report) または [グラフ] (Graph) ボタンをクリックします。

マウスポインタが十字カーソルに変わります。十字カーソルをドラッグして、レポートオブジェクトまたはグラフオブジェクトを作成し、必要なサイズに調整します。

レイアウト内にレポートまたはグラフオブジェクトが作成され、それぞれに「reportn」または「graphn」という名前が付けられます。ここで、末尾の「n」には番号が割り当てられます。オブジェクトは灰色と白で表示され、そのオブジェクトのプレースホルダにレポートまたはグラフが関連付けられていないことを示します。ライブデータまたはサンプルデータによるプレビューが有効な場合(ライブデータがデフォルト)、オブジェクトにレポートまたはグラフが関連付けられると、オブジェクトにレポートまたはグラフのコンテンツが表示されます。[Developer Studio オプション] (Developer Studio Options) ダイアログボックスの [HTML ページ] (HTML Page) タブで、プレビューがオフになっている場合は、色付きのプレースホルダが表示されます。

- レイアウト内で右クリックし、コンテキストメニューから [新規レポート] (New Report) または [新規グラフ] (New Graph) を選択します。

2. レポートまたはグラフを右クリックし、[既存プロシジャの参照] (Reference existing procedure) を選択します。

[ファイルを選択してください] (Get source file) ダイアログボックスが開きます。

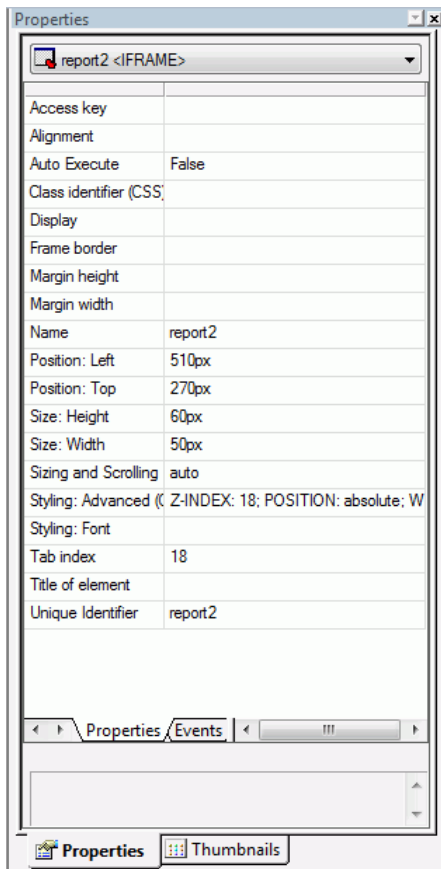
3. レイアウトに追加するプロシジャの名前を入力します。
4. [開く] (Open) をクリックします。

HTML コンポーザのデザイン表示に、レポートまたはグラフオブジェクトが表示されます。

5. 必要に応じて、[プロパティ] (Properties) ウィンドウの [プロパティ] (Properties) タブに表示されたプロパティを変更します。詳細は、22 ページの「[プロパティウィンドウ - レポートプロパティ](#)」を参照してください。

参照 プロパティウィンドウ - レポートプロパティ

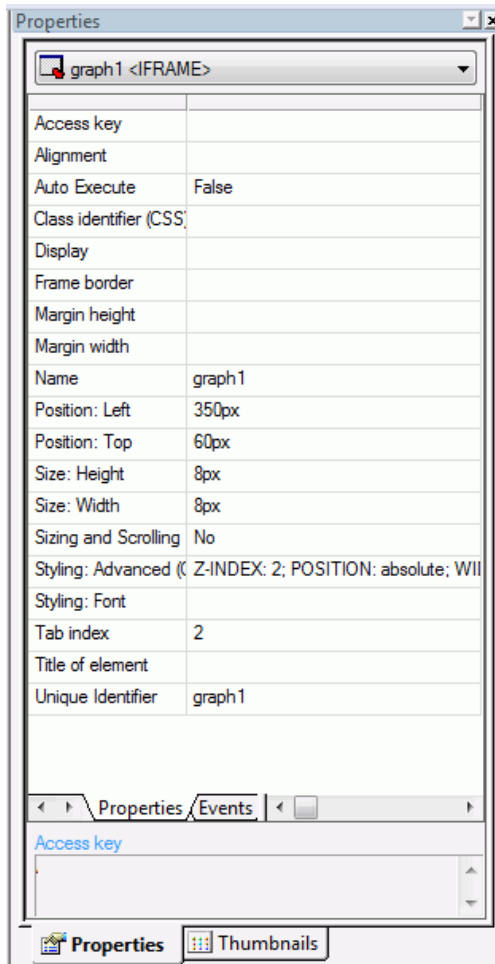
レポートを選択すると、[プロパティ] (Properties) ウィンドウの [プロパティ] (Properties) タブに、レポートのプロパティを制御するオプションが表示されます。



プロパティのいずれかをクリックすると、選択したプロパティの説明が [プロパティ] (Properties) ウィンドウの下部に表示されます。

参照 プロパティウィンドウ - グラフプロパティ

グラフを選択すると、[プロパティ] (Properties) ウィンドウの [プロパティ] (Properties) タブに、グラフのプロパティを制御するオプションが表示されます。



プロパティのいずれかをクリックすると、選択したプロパティの説明が [プロパティ] (Properties) ウィンドウの下部に表示されます。

レイアウトへのフレームの追加

手順/構文

レイアウトにフレームを追加するには
フレームに URL、HTML ファイル、レポートを割り当てるには
レイアウト内でフレームを表示または非表示にするには

参照

プロパティウィンドウ - フレームプロパティ

フレームを使用して、追加の Web ソースを埋め込んだり、レポートを実行したりすることができます。また、ドリルダウンレポートの出力先としてフレームを使用することもできます。さらに、フレームを使用して、目次レポート、OLAP レポート、PDF レポート、または Excel レポートも実行できます。

手順

レイアウトにフレームを追加するには

1. 次の操作のいずれかを実行し、フレームを挿入します。
 - [フレーム] (Frame) ボタンをクリックします。
 - [挿入] (Insert) メニューから、[コンポーネント] (Components)、[フレーム] (Frame) を選択します。マウスポインタが十字カーソルに変わります。
2. 十字カーソルをドラッグしてフレームを作成し、必要なサイズに調整します。
レイアウト内にフレームが作成され、「iframen」という名前が付けられます。ここで、末尾の「n」には番号が割り当てられます。
3. 必要に応じて、[プロパティ] (Properties) ウィンドウの [プロパティ] (Properties) タブに表示されたフレームプロパティを変更します。詳細は、31 ページの「[プロパティウィンドウ - フレームプロパティ](#)」を参照してください。

手順

フレームに URL、HTML ファイル、レポートを割り当てるには

1. 次の操作のいずれかを実行し、フレームを挿入します。
 - [フレーム] (Frame) ボタンをクリックします。

または

- [挿入] (Insert) メニューから、[コンポーネント] (Components)、[フレーム] (Frame) を選択します。

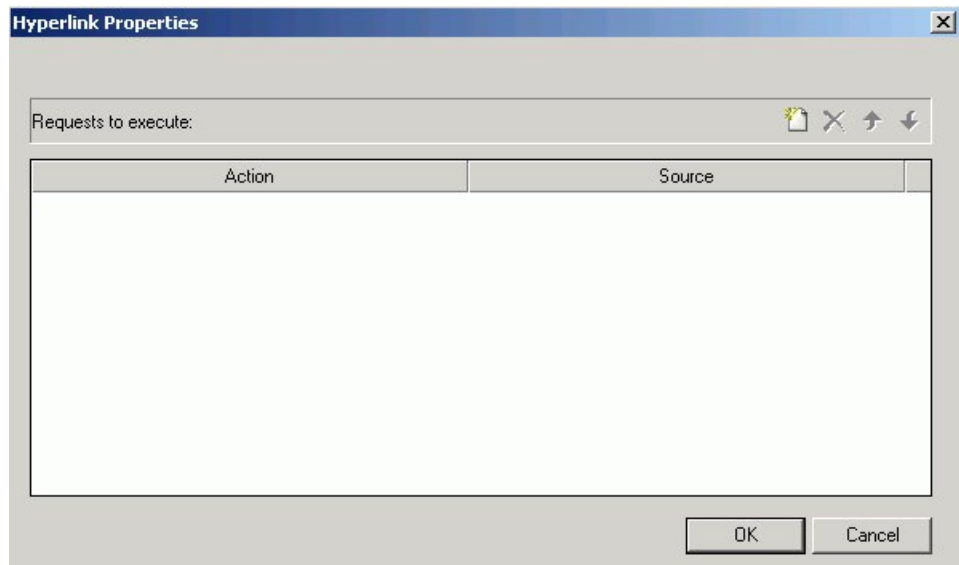
マウスポインタが十字カーソルに変わります。

2. 十字カーソルをドラッグしてフレームを作成し、必要なサイズに調整します。

レイアウト内にフレームが作成され、「iframen」という名前が付けられます。ここで、末尾の「n」には数字が割り当てられます。

3. フレームを右クリックしてコンテキストメニューから [フレームのプロパティ] (Frame Properties) を選択します。

[ハイパーリンクのプロパティ] (Hyperlink Properties) ダイアログボックスが開きます。



4. [新規作成] (New) ボタンをクリックし、新しいアクションを作成します。[アクション] (Action) フィールドのドロップダウンリストから次の項目を選択できます。

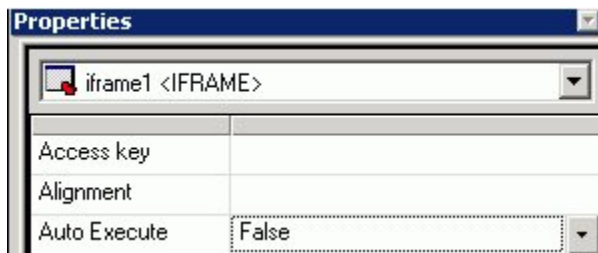
- **URL** フレームに URL アドレスを割り当てるには、[URL] を選択して [ソース] (Source) テキストボックスに完全修飾 URL を入力します。

- **HTML ファイル (HTML File)** フレームに HTML ファイルを割り当てるには、[HTML ファイル] (HTML File) を選択して [ソース] (Source) フィールドにファイルのパスを入力するか [...] (参照) ボタンをクリックしてパスを開きます。HTML ファイルとは、アプリケーション内の HTML ファイルのことを指します。
 - **外部プロシジャ (External Procedure)** 外部プロシジャを実行するには、[外部プロシジャ] (External Procedure) を選択し、[ソース] (Source) フィールドにプロシジャ名を入力するか、[...] (参照) ボタンをクリックしてプロシジャを検索します。
5. [OK] をクリックします。
 6. 必要に応じて、[プロパティ] (Properties) ウィンドウの [プロパティ] (Properties) タブに表示されたフレームプロパティを変更します。詳細は、31 ページの「[プロパティ ウィンドウ - フレームプロパティ](#)」を参照してください。

手順

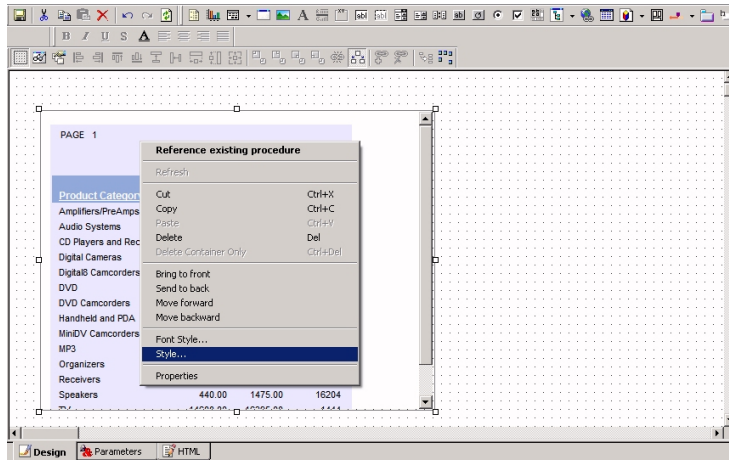
レイアウト内でフレームを表示または非表示にするには

1. HTML コンポーザで、コントロールを使用してレポートにパラメータ値を追加します。
注意：パラメータを付きレポートでは、出力を生成するために、実行時に値を選択する必要があります。
2. フレーム (レポートオブジェクト) をクリックし、[プロパティ] (Properties) ウィンドウの [プロパティ] (Properties) タブで、[自動実行] (Auto Execute) ドロップダウンリストから [False] を選択します。



注意：パラメータ付きレポートのデフォルト自動実行オプションは [False] です。

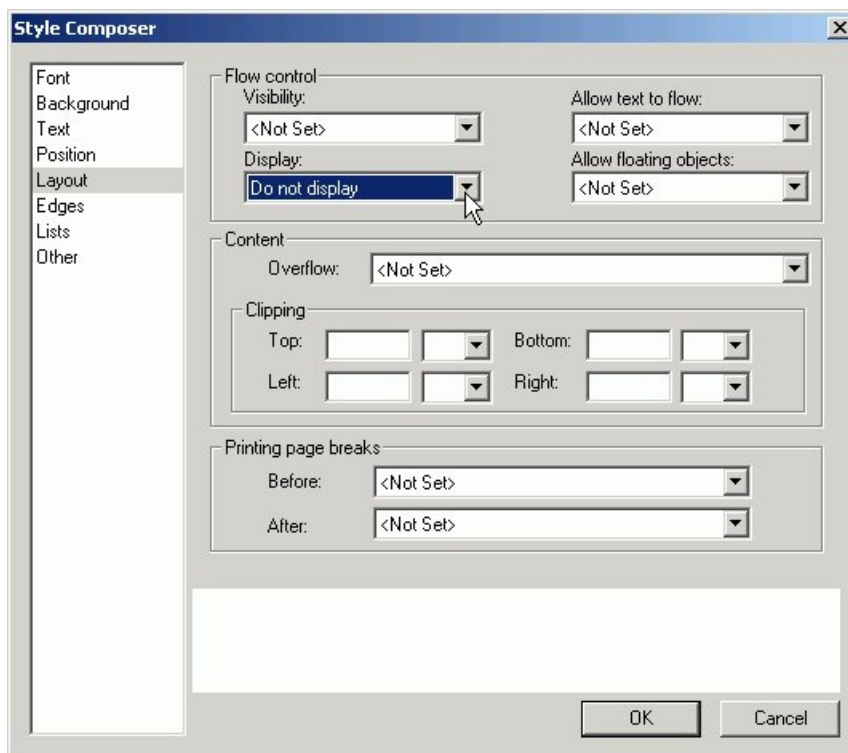
3. デザイン表示でフレーム (レポートオブジェクト) を右クリックし、コンテキストメニューから [スタイル] (Style) を選択します。



[スタイル] (Style Composer) ダイアログボックスが開きます。

4. [スタイル] (Style Composer) ダイアログボックスの左側から [レイアウト] (Layout) を選択し、選択したフレームのレイアウトオプションを表示します。

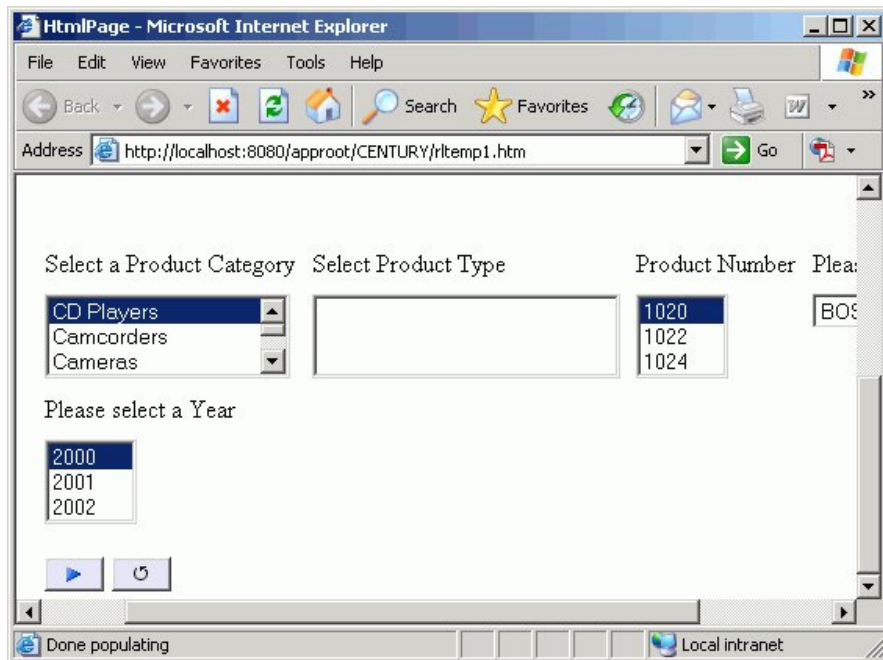
5. [フロー管理] (Flow control) グループの [表示] (Display) ドロップダウンリストから [非表示] (Do not display) を選択します。



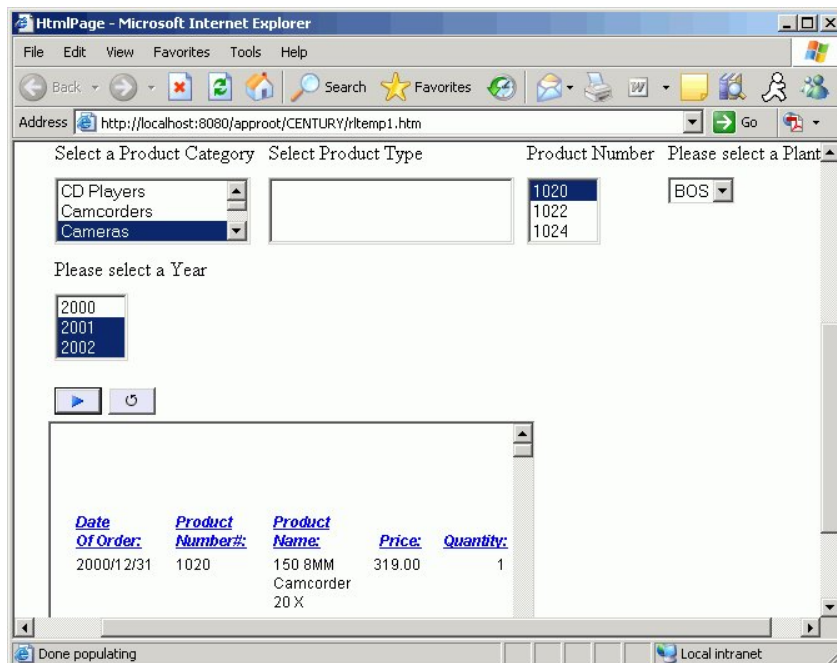
このオプションは、実行時に値が選択されるまでフレームを非表示にします。

6. [OK] をクリックし、[スタイル] (Style Composer) ダイアログボックスを閉じます。
7. HTML ページを実行します。

次の例は、パラメータの値が選択される前のフレームが非表示の状態を示しています。



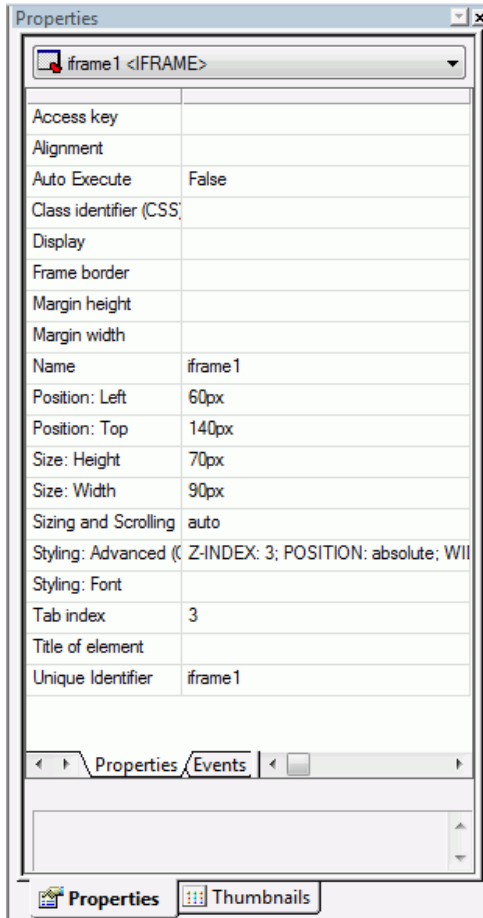
下図は、同じ例で、パラメータの値が選択され、出力結果を表すフレームが表示されている状態を示しています。



参照

プロパティウィンドウ-フレームプロパティ

フレームを選択すると、[プロパティ] (Properties) ウィンドウの [プロパティ] (Properties) タブに、フレームのプロパティを制御するオプションが表示されます。



プロパティのいずれかをクリックすると、選択したプロパティの説明が [プロパティ] (Properties) ウィンドウの下部に表示されます。

レイアウトへの線の追加

手順/構文

レイアウトに線を追加するには

参照

プロパティウィンドウ - 線プロパティ

レイアウトに横または縦の線を追加することができます。線の追加は、起動ページまたは表示ページの各セクションを区別する場合に便利です。

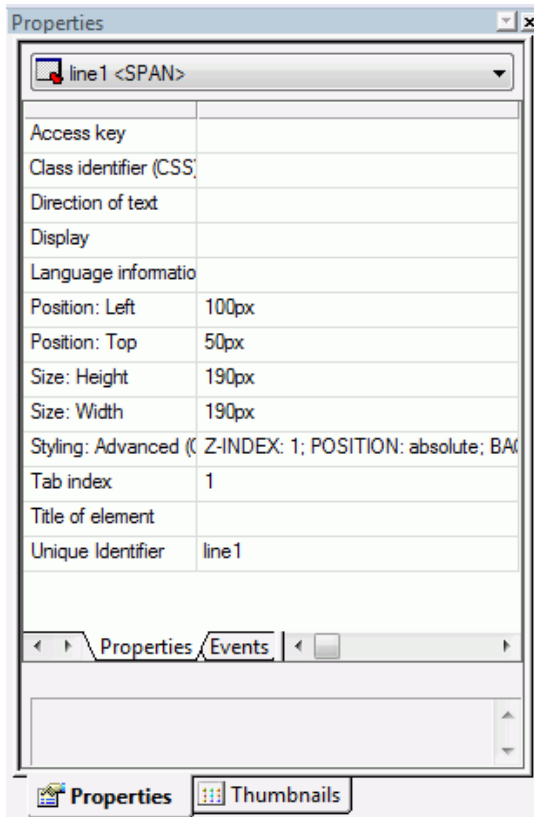
手順

レイアウトに線を追加するには

1. 次のいずれかの方法で、線を追加します。
 - [線] (Line) ボタンをクリックします。
または
 - [挿入] (Insert) メニューから、[コンポーネント] (Components)、[線] (Line) を選択します。
マウスポインタが十字カーソルに変わります。
2. 十字カーソルをドラッグして横の線または縦の線を作成します。
レイアウト内に線が作成されます。
3. 必要に応じて、[プロパティ] (Properties) ウィンドウの [プロパティ] (Properties) タブに表示された線のプロパティを変更します。詳細は、33 ページの「[プロパティウィンドウ - 線プロパティ](#)」を参照してください。

参照 プロパティウィンドウ - 線プロパティ

線を選択すると、[プロパティ] (Properties) ウィンドウの [プロパティ] (Properties) タブに、線のプロパティを制御するオプションが表示されます。



プロパティのいずれかをクリックすると、選択したプロパティの説明が [プロパティ] (Properties) ウィンドウの下部に表示されます。

レイアウトへのイメージの追加

手順/構文

レイアウトにイメージを追加するには

参照

プロパティウィンドウ - イメージプロパティ

レイアウトにイメージを追加することができます。これは、会社のロゴを挿入する場合などに便利です。

レポートレイアウトにイメージを挿入し、そのイメージにハイパーリンクを追加することができます。レポートを実行してイメージをクリックすると、ハイパーリンクやプッシュボタンをクリックした場合と同様に、URLを起動したり、レポートを実行したりすることができます。詳細は、48 ページの「[プッシュボタンまたはイメージにハイパーリンクを追加するには](#)」を参照してください。

注意：イメージを挿入する場合は、そのイメージが特定のディレクトリパスから参照されている必要があります。イメージへのリンクはサポートされていません。

手順

レイアウトにイメージを追加するには

1. 次のいずれかの方法で、イメージを追加します。
 - コンポーネントツールバーの [イメージ] (Image) ボタンをクリックします。
または
 - [挿入] (Insert) メニューから、[コンポーネント] (Component)、[イメージ] (Images) を選択します。
マウスポインタが十字カーソルに変わります。
2. 十字カーソルをドラッグしてイメージオブジェクトを作成し、必要に応じてサイズを調整します。
[ファイルを選択してください] (Get source file) ダイアログボックスが開きます。
3. [検索先] (Look in) ドロップダウンリストを使用してイメージが格納されているディレクトリに移動し、レイアウトに追加するイメージを選択します。

注意

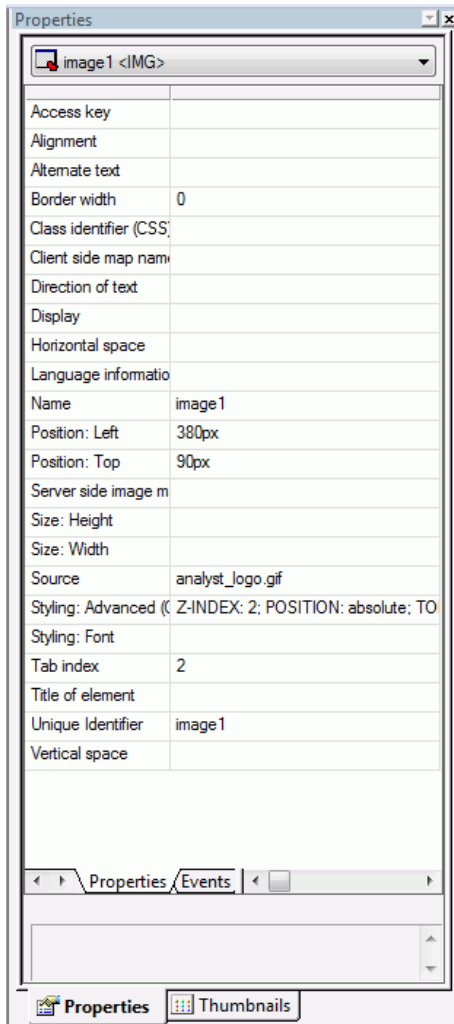
- [ファイル名] (File name) テキストボックスに、イメージファイルの完全修飾 URL または相対 URL を入力することもできます。完全修飾 URL は、`http://` または `https://` で始める必要があります。相対 URL は、Web Query が使用する既知のコンテキストルートで始める必要があります (例、`/approot/appname/imagename.png`)。
 - [ファイルを選択してください] (Get source files) ダイアログボックスでは、複数のイメージファイルを同時に選択することができます。ファイルは重ねて表示され、必要に応じて、移動することができます。
4. [開く] (Open) をクリックします。
 5. 必要に応じて、[プロパティ] (Properties) ウィンドウの [プロパティ] (Properties) タブに表示されたイメージプロパティを変更します。詳細は、36 ページの「[プロパティ ウィンドウ - イメージプロパティ](#)」を参照してください。

注意：イメージを右クリックし、コンテキストメニューから [サイズを元に戻す] (Restore size) を選択すると、イメージを元のサイズに戻すことができます。

イメージの角の境界のクリックとドラッグでサイズを変更した場合、イメージの縦横比が保持されます。

参照 プロパティウィンドウ - イメージプロパティ

イメージを選択すると、[プロパティ] (Properties) ウィンドウの [プロパティ] (Properties) タブに、イメージのプロパティを制御するオプションが表示されます。



プロパティのいずれかをクリックすると、選択したプロパティの説明が [プロパティ] (Properties) ウィンドウの下部に表示されます。

レイアウトへのテキストの追加

手順/構文

レイアウトにテキストを追加するには

レイアウトのテキストに書式を設定するには

テキスト要素に箇条書きリストまたは番号付きリストを挿入するには

参照

[プロパティウィンドウ - テキストプロパティ](#)

レイアウトにテキストを追加することができます。テキストの追加は、Web ページに見出しを挿入したり、レポートまたはグラフに指示や説明を追加したりする場合に便利です。

手順

レイアウトにテキストを追加するには

1. 次の操作のいずれかを実行し、レイアウトにテキストを挿入します。
 - コンポーネントツールバーの [テキスト] (Text) ボタンをクリックします。
または
 - [挿入] (Insert) メニューから、[コンポーネント] (Components)、[テキスト] (Text) を選択します。
マウスポインタが十字カーソルに変わります。
2. 十字カーソルをドラッグし、テキストオブジェクトを作成して好みのサイズに調整します。
レイアウト内にテキストオブジェクトが作成され、「textn」という名前が付けられます。ここで、末尾の「n」には番号が割り当てられます。
3. このテキストを、レイアウトに表示するテキストに変更します。
4. 必要に応じて、[プロパティ] (Properties) ウィンドウの [プロパティ] (Properties) タブに表示されたテキストのプロパティを変更します。詳細は、41 ページの「[プロパティウィンドウ - テキストプロパティ](#)」を参照してください。

手順

レイアウトのテキストに書式を設定するには

テキスト要素内の語句や特定の文字に異なる種類の書式設定またはスタイルオプションを適用することができます。HTML コンポーザの書式設定オプションは、[書式設定] (Formatting) ツールバーで設定します。

注意：テキスト要素内の特定の文字列に書式設定およびスタイル設定を適用している場合、その設定は保持されます。テキスト要素全体に変更を加えると、その変更は書式設定が適用されていない部分にのみ適用されます。

1. レイアウトにテキスト要素を挿入して、テキストを入力します。
2. 書式を設定するテキストを選択します。
 - テキスト要素全体に書式を設定するには、レイアウトのテキストオブジェクトを 1 回クリックします。
 - 語句や文字に個別にフォーマットを適用するには、テキスト要素内のテキストの一部を選択します。

[書式設定] (Formatting) ツールバーがアクティブになります。

注意：太字、斜体、下線、下付き、フォントスタイルオプションは、個々の語句または文字列にフォーマットを設定する場合にのみ有効になります。フォントスタイルおよび配置のオプションは、テキスト要素全体を選択した場合にのみ有効になります。

3. [書式設定] (Formatting) ツールバーから、書式設定のオプションを選択します。
4. [書式設定] (Formatting) ツールバーから [フォントスタイル] (Font Style) を選択してフォントダイアログボックスを開くと、フォントのタイプ、スタイル、色、サイズ、効果を変えることができます。

ヒント：[フォントスタイル] (Font Style) ダイアログボックスには、[プロパティ] (Properties) ウィンドウの [スタイル：フォント] (Styling Font) に表示された [フォント] (Font) の [...] (参照) ボタンからアクセスすることもできます。

5. [OK] をクリックして、[フォント] (Font) ダイアログボックスを閉じます。
選択したテキストにフォントオプションが適用されます。

手順

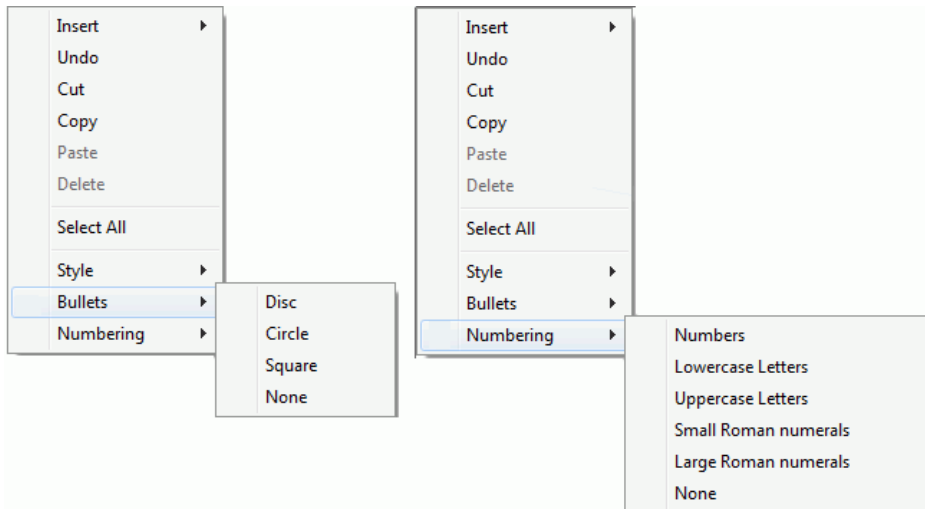
テキスト要素に箇条書きリストまたは番号付きリストを挿入するには

テキスト要素に箇条書きリストまたは番号付きリストを挿入するには、次の手順を実行します。

1. 下図のように、レイアウトにテキスト要素を挿入し、別の行にテキストを入力します。



2. テキストを選択し、右クリックします。
右クリックのコンテキストメニューが開きます。
3. 箇条書きリストを作成する場合は、[箇条書き] (Bullets) を選択し、[黒丸] (Disc)、[丸] (Circle)、[四角] (Square) のいずれかを選択します。番号付きリストを作成する場合は、[番号付け] (Numbering) を選択し、[番号] (Numbers)、[小文字] (Lowercase Letters)、[大文字] (Uppercase Letters)、[ローマ数字 (小文字)] (Small Roman numerals)、[ローマ数字 (大文字)] (Large Roman numerals) のいずれかを選択します。下図は、これら両方のオプションを示しています。



下図のように、別の行のテキスト項目それぞれに、箇条書き記号が追加されます。



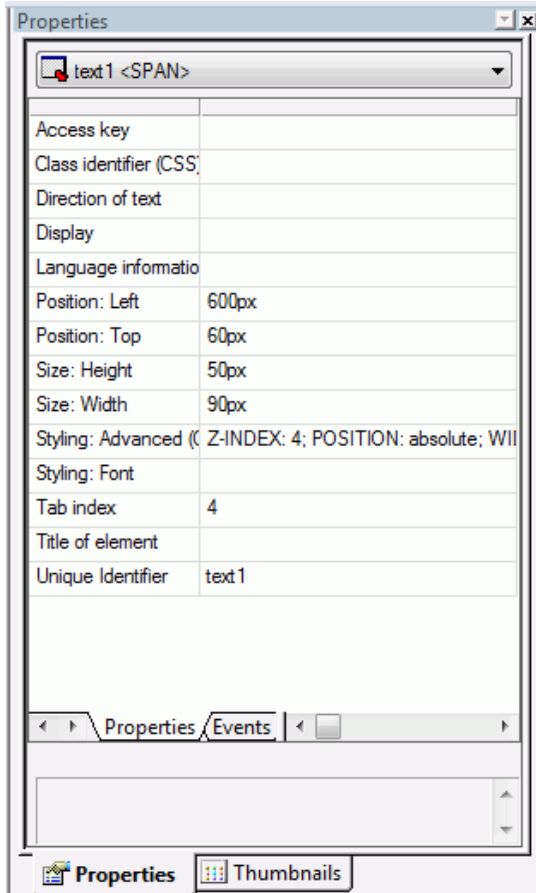
注意

- リスト化するテキストを入力する前に、箇条書き記号を選択することもできます。Enter キーを押すと、リストの次の項目が別の行として開始されます。
- 既存のリストの箇条書きまたは番号のタイプ変更するには、変更するリストレベルにカーソルを置いて、箇条書きまたはリストのタイプを再び選択します。何も選択しない場合、そのレベルの箇条書きまたは番号は削除され、ネストされたリストが存在する場合は、そのリストのレベルが 1 つ上に移動します。箇条書きと番号を切り替えるには、[なし] (None) を選択して現在のリストオプションを削除してから、必要なリストオプションを適用します。

参照

プロパティウィンドウ-テキストプロパティ

テキストを選択すると、[プロパティ] (Properties) ウィンドウの [プロパティ] (Properties) タブに、レポートのテキストプロパティを制御するオプションが表示されます。



プロパティのいずれかをクリックすると、選択したプロパティの説明が [プロパティ] (Properties) ウィンドウの下部に表示されます。

レイアウトへのハイパーリンクの追加

手順/構文

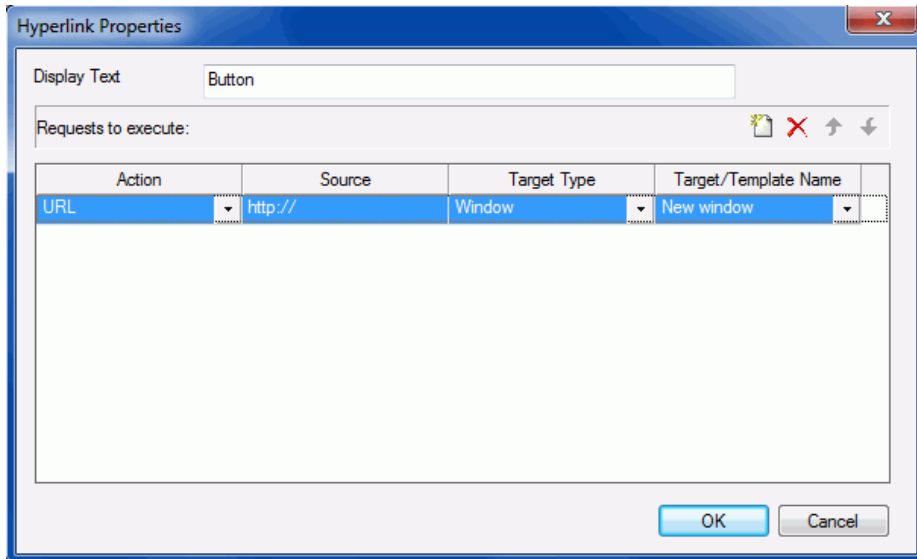
ハイパーリンクを作成するには

プッシュボタンまたはイメージにハイパーリンクを追加するには

HTML ページにハイパーリンクを作成することができます。ハイパーリンクを使用して、レポートの実行、URL へのリンク、HTML ページの表示を行うことができます。ハイパーリンクは、次の 2 種類の方法で作成します。

- ハイパーリンクを挿入します。詳細は、45 ページの「[ハイパーリンクを作成するには](#)」を参照してください。
- プッシュボタンまたはイメージにハイパーリンクを追加します。詳細は、48 ページの「[プッシュボタンまたはイメージにハイパーリンクを追加するには](#)」を参照してください。

下図は、[ハイパーリンクのプロパティ] (Hyperlink Properties) ダイアログボックスを示しています。



アクション (Action)

[アクション] (Action) として [URL] を選択すると、Web ページに移動するハイパーリンクが作成されます。このアクションを選択すると、[ソース] (Source) セクションに URL を入力することができます。

[アクション] (Action) として [HTML] を選択すると、HTML コンポーザのページに移動するハイパーリンクが作成されます。[ソース] (Source) セクションで、リンク先の HTML ファイルを選択することができます。

[アクション] (Action) として [内部プロシジャ] (Embedded Procedure) を選択すると、ページにすでに埋め込まれているプロシジャへのリンクが作成されます。[ソース] (Source) セクションで、現在のページにリンク済みのプロシジャを選択することができます。

[アクション] (Action) として [スケジュール] (Schedule) を選択すると、Report Broker でのレポートまたはグラフのスケジュールが可能になります。スケジュールの使用についての詳細は、309 ページの「[HTML コンポーザへの Report Broker スケジュール権限追加](#)」を参照してください。

[アクション] (Action) として [外部プロシジャ] (External Procedure) を選択すると、ページに埋め込まれていないプロシジャへのリンクが作成されます。[ソース] (Source) セクションで、プロシジャを参照して選択する必要があります。

[アクション] (Action) の [Visual Discovery 除外] (Visual Discovery Exclude) は、ページで Visual Discovery コントロールが使用されている場合にのみ表示されます。[ソース] (Source) セクションで、ページに設定済みのデータプールを選択することができます。このアクションは、現在の Visual Discovery を保持したまま、未選択のデータを非表示にします。

[Visual Discovery 除外を元に戻す] (Visual Discovery Restore) は、ページで Visual Discovery コントロールが使用されている場合にのみ表示されます。[ソース] (Source) セクションで、ページに設定済みのデータプールを選択することができます。このアクションは、非表示にした Visual Discovery データを Visual Discovery コントロールに表示します。

[アクション] (Action) の [active report のリフレッシュ] (refresh active reports) は、ページに active report が存在する場合にのみ表示されます。このアクションは、現在ページに存在するすべての active report を更新します。

ソース (Source)

ハイパーリンクの移動先のソースです。[アクション] (Action) として [URL] を選択した場合、ハイパーリンクです。[アクション] (Action) として [HTML] を選択した場合、移動先として HTML ファイルを指定する必要があります。[アクション] (Action) として [内部プロシジャ] (Embedded Procedure) を選択した場合、使用可能なプロシジャのリストから選択します。[アクション] (Action) として [外部プロシジャ] (External Procedure) を選択した場合、移動先のプロシジャを選択します。

ターゲットのタイプ (Target Type)

[ターゲットのタイプ] (Target Type) として [ウィンドウ] (Window) を選択した場合、アクションは新しいウィンドウで実行されます。

[ターゲットのタイプ] (Target Type) として [フレーム] (Frame) を選択した場合、アクションは選択したフレームで実行されます。

[ターゲットのタイプ] (Target Type) として [ディファード実行] (Deferred) を選択した場合、レポートがディファード実行されます。

[ターゲットのタイプ] (Target Type) として [情報ウィンドウ] (InfoWindow) を選択した場合、アクションは Web Query が生成する情報ウィンドウで実行されます。

ターゲットフレーム (Target/Template Name)

[ターゲット] (Target/Template Name) には、アクションの実行が可能なターゲットのリストが表示されます。これらのターゲットには、コントロール、フレーム、ウィンドウ (または [アクション] (Action) として [スケジュール] (Schedule) を選択した場合は配信方法) があります。これらのオプションは、選択するアクションによって異なります。

注意：配信方法が複数の組み合わせ (例、Email、レポート、ReportLibrary、FTP) の場合は、実行時に、単一の配信方法の選択を要求するメッセージが表示されます。

サイズ 幅/高さ (Size Width/Height)

情報ウィンドウのサイズをカスタマイズすることができます。[ターゲットのタイプ] (Target Type) として [情報ウィンドウ] (InfoWindow) を使用すると、[ターゲットフレーム] (Target/Template Name) の代わりにこのオプションが表示されます。

手順

ハイパーリンクを作成するには

1. 次のいずれかの方法で、ハイパーリンクを作成します。

- コンポーネントツールバーの [ハイパーリンク] (Hyperlink) ボタンをクリックします。

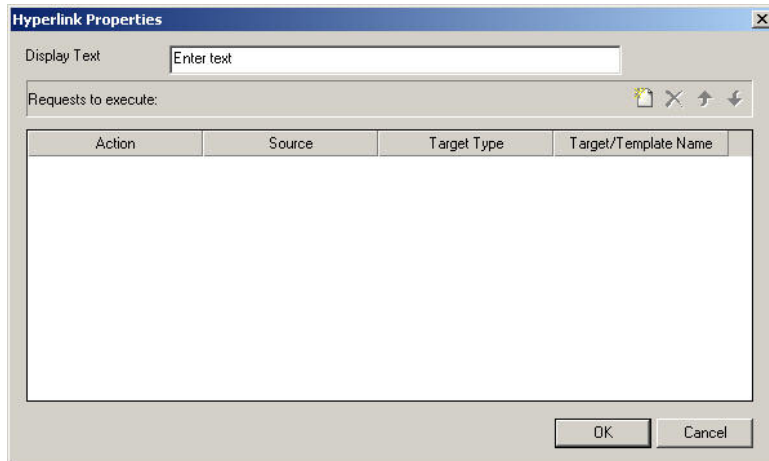
または

- [挿入] (Insert) メニューから、[コンポーネント] (Components)、[ハイパーリンク] (Hyperlink) を選択します。

マウスポインタが十字カーソルに変わります。

2. 十字カーソルをドラッグしてハイパーリンクオブジェクトを作成し、必要なサイズに調整します。

ハイパーリンクのプロパティ] (Hyperlink Properties) ダイアログボックスが開きます。



3. ハイパーリンクとして表示するテキストを [表示するテキスト] (Display Text) フィールドに入力します。

4. 次のいずれかの方法で、ハイパーリンクのアクションを設定します。
 - URL にリンクするには、[アクション] (Action) セクションから [URL] を選択し、[ソース] (Source) フィールドに URL を入力します。
 - HTML ページを開くには、[アクション] (Action) セクションから [HTML] を選択し、[ソース] (Source) フィールドに HTML ページを入力します。
 - [内部プロシジャ] を選択し、[ソース] テキストボックスにプロシジャ名を入力するか、[...] (参照) ボタンをクリックしてプロシジャを選択して内部プロシジャを実行します。
 - 外部プロシジャを実行するには、[外部プロシジャ] (External Procedure) を選択し、[ソース] (Source) フィールドにプロシジャ名を入力するか、[...] (参照) ボタンをクリックしてプロシジャを検索します。
 - Active コントロールで選択した値に基づいて active report を更新し、値を再挿入するには、[active report のリフレッシュ] (refresh active reports) を選択し、更新するソースまたは active report を指定します。

Active コントロールについての詳細は、「[Creating Active Dashboards With the HTML Composer](#)」を参照してください。

5. 必要に応じて、[ターゲットのタイプ] (Target Type) ドロップダウンリストから [ウィンドウ] (Window) または [フレーム] (Frame) を選択して特定の出力先を指定します。
6. ターゲットとなるウィンドウまたはフレームの名前を指定するには、[出力ターゲット名] (Target/Template Name) ドロップダウンリストにデフォルトで表示される名前の値から選択するか、[出力ターゲット名] (Target/Template Name) フィールドに既存または新規の名前を入力します。
7. [OK] をクリックします。

注意：ハイパーリンクのプロパティに別のページまたはプロパティとのリンクを設定している場合は、HTML コンポーザは他方のファイルで未解決のパラメータを解析して、[新規パラメータ] (New Parameter) ダイアログボックスを表示します。

8. リクエストを実行し、ハイパーリンクをクリックして、[ハイパーリンクのプロパティ] (Hyperlink Properties) ダイアログボックスで入力したソースを起動します。

注意：ハイパーリンクのターゲットタイプが [情報ウィンドウ] (Infowindow) の場合は、タイトルバーをクリックしてドラッグすることで、情報ウィンドウを移動することができます。情報ウィンドウは、ピンで固定されているかどうかに関わらず、常に移動することができます。

手順

プッシュボタンまたはイメージにハイパーリンクを追加するには

プッシュボタンまたはイメージにハイパーリンクを追加するには、次の手順を実行します。

1. コンポーネントツールバーのプッシュボタン、イメージを挿入して、レイアウトに追加します。
2. プッシュボタンまたはイメージを右クリックし、[ハイパーリンクを作成] (Create hyperlink) を選択します。ハイパーリンクのプロパティ] (Hyperlink Properties) ダイアログボックスが開きます。
3. [新規作成] (New) ボタンをクリックして新規リクエストを作成し、[アクション] (Action) ドロップダウンリストから [URL] を選択します。
4. [ソース] (Source) フィールドに URL を入力します。
5. 必要に応じて、[ターゲットのタイプ] (Target Type) フィールドのドロップダウンリストから [ウィンドウ] (Window) または [フレーム] (Frame) を選択して、特定の場所に出力を実行することができます。
6. [出力ターゲット名] (Target/Template Name) ドロップダウンリストにデフォルト設定で表示された名前の値から選択するか、[出力ターゲット名] (Target/Template Name) テキストボックスに新規または既存の名前を入力して、ターゲットとなるウィンドウまたはフレームを指定します。
7. [OK] をクリックします。

注意：ハイパーリンクのプロパティに別のページまたはプロパティとのリンクを設定している場合は、HTML コンポーザは他方のファイルで未解決のパラメータを解析して、[新規パラメータ] (New Parameter) ダイアログボックスを表示します。

8. リクエストを実行し、プッシュボタン、イメージをクリックして、[ハイパーリンクのプロパティ] (Hyperlink Properties) ダイアログボックスで入力したソースを起動します。

レイアウトへのグループボックスの追加

手順/構文

グループボックスを追加するには

参照

プロパティウィンドウ - グループボックスプロパティ

グループボックスを使用して、複数オブジェクトのグループ (例、フォーム、レポートとグラフ) の周囲に境界を作成することができます。

手順

グループボックスを追加するには

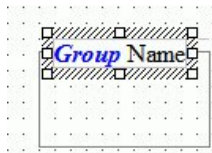
1. 次の操作のいずれかを実行し、グループボックスを挿入します。
 - コンポーネントツールバーの [グループボックス] (Group box) ボタンをクリックします。
 - または
 - [挿入] (Insert) メニューから、[コントロール] (Controls)、[グループボックス] (Group Box) を選択します。

マウスポインタが十字カーソルに変わります。

2. 十字カーソルをドラッグしてグループボックスを作成し、必要なサイズに調整します。

レイアウト内にグループボックスが作成され、「groupboxn」という名前が付けられます。ここで、末尾の「n」には番号が割り当てられます。

3. 必要に応じて、下図のように、グループボックスのデフォルト名を変更し、テキストに書式を設定することができます。

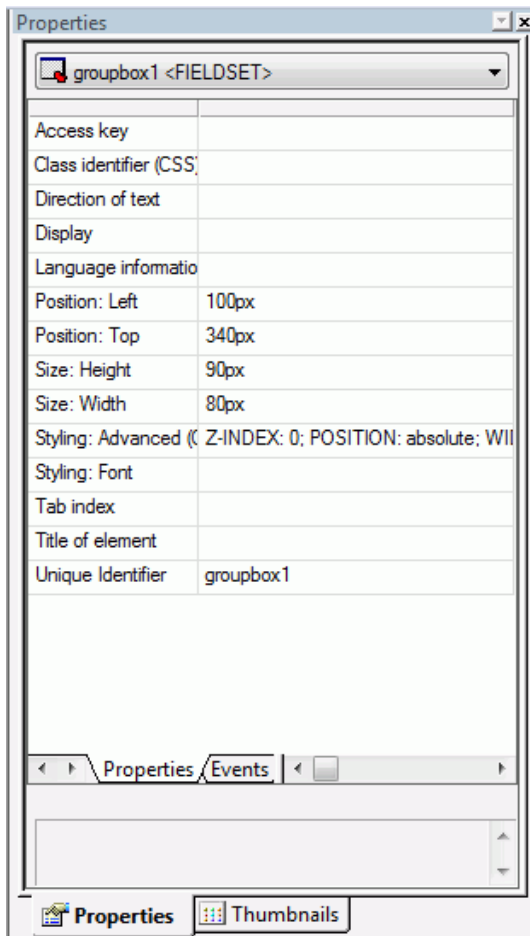


4. グループボックスのプロパティは、必要に応じて変更することができます。[プロパティ](Properties) ウィンドウの [プロパティ](Properties) タブに表示されるプロパティを変更します。詳細は、50 ページの「[プロパティウィンドウ - グループボックスプロパティ](#)」を参照してください。

参照

プロパティウィンドウ - グループボックスプロパティ

グループボックスを選択すると、[プロパティ](Properties) ウィンドウの [プロパティ](Properties) タブに、グループボックスのプロパティを制御するオプションが表示されます。



プロパティのいずれかをクリックすると、選択したプロパティの説明が [プロパティ] (Properties) ウィンドウの下部に表示されます。

レイアウトへのプッシュボタンの追加

手順/構文

実行ボタンの代わりにプッシュボタンを作成するには

1 つの実行ボタンで複数レポートを実行するには

参照

プロパティウィンドウ - プッシュボタンプロパティ

レイアウトにプッシュボタンを追加することができます。プッシュボタンを使用すると、レポートを実行したり、URL または HTML ファイルにリンクしたりすることができます。この動作はハイパーリンクに類似しています。

手順

実行ボタンの代わりにプッシュボタンを作成するには

- レイアウトから [実行] (Submit) ボタンを削除した場合は、プッシュボタンで代用することができます。次の操作のいずれかを実行して、プッシュボタンを挿入します。
 - [コンポーネント] (Components) ツールバーの [プッシュボタン] (Push Button) をクリックします。
または
 - [挿入] (Insert) メニューから、[コントロール] (Controls)、[プッシュボタン] (Push Button) を選択します。
マウスポインタが十字カーソルに変わります。
- 十字カーソルをドラッグしてプッシュボタンを作成し、必要なサイズに調整します。レイアウト内にプッシュボタンが作成され、「buttonn」という名前が付けられます。ここで、末尾の「n」には番号が割り当てられます。
- [ハイパーリンクのプロパティ] ダイアログボックスを使用して、プッシュボタンにアクションを割り当てます。プッシュボタンを右クリックし、コンテキストメニューから [ハイパーリンクのプロパティ] (Hyperlink properties) を選択します。

ハイパーリンクのプロパティ(Hyperlink Properties) ダイアログボックスが開きます。
[ハイパーリンクのプロパティ(Hyperlink Properties) ダイアログボックスを使用して、
プッシュボタンにターゲットおよびアクションを割り当てます。

4. [OK] をクリックして [ハイパーリンクのプロパティ(Hyperlink Properties) ダイアログボックスを閉じます。
5. HTML ページを実行します。
6. プッシュボタンをクリックし、リクエストを表示します。

手順

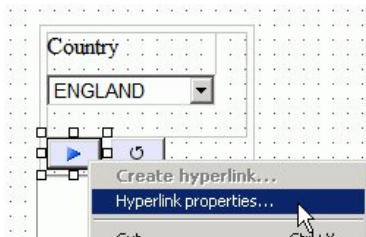
1つの実行ボタンで複数レポートを実行するには

コントロールの [実行] (Submit) ボタンを使用して、実行時にパラメータ値を選択してからリクエストを実行することができます。1つの [実行] (Submit) ボタンで複数のレポートを実行することができます。

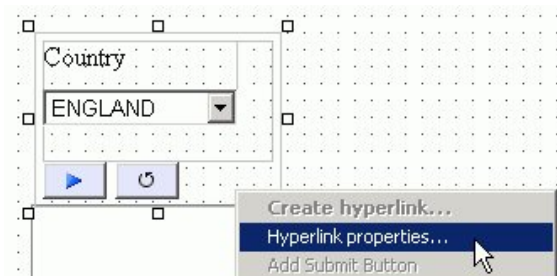
注意： [実行] (Submit) ボタンの代わりに、プッシュボタンを使用することもできます。

1. [実行] (Submit) ボタンまたはコントロール全体のフレームを右クリックし、コンテキストメニューから [ハイパーリンクのプロパティ(Hyperlink properties) を選択します。

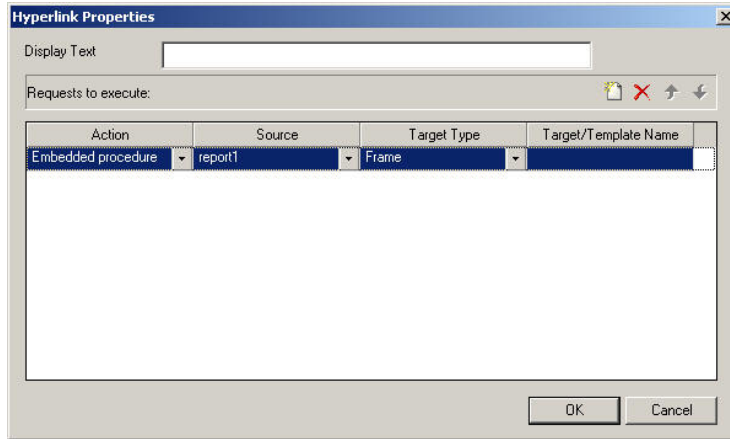
下図は、[実行] (Submit) ボタンが選択された例を示しています。



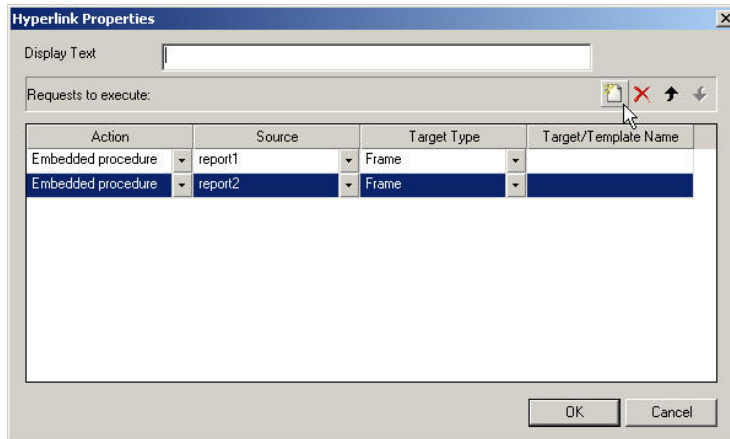
下図は、コントロール全体が選択された例を示しています。



[ハイパーリンクのプロパティ](Hyperlink Properties) ダイアログボックスが開きます。



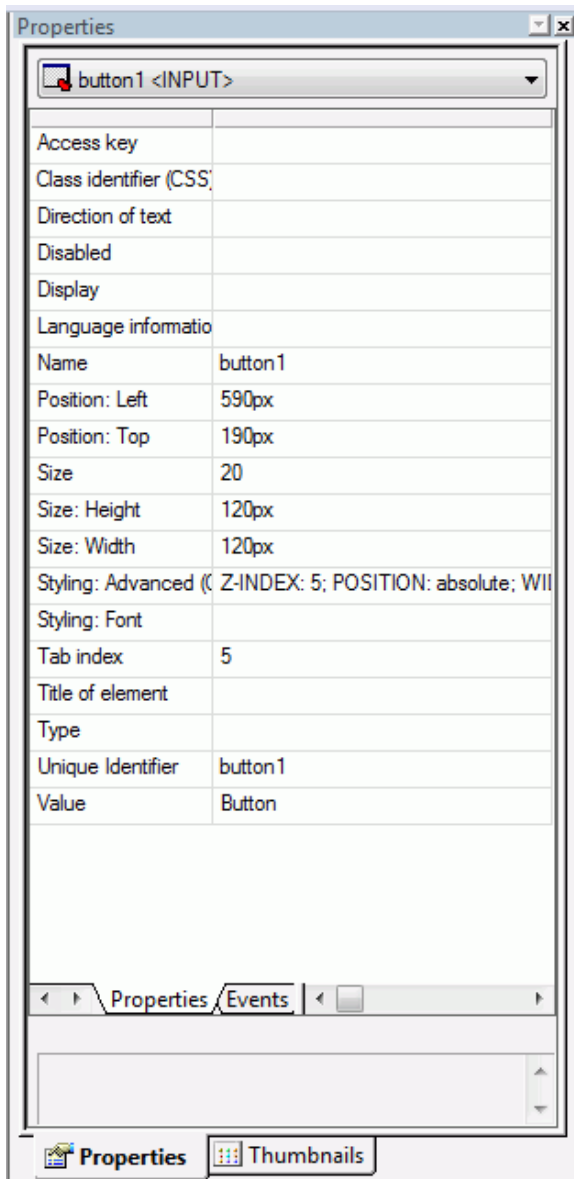
2. [新規作成] (New) ボタンをクリックし、ドロップダウンリストを使用して、実行ボタンで実行する 2 つ目のレポートリクエストを追加します。



複数のプロシジャに対してこの手順を繰り返します。

参照 プロパティウィンドウ - プッシュボタンプロパティ

プッシュボタンを選択すると、[プロパティ] (Properties) ウィンドウの [プロパティ] (Properties) タブに、プッシュボタンのプロパティを制御するオプションが表示されます。



プロパティのいずれかをクリックすると、選択したプロパティの説明が [プロパティ] (Properties) ウィンドウの下部に表示されます。

レイアウトへのリセットボタンの追加

手順/構文

リセットボタンを作成するには

参照

プロパティ ウィンドウ - リセットボタンプロパティ

レイアウトにリセットボタンを追加することができます。リセットボタンを使用すると、ページ全体を初期設定に戻すことができます。

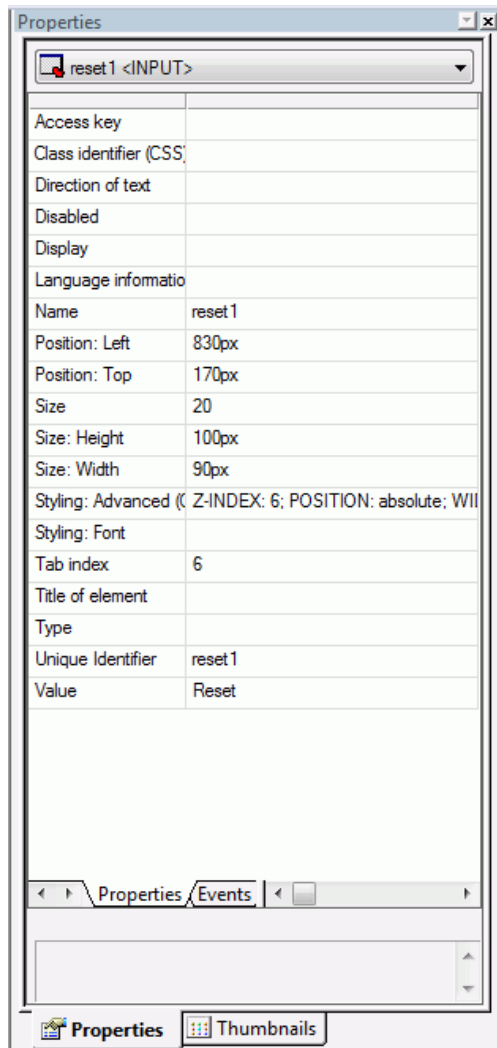
手順

リセットボタンを作成するには

1. レイアウトからリセットボタンを削除した場合は、新しいリセットボタンを作成することができます。次の操作のいずれかを実行し、リセットボタンを挿入します。
 - コンポーネントツールバーの [リセット] (Reset) ボタンをクリックします。
または
 - [挿入] (Insert) メニューから、[コントロール] (Controls)、[リセットボタン] (Reset Button) を選択します。マウスポインタが十字カーソルに変わります。
2. 十字カーソルをドラッグし、プッシュボタンを作成して、必要なサイズに調整します。
レイアウト内にリセットボタンが作成され、「resetn」という名前が付けられます。ここで、末尾の「n」には番号が割り当てられます。
3. HTML ページを実行します。
4. 条件を選択してレポートを実行する際に、リセットボタンをクリックしてページ全体を初期設定に戻します。

参照 プロパティ ウィンドウ - リセットボタンプロパティ

リセットボタンを選択すると、[プロパティ] (Properties) ウィンドウの [プロパティ] (Properties) タブに、ボタンのプロパティを制御するオプションが表示されます。



プロパティのいずれかをクリックすると、選択したプロパティの説明が [プロパティ] (Properties) ウィンドウの下部に表示されます。

レイアウトへのタブコントロールの追加

手順/構文

タブコントロールを作成するには
タブコントロールの全画面表示を有効にするには
タブを追加するには
タブを編集、スタイル設定するには
タブのサイズ、外観、位置を編集するには
タブ項目の背景プロパティフィールドを使用するには
タブに背景イメージを追加するには
タブ本体にコンポーネントを関連付けるには

参照

プロパティウィンドウ - タブコントロールプロパティ

レイアウトには、タブコントロールを追加することができます。タブコントロールを使用すると、1つのHTMLフォームに複数のページを作成して、補助的な情報を効果的に表示することができます。

レイアウトにタブコントロールオブジェクトを追加する場合、各タブコントロールは次の要素で構成されます。

□ タブ項目

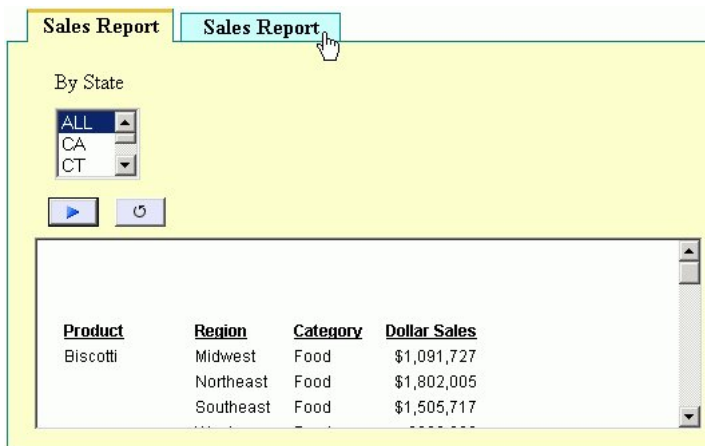
タブ項目とは、タブに付けるラベルのことです。タブ項目の名前およびスタイルを編集したり、複数のタブ項目を追加したりすることができます。タブ項目は、タブ本体に関連付けられます。

□ タブ本体

タブ本体とは、レポートオブジェクトやグラフオブジェクト、イメージ、線などのコンポーネントを関連付けるタブに表示するページのことです。

タブコントロールは、HTML ページの全体または一部に表示することができます。

次の例では、選択されたタブにはレポートが表示され、もう一方のタブにはグラフが表示されます。



手順

タブコントロールを作成するには

1. 次のいずれかの操作を実行し、レイアウトにタブコントロールを挿入します。
 - コンポーネントツールバーの [タブコントロール] (Tab control) ボタンをクリックします。
 - または
 - [挿入] (Insert) メニューから、[コンポーネント] (Components)、[タブコントロール] (Tab Control) を選択します。マウスポインタが十字カーソルに変わります。
2. 十字カーソルをドラッグしてタブコントロールオブジェクトを作成し、必要なサイズに調整します。

ヒント：レポートまたはグラフコンポーネントがタブコントロール内に収まるように、オブジェクトのサイズを十分に確保する必要があります。

レイアウト内にタブコントロールオブジェクトが作成され、「textn」というプロパティ名が付けられます。ここで、末尾の「n」には番号が割り当てられます。デフォルト設定では、タブコントロールには1つのタブページが作成されます。各タブページは、タブ項目 (tabitem(n)) とタブボディ (tabitembody (n)) で構成されます。

3. 必要に応じて、[プロパティ] (Properties) ウィンドウの [プロパティ] (Properties) タブに表示されたタブコントロールのプロパティを変更します。

手順

タブコントロールの全画面表示を有効にするには

タブコントロールのサイズをレイアウトの画面全体に合わせるすることができます。これにより、実行時にブラウザウィンドウの全体にタブコントロールが表示されます。タブコントロールを全画面表示に設定した場合、スクロールバーは出力ウィンドウに表示されません。そのため、レイアウト内のタブコントロールおよびタブ上のすべてのタブ項目が実行時に正しく表示されるように、それぞれの位置を調整する必要があります。

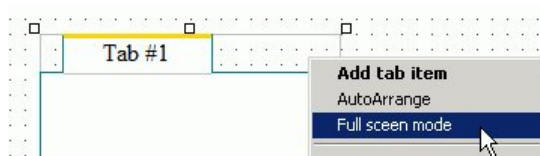
注意：タブコントロールを全画面表示に設定する場合は、開発プロセスを開始する前に設定しておくことをお勧めします。タブコントロールと無関係のコンポーネントがレイアウト内に存在する場合、タブコントロールを全画面表示に変更すると、これらのコンポーネントにアクセスできなくなります。

1. [挿入] (Insert) メニューから、[コンポーネント] (Components)、[タブコントロール] (Tab Control) を選択します。

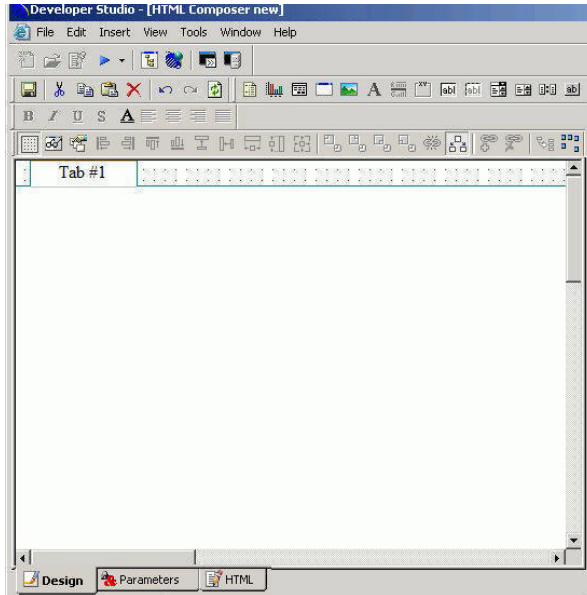
マウスポインタが十字カーソルに変わります。

2. レイアウト内で十字カーソルをドラッグしてタブコントロールオブジェクトを作成します。

3. 下図のように、タブコントロールを右クリックし、ショートカットメニューから [全画面表示] を選択します。

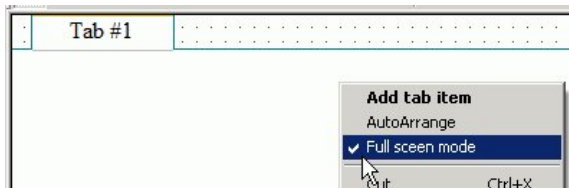


下図のように、タブコントロールがレイアウトの画面全体に表示されます。



注意：この設定は、アプリケーション内のタブコントロールの1つに適用することができます。タブコントロールのいずれかを全画面表示に設定すると、他のすべてのタブコントロールの [全画面表示] (Full screen mode) は選択不可になります。

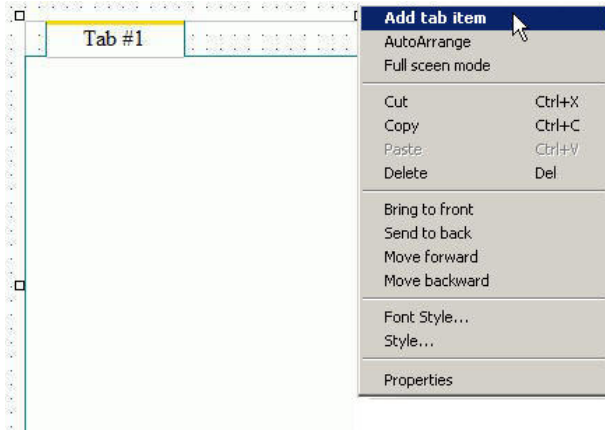
4. タブコントロールのサイズを変更するには、下図のように、タブコントロールを右クリックして [全画面表示] (Full screen mode) のチェックをオフにします。



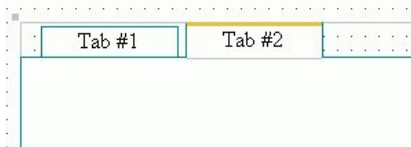
手順

タブを追加するには

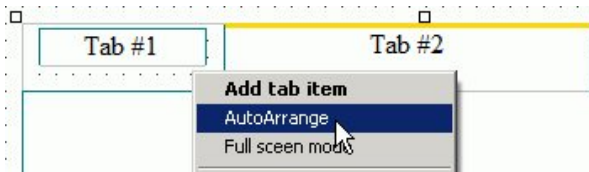
1. レイアウト内でタブコントロールオブジェクトを選択します。
2. オブジェクトを右クリックし、コンテキストメニューから [タブ項目の追加] (Add tab item) を選択します。



タブコントロールオブジェクトに新しいタブが追加されます。



3. 複数のタブ項目を整列するには、タブコントロールオブジェクトを選択し、コンテキストメニューから [自動整列] (AutoArrange) をクリックします。

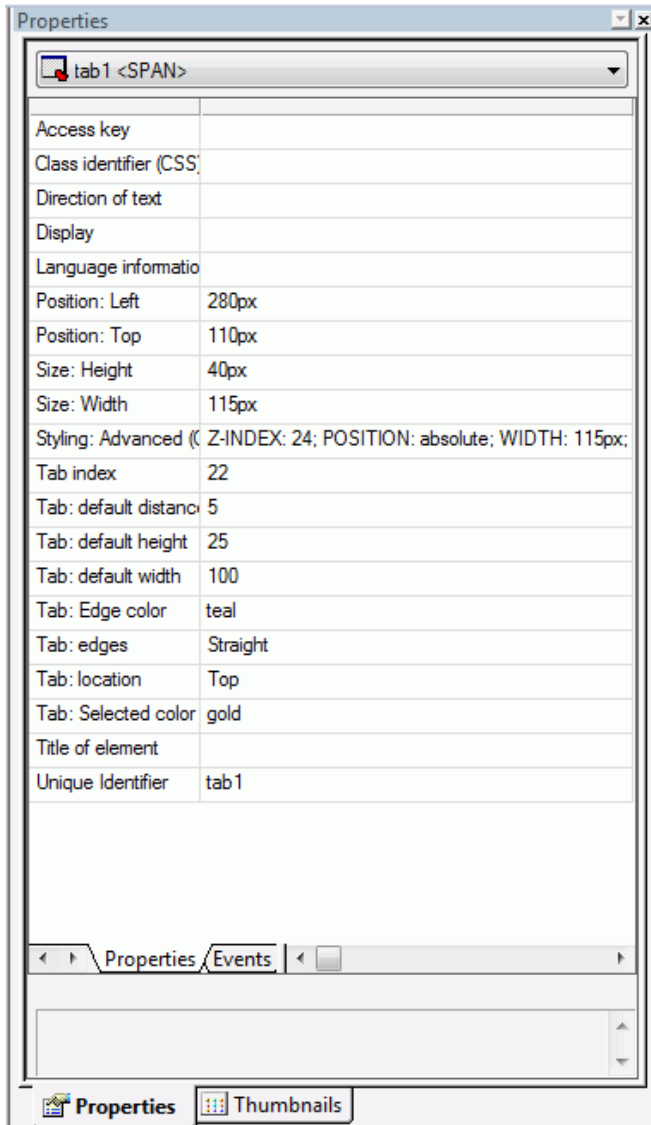


すべてのタブ項目が、最大幅のタブ項目のサイズに合わせて均等な幅になります。

参照 プロパティウィンドウ - タブコントロールプロパティ

タブコントロールを選択すると、[プロパティ] (Properties) ウィンドウの [プロパティ] (Properties) タブに、タブのプロパティを制御するオプションが表示されます。

注意：タブコントロール、個々のタブ項目、タブ本体の各オプションを設定することができます。

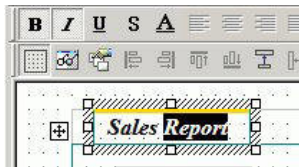


プロパティのいずれかをクリックすると、選択したプロパティの説明が [プロパティ] (Properties) ウィンドウの下部に表示されます。

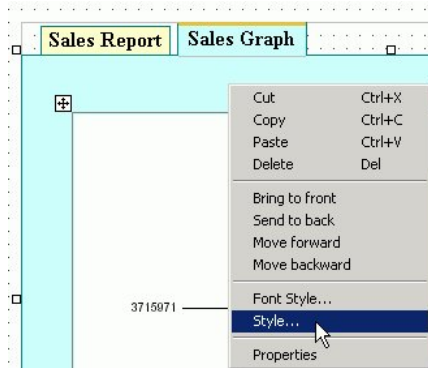
手順 タブを編集、スタイル設定するには

タブ項目とタブ本体のプロパティを編集したり、スタイル設定したりすることができます。

1. 書式設定ツールバーを使用して、タブ項目内のテキストのフォーマットを設定します。



2. タブ項目またはタブ本体を右クリックし、コンテキストメニューを使用して、テキスト (存在する場合)、フォントスタイル、スタイル、プロパティを編集します。



手順 タブのサイズ、外観、位置を編集するには

タブコントロールが選択されている場合、タブラベルのデフォルトサイズ、タブの外観、タブコントロール上のタブ項目の位置をそれぞれ変更することができます。

これらのプロパティは、タブコントロールを選択した際に表示される [プロパティ] (Properties) ウィンドウの [プロパティ] (Properties) タブで指定することができます。タブコントロールは、[プロパティ] (Properties) ウィンドウのドロップダウンリストに「tabn」として表示されます。

1. タブラベルのデフォルトサイズを変更するには、[タブ：デフォルト間隔] (Tab: default distance)、[タブ：デフォルト高さ] (Tab: default height)、[タブ：デフォルト幅] (Tab: default width) の各プロパティを調整します。

2. タブの外観を変更するには、[タブ：形状] (Tab: edges) プロパティのドロップダウンリストから [四角] (Straight)、[丸] (Round) のいずれかを選択します。

デフォルトのタブ形状は [四角] (Straight) です。

3. タブコントロール上のタブ項目の位置を変更するには、[タブ：位置] (Tab: location) プロパティのドロップダウンリストから [上] (Top)、[下] (Bottom)、[左] (Left)、[右] (Right) のいずれかを選択します。

デフォルトのタブの位置は [上] です。

注意：タブの位置を変更した場合、タブに適用されている背景イメージは回転されません。正しい回転位置の背景イメージを再挿入する必要があります。

手順

タブ項目の背景プロパティフィールドを使用するには

タブ項目に背景イメージを追加する場合、[スタイル] (Style Composer) ダイアログボックスを使用する代わりに、[背景] (Background) プロパティを使用することもできます。

[背景] (Background) プロパティは、タブ項目を選択した際に [プロパティ] (Properties) ウィンドウの [プロパティ] (Properties) タブに表示されます。タブ項目は、[プロパティ] (Properties) ウィンドウのドロップダウンリストに「tabitemn」として表示されます。

1. レイアウト内でタブ項目を選択するか、[プロパティ] (Properties) ウィンドウのドロップダウンリストから [tabitem(n)] プロパティを選択します。
2. タブ項目の [プロパティ] (Properties) ウィンドウで [背景] (Background) の [...] (参照) ボタンをクリックします。

下図のように、[ファイルを選択してください](Get source file) ダイアログボックスが表示されます。



3. ファイル名の 1 つを選択し、[開く] (Open) をクリックします。

背景イメージがタブ項目に追加されます。

イメージのサイズに合わせてタブ項目のサイズを手動で変更しなければならない場合があります。

注意：タブの位置を変更した場合(例、[上]から[左]へ)、タブに適用されている背景イメージは回転されません。正しい回転位置の背景イメージを再挿入する必要があります。

手順

タブに背景イメージを追加するには

または、たとえば、タブ項目にテキスト付きの小さいアイコンを追加したり、タブ本体に会社のロゴを背景イメージとして追加したりすることができます。

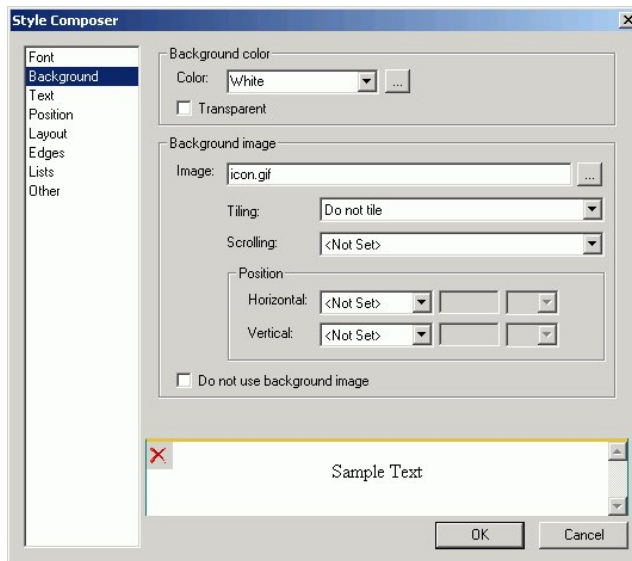
注意：背景プロパティ設定を使用して背景イメージをタブ項目に適用することができます。詳細は、64 ページの「[タブ項目の背景プロパティフィールドを使用するには](#)」を参照してください。

1. タブ項目またはタブ本体を右クリックし、コンテキストメニューから[スタイル](Style)を選択します。

[スタイル] (Style Composer) ダイアログボックスが表示されます。

2. [背景] (Background) を選択し、背景イメージのオプションを表示します。
3. [イメージ] (Image) テキストボックスでソースファイルを選択し、[表示位置] (Tiling)、[スクロール] (Scrolling)、[位置] (Position) オプションを調整します。

ヒント：タブ項目にアイコンを追加する場合は、小さいイメージを指定し、[並べて表示しない] (Do not tile) を選択します。



4. 背景イメージの代わりにテキストをタブ項目に使用する場合は、[スタイル] (Style Composer) ダイアログボックスから [テキスト] (Text) を選択し、[配置] (Alignment) オプションを確認して変更します。
5. [OK] をクリックし、[スタイル] (Style Composer) ダイアログボックスを閉じます。
指定した背景イメージが、タブ項目またはタブ本体に追加されます。

手順

タブ本体にコンポーネントを関連付けるには

[挿入] (Insert) メニューから任意のコンポーネント (例、イメージ、線) をタブ本体に関連付けることができます。ここでは、タブ本体にレポートオブジェクトやグラフオブジェクトコンポーネントを追加する手順について説明します。

1. 次の操作を実行し、タブ本体に新しいレポートまたはグラフオブジェクトを追加します。
 - [挿入] (Insert) メニューから [新規レポート] (New Report) または [新規グラフ] (New Graph) を選択します。

マウスポインタが十字カーソルに変わります。
 - タブコントロール本体で、十字カーソルをドラッグしてレポートまたはグラフオブジェクトを作成し、必要なサイズに調整します。
 - レポートまたはグラフのプロシジャを開くか、インポートまたは参照します。
2. 次の操作を実行し、レイアウト内の既存コンポーネントをタブ本体に関連付けます。
 - レイアウト内のコンポーネントを選択します。
 - Alt キーを押して、コンポーネントをタブ本体にドラッグします。

選択したコンポーネントがタブ本体に関連付けられます。

レイアウトへのラベルの追加

手順/構文

ラベルを追加するには

参照

プロパティウィンドウ - ラベルプロパティ

レイアウトには、ラベルを追加することもできます。ラベルは、テキストの一種です。ラベルコンポーネントを使用して、ラベルを作成して名前を付け、さらに、ラベルの [ラベルオブジェクト] (Label Object) プロパティに、コントロールの [ユニーク ID] (Unique Identifier) プロパティと同一の値を割り当てることで、コントロールとのリンクを設定します。

手順

ラベルを追加するには

1. 次の手順を実行し、レイアウトにラベルコントロールを挿入します。
 - コンポーネントツールバーの [ラベルの挿入] (Insert Label) ボタンをクリックします。

または

- [挿入] (Insert) メニューから、[コンポーネント] (Components)、[ラベル] (Label) を選択します。

マウスポインタが十字カーソルに変わります。

2. 十字カーソルをドラッグし、ラベルを作成して好みのサイズに調整します。

レイアウト内にラベルが作成され、「labeln」という名前が付けられます。ここで、末尾の「n」には番号が割り当てられます。

3. ラベルテキストを、レイアウトに表示するテキストで置き換えます。
4. 次の手順を実行し、ラベルのプロパティを指定して、レイアウトで既存のコントロールにラベルを割り当てます。

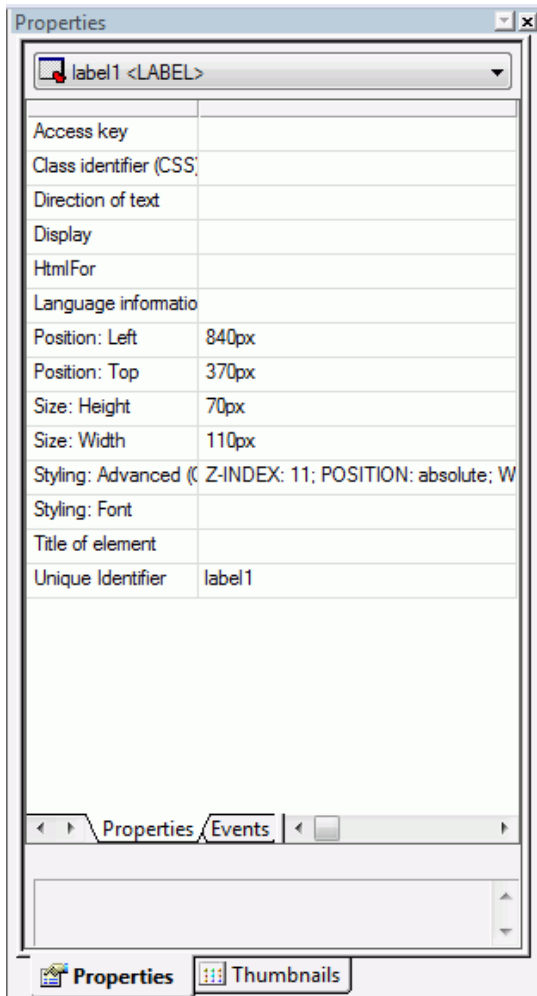
- レイアウトで、ラベルオブジェクトを選択します。
- [プロパティ] (Properties) ウィンドウの [プロパティ] (Properties) タブで、[ラベルオブジェクト] (Label object) プロパティを選択します。
- ラベルとのリンクを設定するコントロールの [ユニーク ID] (Unique Identifier) テキストボックスに、プロパティ名を入力します。

たとえば、レイアウトにドロップダウンリストがある場合、このドロップダウンリストオブジェクトにデフォルトで割り当てられるユニーク ID 名は、「combobox1」です。[ラベルオブジェクト] (Label Object) テキストボックスに「combobox1」と入力し、このラベルにレイアウトのドロップダウンリストとのリンクを設定します。

- 必要に応じて、[プロパティ] (Properties) ウィンドウの [プロパティ] (Properties) タブに表示されたラベルのプロパティを変更します。詳細は、69 ページの「[プロパティウィンドウ - ラベルプロパティ](#)」を参照してください。

参照 プロパティウィンドウ - ラベルプロパティ

ラベルを選択すると、[プロパティ](Properties) ウィンドウの [プロパティ](Properties) タブに、レポート内のラベルのプロパティを制御するオプションが表示されます。新しいページのラベルは、[プロパティ](Properties) ウィンドウの <LABEL> タグとして表示されます。



プロパティのいずれかをクリックすると、選択したプロパティの説明が [プロパティ](Properties) ウィンドウの下部に表示されます。

プロパティウィンドウの操作

手順/構文

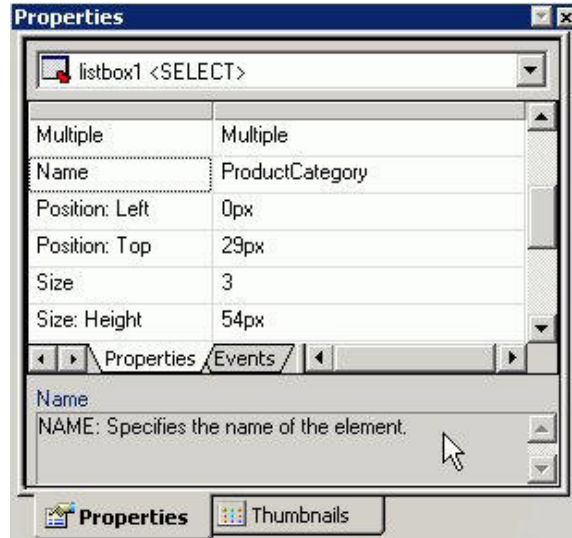
プロパティウィンドウをドッキングするには

[プロパティ] (Properties) ウィンドウは、複数のタブおよびコンポーネントで構成されたドッキング可能なウィンドウです。

- [プロパティ] (Properties) タブは、次のコンポーネントで構成されます。
 - レイアウト内に存在するオブジェクトの階層ドロップダウンリスト。オブジェクトを選択すると、[プロパティ] (Properties) タブにサブタブが表示されます。



- [プロパティ](Properties) サブタブには、選択したオブジェクトの属性が表示されます。属性は左側の列に表示されます。右側の列をクリックし、属性のプロパティを設定します。



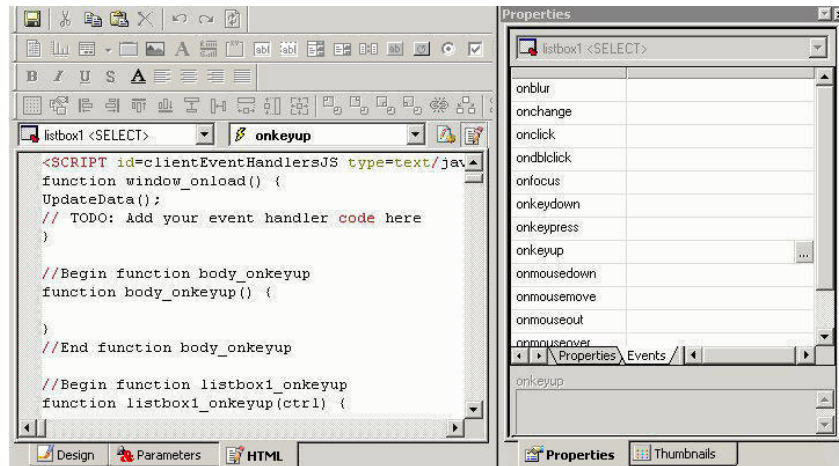
[プロパティ](Properties) サブタブオプションには、HTML コンポーザの [デザイン] (Design) 表示からアクセスすることができます。

- [イベント](Events) サブタブには、すべての JavaScript イベントが表示されます。これらの JavaScript イベントでオブジェクトにアクションを割り当てます。

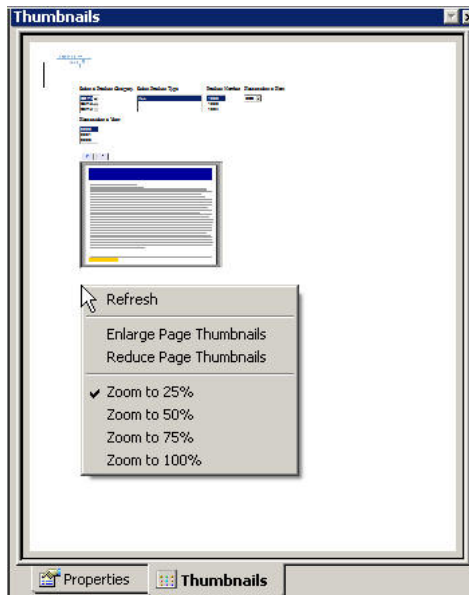
注意

- オブジェクトの JavaScript イベントをコーディングするには、JavaScript イベントを選択し、[イベント](Events) サブタブで [...] (参照) ボタンをクリックします。HTML コンポーザは、選択したイベントを HTML コードに追加し、デザイン表示を HTML 表示に切り替えます。HTML 表示で、イベントを定義するように指示されます。必要な JavaScript コードを追加します。
- イベントハンドラが設定されたコントロールをコピーすると、コピー元のコントロールのイベントハンドラが、コピー先のコントロールに継承されます。[イベント](Events) タブを使用して、コピー先のコントロールのイベントハンドラを手動で変更する必要があります。変更後は、これらのイベントハンドラの JavaScript を作成することができます。

下図は、HTML コンポーザで [イベント] (Events) サブタブを選択した場合に表示される HTML コードの例を示しています。



- [サムネール] (Thumbnails) タブでは、ページレイアウトのサムネールを表示することができます。サムネール表示では、ページ上のオブジェクトを [パラメータ] (Parameters) タブのコントロールのアクションに追加することができます。[サムネール] (Thumbnails) タブの更新、拡大縮小、ズーム調整も可能です。レポート、グラフは、[サムネール] (Thumbnails) タブのプレースホルダオブジェクトとして表示されます。

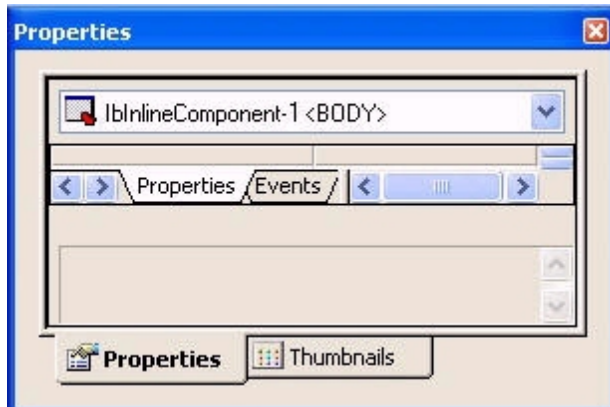


手順

プロパティウィンドウをドッキングするには

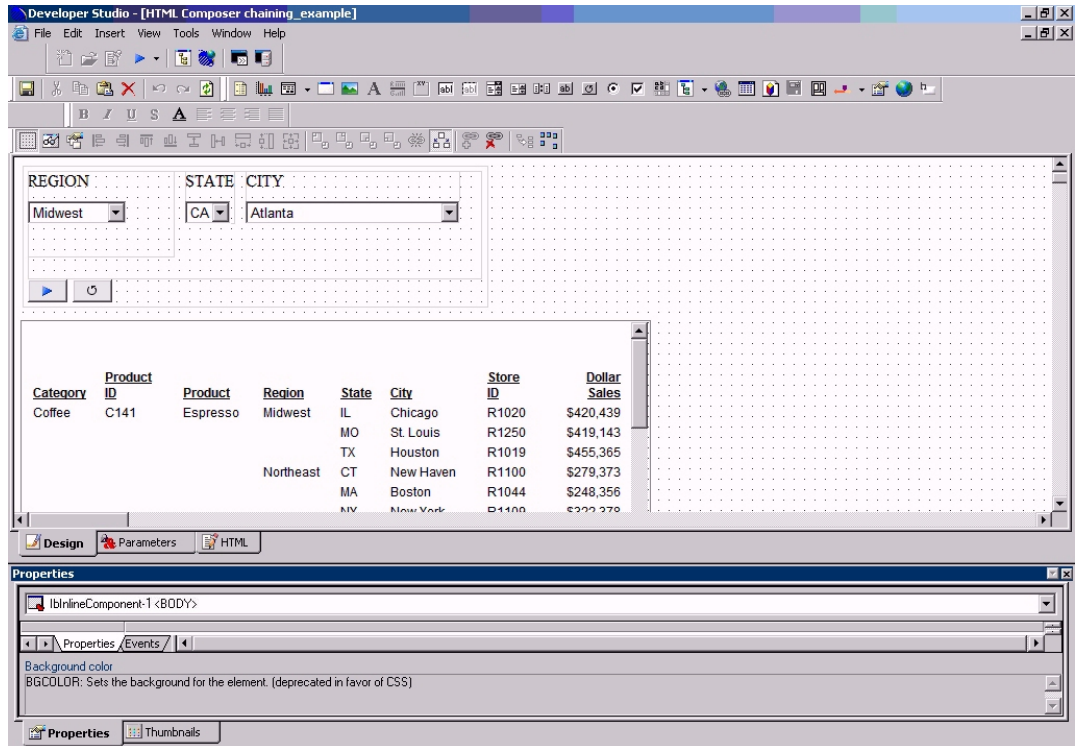
レイアウト目的で、[プロパティ] (Properties) ウィンドウのドッキングや、表示位置の変更が必要な場合があります。[プロパティ] (Properties) ウィンドウを HTML コンポーザの 4 つの側面すべてにドッキングすることができます。[プロパティ] (Properties) ウィンドウを上部または下部にドッキングした場合は、列は半分に分割されます。

1. [プロパティ] (Properties) ウィンドウの [プロパティ] タイトルバーをクリックします。
タイトルバーをダブルクリックすると、[プロパティ] (Properties) ウィンドウは、下図のように表示されます。



2. [プロパティ] (Properties) ウィンドウをクリックしてドラッグし、画面の端に寄せるか、画面の中央で、手前に表示することもできます。
3. [プロパティ] (Properties) ウィンドウが画面の適切な側面に配置されたところで、マウスボタンを離します。

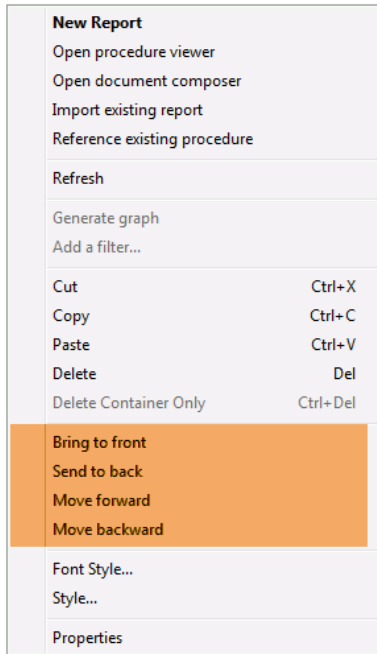
[プロパティ](Properties) ウィンドウを画面の下部にドッキングすると、下図のように表示されます。



[プロパティ](Properties) ウィンドウのドッキングを解除するには、[プロパティ](Properties) タイトルバーをダブルクリックし、レイアウトで目的の位置まで移動します。

オブジェクトのレイヤ化

ページレイアウトに追加されたオブジェクトは、下図のように、右クリックメニューでレイヤ化することができます。



次のオプションがあります。

- **最前面へ移動 (Bring to front)** オブジェクトを最前面へ移動します。その結果、このオブジェクトが、重なり合う他のオブジェクトの最上位に配置されます。
- **最背面へ移動 (Send to back)** オブジェクトを最背面へ移動します。その結果、このオブジェクトが、重なり合う他のオブジェクトの最下位に配置されます。
- **1つ上へ移動 (Move forward)** オブジェクトを積み重ね順 (Z オーダー) で1つ上の位置へ移動します。
- **1つ下へ移動 (Move backward)** オブジェクトを積み重ね順 (Z オーダー) で1つ下の位置へ移動します。

これらのコマンドのいずれかを使用すると、オブジェクトの重なり順序が変更されます。これは、[プロパティ] (Properties) ウィンドウの [Z-インデックス] (Z-Index) のプロパティに反映されます。Z-インデックスは、特定のオブジェクトの重なり順序を表します。

イベントサブタブの使用

[イベント] (Events) サブタブには、オブジェクトで使用可能なすべての JavaScript イベントが表示されます。使用可能なイベントは、選択されたオブジェクトのタイプによって異なります。たとえば、レポートオブジェクトで使用可能なイベントは、ボタンオブジェクトとは異なります。オブジェクトが選択されていない場合は、HTML ページのイベントが表示されます。

イベントをダブルクリックすると、選択中のオブジェクトに、そのイベントに対する関数ブロックが作成されます。作成された関数は、[埋め込み JavaScript] (Embedded JavaScript) タブに表示されます。このタブでは、選択したイベントが発生した場合に実行する JavaScript コードを入力することができます。

下表は、[イベント] (Event) サブタブで使用可能なイベント、および JavaScript コードが呼び出される状況を示しています。

イベント	状況
Load	ページのロード時
UnLoad	ページのアンロード時
Click	オブジェクトまたはページのクリック時
Double Click	オブジェクトまたはページのダブルクリック時
Mouse Down	マウスポインタの下移動時
Mouse Up	マウスポインタの上移動時
Mouse Over	マウスポインタのオブジェクト上への移動時
Mouse Move	マウスポインタの移動時
Mouse Out	マウスポインタのオブジェクト外への移動時
Key Pressed	キーの押下後解放時
Key Down	キーの押下時
Key Up	キーの開放時

イベント	状況
Focus	オブジェクトのフォーカス時
Blur	オブジェクトがフォーカス外
Before Load	コントロールの入力前
After Load	コントロールの入力後
Value Selected	コントロール内の値の選択時
Value Changed	コントロール内の値の変更時

HTML コンポーザによるパラメータの作成と使用

トピックス

パラメータ値の作成

フォームコントロールを使用した入力パラメータ値の指定

入力コントロールを使用したパラメータ値の追加

外部レポートへのパラメータ値の入力

レイアウトのスタイル設定

スタイルダイアログボックスによるブラウザのデフォルトの指定

HTML コンポーザによるオブジェクトレイアウト

HTML コンポーザ環境の管理

HTML コンポーザへの Report Broker スケジュール権限追加

HTML コンポーザページでの JavaScript コードの使用

ロード画面 HTML ファイルの指定

未バインドのパラメータ、入力パラメータ(コントロールにバインドされたパラメータ)、パラメータにバインドされたコントロール、未バインドのコントロールを作成することができます。

パラメータ値の作成

トピックス

パラメータタブでの作業

未バインドパラメータの追加

値の静的リスト作成

値の動的リスト作成

フィールドへの動的値の自動挿入

パラメータ値リストのオプション

パラメータ値と入力コントロールは、値の動的または静的リストで作成することができます。

- 動的リストには、リクエストの実行時に特定のデータソースから値が取得されます。
- 静的リストには、事前に指定した値が表示されます。静的リストの値は、手動で変更しない限り変わりません。
- Active コントロールには、active report メニュー項目と同一の active report 値が表示されます。

注意：Active コントロールは、レイアウト内のどのパラメータとも関連付けることはできません。このタイプのコントロールは、レイアウト内の active report にのみ関連付けることができます。

パラメータタブでの作業

[パラメータ](Parameters) タブを使用して、パラメータ値と入力コントロールの作成および変更、パラメータの条件のカスタマイズを行えます。また、パラメータをコントロールにバインドして、コントロール間に連鎖を設定することもできます。[パラメータ](Parameters) タブは、次のコンポーネントで構成されます。

- 入力コントロールオブジェクト

入力コントロールを選択して、[パラメータと設定] (Properties and settings) ダイアログボックスで、パラメータと設定の表示と編集が行えます。

- デザイン表示で入力コントロールを作成すると、[パラメータ] (Parameters) タブでバインドパラメータを作成するよう要求されます。詳細は、149 ページの「[入力コントロールを使用したパラメータ値の追加](#)」を参照してください。
- 新規パラメータに入力コントロールを設定したときに挿入された入力コントロールを編集します。詳細は、139 ページの「[新規パラメータダイアログボックスでのフォームコントロール自動作成](#)」を参照してください。
- 新規パラメータの追加
[パラメータ] (Parameters) タブを右クリックし、新しいパラメータを追加します。
注意：パラメータを手動で追加した場合、未バインドのパラメータが作成されます。新規パラメータの追加についての詳細は、80 ページの「[未バインドパラメータの追加](#)」を参照してください。
- 未解決パラメータのリフレッシュ
[パラメータ] (Parameters) タブのパラメータはすべて、未解決のものがないかどうか 2 分ごとに解析されます。存在する場合は、周囲の領域が赤色で表示されます。必要に応じて未解決のパラメータを確認する場合は、[未解決項目のリフレッシュ] (Refresh unresolved) を右クリックして選択します。
- コントロールとパラメータのバインド
[パラメータ] (Parameters) タブで、入力コントロールとパラメータのバインドの設定と解除が行えます。
パラメータにコントロールをバインドしたり、パラメータをコントロールにバインドしたりすることができます。
- コントロールにパラメータをバインドすると、そのパラメータはコントロールに入力される「入力パラメータ」になります。パラメータオブジェクトをクリックしてドラッグし、[パラメータ] (Parameters) タブのコントロールオブジェクトにすることができます。
- パラメータにコントロールをバインドすると、そのパラメータに値が入力されます。コントロールオブジェクトをクリックしてドラッグし、[パラメータ] (Parameters) タブのパラメータオブジェクトにすることができます。
- 複数のコントロールの連鎖

連鎖を設定すると、連鎖内で前のコントロールで選択した値に基づいて、コントロールに値が入力されます。静的コントロールおよび動的コントロールに連鎖を設定することや、連鎖の一部へのリンクの設定と解除、連鎖内のリンクの設定、条件の作成が可能です。[パラメータ] (Parameters) タブでは、連鎖は、コントロールオブジェクトを接続する線として表示されます。連鎖のリンクのやじり部分をクリックすると、[プロパティと設定] (Properties and settings) ダイアログボックスで、連鎖のプロパティや条件の設定と変更を行うことができます。

注意：連鎖は、パラメータではなく、コントロールにのみ適用されます。連鎖についての詳細は、「[Chaining Controls for Dependencies](#)」を参照してください。

未バインドパラメータの追加

手順/構文

新規未バインドパラメータを追加するには

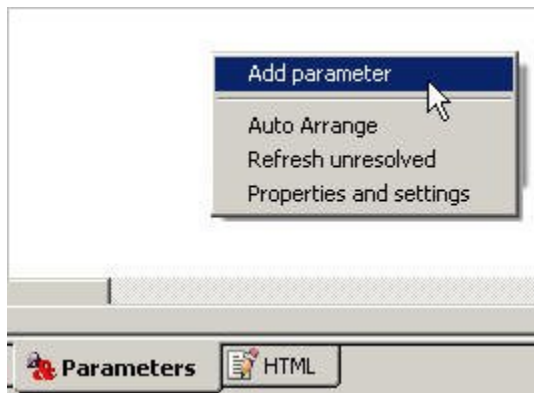
未バインドパラメータは、他のページで使用するパラメータ値を送信する場合に役立ちます。新しいパラメータをコントロールにバインドして入力パラメータを作成したり、コントロールをパラメータにバインドすることもできます。

手順

新規未バインドパラメータを追加するには

新規パラメータを追加するには、次の手順を実行します。

1. [パラメータ] (Parameters) タブの任意の位置を右クリックし、[パラメータの追加] (Add parameter) を選択します。



パラメータ値の情報を入力します。オプションには、[単一選択] (Single select)、[複数選択 OR] (Multiselect OR)、[複数選択 AND] (Multiselect AND) があります。

2. 単一値を使用する場合は、[単一選択] (Single select) を選択します。

注意：新規パラメータを追加する場合、デフォルト設定で単一選択が選択されます。

The screenshot shows a dialog box titled "Properties and settings". It contains the following fields and controls:

- Name:** A text box containing the text "Parameter1".
- Format:** An empty text box.
- Selection Options:** Three radio buttons are present:
 - Single select
 - Multiselect OR
 - Multiselect AND
- Selected Value:** An empty text box.

- a. [表示値] (Selected Value) を入力して割り当てます。
- b. [名前] (Name) テキストボックスにパラメータ名を入力するか、デフォルトの名前を使用します。
- c. 必要に応じて、[フォーマット] (Format) テキストボックスを使用して、A20 や D12.1 など、パラメータのフォーマットを定義します。

このフィールドをブランクのままにしておくと、値フィールドには文字フォーマットが自動的に適用されます。

3. 複数選択値を使用する場合は、[複数選択 OR] (Multiselect OR) または [複数選択 AND] (Multiselect AND) を選択します。

[値] (Value)、[画面] (Display)、[選択] (Selected) 列が表示されます。

- a. [新規作成] (New) ボタンをクリックして、静的値の一覧を入力します。

Value	Display	Selected
Value1	Value1	<input checked="" type="checkbox"/>

- b. 値 (Value) フィールドに、選択したパラメータに渡す値を入力します。
- c. [画面] (Display) フィールドに、ユーザに表示するコントロールでパラメータ値を表すテキストを入力します。
- d. [選択済み] (Selected) フィールドで、デフォルト値として表示する値のチェックをオンにします。複数の値を選択することができます。

注意：HTML コンポーザで、以前のリリースで作成した既存ページを開き、ツールで [値] (Value) フィールドと [画面] (Display) フィールドが解決できない場合は、代わりに、これらのフィールドに XML インデックス値が表示されます。[値] (Value) フィールドと [画面] (Display) フィールドが解決できない問題は、既存のプロシジャに INCLUDE または 変数が含まれている場合に発生します。

この手順を繰り返して、必要な値をすべてリストに追加します。

4. 必要に応じて、値を選択してから [削除] (Delete) ボタンをクリックして値を削除したり、上下の矢印を使用して値の順序を変更したりします。
5. [プロパティと設定] (Properties and settings) ダイアログボックスを閉じて、未バインドのパラメータを作成します。
6. パラメータ値を変更するには、[パラメータ] (Parameters) タブでパラメータを右クリックし、[プロパティと設定] を選択します。

ヒント：標準ツールバーの [元に戻す] (Undo) ボタンと [やり直し] (Redo) ボタンを使用することもできます。「元に戻す」、「やり直し」では、[プロパティと設定] (Properties and setting) ダイアログボックス全体が、1つの操作として処理されます。

7. 必要に応じて、コントロールをパラメータにバインドして、パラメータを指定することができます。パラメータ名オブジェクトの中央を選択してクリックし、コントロールオブジェクトの中央にドラッグしてマウスボタンを離すと、バインドが完成します。
8. 必要に応じて、新しいパラメータをコントロールにバインドして、入力パラメータを作成します。コントロールの中央を選択してクリックし、パラメータオブジェクトの中央にドラッグしてマウスボタンを離すと、バインドが完成します。

入力コントロールの作成についての詳細は、149ページの「[入力コントロールを使用したパラメータ値の追加](#)」を参照してください。

値の静的リスト作成

手順/構文

新しい静的な値を追加するには

無視値を追加するには

全値を追加するには

プロシジャ値を使用するには

外部ファイルの値をインポートするには

参照

プロパティと設定 (入力静的パラメータと未バインドコントロール)

プロパティと設定ダイアログボックス (未バインドパラメータ)

プロパティと設定ダイアログボックス (バインド済みパラメータ)

静的値リストを作成する場合、次のオプションのいずれかを選択することができます。

- 新しい値の追加
- 無視値の追加
- 全値の追加
- プロシジャ値の使用
- 外部ファイル値の使用

これらのオプションを [値] (Value) リストに追加すると、表示テキストはカスタマイズできますが、値を変更することはできません。

未バインド静的パラメータ、入力静的パラメータ (コントロールにバインドされたパラメータ)、静的パラメータにバインドされたコントロールを作成することができます。詳細は、90 ページの「[新しい静的な値を追加するには](#)」を参照してください。

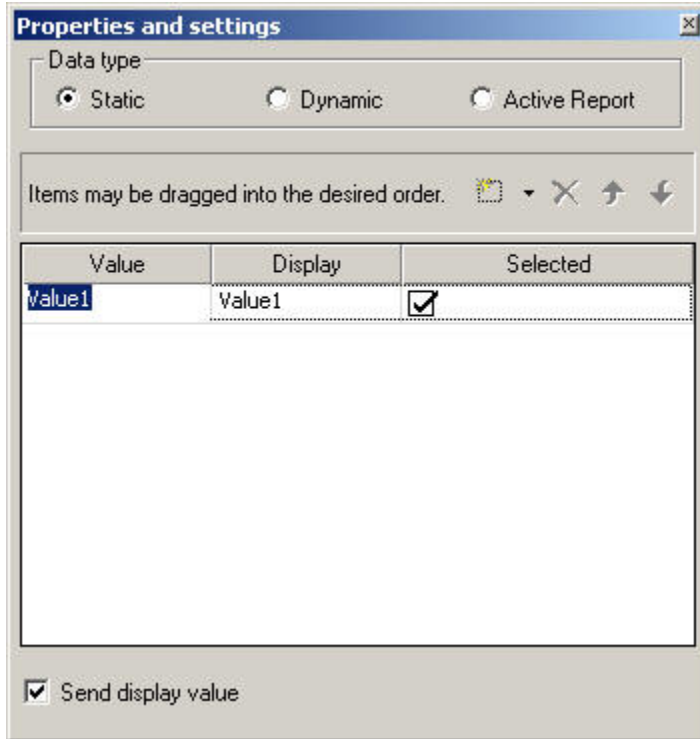
参照

プロパティと設定 (入力静的パラメータと未バインドコントロール)

[パラメータ] (Parameters) タブで静的値を作成、編集する際、[プロパティと設定] (Properties and settings) ダイアログボックスが開きます。

このオプションは、静的値のタイプによっては利用できないことがあります。

下図は、入力静的パラメータ (コントロールにバインドされたパラメータ)、未バインドコントロール (パラメータにバインドされたコントロール) の [プロパティと設定] (Properties and settings) ダイアログボックスを示しています。



[データタイプ] (Data type) として [静的] (Static) を選択した場合、[プロパティと設定] (Properties and settings) ダイアログボックスには、次の項目とオプションが表示されます。

データタイプ (Data type)

値の取得先として、静的リスト、動的リスト、active report のいずれかを指定します。

静的 (Static) 提供された静的なパラメータのリストを使用します。静的な値のリストは、レポートアシスタントで作成することもできます。

静的な値 (Static Values)

静的リストに対して指定した値のリストです。

値 (Value) 選択したパラメータに渡される値です。

画面 (Display) フォームコントロールで、値としてユーザに表示するテキストです。Ctrl+Shift キーをクリックすると [画面] (Display) フィールドに値が追加されます。

選択済み (Selected) デフォルト値として表示する値です。フォームコントロールが複数選択コントロールである場合は、複数の値を選択できます。

新規作成 (New) 新しいパラメータ値を作成します。

削除 (Delete) リストからパラメータの値を削除します。

上へ移動 (Move Up) 選択した値をリストの上部に移動します。

下へ移動 (Move Down) 選択した値をリストの下部に移動します。

表示値を送信する (Send display value)

このオプションを選択すると、パラメータに実際のデータではなく表示値が送信されます。詳細は、117 ページの「[静的および動的コントロールの表示値を送信するには](#)」を参照してください。

入力静的パラメータ (コントロールにバインドされたパラメータ)、未バインドコントロール (パラメータにバインドされたコントロール) 作成時には、[送信] (Send) 表示値オプションが表示されます。未バインドの静的パラメータを作成する際は、無効になります。

プロシジャ名の値を使用 (Values are procedures names)

このオプションを選択すると、コントロールにプロシジャ名が表示され、値が選択された場合に、そのプロシジャが実行されます。[値] (Value) フィールドは、プロシジャ名自体になり、この値を編集することはできません。[画面] (Display) フィールドは、編集することができます。

値およびプロシジャ名オプションの使用方法についての詳細は、124 ページの「[値としてプロシジャ名を使用するには](#)」を参照してください。

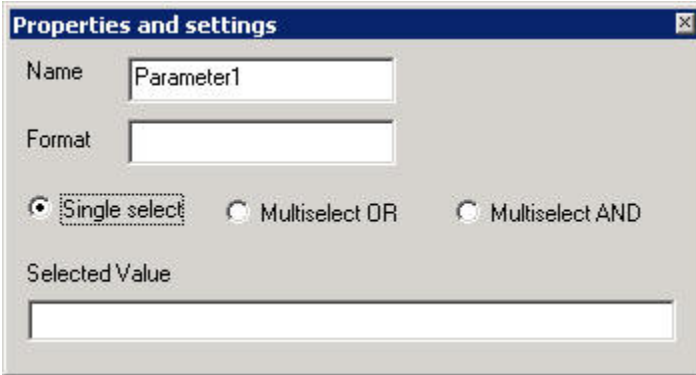
参照

プロパティと設定ダイアログボックス (未バインドパラメータ)

[パラメータ] (Parameters) タブで静的値を作成、編集する際、[プロパティと設定] (Properties and settings) ダイアログボックスが開きます。

このオプションは、静的値のタイプによっては利用できないことがあります。

下図は、新規未バインドパラメータを追加する場合に表示される [プロパティと設定] (Properties and settings) ダイアログボックスを示しています。



The screenshot shows a dialog box titled "Properties and settings". It contains the following elements:

- Name:** A text box containing "Parameter1".
- Format:** An empty text box.
- Selection Options:** Three radio buttons: "Single select" (which is selected), "Multiselect OR", and "Multiselect AND".
- Selected Value:** An empty text box.

単一選択で未バインドパラメータを追加する場合、[プロパティと設定] (Properties and settings) ダイアログボックスには、次の項目とオプションが表示されます。新規パラメータを追加する場合、デフォルト設定で単一選択が選択されます。

名前 (Name)

パラメータに割り当てるデフォルト名です。必要に応じて、パラメータの新しい名前を入力することができます。

フォーマット (Format)

[フォーマット] (Format) テキストボックスで、「A20」、「D12.2」など、パラメータのフォーマットを定義します。

これはオプションとして入力します。このフィールドを空白のままにしておくと、値フィールドには文字フォーマットが自動的に適用されます。

表示値 (Selected Value)

[表示値] (Selected Value) を入力してパラメータに割り当てます。

下図のように、複数選択 OR または複数選択 AND で未バインドパラメータを追加する場合、[プロパティと設定] (Properties and settings) ダイアログボックスには、次の項目とオプションが表示されます。

Properties and settings

Name: Parameter2

Format: stat

Single select Multiselect OR Multiselect AND

Use Value From: [Dropdown]

Items may be dragged into the desired order [Icons]

Value	Display	Selected
-------	---------	----------

Send display value

Values are procedures names

静的な値 (Static Values)

静的リストに対して指定した値のリストです。

値 (Value) 選択したパラメータに渡される値です。

画面 (Display) フォームコントロールで、値としてユーザに表示するテキストです。Ctrl+Shift キーをクリックすると [画面] (Display) フィールドに値が追加されます。

選択済み (Selected) デフォルト値として表示する値です。フォームコントロールが複数選択コントロールである場合は、複数の値を選択できます。

新規作成 (New) 新しいパラメータ値を作成します。

削除 (Delete) リストからパラメータの値を削除します。

上へ移動 (Move Up) 選択した値をリストの上部に移動します。

下へ移動 (Move Down) 選択した値をリストの下部に移動します。

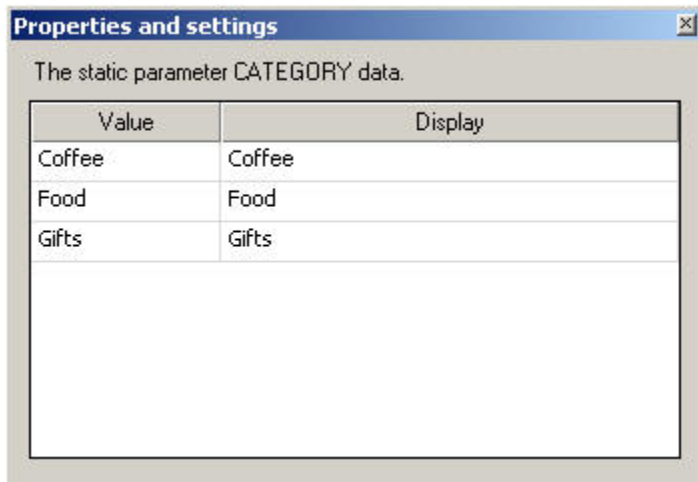
参照

プロパティと設定ダイアログボックス (バインド済みパラメータ)

[パラメータ] (Parameters) タブでバインド済みパラメータを選択すると、[プロパティと設定] (Properties and settings) ダイアログボックスが表示されます。

パラメータの [プロパティと設定] (Properties and settings) ダイアログボックスは読み取り専用で、このダイアログボックスには、バインドされたコントロールの値が表示されません。

下図は、バインド済み静的パラメータを選択した場合に表示される [プロパティと設定] (Properties and settings) ダイアログボックスを示しています。



[プロパティと設定] (Properties and settings) ダイアログボックスには、読み取り専用の次の値があります。

値 (Value)

静的パラメータデータの値として選択された値を表示します。

画面 (Display)

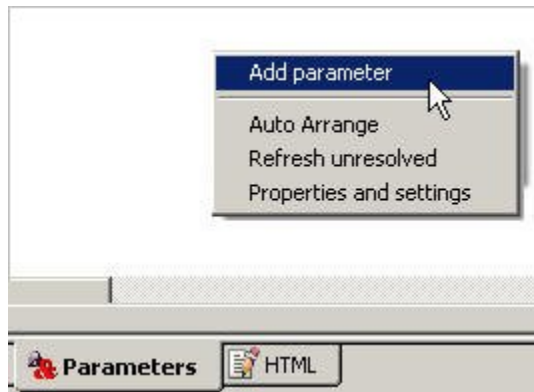
静的パラメータの値を表示します。

手順 新しい静的な値を追加するには

新規静的値を手動で追加するには、次の手順を実行します。

未バインド静的パラメータ、入力静的パラメータ (コントロールにバインドされたパラメータ)、静的パラメータにバインドされたコントロールを作成することができます。

1. 新しいパラメータを作成します。
 - a. [パラメータ](Parameters) タブの任意の位置を右クリックし、[パラメータの追加](Add parameter) を選択します。



[プロパティと設定] (Properties and settings) ダイアログボックスが開きます。

- b. パラメータ値の情報を入力します。オプションには、[単一選択] (Single select)、[複数選択 OR] (Multiselect OR)、[複数選択 AND] (Multiselect AND) があります。
- c. 単一値を使用する場合は、[単一選択] (Single select) を選択します。

新規パラメータを追加する場合、デフォルト設定で単一選択が選択されます。

The screenshot shows a dialog box titled "Properties and settings". It contains the following fields and options:

- Name:** A text box containing "Parameter1".
- Format:** An empty text box.
- Selection Type:** Three radio buttons: "Single select" (selected), "Multiselect OR", and "Multiselect AND".
- Selected Value:** An empty text box.

- [表示値] (Selected Value) を入力して割り当てます。
- [名前] (Name) テキストボックスにパラメータ名を入力するか、デフォルトの名前を使用します。
- 必要に応じて、[フォーマット] (Format) テキストボックスを使用して、A20 や D12.1 など、パラメータのフォーマットを定義します。

このフィールドをブランクのままにしておくと、値フィールドには文字フォーマットが自動的に適用されます。

- d. 複数選択値を使用する場合は、[複数選択 OR] (Multiselect OR) または [複数選択 AND] (Multiselect AND) を選択します。

[値] (Value)、[画面] (Display)、[選択] (Selected) 列が表示されます。

- [新規作成] (New) ボタンをクリックして、静的値の一覧を入力します。

The screenshot shows a dialog box titled "Properties and settings". It contains the following fields and options:

- Name: Parameter2
- Format: stat
- Single select:
- Multiselect OR:
- Multiselect AND:
- Use Value From: [Dropdown menu]
- Items may be dragged into the desired order [Icons]
- Table with columns: Value, Display, Selected
- Table content: Value1, Value1, [checked]
- Send display value:
- Values are procedures names:

- 値 (Value) フィールドに、選択したパラメータに渡す値を入力します。
 - [画面] (Display) フィールドに、ユーザに表示するコントロールでパラメータ値を表すテキストを入力します。
 - [選択済み] (Selected) フィールドで、デフォルト値として表示する値のチェックをオンにします。複数の値を選択することができます。
この手順を繰り返して、必要な値をすべてリストに追加します。
 - 必要に応じて、値を選択してから [削除] (Delete) ボタンをクリックして値を削除したり、上下の矢印を使用して値の順序を変更したりします。
- e. [プロパティと設定] (Properties and settings) ダイアログボックスを閉じて、未バインドのパラメータを作成します。

未バインドの静的パラメータは、他のページで使用するパラメータ値を送信する場合に役立ちます。新しいパラメータをコントロールにバインドして入力パラメータを作成したり、コントロールをパラメータにバインドすることもできます。

2. 次の手順を実行し、新規パラメータをコントロールにバインドします。

新規パラメータをコントロールにバインドすると、入力パラメータが作成されます。入力パラメータは、コントロールにバインドされた静的パラメータです。パラメータ値はコントロールに入力されます。

a. [デザイン] (Design) タブを選択し、入力コントロールを作成します。たとえば、リストボックスまたはドロップダウンリストを挿入します。

b. [パラメータ] (Parameters) タブをクリックします。

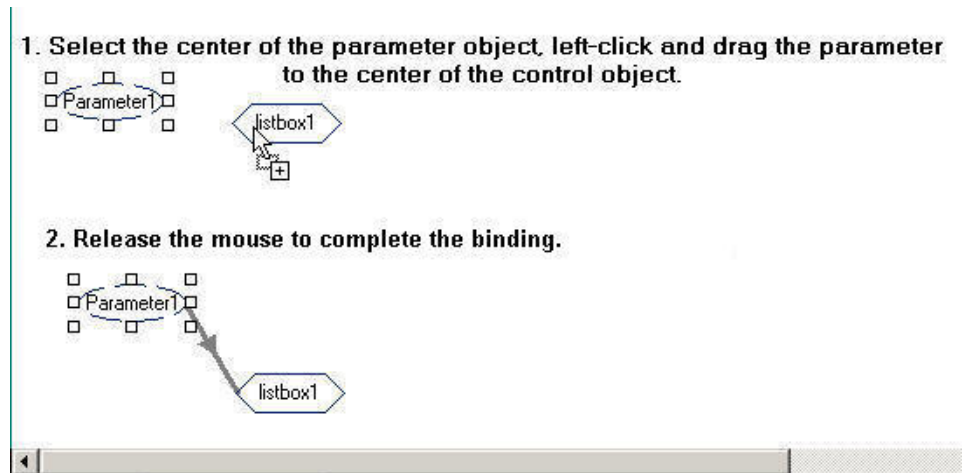
コントロールの [プロパティと設定] (Properties and settings) ダイアログボックスが表示されます。

c. [プロパティと設定] (Properties and settings) ダイアログボックスを閉じます。

手順 1 で作成済みのパラメータ値をコントロールに入力するため、このダイアログボックスは閉じます。

d. パラメータ名オブジェクトの中央を選択してクリックし、コントロールオブジェクトの中央にドラッグしてマウスボタンを離すと、バインドが完成します。

下図は、入力パラメータの例を示しています。矢印の方向に注意してください。



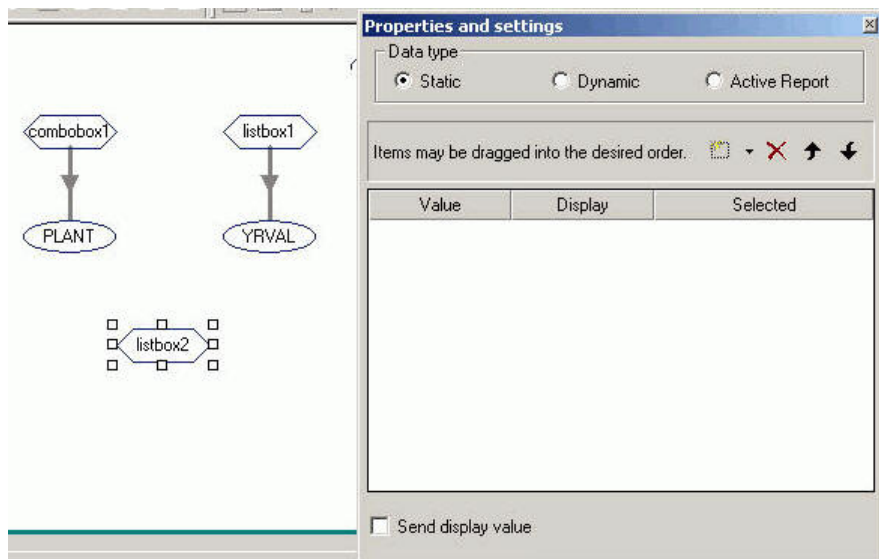
- e. パラメータのバインドを解除するには、線上のやじり部分を選択して、線が太字になったところで右クリックし、[バインディングの解除] (Break binding) を選択します。
3. パラメータにバインドされたコントロールを作成します。

静的値でコントロールを作成し、コントロールをパラメータにバインドすると、パラメータにコントロール値が入力されます。

 - a. HTML コンポーザで、デザイン表示の [挿入] (Insert) メニューからコントロールを選択します。たとえば、リストボックスまたはドロップダウンリストを挿入します。

マウスポインタが十字カーソルに変わります。
 - b. 十字カーソルをドラッグし、コントロールを作成して好みのサイズに調整します。
 - c. [パラメータ] (Parameters) タブをクリックします。

コントロールの [プロパティと設定] (Properties and settings) ダイアログボックスが表示されます。

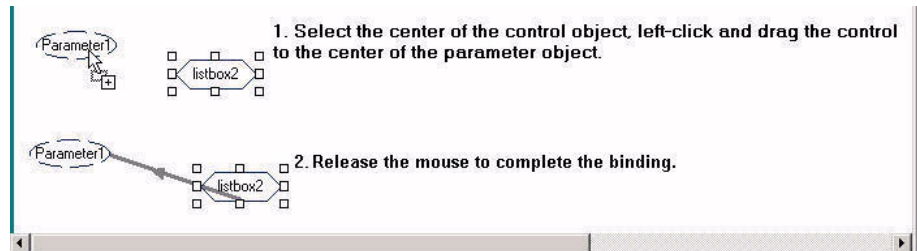


- d. [データタイプ] (Data type) として [静的] (Static) を選択します。

デフォルト設定では、[静的] (Static) が選択されています。

- e. コントロールのパラメータ値を作成します。
 - [値] (Value) フィールドに、コントロールに渡す値を入力します。
 - [画面]列に、フォームコントロール内でパラメータ値としてユーザに表示するテキストを入力します。
 - [選択済み] (Selected) 列で、デフォルト値として表示する値のチェックをオンにします。複数の値を選択することができます。
この手順を繰り返して、必要な値をすべてリストに追加します。
 - 必要に応じて、値を選択してから [削除] (Delete) ボタンをクリックして値を削除したり、上向き矢印および下向き矢印を使用して値の順序を変更したりします。
- f. [プロパティと設定] (Properties and settings) ダイアログボックスを選択し、静的値でコントロールを作成します。
- g. 新しいコントロールをパラメータにバインドします。コントロールオブジェクトの中央を選択してクリックし、パラメータオブジェクトの中央にドラッグしてマウスボタンを離すと、バインドが完成します。

下図は、パラメータにバインドされたコントロールの例を示しています。矢印の方向に注意してください。



- h. コントロールのバインドを解除するには、矢印のやじり部分を選択して右クリックし、[バインディングの解除] (Break binding) を選択します。
- i. デフォルトのコントロールタイプを変更するには、[パラメータ] (Parameters) タブまたは [デザイン] (Design) タブで、コントロールオブジェクトを右クリックし、[コントロールタイプの設定] (Set Control Type) を選択します。

オプションには、[カレンダー] (Calendar)、[チェックボックス] (Check box)、[ドロップダウンリスト] (Drop down list)、[非表示] (Hidden)、[リストボックス] (List box)、[ラジオボタン] (Radio button)、[テキスト領域] (Text Area)、[テキストボックス] (Text box)、[シングルソースツリーコントロール] (Single source Tree control)、[マルチソースツリーコントロール] (Multi source Tree control) があります。

4. 静的値を変更するには、[パラメータ] (Parameters) タブでコントロールかパラメータを右クリックし、[プロパティと設定] (Properties and settings) を選択します。

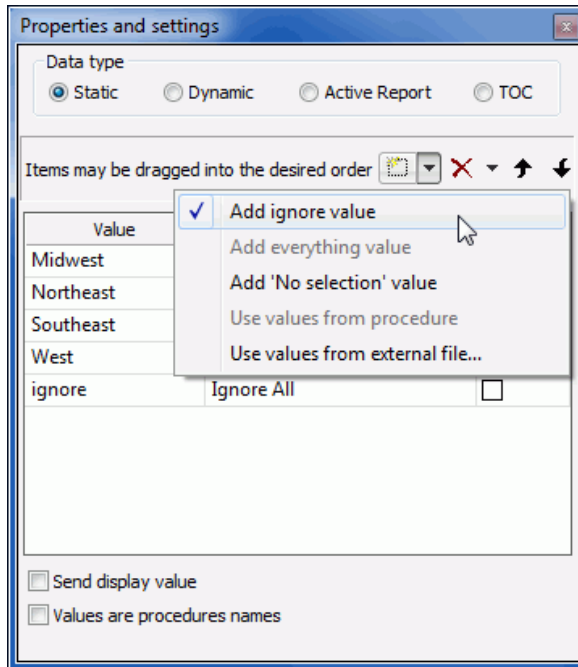
手順

無視値を追加するには

[無視値の追加] (Add ignore value) オプションは、実行時にサーバに `_FOC_NULL` を送信します。通常は、複雑なアプリケーションに使用します。[無視値の追加] (Add ignore value) オプションは、[複数選択 OR] (Multiselect OR)、[複数選択 AND] (Multiselect AND) パラメータで使用可能です。

1. HTML コンポーザで、コントロールを使用してレポートにパラメータ値を追加します。
パラメータを含むレポートを出力するには、レポートの実行時に値を選択する必要があります。
2. [パラメータ] (Parameters) タブをクリックします。
各コントロールに関連付けられたパラメータは、[パラメータ] (Parameters) タブで制御することができます。コントロールのプロパティは、[プロパティ] (Properties) タブで制御することができます。
3. [パラメータ] (Parameters) タブで、複数選択コントロールオブジェクトを選択します。
[プロパティと設定] (Properties and settings) ダイアログボックスが開きます。

4. [静的な値] (Static values) ドロップダウンリストから [無視値の追加] (Add ignore value) を選択します。



5. オプションで、[表示値を送信する] (Send display value) を選択すると、レポートのパラメータ値に実際のデータでなく表示値が送信されます。
6. [プロパティと設定] (Properties and settings) ダイアログボックスを閉じます。
7. HTML ページを実行し、[すべて無視] (Ignore All) の値を選択してパラメータ値を無視します。

注意：プロシジャに `_FOC_NULL` を送信すると、そのプロシジャにその変数を使用する句が存在する場合、これらはすべて無視されます。

手順

全値を追加するには

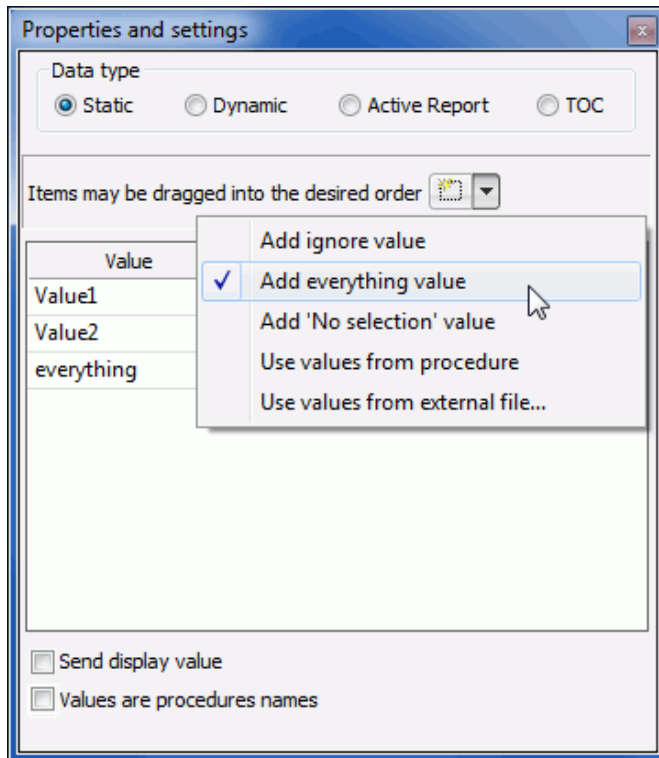
[全値の追加] (Add everything value) オプションは、実行時に JavaScript を使用してパラメータリスト内のすべての値をサーバに送信します。[全値の追加] (Add everything value) オプションは、[複数選択 OR] (Multiselect OR)、[複数選択 AND] (Multiselect AND) パラメータで使用可能です。

[全値の追加] (Add everything value) オプションは、ダブルリストコントロールでは使用することができません。

1. HTML コンポーザで、コントロールを使用してレポートにパラメータ値を追加します。
2. [パラメータ] (Parameters) タブをクリックします。
3. [パラメータ] (Parameters) タブで、複数選択コントロールオブジェクトを選択します。

[プロパティと設定] (Properties and settings) ダイアログボックスが開きます。

4. [静的な値] (Static values) ドロップダウンリストから [全値の追加] (Add everything value) を選択します。



5. オプションで、[表示値を送信する] (Send display value) を選択すると、レポートのパラメータ値に実際のデータでなく表示値が送信されます。
6. [プロパティと設定] (Properties and settings) ダイアログボックスを閉じます。

7. HTML ページを実行し、[すべて選択] (Select All) パラメータ値をクリックして、すべてのパラメータ値を表示します。

手順

プロシジャ値を使用するには

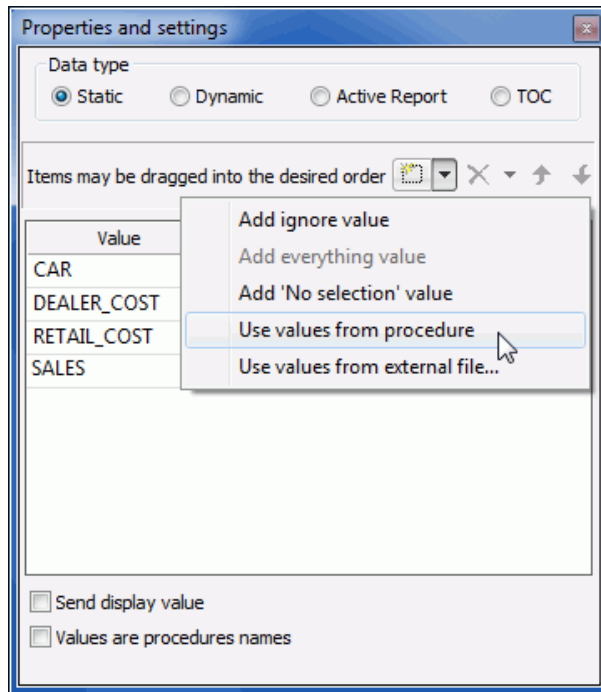
このオプションは、プロシジャで事前に定義されたフィールド名を静的リストに挿入します。このオプションがデフォルト設定で選択されています。[プロシジャ値の使用] (use values from procedure) オプションは、[複数選択 OR] (Multiselect OR)、[複数選択 AND] (Multiselect AND) で使用可能です。

1. HTML コンポーザで、コントロールを使用してレポートにパラメータ値を追加します。
2. [パラメータ] (Parameters) タブをクリックします。
3. [パラメータ] (Parameters) タブで、複数選択コントロールオブジェクトを選択します。

[プロパティと設定] (Properties and settings) ダイアログボックスが開きます。

4. [静的な値] (Static values) ドロップダウンリストから、[プロシジャ値の使用] (Use values from procedure) を選択します。

プロシジャのフィールド名は、[プロパティと設定] (Properties and settings) ダイアログボックスに表示されます。



5. オプションで、[表示値を送信する] (Send display value) を選択すると、レポートのパラメータ値に実際のデータでなく表示値が送信されます。
6. [プロパティと設定] (Properties and settings) ダイアログボックスを閉じます。
7. HTML ページを実行し、プロシジャからのパラメータ値を選択します。

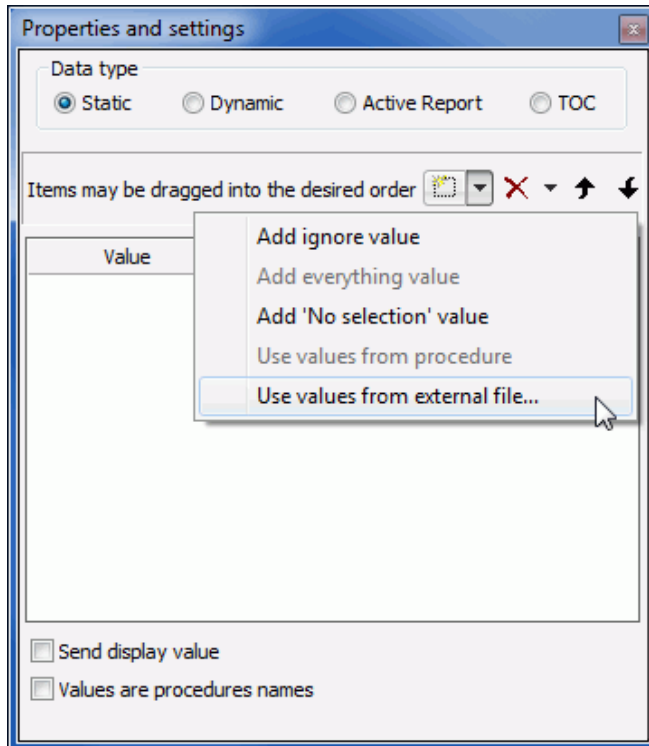
手順

外部ファイルの値をインポートするには

このオプションを使用すると、ローカルの外部ファイルを使用してパラメータに値を入力することができます。外部ファイルから値をインポートするオプションは、[複数選択 OR] (Multiselect OR)、[複数選択 AND] (Multiselect AND) 静的パラメータで利用することができます。

1. HTML コンポーザで、コントロールを使用してレポートにパラメータ値を追加します。
2. [パラメータ] (Parameters) タブをクリックします。

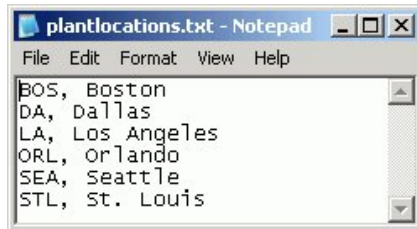
3. [パラメータ] (Parameters) タブで、複数選択コントロールオブジェクトを選択します。
[プロパティと設定] (Properties and settings) ダイアログボックスが開きます。
4. [静的な値] (Static values) ドロップダウンリストから、[外部ファイルの値の使用] (Use values from external file) を選択します。



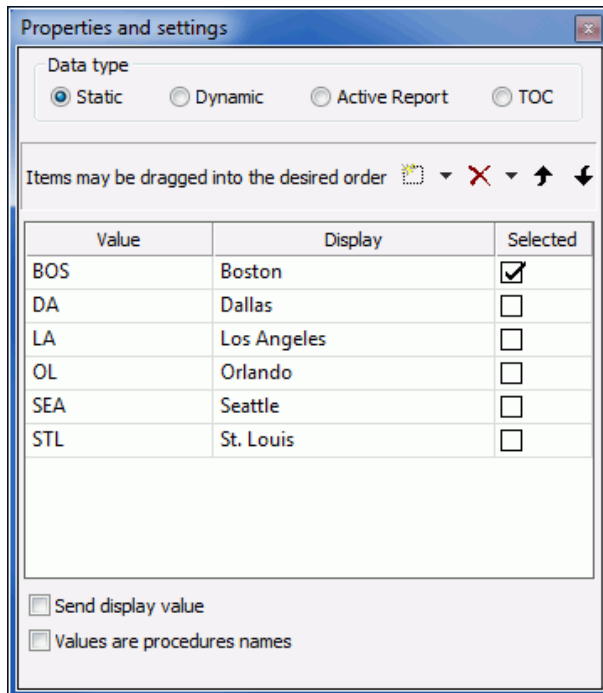
[開く] (Open) ダイアログボックスが開きます。

5. ローカルマシンからテキストファイルを選択し、[開く] (Open) をクリックします。
外部ファイルとして、各行に値が 1 つ入力されたファイル、または各行にカンマ (,) で区切られた 2 つの値が入力されたファイルを使用することができます。

たとえば、次のテキストファイルでは「BOS」がデータ値で「Boston」が表示値となります。



インポートした値は、[パラメータ] (Parameters) タブの [静的な値] (Static values) グループボックスにロードされます。



テキストファイルの行の値が1つの場合は、その値が戻り値と表示値の両方に挿入されます。

6. HTML ページを実行して、選択したパラメータに対してインポートした値が表示されることを確認します。

値の動的リスト作成

手順/構文

動的値を作成するには

動的値リストをソートするには

重複値を確認するには

参照

プロパティと設定ダイアログボックス (動的値)

プロパティと設定ダイアログボックス (バインド済みパラメータ)

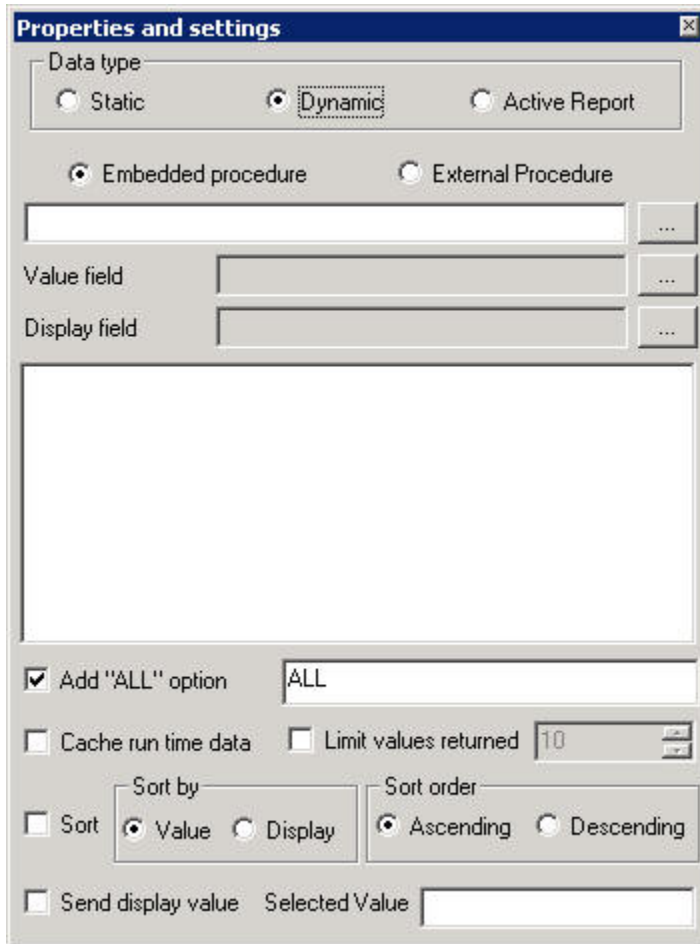
プロシジャのパラメータが、選択されたフォームコントロールに関連付けられている場合、動的な値はデフォルトで選択されます。動的リストには、リクエストの実行時に特定のデータソースから値が取得されます。

参照

プロパティと設定ダイアログボックス (動的値)

[パラメータ] (Parameters) タブで動的パラメータを作成、編集する際、[プロパティと設定] (Properties and settings) ダイアログボックスが開きます。

下図は、[データタイプ] (Data type) として [動的] (Dynamic) を選択した場合に表示される [プロパティと設定] (Properties and settings) ダイアログボックスを示しています。



[データタイプ] (Data type) として [動的] (Dynamic) を選択した場合、[プロパティと設定] (Properties and settings) ダイアログボックスには、次の項目とオプションが表示されます。

データタイプ (Data type)

値の取得先として、静的リスト、動的リスト、active report のいずれかを指定します。

[動的] (Dynamic) を選択すると、リクエストの実行時に、選択したデータソースから値が取得され、リストに表示されます。マスターファイルに ACCEPT 句を使用してプロシジャ内に変数パラメータを作成した場合、このコントロール値がデフォルト設定になります。詳細は、108 ページの「[動的値を作成するには](#)」を参照してください。

内部プロシジャ (Embedded procedure)

値の取得元となるデータソースです。

外部プロシジャ (External procedure)

呼び出される既存プロシジャです。

外部プロシジャを、[パラメータ] (Parameters) タブの [プロパティと設定] (Properties and settings) ダイアログボックスで直接変更することもできます。リクエストを変更する場合、外部プロシジャを保存して元のリクエストを上書きすることができます。

値フィールド (Value Field)

値の取得元となるデータソースのフィールドです。

表示フィールド (Display Field)

フォームコントロールの中で、パラメータの値としてユーザに表示されるテキストです。

[値フィールド] (Value field) と [表示フィールド] (Display field) の間には関係が設定されているはずですが、[表示フィールド] (Display field) は、[値フィールド] (Value field) の記述的なテキストです。

プロシジャのソースコード (Source Code for the procedure)

[埋め込みプロシジャ] (Embedded procedure) として [値フィールド] (Value field) が選択されている場合、または [外部プロシジャ] (External procedure) が選択されている場合、対応するソースコードが表示されます。

"すべて" オプションを追加する (Add "ALL" Option)

データソースのすべての値を選択するためのオプションをコントロールに追加します。右側に表示されたテキストフィールドの「すべて」という語句を、他のテキストに変更することもできます。詳細は、116 ページの「[パラメータ値リストのオプション](#)」を参照してください。

'選択なし' オプションの追加 (Add 'No selection' option)

最初のページロード時に、すべてのコントロールの代わりに、連鎖にコントロールを1つずつ追加していくことで、パフォーマンスを最適化します。['選択なし' オプションの追加] (Add 'No selection' option) を選択すると、必要な場合にコントロールを入力することが可能になります。['選択なし' オプションの追加] (Add 'No selection') オプションを選択すると、必要に応じて、コントロールに値を入力することができます。

実行時データのキャッシュ (Cache run time data)

HTML ページに動的パラメータを追加する場合は、プロシジャ経由で入力コントロールによりデータが取得されます。このオプションを選択して、選択入力コントロールの実行時間データをキャッシュすることができます。この設定のデフォルト値はオフです。

この設定は、[Developer Studio オプション] (Developer Studio Options) ダイアログボックスで設定する [HTML ページ] (HTML Page) タブの [デフォルトキャッシュ] (Default caching) オプションの設定を上書きします。[HTML ページ] (HTML Page) タブについての詳細は、302 ページの「[HTML ページタブ](#)」を参照してください。

戻り値を制限する (Limit values returned)

データソースから取得するフィールド値の個数を指定します。フィールドの個数は、右側のメニューで選択します。

ソート (Sort)

[ソート] (Sort) をクリックすると、動的リストコントロールの値表示ソート順を設定することができます。このオプションは、各コントロールをそれ以外とは別個にソートする場合に役立ちます。

デフォルト設定では、リクエストにより、動的表示値がリクエストの縦方向 (BY) のソートフィールドから取得されます。結果は値フィールドに基づいて値表示されません。

縦方向ディメンション (Sort by)

[ソート] (Sort) が有効のときは、[プロパティと設定] (Properties and settings) ダイアログボックスで選択した [値] (Value) フィールドまたは [画面] (Display) フィールドで表示値をソートすることができます。デフォルト設定では、[値] (Value) フィールドが選択されています。

ソート順 (Sort order)

[ソート] (Sort) が有効のときは、[昇順] (Ascending)、[降順] (Descending) のソート順を選択することができます。デフォルト設定では、[昇順] (Ascending) が選択されています。

表示値を送信する (Send display value)

このオプションを選択すると、パラメータに実際のデータではなく表示値が送信されます。詳細は、117 ページの「[静的および動的コントロールの表示値を送信するには](#)」を参照してください。

表示値 (Selected Value)

プロシジャの実行時にデフォルト値として表示する値を入力します。詳細は、129 ページの「[表示値をデフォルト値として使用するには](#)」を参照してください。

重複する値の確認 (Check for duplicate values)

レポートの値の動的リストを作成する場合、重複する値を入力コントロールから除外することができます。詳細は、114 ページの「[重複値を確認するには](#)」を参照してください。

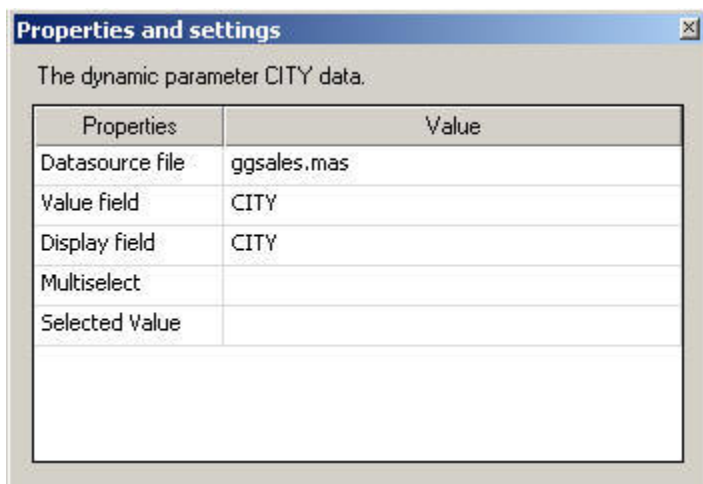
参照

[プロパティと設定ダイアログボックス \(バインド済みパラメータ\)](#)

[パラメータ] (Parameters) タブでバインド済みパラメータを選択すると、[プロパティと設定] (Properties and settings) ダイアログボックスが表示されます。

パラメータの [プロパティと設定] (Properties and settings) ダイアログボックスは読み取り専用で、このダイアログボックスには、バインドされたコントロールの値が表示されません。

下図は、バインド済み動的バインドパラメータを選択した場合に表示される [プロパティと設定] (Properties and settings) ダイアログボックスを示しています。



[プロパティと設定] (Properties and settings) ダイアログボックスには、読み取り専用の次の値があります。

データソースファイル (**Datasource file**)

パラメータのデータソースとして選択されたマスターファイルが表示されます。

値フィールド (**Value Field**)

動的パラメータデータの値フィールドが表示されます。

表示フィールド (**Display Field**)

動的パラメータの表示フィールドが表示されます。

複数選択 (**Multiselect**)

複数選択 OR または AND の動的パラメータが存在する場合、OR または AND が表示されます。

表示値 (**Selected Value**)

変数に割り当て済みの表示値が存在する場合、その値が表示されます。

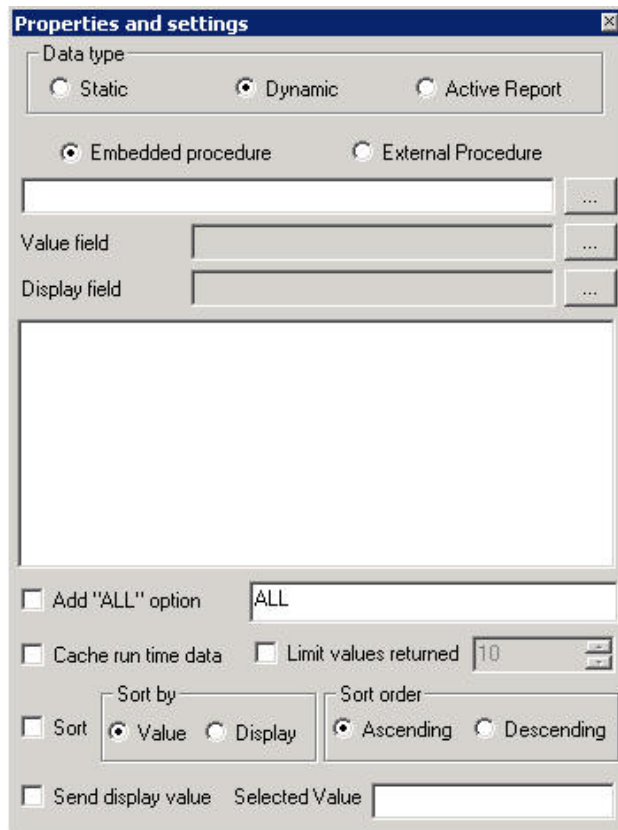
手順

動的値を作成するには

値の動的リストを作成するには、次の手順を実行します。

パラメータにバインドされた動的コントロールを作成することができます。動的値でコントロールを作成し、コントロールをパラメータにバインドすると、パラメータにコントロール値が入力されます。

1. HTML コンポーザで、デザイン表示の [挿入] (Insert) メニューからコントロールを選択します。たとえば、リストボックスまたはドロップダウンリストを挿入します。マウスポインタが十字カーソルに変わります。
2. 十字カーソルをドラッグし、コントロールを作成して好みのサイズに調整します。
3. [パラメータ] (Parameters) タブをクリックします。
[プロパティと設定] (Properties and settings) ダイアログボックスが開きます。
4. [データタイプ] (Data type) として [動的] (Dynamic) を選択します。
動的値のオプションが表示されます。



5. コントロールの動的値を作成します。

- a. 埋め込みプロシジャを使用する場合は、次の手順を実行し、動的値を指定します。
 - [埋め込みプロシジャ] (Embedded procedure) を選択します。
 - 埋め込みプロシジャの [...] (参照) ボタンをクリックします。

[ファイルを選択してください] (Get source file) ダイアログボックスが開きます。
 - マスターファイル名を選択し、[開く] (Open) をクリックします。
 - [値] (Value) フィールドの [...] (参照) ボタンをクリックします。

選択したマスターファイルのフィールド名でオブジェクトインスペクタが開きます。
 - フィールド名をダブルクリックして [値] (Value) フィールドに追加します。

ヒント：オブジェクトインスペクタアイコンを使用してフィールドを選択し、オブジェクトインスペクタを閉じます。緑のアイコンは「OK」、赤のアイコンは「キャンセル」を示します。値をダブルクリックすると、その値が選択され、ボタンを使用しなくてもダイアログボックスが閉じます。また、ダイアログボックスを閉じるには、Esc キーを押すこともできます。

選択フィールドは自動的に [画面] (Display) フィールドに追加され、内部プロシジャのソースコードが表示されます。

- 必要に応じて、[画面] (Display) フィールドの [...] (参照) ボタンをクリックして、[画面] (Display) フィールドに異なるフィールド名を選択することができます。オブジェクトインスペクタアイコンを使用してフィールドを選択し、オブジェクトインスペクタを閉じることもできます。

- b. 埋め込みプロシジャを使用する場合は、次の手順を実行し、動的値を指定します。
 - [外部プロシジャ] (External Procedure) を選択します。 .
 - [外部プロシジャ] (External Procedure) の [...] (参照) ボタンをクリックします。
[ファイルを選択してください] (Get source file) ダイアログボックスが開きます。
 - プロシジャ (.fex) ファイル名を選択し、[開く] (Open) をクリックします。

プロシジャのパラメータ名は自動的に [値] (Value) フィールドと [画面] (Display) フィールドに追加され、外部プロシジャのソースコードが表示されます。詳細は、115 ページの「[フィールドへの動的値の自動挿入](#)」を参照してください。

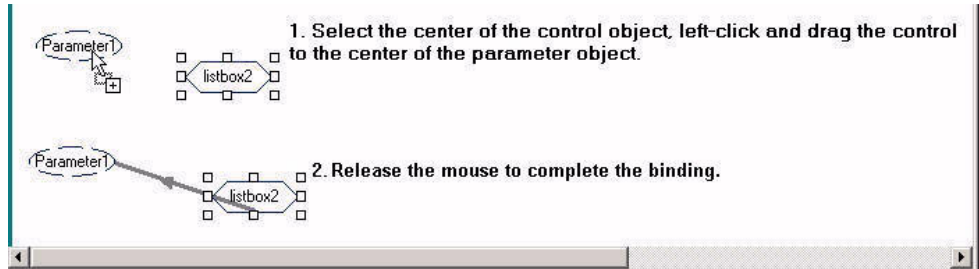
- 必要に応じて、[値] (Value) テキストボックスと [画面] (Display) テキストボックスの [...] (参照) ボタンをクリックして、別のフィールド名を選択することができます。

ヒント：オブジェクトインスペクタアイコンを使用してフィールドを選択し、オブジェクトインスペクタを閉じます。緑のアイコンは「OK」、赤のアイコンは「キャンセル」を示します。値をダブルクリックすると、その値が選択され、ボタンを使用しなくてもダイアログボックスが閉じます。また、ダイアログボックスを閉じるには、Esc キーを押すこともできます。

外部プロシジャのパラメータ名のみが選択可能です。

6. 必要に応じて、["すべて" オプションを追加する] (Add "ALL" option) を選択して、すべてのデータソース値をコントロールに追加することができます。
7. 必要に応じて、['選択なし' オプションの追加] (Add 'No selection' option) を選択し、最初のページロード時に、すべてのコントロールの代わりに、連鎖にコントロールを 1 つずつ追加していくことで、パフォーマンスを最適化します。
8. オプションで、[実行時データのキャッシュ] (Cache run time cache) を選択し、選択した入力コントロールの実行時間データをキャッシュすることができます。
9. 必要に応じて、[戻り値を制限する] (Limit values returned) のチェックをオンにして、右側に表示されたボックスにデータソースから取得するフィールド値の個数を入力します。
10. オプションで、[ソート] (Sort) オプションをクリックして動的リストコントロールの表示値ソート順オプションを有効化し選択することができます。
11. 必要に応じて、[重複する値を確認] (Check for duplicate values) を選択し、実行時に入力コントロールから重複する値を除外します。
12. [プロパティと設定] (Properties and settings) ダイアログボックスを選択し、動的値でコントロールを作成します。
13. 新しいコントロールをパラメータにバインドします。コントロールオブジェクトの中央を選択してクリックし、パラメータオブジェクトの中央にドラッグしてマウスボタンを離すと、バインドが完成します。

下図は、パラメータにバインドされたコントロールの例を示しています。矢印の方向に注意してください。



14. コントロールのバインドを解除するには、矢印のやじり部分を選択して右クリックし、[バインディングの解除] (Break binding) を選択します。
15. デフォルトのコントロールタイプを変更するには、[パラメータ] (Parameters) タブまたは [デザイン] (Design) タブで、コントロールオブジェクトを右クリックし、[コントロールタイプの設定] (Set Control Type) を選択します。
オプションには、[カレンダー] (Calendar)、[チェックボックス] (Check box)、[ドロップダウンリスト] (Drop down list)、[非表示] (Hidden)、[リストボックス] (List box)、[ラジオボタン] (Radio button)、[テキスト領域] (Text Area)、[テキストボックス] (Text box)、[シングルソースツリーコントロール] (Single source Tree control)、[マルチソースツリーコントロール] (Multi source Tree control) があります。
16. 動的値を変更するには、コントロールを右クリックして[プロパティと設定] (Properties and settings) を選択し、編集します。

手順

動的値リストをソートするには

このオプションは、各コントロールをそれ以外とは別個にソートする場合に役立ちます。

注意：ソートオプションが選択されていない場合、リクエストはそのリクエスト内の BY ソートフィールドを取得し、結果には、値フィールドに基づく表示値が表示されます。デフォルト設定では、ソートオプションは選択されていません。

1. [パラメータ] (Parameters) タブで、動的コントロールを選択します。
[プロパティと設定] (Properties and settings) ダイアログボックスが開きます。
2. [ソート] (Sort) のチェックをオンにして、ソートオプションを有効にします。

このコントロールの [ソート項目] (Sort by) および [ソート順] (Sort order) を選択することができます。

下図は、動的コントロールを選択した場合に、[パラメータ] (Parameters) タブの [プロパティと設定] (Properties and settings) ダイアログボックスに表示されるソートオプションを示しています。



3. [ソート項目] (Sort by) のオプションを選択します。
 - [値] (Sort by Value) を選択すると、フィールドは [値] (Value) のフィールド名でソートされます。これがデフォルトの選択です。
 - [表示] (Sort by Display) を選択すると、フィールドは [画面] (Display) のフィールド名でソートされます。
4. [ソート順] (Sort order) のオプションを選択します。
 - [昇順] (Ascending) を選択すると、値は小さい順にソートされます。これがデフォルトのソート順です。
 - [降順] (Descending) を選択すると、値は大きい順にソートされます。
5. [プロパティと設定] (Properties and settings) ダイアログボックスを閉じます。

ヒント：これらの手順を繰り返して、HTML ページの動的コントロールそれぞれのソートオプションを選択することができます。
6. HTML ページを実行し、ソート結果を確認します。

手順

重複値を確認するには

レポートの値の動的リストを作成する場合、重複する値を入力コントロールから除外することができます。これは、構造化データソースを使用していない独自のプロシジャを使用している場合に役立ちます。

[重複する値の確認] (Check for duplicate values) オプションは、デフォルト設定でオフになっています。

1. HTML コンポーザで、値の動的リストを含む入力コントロールを作成します。
2. 入力コントロールを選択し、[パラメータ] (Parameters) タブをクリックします。

入力コントロールの [プロパティと設定] (Properties and settings) ダイアログボックスが開きます。

3. [重複する値の確認] (Check for duplicate values) チェックをオンにします。

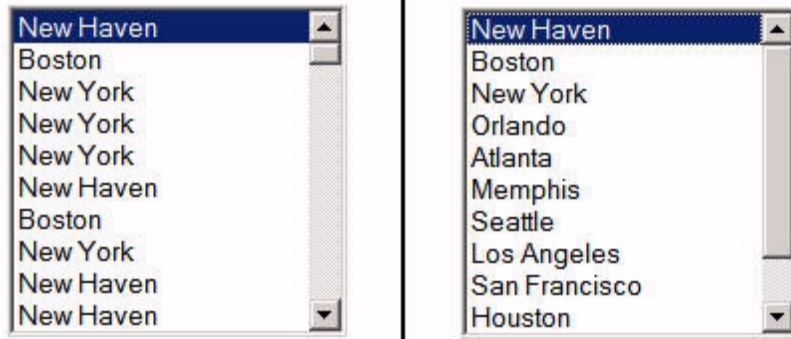
[重複する値の確認] (Check for duplicate values) オプションは、入力コントロールで値の動的リストを作成している場合にのみ有効になります。

4. [プロパティと設定] (Properties and settings) ダイアログボックスを閉じ、選択を保存します。

5. HTML ページを保存して実行します。

入力コントロールにより、重複する値のエントリが除外されます。

下図は、CITY 値のリストボックスの例を示しています。



フィールドへの動的値の自動挿入

動的パラメータの名前がデータソース内の対応するフィールド名と一致している場合、HTML コンポーザは、そのパラメータのフィールド名を自動的に挿入します。

レポートまたはグラフで使用される最初のデータソースのデフォルトに基づいてデータソースが挿入されます。データタイプとして [動的] (Dynamic) が選択されている場合、フィールドは、[パラメータ] (Parameters) タブの [プロパティと設定] (Properties and settings) ダイアログボックスの [値フィールド] (Value field) および [表示フィールド] (Display field) のコントロールに挿入されます。これにより、パラメータ名がフィールド名と一致した場合に実行可能なレイアウトレポートが生成されます。

パラメータ値リストのオプション

手順/構文

静的および動的コントロールの表示値を送信するには
値としてプロシジャ名を使用するには
表示値をデフォルト値として使用するには

静的または動的な値リストを作成する場合、すべての値を値リストに追加し、その表示値をパラメータに送信することができます。

開発者は、["すべて" オプションを追加する] (Add "ALL" option) 機能を使用して、すべての値を自動的に値リストに追加することができます。この機能を使用すると、次のことが実行されます。

- 動的パラメータの場合、この機能は FOC_NONE の値を Reporting Server に送信して、パラメータをすべて無視するようにサーバに指示します。パラメータを無視すると、ソースデータの値がすべて返されます。
- 静的パラメータの場合、この機能は通常、JavaScript を使用してリストに表示されたすべての値を返します。これにより、ユーザがリスト内のすべての値を手動で選択する必要がなくなります。この機能を静的パラメータに使用する場合は、次のオプションを選択することができます。
 - [無視値の追加] (Add ignore value) - このオプションは、実行時に FOC_NONE をサーバに送信し、パラメータをすべて無視するようにサーバに指示します。通常、複雑なアプリケーションに使用します。
 - [全値の追加] (Add everything value) - このオプションは、実行時に JavaScript を使用して、コントロールリスト内のすべての値をサーバに送信します。[全値の追加] (Add everything value) オプションは、[複数選択 OR] (Multiselect OR) 変数タイプでのみ使用できます。

[データタイプ] (Data type) として [動的] (Dynamic) または [active report] を使用する場合は、プロシジャの実行時にデフォルト値として表示する値を入力することができます。詳細は、129 ページの「[表示値をデフォルト値として使用するには](#)」を参照してください。

注意：[パラメータ] (Parameters) タブに新しい未バインドパラメータを追加する際に選択値を入力することもできます。詳細は、80 ページの「[未バインドパラメータの追加](#)」を参照してください。

手順

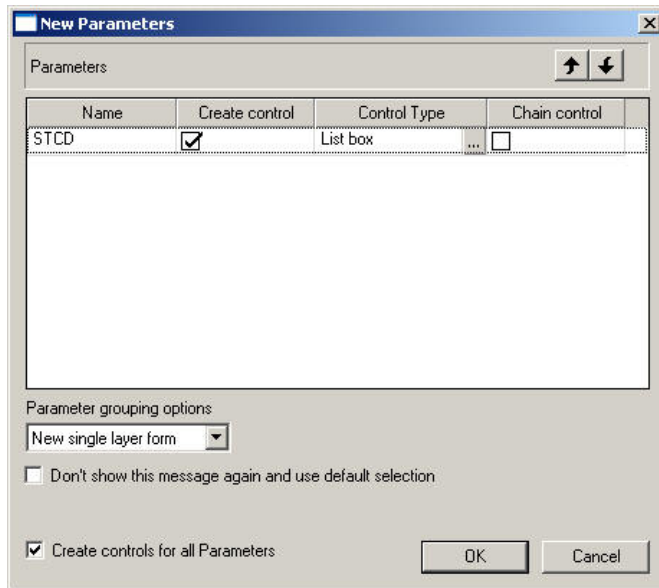
静的および動的コントロールの表示値を送信するには

HTML コンポーザからパラメータへ、実際のデータでなく表示値を送信することもできます。表示値は、レポート出力の見出しと脚注にも使用可能です。HTML コンポーザにアクセスする前に、レポートアシスタントで、レポートの見出しと脚注を作成する必要があります。

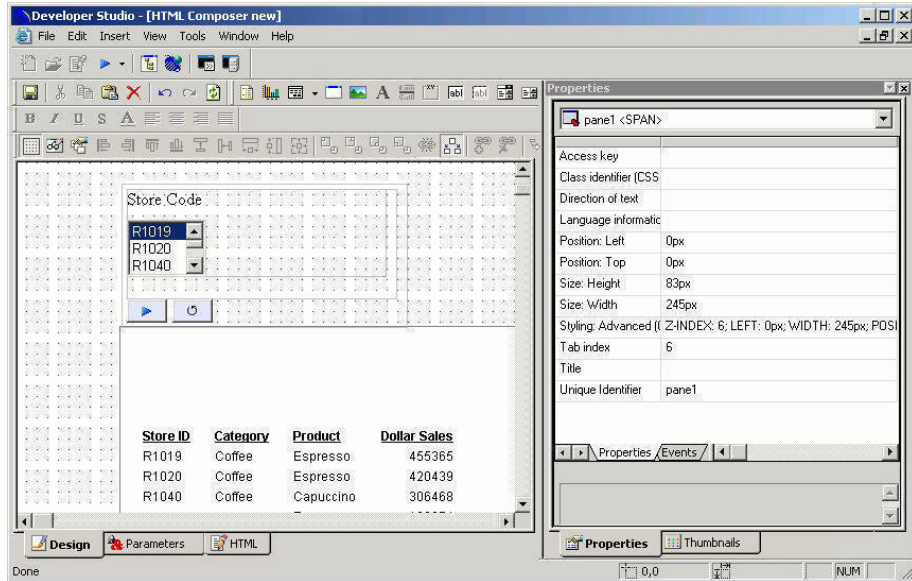
入力静的パラメータ(コントロールにバインドされたパラメータ)、未バインドコントロール(パラメータにバインドされたコントロール)作成時には、[送信](Send)表示値オプションが表示されます。未バインドの静的パラメータを作成する際は、無効になります。

1. HTML コンポーザで、パラメータを含むレポートをインポートします。

パラメータを含むレポートをインポートする際に、[新規パラメータ](New Parameters)ダイアログボックスが表示され、コントロールタイプを作成するよう要求されます。



HTML コンポーザにレポートおよびコントロールタイプが追加されます。



- 表示値をパラメータ選択に送信するには、デザインビューのコントロールオブジェクトを選択 (たとえば、リストボックス「n」を選択) して [パラメータ] (Parameters) タブをクリックします。

[プロパティと設定] (Properties and settings) ダイアログボックスが開きます。

注意：このオプションは [プロパティと設定] (Properties and settings) ダイアログボックスで、作成中の値のタイプ (静的または動的) によって使用できます。

- 値の静的リストの場合、[プロパティと設定] (Properties and settings) ダイアログボックスに、[値] (Value)、[画面] (Display)、[選択したフィールド] (Selected columns) が表示されます。
 - [画面] (Display) フィールドに、パラメータ値としてユーザに表示するテキストを入力します。

この手順を繰り返して、必要な値をすべてリストに追加します。

- [表示値を送信する] (Send display value) を選択します。

Properties and settings

Data type

Static Dynamic Active Report

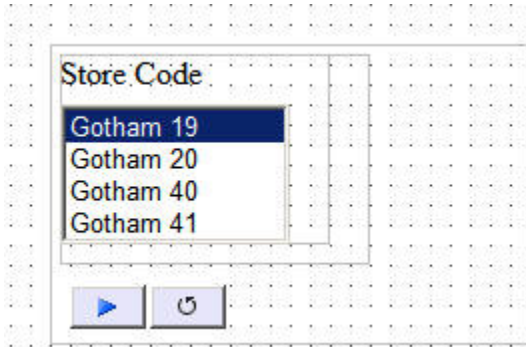
Items may be dragged into the desired order. [Delete] [Up] [Down]

Value	Display	Selected
R1019	Gotham 19	<input type="checkbox"/>
R1020	Gotham 20	<input type="checkbox"/>
R1040	Gotham 40	<input type="checkbox"/>
R1041	Gotham 41	<input type="checkbox"/>

Send display value

- 必要に応じて、値を選択してから [削除] (Delete) ボタンをクリックして値を削除したり、上向き矢印および下向き矢印を使用して値の順序を変更したりします。
- [プロパティと設定] (Properties and settings) ダイアログボックスを閉じます。
静的値についての詳細は、84 ページの「[値の静的リスト作成](#)」を参照してください。

- [デザイン] (Design) タブをクリックして、HTML コンポーザのコントロールオブジェクトに値を表示します。



4. 動的値リストの [値] (Value) フィールドと [画面] (Display) フィールドが [プロパティと設定] (Properties and settings) ダイアログボックスに表示されます。

[動的] (Dynamic) 値として表示値を送信することは、内部データ値と、表示目的の内部データ値マップフィールドの両方を含むデータソースを使用している場合のみ適用可能です。

- a. 埋め込みプロシジャを使用する場合は、次の手順を実行し、動的値を指定します。
 - [埋め込みプロシジャ] (Embedded procedure) を選択します。
 - 埋め込みプロシジャの [...] (参照) ボタンをクリックします。

[ファイルを選択してください] (Get source file) ダイアログボックスが開きます。
 - マスターファイル名を選択し、[開く] (Open) をクリックします。
 - [値] (Value) フィールドの [...] (参照) ボタンをクリックします。

選択したマスターファイルのフィールド名でオブジェクトインスペクタが開きます。
 - フィールド名をダブルクリックして [値] (Value) フィールドに追加します。

選択フィールドは自動的に [画面] (Display) フィールドに追加され、内部プロシジャのソースコードが表示されます。

- 必要に応じて、[画面] (Display) フィールドの [...] (参照) ボタンをクリックして、[画面] (Display) フィールドに異なるフィールド名を選択することができます。
- 必要に応じて、["すべて" オプションを追加する] (Add "ALL" option) を選択して、パラメータ値リストにすべての値を自動的に追加することができます。
- 必要に応じて、['選択なし' オプションの追加] (Add 'No selection' option) を選択し、最初のページロード時に、すべてのコントロールの代わりに、連鎖にコントロールを1つずつ追加していくことで、パフォーマンスを最適化します。
- [表示値を送信する] (Send display value) のチェックがオンになっていることを確認します。

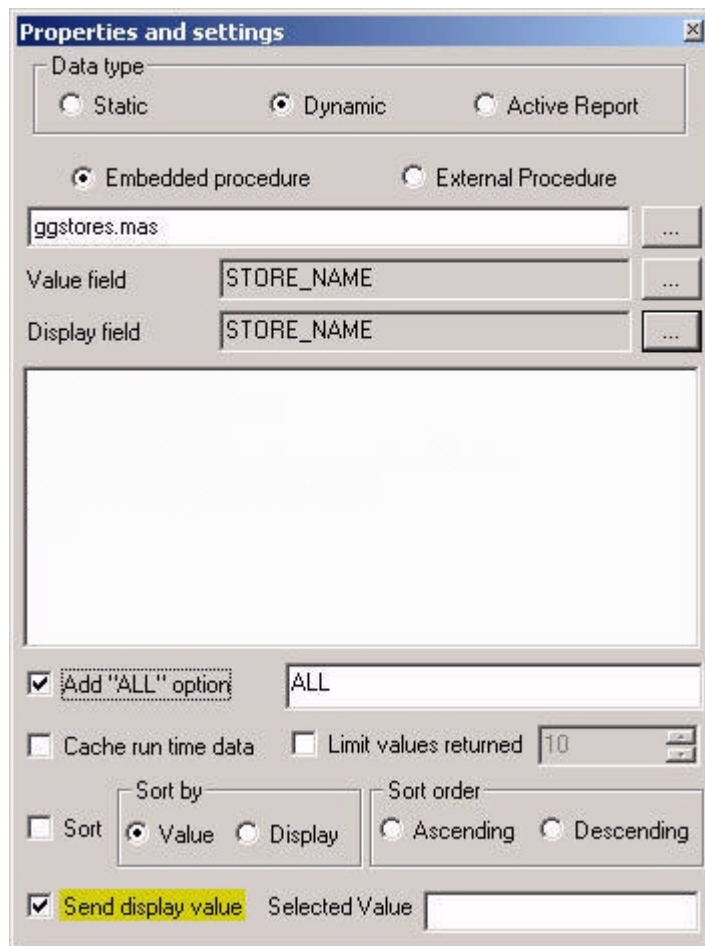
[表示値を送信する] (Send display value) はデフォルト設定で選択されています。

- b.** 外部プロシジャを使用する場合は、次の手順を実行し、動的値を指定します。
- [外部プロシジャ] (External Procedure) を選択します。 .
 - [外部プロシジャ] (External Procedure) の [...] (参照) ボタンをクリックします。
[ファイルを選択してください] (Get source file) ダイアログボックスが開きます。
 - プロシジャ (.fex) ファイル名を選択し、[開く] (Open) をクリックします。
プロシジャのパラメータ名は自動的に [値] (Value) フィールドと [画面] (Display) フィールドに追加され、外部プロシジャのソースコードが表示されます。
 - 必要に応じて、[値] (Value) テキストボックスと [画面] (Display) テキストボックスの [...] (参照) ボタンをクリックして、別のフィールド名を選択することができます。
- 注意：**外部プロシジャのパラメータ名のみが選択可能です。
- 必要に応じて、["すべて" オプションを追加する] (Add "ALL" option) を選択して、パラメータ値リストにすべての値を自動的に追加することができます。
 - 必要に応じて、['選択なし' オプションの追加] (Add 'No selection' option) を選択し、最初のページロード時に、すべてのコントロールの代わりに、連鎖にコントロールを1つずつ追加していくことで、パフォーマンスを最適化します。

- [表示値を送信する] (Send display value) のチェックがオンになっていることを確認します。

[表示値を送信する] (Send display value) はデフォルト設定で選択されています。

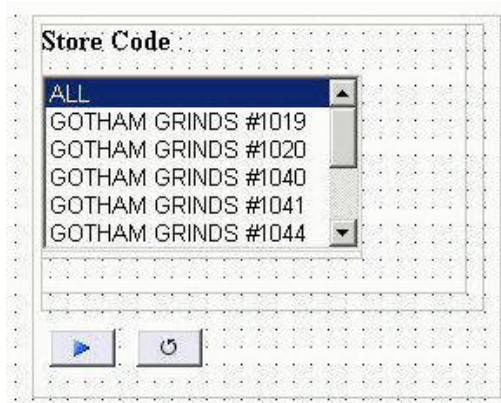
下図は、動的値として [表示値を送信する] (Send display value) が選択された [プロパティと設定] (Properties and settings) ダイアログボックスの例を示しています。



- [プロパティと設定] (Properties and settings) ダイアログボックスを閉じます。

動的値についての詳細は、103 ページの「[値の動的リスト作成](#)」を参照してください。

- [デザイン] (Design) タブをクリックして、HTML コンポーザのコントロールオブジェクトに値を表示します。

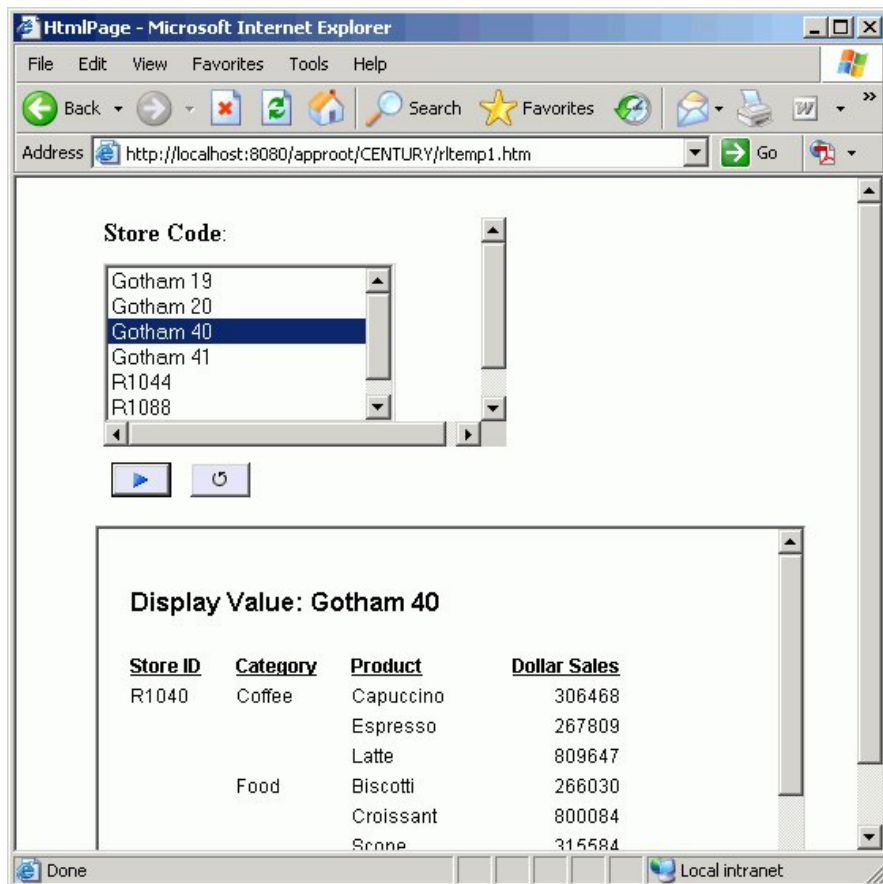


5. HTML ページを実行します。
6. パラメータを選択し、レポートを実行します。

レポート見出しに表示値が表示されます。

次の例では、Store Code として選択した Gotham 40 が表示値としてレポート見出しに表示されています。Gotham 40 の実際の値は R1040 で、その値は [Store ID] 列に表示されています。

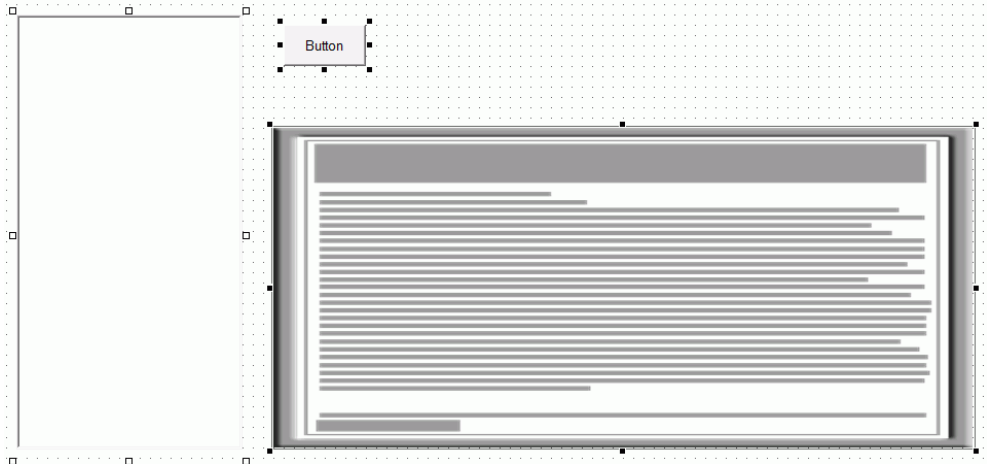
注意：送信される表示値のチェックボックスの選択に関わらず、レポートプロシジャが使用する場合は、HTML コンポーザは &var_TEXT を渡します。



手順 値としてプロシジャ名を使用するには

[プロシジャ名を使用] (Values are procedure names) オプションを使用して、コントロールにプロシジャ名を入力することができます。このプロシジャ名をクリックすると、プロシジャが実行されます。

1. 下図のように、リストボックス、プッシュボタン、レポートを含むHTMLページを作成します。



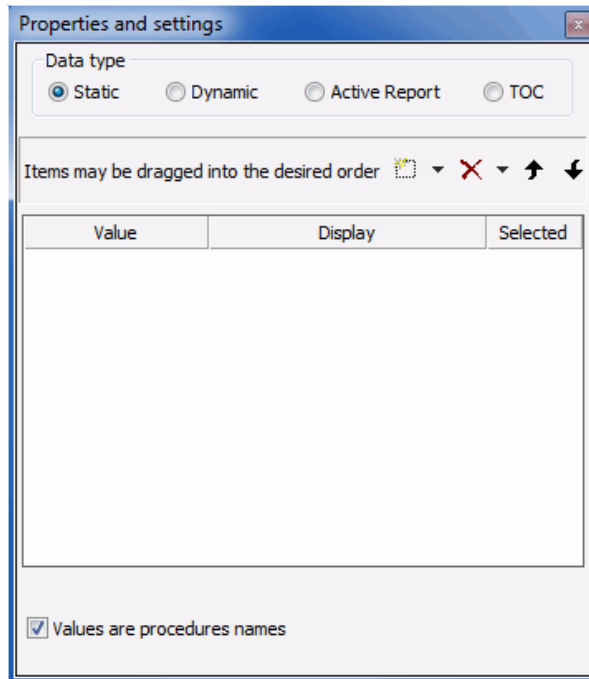
注意：この手順ではリストボックスを使用していますが、[プロシジャ名を使用](Values are procedures names) オプションでは、ダブルリストコントロール、ドロップダウンリスト、ラジオボタン、チェックボックスを使用することもできます。

2. リストボックスを選択し、[プロパティと設定] (Properties and settings) ダイアログボックスを表示します。

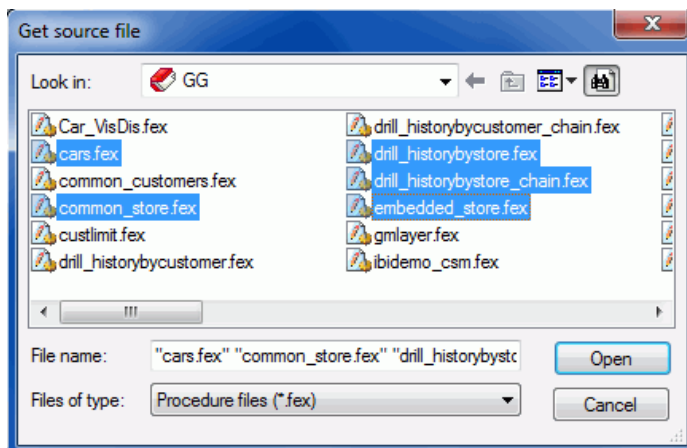
注意：[プロパティと設定] (Properties and settings) ダイアログボックスが表示されない場合は、[表示] (View) を選択し、[プロパティと設定] (Properties and settings) をクリックします。

3. [データタイプ] (Data type) として [静的] (Static) を選択します。

4. 下図のように、[プロパティと設定] (Properties and settings) ダイアログボックスの下部で、[プロシジャ名を使用] (Values are procedure names) を選択します。



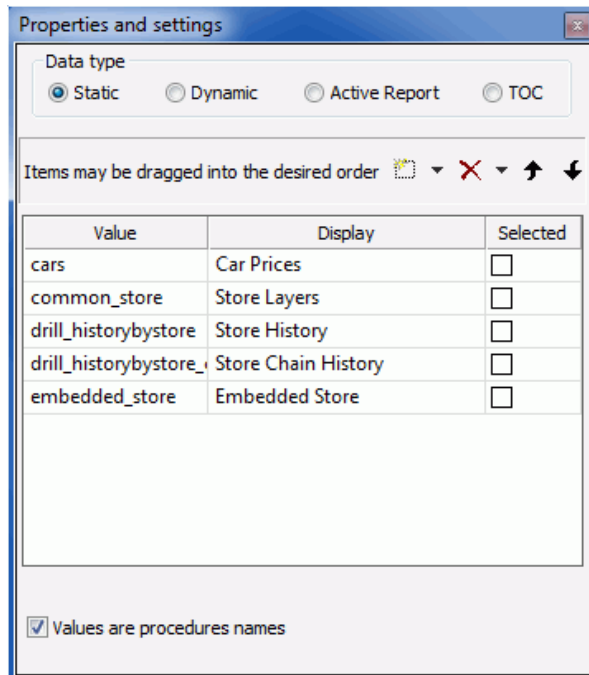
5. 下図のように、[新規作成] (New) ボタンをクリックし、ディレクトリからプロシジャを選択します。



注意：[ファイルを選択してください](Get source file) ダイアログボックスで複数のプロシジャを選択すると、[プロパティと設定](Properties and settings) ダイアログボックスに複数のプロシジャ名を追加することができます。

6. [プロパティと設定](Properties and settings) ダイアログボックスにプロシジャを追加後、選択されていない場合は表示コンテンツをダブルクリックして、プロシジャ値の表示名を編集します。

下図は、新しい表示名のプロシジャ値を示しています。



7. 作成したボタンを右クリックし、[ハイパーリンクの作成](Create Hyperlink) をクリックします。
[ハイパーリンクのプロパティ](Hyperlink Properties) ダイアログボックスが開きます。
8. 作成済みのレポートフレームのコントロールから選択したプロシジャを開くハイパーリンクを作成します。
 - a. [アクション](Action) として、ドロップダウンリストから [コントロールのプロシジャ](Procedures from control) を選択します。

このオプションは、[プロパティと設定] (Properties and settings) ダイアログボックスの [プロシジャ名を使用] (Values are procedure names) オプションと同一です。このオプションは、単一の値ではなく、ハイパーリンクのプロシジャ全体を指定します。このオプションは、HTML ページ上のコントロールに [プロシジャ名を使用] (Values are procedure names) オプションが使用されている場合にのみ使用可能です。

- b.** [ソース] (Source) として [listbox1] を選択します。

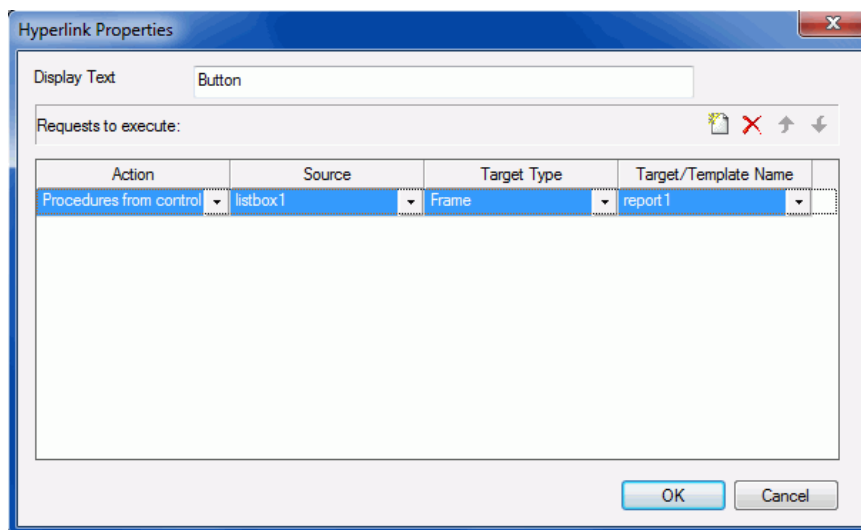
別のコントロールを使用する場合は、異なるソースを指定することができます。たとえば、combobox1、customselect1、radio1、checkbox1 が使用できます。

- c.** [ターゲットのタイプ] (Target Type) として [デファイアード実行] (Deferred) を選択します。

プロシジャを新しいウィンドウで開く場合は、ターゲットとして [新規ウィンドウ] (New Window) を選択することもできます。

- d.** [ターゲット名] (Target/Template Name) として report1 を選択します。

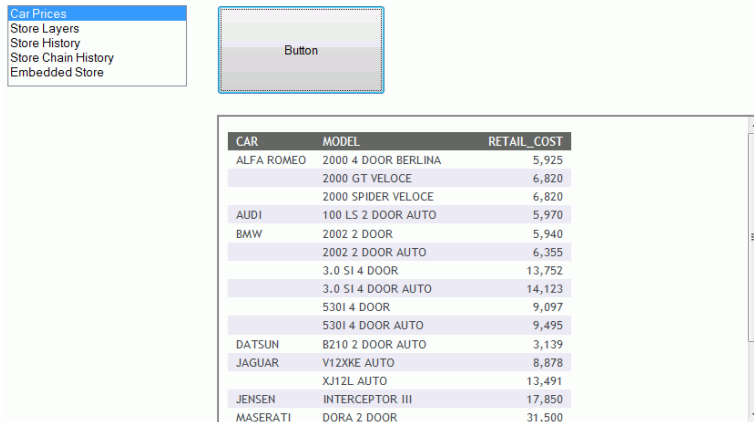
下図は、作成されたハイパーリンクを示しています。



- 9.** ページを実行します。

- 10.** リストボックスからプロシジャを選択し、ボタンをクリックします。

下図のように、レポートが実行されます。



手順

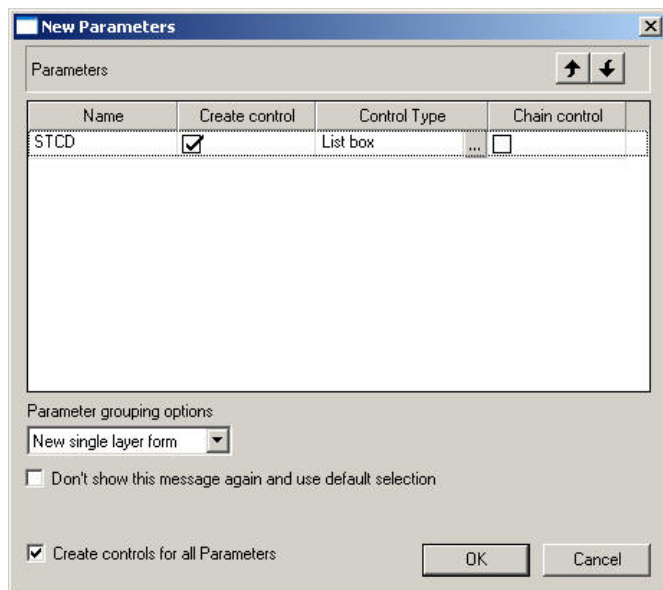
表示値をデフォルト値として使用するには

[データタイプ] (Data type) として [動的] (Dynamic) または [active report] を使用する場合は、プロシジャの実行時にデフォルト値として表示する値を入力することができます。

動的プロンプト値を含むプロシジャ (.fex) をインポートすると、データソースから取得された値がテキストボックスに自動的に挿入されます。表示値がデータソースに使用される場合は、デフォルト設定でその値が選択されます。表示値がデータソースに使用されない場合は、入力した値は無視され、データソースから取得された最初の値が選択されます。

1. HTML コンポーザで、パラメータを含むレポートをインポートします。

パラメータを含むレポートをインポートする際に、[新規パラメータ](New Parameters) ダイアログボックスが表示され、コントロールタイプを作成するよう要求されます。



HTML コンポーザにレポートおよびコントロールタイプが追加されます。

2. 選択値をデフォルト値として使用する場合は、コントロールオブジェクト (たとえばリストボックス「n」) をデザインビューで選択し、[パラメータ](Parameters) タブをクリックします。

[プロパティと設定] (Properties and settings) ダイアログボックスが開きます。

注意：このオプションは [プロパティと設定] (Properties and settings) ダイアログボックスで、作成中の値のタイプ (静的または動的) によって使用できます。

3. 動的値リストの [値] (Value) フィールドと [画面] (Display) フィールドが [プロパティと設定] (Properties and settings) ダイアログボックスに表示されます。
 - a. 埋め込みプロシジャを使用する場合は、次の手順を実行し、動的値を指定します。
 - [埋め込みプロシジャ] (Embedded procedure) を選択します。
 - 埋め込みプロシジャの [...] (参照) ボタンをクリックします。

[ファイルを選択してください] (Get source file) ダイアログボックスが開きます。

- マスターファイル名を選択し、[開く] (Open) をクリックします。
- [値] (Value) フィールドの [...] (参照) ボタンをクリックします。
選択したマスターファイルのフィールド名でオブジェクトインスペクタが開きます。
- フィールド名をダブルクリックして [値] (Value) フィールドに追加します。
選択フィールドは自動的に [画面] (Display) フィールドに追加され、内部プロシジャのソースコードが表示されます。
- 必要に応じて、[画面] (Display) フィールドの [...] (参照) ボタンをクリックして、[画面] (Display) フィールドに異なるフィールド名を選択することができます。
- 必要に応じて、["すべて" オプションを追加する] (Add "ALL" option) を選択して、パラメータ値リストにすべての値を自動的に追加することができます。
- 必要に応じて、['選択なし' オプションの追加] (Add 'No selection' option) を選択し、最初のページロード時に、すべてのコントロールの代わりに、連鎖にコントロールを1つずつ追加していくことで、パフォーマンスを最適化します。
- [表示値] (Selected Value) 入力フィールドに、データソースに表示するパラメータ値を入力します。
パラメータ値には、大文字と小文字の区別があります。
- 必要に応じて、複数の値を入力することができます。その場合は、区切り文字としてセミコロンを使用します。たとえば、「CA;GA」のように入力します。

[表示値] (Selected Value) に複数の値を入力するには、セミコロン (;) またはカンマ (,) を使用することができます。また、カンマやセミコロンが埋め込まれたデータ値を使用することもできます。これらの埋め込み文字が存在する場合は、入力エリアの値すべてを、二重引用符 (") で囲む必要があります。以下はその例です。

ENGLAND;ITALY

ENGLAND,ITALY

"ENGLAND","IT,ALY"

最終行で、埋め込みのカンマ (,) が存在するのは値の 1 つのみですが、両方の値を二重引用符 (") で囲む必要があります。

- [プロパティと設定] (Properties and settings) ダイアログボックスを閉じます。
- b.** 外部プロシジャを使用する場合は、次の手順を実行し、動的値を指定します。
 - [外部プロシジャ] (External Procedure) を選択します。
 - [外部プロシジャ] (External Procedure) の [...] (参照) ボタンをクリックします。
[ファイルを選択してください] (Get source file) ダイアログボックスが開きます。
 - プロシジャ (.fex) ファイル名を選択し、[開く] (Open) をクリックします。
プロシジャのパラメータ名は自動的に [値] (Value) フィールドと [画面] (Display) フィールドに追加され、外部プロシジャのソースコードが表示されます。
 - 必要に応じて、[値] (Value) テキストボックスと [画面] (Display) テキストボックスの [...] (参照) ボタンをクリックして、別のフィールド名を選択することができます。

注意：外部プロシジャのパラメータ名のみが選択可能です。

- 必要に応じて、["すべて" オプションを追加する] (Add "ALL" option) を選択して、パラメータ値リストにすべての値を自動的に追加することができます。
- [表示値] (Selected Value) 入力フィールドに、データソースに表示するパラメータ値を入力します。

パラメータ値には、大文字と小文字の区別があります。

- 必要に応じて、複数の値を入力することができます。その場合は、区切り文字としてセミコロンを使用します。たとえば、「CA;GA」のように入力します。

[表示値] に複数の値を入力するには、セミコロン (;) またはカンマ (,) を使用することができます。また、カンマやセミコロンが埋め込まれたデータ値を使用することもできます。これらの埋め込み文字が存在する場合は、入力エリアの値すべてを、二重引用符 (") で囲む必要があります。以下はその例です。

ENGLAND;ITALY

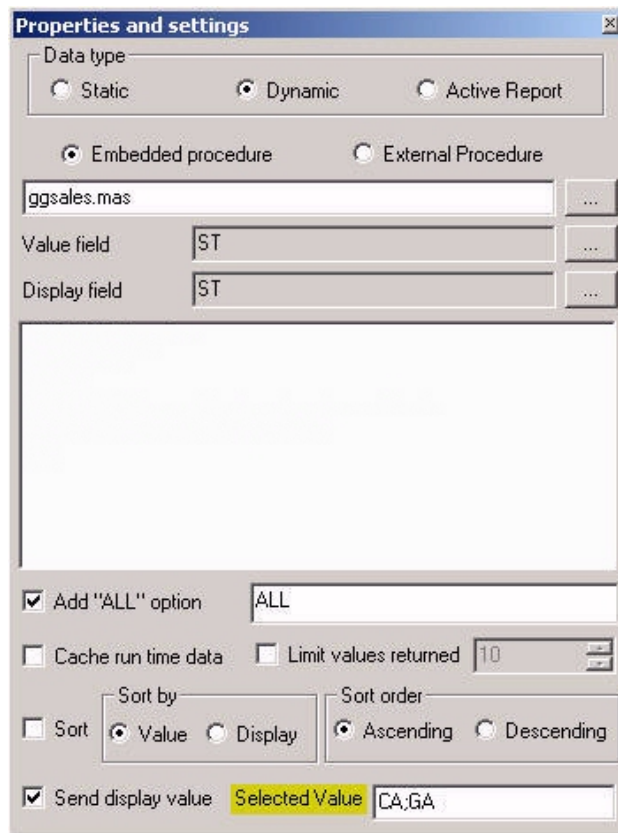
ENGLAND,ITALY

"ENGLAND", "IT,ALY"

最終行で、埋め込みのカンマ (,) が存在するのは値の 1 つのみですが、両方の値を二重引用符 (") で囲む必要があります。

- [プロパティと設定] (Properties and settings) ダイアログボックスを閉じます。
動的値についての詳細は、103 ページの「[値の動的リスト作成](#)」を参照してください。

下図は、[表示値] (Selected Value) フィールドのパラメータ値を含む動的データタイプの [プロパティと設定] (Properties and settings) ダイアログボックスの例を示しています。



4. active report の値リストの場合は、[プロパティと設定] (Properties and settings) ダイアログボックスに [利用可能な active report] (Available active reports)、[メニューオプションタイプ] (Menu Option Types)、[共通カラム] (Common Columns) が表示されません。

- [利用可能な active report] (Available active reports) リストから 1 つまたは複数の active report を選択します。選択したレポートは、レイアウト内で active report コントロールとバインドされます。

active report を選択すると、デフォルト設定で [active report のリフレッシュ] (Refresh for active reports) が有効になります。

- active report コントロールのメニューオプションタイプを選択し、結合済み active report およびその active report に同期されたレポートオブジェクトおよびグラフオブジェクトのソート、フィルタ、リスト表示、フィールドの選択、外観スタイルの変更を行います。
- 必要に応じて、["すべて" オプションを追加する] (Add "ALL" option) を選択して、パラメータ値リストにすべての値を自動的に追加することができます。
- [表示値] (Selected Value) 入力フィールドに、データソースに表示するパラメータ値を入力します。

パラメータ値には、大文字と小文字の区別があります。

- 必要に応じて、複数の値を入力することができます。その場合は、区切り文字としてセミコロンを使用します。たとえば、「CA;GA」のように入力します。

[表示値] (Selected Value) に複数の値を入力するには、セミコロン (;) またはカンマ (,) を使用することができます。また、カンマやセミコロンが埋め込まれたデータ値を使用することもできます。これらの埋め込み文字が存在する場合は、入力エリアの値すべてを、二重引用符 (") で囲む必要があります。以下はその例です。

ENGLAND;ITALY

ENGLAND,ITALY

"ENGLAND", "IT,ALY"

最終行で、埋め込みのカンマ (,) が存在するのは値の 1 つのみですが、両方の値を二重引用符 (") で囲む必要があります。

- [プロパティと設定] (Properties and settings) ダイアログボックスを閉じます。
active report の値についての詳細は、「[Creating Active Dashboards With the HTML Composer](#)」を参照してください。

下図は、[表示値] (Selected Value) フィールドのパラメータ値を含む active report データタイプの [プロパティと設定] (Properties and settings) ダイアログボックスの例を示しています。

5. 単一選択の未バインドパラメータの場合は、[プロパティと設定] (Properties and settings) ダイアログボックスに、[表示値] (Selected Value) テキストボックスが表示されます。
 - [表示値] (Selected Value) 入力フィールドに、データソースに表示するパラメータ値を入力します。
パラメータ値には、大文字と小文字の区別があります。
 - 必要に応じて、複数の値を入力することができます。その場合は、区切り文字としてセミコロンを使用します。たとえば、「CA;GA」のように入力します。

[表示値] (Selected Value) に複数の値を入力するには、セミコロン (;) またはカンマ (,) を使用することができます。また、カンマやセミコロンが埋め込まれたデータ値を使用することもできます。これらの埋め込み文字が存在する場合は、入力エリアの値すべてを、二重引用符 (") で囲む必要があります。以下はその例です。

ENGLAND;ITALY

ENGLAND,ITALY

“ENGLAND”, “IT,ALY”

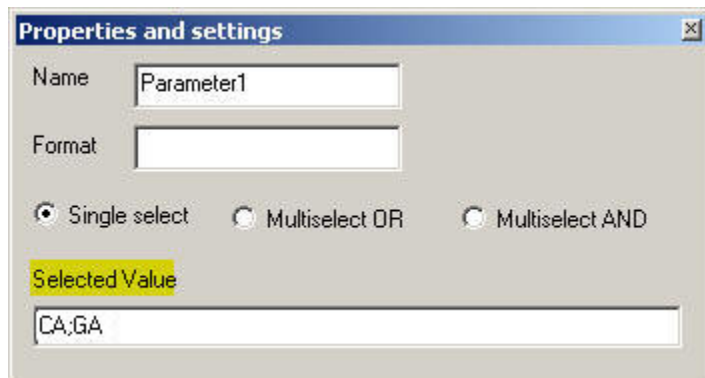
最終行で、埋め込みのカンマ (,) が存在するのは値の 1 つのみですが、両方の値を二重引用符 (") で囲む必要があります。

- [プロパティと設定] (Properties and settings) ダイアログボックスを閉じます。

単一選択パラメータについての詳細は、80 ページの「[未バインドパラメータの追加](#)」を参照してください。

下図は、[表示値] (Selected Value) フィールドのパラメータ値を含む単一選択パラメータの [プロパティと設定] (Properties and settings) ダイアログボックスの例を示しています。

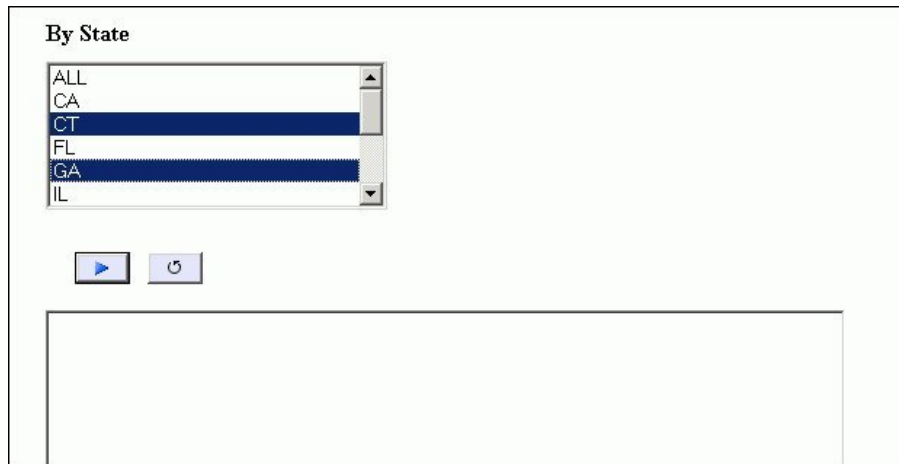
単一選択パラメータの場合も、複数值が指定され、選択されます。



6. レポートを実行します。

選択値がデータソースから取得可能な場合は、その値がパラメータリストに自動的に選択 (ハイライト) された状態で表示されます。

下図は、[表示値] (Selected Value) の CT と GA が、レポート出力の [State] パラメータリストに表示された例を示しています。



The screenshot shows a web interface with a section titled "By State". It contains a dropdown menu with the following options: ALL, CA, CT, FL, GA, and IL. The CT and GA options are highlighted in blue. Below the dropdown menu are two buttons: a play button (▶) and a refresh button (↺). Below the buttons is a large empty rectangular area, likely intended for the report output.

7. [実行] ボタンをクリックし、選択した値のパラメータを使用してレポートを実行します。

レポートが表示されます。

選択した値がレポート出力に使用されない場合は、入力した値は無視され、データソースから取得された最初の値が表示されます。

フォームコントロールを使用した入力パラメータ値の指定

トピックス

新規パラメータダイアログボックスでのフォームコントロール自動作成
コンテナのみ削除オプションの使用

手順/構文

レイアウトにフォームコントロールを手動で作成するには
パラメータに関連付けられたフォームコントロールのタイプを変更するには
既存のフォームコントロールでパラメータをバインドまたはバインド解除するには

参照

フォームコントロールのタイプ

フォームコントロールを使用すると、ユーザーにパラメータ値の入力を要求することができます。レポートまたはグラフの一部としてパラメータを作成すると、HTML コンポーザは、そのパラメータに対応するフォームコントロール、[実行] (Submit) ボタン、[リセット] (Reset) ボタンを自動的にレイアウトに追加します。また、そのパラメータが [パラメータ] (Parameters) タブに表示されます。入力コントロールを追加し、パラメータにバインドすることもできます。

HTML コンポーザでフォームコントロールを割り当てたパラメータをレポートアシスタントで削除する場合は、関連付けられたコントロールをレイアウト内で個別に削除する必要があります。

可能な値のリストを提供しないテキストボックス以外のフォームコントロールでは、値の動的リストまたは静的リストでユーザーに値を提供できます。

- 動的リストには、リクエストの実行時に特定のデータソースから値が取得されます。
- 静的リストには、事前に指定した値が表示されます。静的リストの値は、手動で変更しない限り変わりません。

- active report コントロールには、active report メニュー項目と同一の active report 値が表示されます。

active report コントロールは、レイアウト内のどのパラメータとも関連付けることはできません。このタイプのコントロールは、レイアウト内の active report にのみ関連付けることができます。

フォームコントロールのプロパティおよび各フォームコントロールに関連付けられたパラメータは、[プロパティ] (Properties) ウィンドウの [プロパティ] (Properties) タブおよび [パラメータ] (Parameters) タブで制御することができます。詳細は、70 ページの「[プロパティウィンドウの操作](#)」および 78 ページの「[パラメータタブでの作業](#)」を参照してください。

注意：コンボボックスでデフォルト選択プロパティに関連付けた場合、実行時に値を選択する必要があります。何も選択しないことを許可する場合は、[選択してください] (Make selection) の値を追加する必要があります。

静的および動的なフォームコントロールについての詳細は、84 ページの「[値の静的リスト作成](#)」および 103 ページの「[値の動的リスト作成](#)」を参照してください。

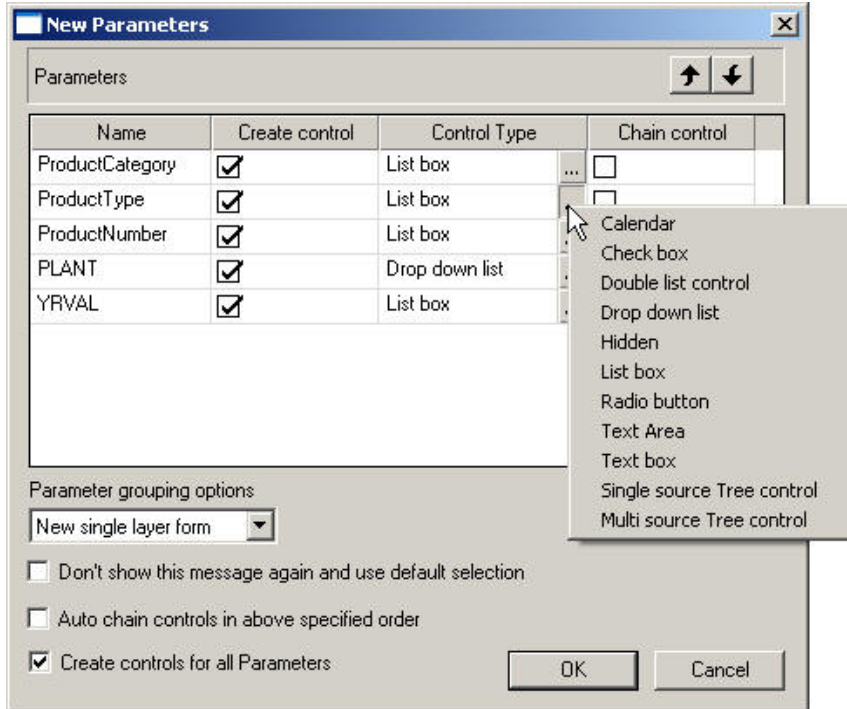
Active コントロールについての詳細は、「[Creating Active Dashboards With the HTML Composer](#)」を参照してください。

新規パラメータダイアログボックスでのフォームコントロール自動作成

レポートアシスタントを使用してレポートに 1 つまたは複数の新しい変数パラメータを作成した場合、そのレポートを保存すると、[新規パラメータ] (New Parameters) ダイアログボックスが表示されます。HTML コンポーザに戻る前に、各パラメータのコントロールタイプを設定することができます。これにより、関連するコントロールタイプ設定のために各パラメータを個別に選択する必要がなくなります。

ハイパーリンクのプロパティに別のページまたはプロパティとのリンクを設定している場合は、HTML コンポーザは他方のファイルで未解決のパラメータを解析して、[新規パラメータ] (New Parameter) ダイアログボックスを表示します。

下図は、[新規パラメータ] (New Parameters) ダイアログボックスを示しています。パラメータのそれぞれに、[名前] (Name) フィールド、[コントロールタイプ] (Control Type) フィールド、[コントロールの作成] (Create control) チェックボックスがあります。[コントロールタイプ] (Control Type) の [...] (参照) ボタンを使用して、パラメータの新規または既存のコントロールタイプを選択することができます。



[新規パラメータ] (New Parameters) ダイアログボックスの [パラメータグループ化オプション] (Parameter grouping options) メニューには、レポートアシスタントで新規作成された変数パラメータに関連付けたフォームコントロールを配置するためのオプションがあります。選択するオプションは、[Developer Studio オプション] (Developer Studio Options) ダイアログボックスの [HTML ページ] (HTML Page) タブから設定されます。シングルレイヤフォーム、マルチレイヤフォームのいずれかを作成することや、レイアウトから既存のフォームを選択することができます。

- これら新規パラメータ各フォームコントロールを HTML ページの異なる位置に挿入するには、[フォームを作成しない] (Do not create a form) を選択します。

- 新規パラメータすべてのフォームコントロールを 1 つのフォーム要素内に挿入して、HTML ページの任意の位置に配置可能にするには、[新規マルチレイヤフォーム] を選択します。このフォーム要素には、[実行] (Run) ボタンと [リセット] (Reset) ボタンも含まれます。マルチレイヤフォームは、複数のグループボックスに、各要素を格納します。フォームコントロールの各要素は、移動やサイズの変更が可能です。
- 新規パラメータすべてのフォームコントロールを 1 つのフォーム要素内に挿入して、HTML ページの任意の位置に配置可能にするには、[新規シングルレイヤフォーム] を選択します。このフォーム要素には、[実行] (Run) ボタンと [リセット] (Reset) ボタンも含まれます。シングルレイヤフォームは、単一グループボックス内に、すべての要素を格納します。

[HTML ページ] (HTML Page) タブのデフォルトフォームタイプとしては、[シングルレイヤ] が選択されます。デフォルトフォームタイプを変更するには、[ツール] (Tools) メニューから [設定] (Settings) を選択します。[Developer Studio オプション] (Developer Studio Options) ダイアログボックスが開きます。[Developer Studio オプション] (Developer Studio Options) ダイアログボックスで、[HTML ページ] (HTML Page) タブをクリックします。

- [formn] を選択します。ここで、末尾の「n」には番号が割り当てられています。選択したフォームコントロールに、パラメータが追加されます。
- [デフォルトの選択を使用し、今後このメッセージを表示しない] (Don't show this message again and use default selection) のチェックをオンにして、HTML コンポーザにパラメータを追加する際に [新規パラメータ] (New Parameters) ダイアログボックスを非表示にします。

ヒント：[HTML ページ] (HTML Page) タブの [新規パラメータダイアログボックスを表示] (Show New Parameters dialog) を選択すると、[新規パラメータ] (New Parameters) ダイアログボックスを再表示することができます。[HTML ページ] (HTML Page) タブにアクセスするには、[ウィンドウ] (Window) メニューから [オプション] (Options) を選択します。[Developer Studio オプション] (Developer Studio Options) ダイアログボックスが開きます。[Developer Studio オプション] (Developer Studio Options) ダイアログボックスで、[HTML ページ] (HTML Page) タブをクリックします。

- [新規パラメータ] (New Parameters) ダイアログボックスで選択したコントロールとの連鎖を自動的に設定するには、[上記の順序でコントロールに自動連鎖を設定する] (Auto chain controls in above specified order) のチェックをオンにします。自動連鎖オプションは、[連鎖コントロール] (Chain control) 列で選択した連鎖や連鎖のリンクを自動的に作成する便利な機能です。詳細は、「[Automatically Chaining Parameters From the New Parameters Dialog Box](#)」を参照してください。

- [すべてのパラメータのコントロールを作成する] (Create controls for all Parameters) のチェックをオンにすると、[新規パラメータ] (New Parameters) ダイアログボックスで、コントロールのパラメータを作成するかどうかを切り替えることができます。HTML ページでパラメータ付きのレポートをインポートまたは参照する場合、デフォルト設定では、すべてのコントロールの [コントロールの作成] が選択されます。[すべてのパラメータのコントロールを作成する] (Create controls for all Parameters) の選択は、HTML ページにコントロールを追加しないパラメータが多数存在する場合に役立ちます。

[新規パラメータ] (New Parameters) ダイアログボックスで選択した [コントロールタイプ] (Control Type) を編集するには、[パラメータ] (Parameters) タブでパラメータオブジェクトを選択し、右クリックして [Set Control Type] メニューからコントロールタイプオプションを選択します。

手順

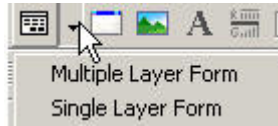
レイアウトにフォームコントロールを手動で作成するには

HTML コンポーザで、レポートまたはグラフの一部としてパラメータを作成すると、そのパラメータに対応するフォームコントロール、[実行] (Submit) ボタン、[リセット] (Reset) ボタンが、レイアウトに自動的に追加されます。レイアウトにフォームコントロールを手動で追加すると、フォームコントロールのオブジェクトを個別に作成することができます。

デザインビューにフォームコントロールを挿入すると、[実行] (Submit) ボタンと [リセット] (Reset) ボタンを含むフォームコントロールオブジェクトがレイアウトに作成されます。フォームコントロールで使用する入力コントロールは、手動で追加する必要があります。詳細は、138 ページの「[フォームコントロールを使用した入力パラメータ値の指定](#)」を参照してください。

1. 次の操作のいずれかを実行し、フォームコントロールを挿入します。
 - [コンポーネント] (Components) ツールバーの [フォームの挿入] (Insert form) ボタンをクリックします。

フォームタイプとして、[マルチレイヤフォーム] (Multiple Layer Form)、[シングルレイヤフォーム] (Single Layer Form) のいずれかを選択することができます。選択しない場合、フォームタイプのデフォルト設定は、[シングルレイヤフォーム] (Single Layer Form) です。



- [挿入] (Insert) メニューから [コンポーネント] (Components)、[フォーム] (Form) を選択し、フォームタイプ (マルチレイヤフォームまたはシングルレイヤフォーム) を選択します。



マウスポインタが十字カーソルに変わります。

デフォルトフォームタイプを変更するには、[ツール] (Tools) メニューから [設定] (Settings) を選択します。[Developer Studio オプション] (Developer Studio Options) ダイアログボックスが開きます。[Developer Studio オプション] (Developer Studio Options) ダイアログボックスで、[HTML ページ] (HTML Page) タブをクリックします。

マルチレイヤフォームは、複数のグループボックスに、各要素を格納します。フォームコントロールの各要素は、移動やサイズの変更が可能です。シングルレイヤフォームは、単一グループボックス内に、すべての要素を格納します。

2. 十字カーソルをドラッグして、コントロールオブジェクトを作成し、必要なサイズに調整します。

レイアウト内にフォームコントロールが作成され、「formn」という名前が付けられます。ここで、末尾の「n」には番号が割り当てられます。

3. フォームコントロールオブジェクトに入力コントロールを追加し、パラメータ値を作成することもできます。
 - 挿入コントロールを作成し、フォームコントロールオブジェクトに追加します。たとえば、リストボックスやドロップダウンリストなどを挿入します。
 - [パラメータ] (Parameters) タブをクリックして、パラメータ値を作成します。

[プロパティと設定] (Properties and settings) ダイアログボックスが開きます。デザイン表示で入力コントロールを作成すると、[パラメータ] (Parameters) タブでバインドパラメータを作成するよう要求されます。

- 入力コントロールのパラメータ値を作成します。

パラメータの作成についての詳細は、78 ページの「[パラメータ値の作成](#)」を参照してください。

- パラメータをコントロールにバインドするときは、必要に応じて、入力コントロールの[プロパティと設定] (Properties and settings) ダイアログボックスを閉じることもできます。

4. 入力コントロールをパラメータにバインドします。

パラメータにコントロールをバインドすると、そのパラメータに値が入力されます。コントロールオブジェクトをクリックしてドラッグし、[パラメータ] (Parameters) タブのパラメータオブジェクトにすることができます。入力コントロールの作成についての詳細は、149 ページの「[入力コントロールを使用したパラメータ値の追加](#)」を参照してください。

- #### 5. 必要に応じて、[実行] (Run) ボタンにハイパーリンクのプロパティを割り当てることもできます。詳細は、48 ページの「[プッシュボタンまたはイメージにハイパーリンクを追加するには](#)」を参照してください。

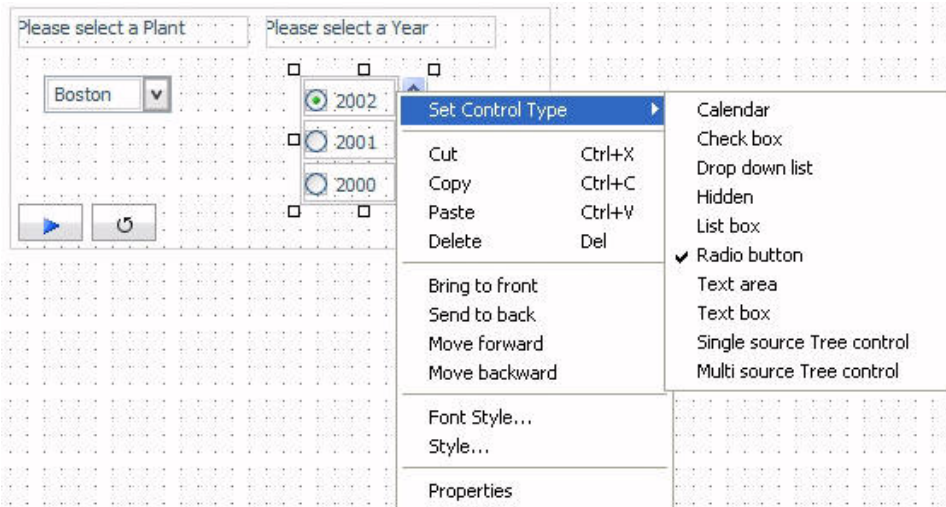
手順

パラメータに関連付けられたフォームコントロールのタイプを変更するには

1. [パラメータ] (Parameters) タブまたは [デザイン] (Design) タブで、パラメータ名に関連付けられた入力コントロールを選択します。
2. 右クリックして [コントロールタイプの設定] (Set Control Type) を選択します。
3. フォームの入力コントロールタイプを選択します。

オプションには、[カレンダー] (Calendar)、[チェックボックス] (Check box)、[ドロップダウンリスト] (Drop down list)、[非表示] (Hidden)、[リストボックス] (List box)、[ラジオボタン] (Radio button)、[テキスト領域] (Text Area)、[テキストボックス] (Text box)、[シングルソースツリーコントロール] (Single source Tree control)、[マルチソースツリーコントロール] (Multi source Tree control) があります。

下図は、[デザイン](Design) タブのコントロールオブジェクトを右クリックして表示した入力コントロールのオプションを示しています。



手順

既存のフォームコントロールでパラメータをバインドまたはバインド解除するには

コントロールが [新規パラメータ] (New Parameters) ダイアログボックスを含むレイアウトに自動的に追加される場合、パラメータに関連付け (バインド) されています。[パラメータ] (Parameters) タブをクリックし、矢印の向きを確認します。コントロールオブジェクトはパラメータオブジェクトにバインドされているため、コントロールによってパラメータが入力されます。

[新規パラメータ] (New Parameters) ダイアログボックスで [コントロールの作成] (Create control) ダイアログボックスの選択を解除した場合、そのパラメータ名は [パラメータ] (Parameters) ボックスの [アンロード] (Unload) ボックスに追加されます。[未バインドのパラメータ] (Unbound Parameters) ボックスには、[新規パラメータ] (New Parameters) ダイアログボックスで選択されていない未バインドパラメータが保存されます。[パラメータ] (Parameters) タブで作成されたパラメータや、未バインドのパラメータは、このダイアログボックスに自動的に移動しません。必要に応じて、パラメータをドラッグして [未バインドのパラメータ] (Unbound Parameters) ボックスから出し入れすることもできます。

1. コントロールにバインドされたパラメータのバインドを解除するには、次の手順を実行します。

- [パラメータ] (Parameters) タブをクリックします。
 - パラメータと入力コントロールとの間の矢印の矢じり部分を選択します。
 - 右クリックして [バインディングの解除] (Break binding) を選択します。
- 2.** パラメータをフォームコントロールにバインドするには、次の手順を実行します。
- [パラメータ] (Parameters) タブをクリックします。
 - 入力コントロールオブジェクトの中央を選択します。
 - コントロールをクリックし、パラメータオブジェクトの中央にドラッグします。
 - マウスボタンを離し、バインドを完了します。

参照

フォームコントロールのタイプ

フォームコントロールには、単一選択と複数選択のいずれかのタイプを指定することができます。単一選択フォームコントロールを使用すると、ユーザは提供された値のリストから 1 つの値を選択することができます。複数選択フォームを使用して、提供された値リストから複数の値を選択することができます。

単一選択のフォームコントロールには次のものがあります。

- **テキストボックス** 詳細は、150 ページの「[テキストボックスの使用](#)」を参照してください。
- **ドロップダウンリスト** 詳細は、159 ページの「[ドロップダウンリストの使用](#)」を参照してください。
- **ラジオボタン** 詳細は、193 ページの「[ラジオボタンの使用](#)」を参照してください。
- **テキスト領域** 詳細は、155 ページの「[テキスト領域の使用](#)」を参照してください。
- **チェックボックス** 詳細は、189 ページの「[チェックボックスの使用](#)」を参照してください。

複数選択のフォームコントロールには次のものがあります。

- **リストボックス** 詳細は、165 ページの「[リストボックスの使用](#)」を参照してください。
- **ツリーコントロール** 詳細は、197 ページの「[ツリーコントロールの使用](#)」を参照してください。

ドロップダウンリストは、[新規パラメータ](New Parameters) ダイアログボックス上にある複数選択パラメータすべてのデフォルトコントロールタイプです。リストボックスは、[新規パラメータ](New Parameters) ダイアログボックス上にある複数選択パラメータすべてのデフォルトコントロールタイプです。

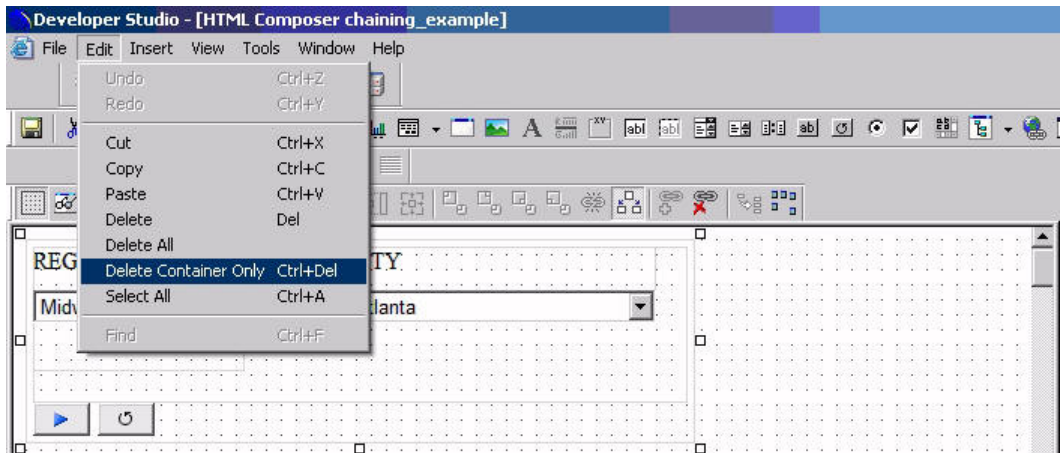
入力コントロールのタイプは、[パラメータ](Parameters) タブを使用して変更できます。詳細は、144 ページの「[パラメータに関連付けられたフォームコントロールのタイプを変更するには](#)」を参照してください。

注意：それぞれの複数選択パラメータは、複数の値を処理するためにレポートアシスタントで複数選択として設計する必要があります。

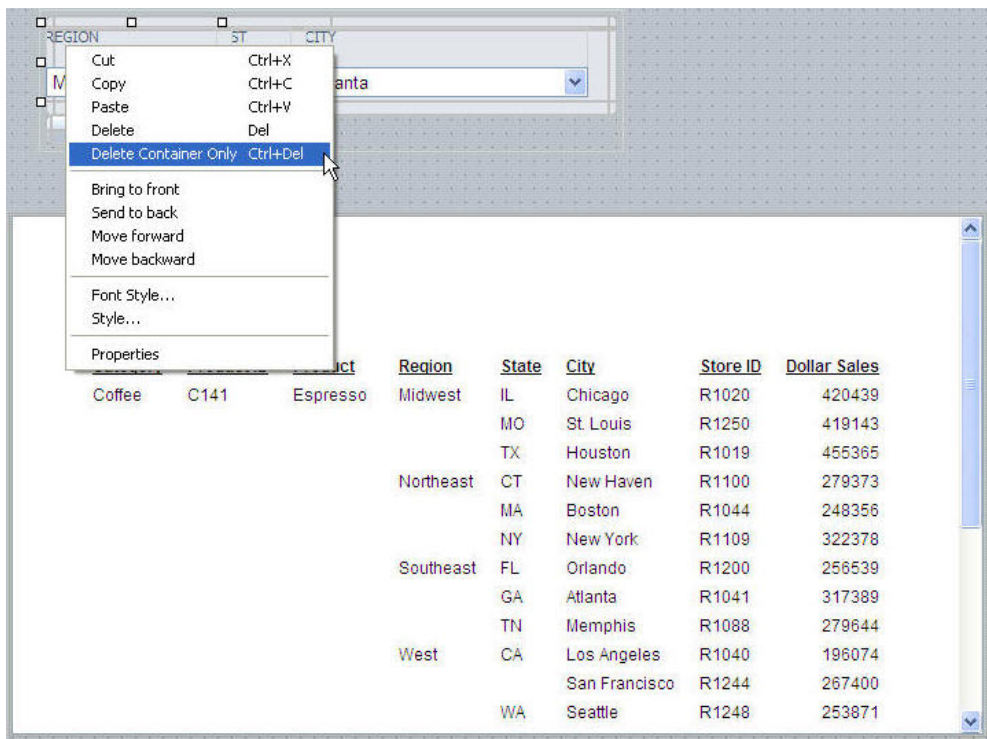
コンテナのみ削除オプションの使用

パラメータを作成する場合、[新規パラメータ](New Parameters) ダイアログボックスで選択したグループ化オプションにより、コントロールのコンテナが生成されます。コンテナが作成された後、[コンテナのみ削除](Delete Container Only) オプションを使用して、コンテナを削除することができます。このオプションにより、内部のオブジェクトを削除せずに、コンテナを削除することができます。[コンテナのみ削除](Delete Container Only) オプションには、[編集](Edit) メニュー、Ctrl+Delete キー、コンテナの右クリックで表示されるコンテキストメニューからアクセスすることができます。

下図は、[編集](Edit) メニューの [コンテナのみ削除](Delete Container Only) オプションを示しています。



下図は、コンテナを右クリックした際にコンテキストメニューに表示される [コンテナのみ削除] (Delete Container Only) オプションを示しています。



注意：フォームコンテナを削除すると、フォームとともに、フォーム内の [リセット] (Reset) ボタンも削除されます。[リセット] (Reset) ボタンは、フォームに添付されているため、同時に削除されます。

入力コントロールを使用したパラメータ値の追加

トピックス

テキストボックスの使用

テキスト領域の使用

ドロップダウンリストの使用

リストボックスの使用

ダブルリストコントロールの使用

HTML コンポーザへのページコントロールの追加

HTML コンポーザへの検索コントロールの追加

グローバル検索/ページの使用

チェックボックスの使用

ラジオボタンの使用

ツリーコントロールの使用

スライダコントロールの使用

動的カレンダーの追加

非表示パラメータ値の使用

追加パラメータ付きハイパーリンクアクションの作成

コントロールへのボタン、ハイパーリンク、イメージのバインド

手順/構文

選択値に基づいて別のコントロールを入力するには

デザイン表示で入力コントロールを作成すると、[パラメータ](Parameters) タブでバインドパラメータを作成するよう要求されます。パラメータにコントロールをバインドすると、そのパラメータに値が入力されます。

注意

- 入力コントロールは、パラメータを含むレポート、グラフを作成する際に表示される [新規パラメータ] (New Parameters) ダイアログボックスから追加することもできます。 [新規パラメータ] (New Parameters) ダイアログボックスについての詳細は、139 ページの「[新規パラメータダイアログボックスでのフォームコントロール自動作成](#)」を参照してください。
- [非表示] (Hidden) コントロール以外のすべてのコントロールでは、[プロパティと設定] (Properties and setting) ダイアログボックスは、[デザイン] (Design) タブおよび [パラメータ] (Parameters) タブに移動すると表示されます。すべての [非表示] (Hidden) コントロールでは、[プロパティと設定] (Properties and settings) ダイアログボックスは、[パラメータ] (Parameters) タブに移動すると表示されます。

テキストボックスの使用

手順/構文

テキストボックスを作成するには

テキストボックスにマスクデータを入力するには

参照

プロパティウィンドウ - テキストボックスプロパティ

テキストボックスを使用すると、ユーザはテキスト入力フィールドに値を入力することができます。

手順

テキストボックスを作成するには

テキストボックスは、単一選択値のみを提供します。

1. 次の操作のいずれかを実行し、テキストボックスを追加します。
 - コンポーネントツールバーの [テキスト] (Text) ボタンをクリックします。
または
 - [挿入] (Insert) メニューから、[コントロール] (Controls)、[テキストボックス] (Text Box) を選択します。
マウスポインタが十字カーソルに変わります。
2. 十字カーソルをドラッグしてテキストボックスを作成し、必要なサイズに調整します。

レイアウト内にテキストボックスが作成され、「editn」という名前が付けられます。ここで、末尾の「n」には番号が割り当てられます。

3. 必要に応じて、[プロパティ] (Properties) ウィンドウの [プロパティ] (Properties) タブに表示されたテキストボックスのプロパティを変更します。詳細は、154 ページの「[プロパティウィンドウ - テキストボックスプロパティ](#)」を参照してください。

4. 既存のパラメータをテキストボックスにバインドするには、次の手順を実行します。
パラメータをテキストボックスにバインドすると、入力パラメータが作成されます。入力パラメータは、コントロールにバインドされたパラメータです。パラメータ値は、テキストボックスに値を入力します。

- [パラメータ] (Parameters) タブをクリックします。

[プロパティと設定] (Properties and settings) ダイアログボックスが開きます。

- [プロパティと設定] (Properties and settings) ダイアログボックスを閉じます。

注意：テキストボックスにはパラメータ値を入力するため、このダイアログボックスは閉じます。

- パラメータ名オブジェクトの中央を選択してクリックし、テキストボックスオブジェクトの中央にドラッグしてマウスボタンを離すと、バインドが完成します。
- テキスト領域からパラメータのバインドを解除するには、矢印のやじり部分を選択して右クリックし、[バインディングの解除] (Break binding) を選択します。

5. 次の手順を実行し、テキストボックスをパラメータにバインドします。

テキストボックスをパラメータにバインドする場合は、単一選択の値のみを指定することができます。テキストボックスをパラメータにバインドすると、パラメータに単一値が入力されます。

- [パラメータ] (Parameters) タブをクリックします。

[プロパティと設定] (Properties and settings) ダイアログボックスが開きます。

- テキストボックスに単一値を作成します。単一の静的、動的値を作成することができます。
- [プロパティと設定] (Properties and settings) ダイアログボックスを閉じて、単一値を含むテキストボックスを作成します。

- 次の手順を実行し、テキストボックスをパラメータにバインドします。テキストボックスの中央を選択してクリックし、パラメータオブジェクトの中央にドラッグしてマウスボタンを離すと、バインドが完成します。

手順

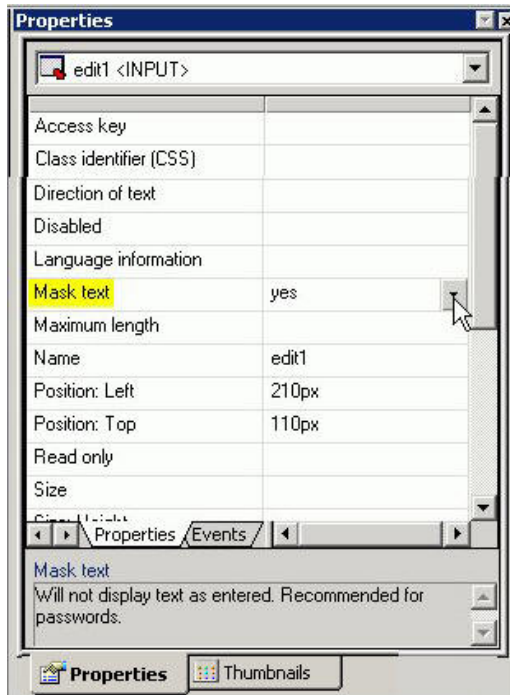
テキストボックスにマスクデータを入力するには

HTML レイアウトペインタでは、実行時に値を入力するテキストボックスに [テキストを隠す] プロパティを設定することができます。これにより、入力したテキストが通常のテキストで表示されるのではなく、デフォルトのマスク文字で表示されます。パスワードなどの機密情報を入力する場合にこの方法を使用することをお勧めします。

1. テキストボックスオブジェクトを選択して、関連するプロパティを表示します。

テキストボックスのプロパティは、[プロパティ](Properties) ウィンドウのドロップダウンリストから選択することもできます。テキストボックスのプロパティは、「`editn <INPUT>`」として表示されます。

2. [テキストを隠す] (Mask text) プロパティのドロップダウンリストから [はい] (Yes) を選択します。



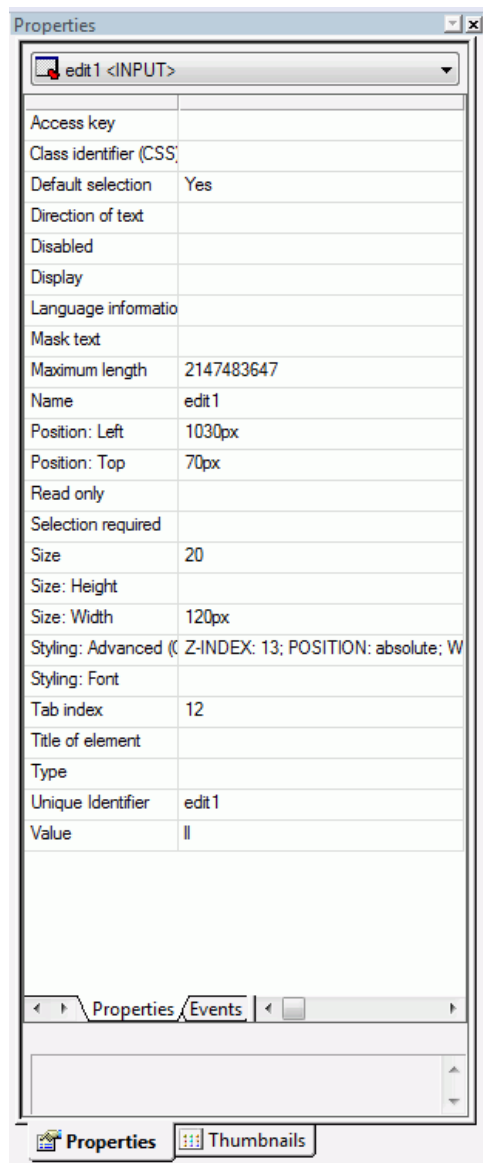
3. レポートを実行し、テキストボックスに値を入力します。
下図のように、入力した値がマスクテキストとして表示されます。

Enter Salary:

Salary Increase: Production Department			
LAST_NAME	FIRST_NAME	SALARY	PCT_INC
BANKING	LOUN	\$20,700.00	00

参照 プロパティウィンドウ-テキストボックスプロパティ

テキストボックスを選択すると、[プロパティ] (Properties) ウィンドウの [プロパティ] (Properties) タブに、テキストボックスのプロパティを制御するオプションが表示されます。



プロパティのいずれかをクリックすると、選択したプロパティの説明が [プロパティ] (Properties) ウィンドウの下部に表示されます。

テキスト領域の使用

手順/構文

テキスト領域を作成するには

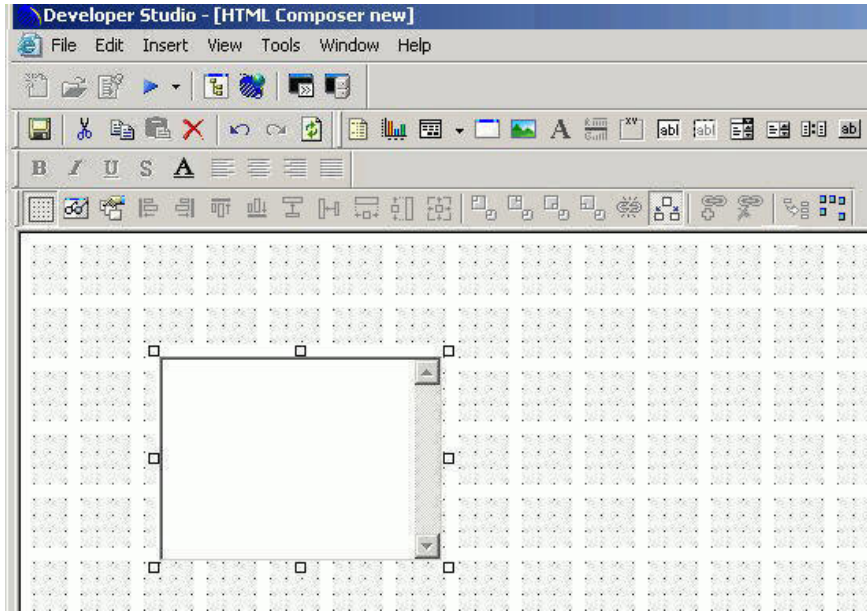
参照

プロパティウィンドウ - テキスト領域プロパティ


テキスト領域は、単一選択のコントロールで、1つの変数に割り当てるテキストを複数行で入力することができます。テキスト領域の動作はテキストボックスに類似していますが、テキストボックスとは異なり、入力するテキストは 1 行に限定されません。たとえば、プロシジャから参照可能な変数に段落 (テキスト内の複数行) を割り当てる場合は、その段落を [パラメータ] (Parameters) タブの [プロパティと設定] (Properties and settings) ダイアログボックスに追加することができます。

注意：テキスト領域コントロールに複数のプロパティを設定する場合は、データ値をセミコロン (;)、カンマ (,)、またはキャリッジリターンで区切って入力することができます。

下図は HTML コンポーザのテキスト領域コンポーネントを示しています。



手順 テキスト領域を作成するには

1. [コンポーネント] (Component) ツールバーの [テキスト領域] (Text Area)  ボタンをクリックします。
または
[挿入] (Insert) メニューから、[コントロール] (Controls)、[テキスト領域] (Text Area) を選択します。
マウスポインタが十字カーソルに変わります。
2. 十字カーソルをドラッグしてテキスト領域を作成し、必要なサイズに調整します。
レイアウト内にテキスト領域が作成され、「textarean」という名前が付けられます。ここで、末尾の「n」には番号が割り当てられます。
3. 必要に応じて、[プロパティ] (Properties) ウィンドウの [プロパティ] (Properties) タブにあるテキスト領域のプロパティを変更することができます。詳細は、158 ページの「[プロパティウィンドウ - テキスト領域プロパティ](#)」を参照してください。
4. 既存のパラメータをテキスト領域にバインドするには、次の手順を実行します。

パラメータをテキスト領域にバインドすると、入力パラメータが作成されます。入力パラメータは、コントロールにバインドされたパラメータです。パラメータ値は、テキスト領域に値を入力します。

- [パラメータ] (Parameters) タブをクリックします。
 - [プロパティと設定] (Properties and settings) ダイアログボックスが開きます。
- [プロパティと設定] (Properties and settings) ダイアログボックスを閉じます。
 - 注意：テキスト領域にはパラメータ値を入力するため、このダイアログボックスは閉じます。
- パラメータ名オブジェクトの中央を選択してクリックし、テキストボックスオブジェクトの中央にドラッグしてマウスボタンを離すと、バインドが完成します。
- テキスト領域からパラメータのバインドを解除するには、矢印のやじり部分を選択して右クリックし、[バインディングの解除] (Break binding) を選択します。

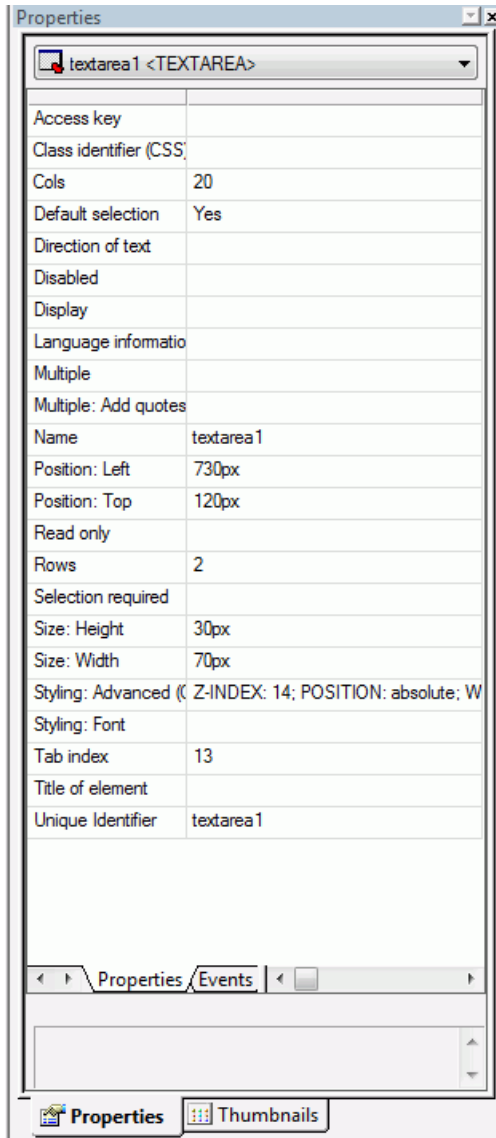
5. テキスト領域をパラメータにバインドするには、次の手順を実行します。

値が単一選択の場合のみ、テキスト領域をパラメータにバインドすることができます。単一値テキストの1行以上の行を作成することができます。テキスト領域をパラメータにバインドすると、パラメータに単一値が入力されます。

- [パラメータ] (Parameters) タブをクリックします。
 - [プロパティと設定] (Properties and settings) ダイアログボックスが開きます。
- テキスト領域に単一値を作成する。単一の静的、動的値を作成することができます。
 - 注意：**テキスト領域に静的データタイプを作成する場合、[表示値] (Selected Value) テキストボックスに1行以上のテキストを入力するか貼り付けることができます。
- [プロパティと設定] (Properties and settings) ダイアログボックスを閉じて、単一値を含むテキスト領域を作成します。
- テキスト領域をパラメータにバインドするには、次の手順を実行します。テキスト領域の中央を選択してクリックし、パラメータオブジェクトの中央にドラッグしてマウスボタンを離すと、バインドが完成します。

参照 プロパティウィンドウ - テキスト領域プロパティ

テキスト領域を選択すると、[プロパティ](Properties) ウィンドウの [プロパティ](Properties) タブに、テキスト領域のプロパティを制御するオプションが表示されます。



プロパティのいずれかをクリックすると、選択したプロパティの説明が [プロパティ](Properties) ウィンドウの下部に表示されます。

ドロップダウンリストの使用

手順/構文

ドロップダウンリストを追加するには

ドロップダウンリストから複数值を選択するには

参照

プロパティウィンドウ - ドロップダウンリストプロパティ

ドロップダウンリストを使用すると、ユーザはあらかじめ提供されている一連の値から1つの値を選択できます。ドロップダウンリストには、動的、静的値リストを使用することができます。

手順

ドロップダウンリストを追加するには

1. 次の操作のいずれかを実行し、ドロップダウンリストを追加します。
 - コンポーネントツールバーの[ドロップダウンリスト](Drop Down List) ボタンをクリックします。
または
 - [挿入] (Insert) メニューから、[コントロール] (Controls)、[ドロップダウンリスト] (Drop Down List) を選択します。
マウスポインタが十字カーソルに変わります。
2. 十字カーソルをドラッグしてドロップダウンリストを作成し、必要なサイズに調整します。
レイアウト内にプッシュボタンが作成され、「buttonn」という名前が付けられます。ここで、末尾の「n」には番号が割り当てられます。
3. 必要に応じて、[プロパティ] (Properties) ウィンドウの [プロパティ] (Properties) タブに表示されたドロップダウンリストのプロパティを変更します。詳細は、164 ページの「[プロパティウィンドウ - ドロップダウンリストプロパティ](#)」を参照してください。
4. 既存のパラメータをドロップダウンリストにバインドするには、次の手順を実行します。

パラメータをドロップダウンリストにバインドすると、入力パラメータが作成されます。入力パラメータは、コントロールにバインドされたパラメータです。パラメータ値によって、ドロップダウンリストに値が入力されます。

- [パラメータ] (Parameters) タブをクリックします。
 - [プロパティと設定] (Properties and settings) ダイアログボックスが開きます。
- [プロパティと設定] (Properties and settings) ダイアログボックスを閉じます。
 - ドロップダウンリストにはパラメータ値を入力するため、このダイアログボックスは閉じます。
- パラメータ名オブジェクトの中央を選択してクリックし、ドロップダウンリストオブジェクトの中央にドラッグしてマウスボタンを離すと、バインドが完成します。
- パラメータのバインドを解除するには、矢印のやじり部分を選択して右クリックし、[バインディングの解除] (Break binding) を選択します。

5. ドロップダウンリストをパラメータにバインドするには、次の手順を実行します。

ドロップダウンリストをパラメータにバインドすると、パラメータに値リストが入力されます。

- [パラメータ] (Parameters) タブをクリックします。
 - [プロパティと設定] (Properties and settings) ダイアログボックスが開きます。
- ドロップダウンリストの値リストを作成します。静的、動的値リストを作成することができます。
- [プロパティと設定] (Properties and settings) ダイアログボックスを閉じて、値リストを含むテキストボックスを作成します。
- 次の手順を実行し、テキストボックスをパラメータにバインドします。テキストボックスの中央を選択してクリックし、パラメータオブジェクトの中央にドラッグしてマウスボタンを離すと、バインドが完成します。

手順

ドロップダウンリストから複数値を選択するには

ドロップダウンリスト入力コントロールを使用してパラメータ値を入力する場合、指定した値のリストから実行時に複数の値を選択可能にするかどうかを、[複数] (Multiple) プロパティ値で指定することができます。

注意：複数選択リストでは、Ctrl キーを押したまま保持して値を選択することにより、複数の値を選択することができます。ドロップダウンリストで複数の値を選択するには、プロシジャが複数值を受け入れるよう設定されている必要があります。パラメータ値の [変数タイプ] (Variable Type) が、プロシジャで「複数選択 OR」または「複数選択 AND」に設定されていることを確認します。

1. HTML コンポーザで、複数值を受け入れるパラメータを含むレポートを挿入します。

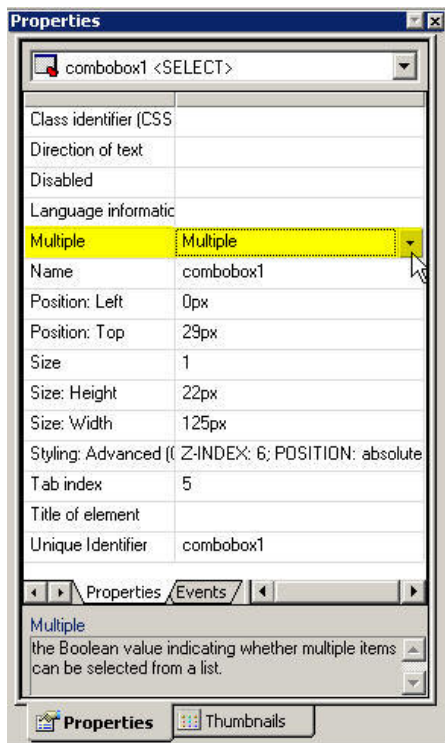
例として、[変数タイプ] (Variable Type) を [複数選択 OR] (Multiselect OR) に設定し、ggsales の動的値リストを受け入れ、戻り値および表示フィールドの値として REGION を使用するレポートを作成します。

2. 表示される [新規パラメータ] (New Parameters) ダイアログボックスで、デフォルトコントロールタイプの [ドロップダウンリスト] (Drop down list) を受け入れ、[OK] をクリックします。

レイアウト内にプッシュボタンが作成され、「buttonn」という名前が付けられます。ここで、末尾の「n」には番号が割り当てられます。

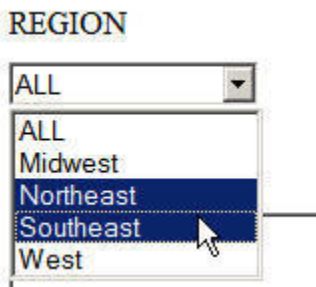
3. [プロパティ] (Properties) ウィンドウの [プロパティ] (Properties) タブにある [複数] (Multiple) ドロップダウンリストで、[複数] (Multiple) を選択します。

これにより、ドロップダウンリストで複数の項目の選択が可能になります。



4. HTML ページを保存して実行します。



Ctrl キーを押しながらドロップダウンリストの値を選択し、複数の値を選択します。



ドロップダウンリストで、複数の値が選択されます。[実行] (Run) ボタンをクリックし、選択した値のパラメータを使用してレポートを実行します。

REGION

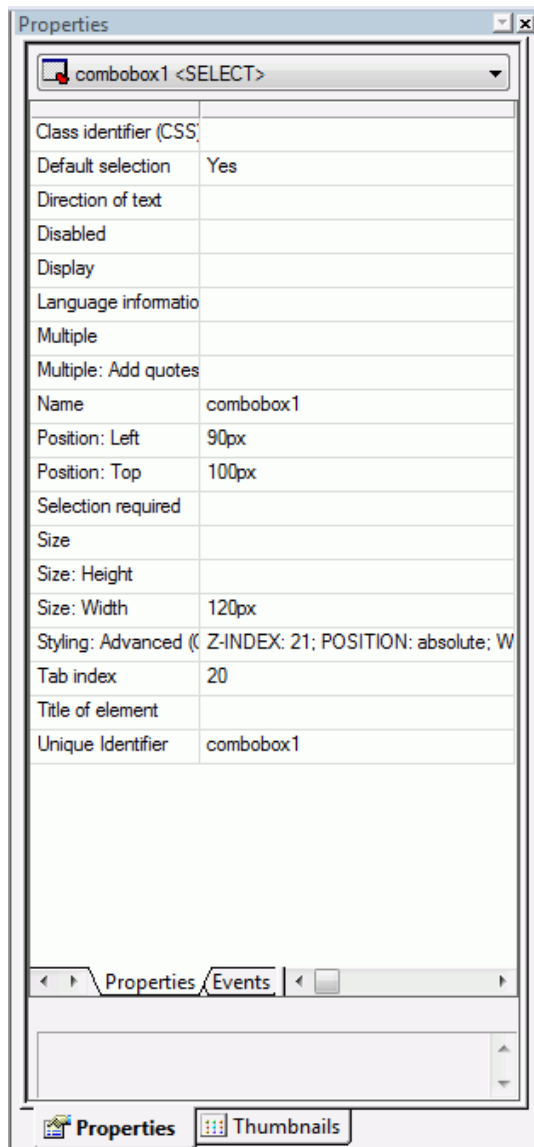
'Northeast' OR 'Southeast'

<u>Category</u>	<u>Product</u>	<u>Region</u>	<u>Dollar Sales</u>
Coffee	Capuccino	Northeast	\$542,095
		Southeast	\$944,000

参照 プロパティウィンドウ - ドロップダウンリストプロパティ

ドロップダウンリストが選択されると、[プロパティ] (Properties) ウィンドウの [プロパティ] (Properties) タブには、ドロップダウンリストのプロパティを制御するオプションが含まれます。



プロパティのいずれかをクリックすると、選択したプロパティの説明が [プロパティ] (Properties) ウィンドウの下部に表示されます。

リストボックスの使用

手順/構文

リストボックスを追加するには

リストボックス選択値の順序を変更するには

参照

プロパティウィンドウ - リストボックスプロパティ

リストボックスを使用すると、ユーザは同時に 1 つまたは複数の値を選択することができます。

- 単一選択リストを使用する場合、ユーザは実行するリクエスト 1 件につき 1 つの値のみを選択することができます。
- 複数選択リストでは、値の選択中に Ctrl キーを押さえることで、複数の値を選択することができます。複数の値を提供するには、複数の値を受容するようにプロシジャを設定する必要があります。

リストボックスの値には、動的な値または静的な値のいずれかを指定することができます。

手順

リストボックスを追加するには

1. 次の操作のいずれかを実行し、リストボックスを追加します。
 - [コンポーネント] (Components) ツールバーの [リストボックス] (list box) ボタンをクリックします。
 - または
 - [挿入] (Insert) メニューから、[コントロール] (Controls)、[リストボックス] (List Box) を選択します。マウスポインタが十字カーソルに変わります。
2. 十字カーソルをドラッグしてリストボックスを作成し、必要なサイズに調整します。

レイアウト内にリストボックスが作成され、「listboxn」という名前が付けられます。ここで、末尾の n には番号が割り当てられます。

3. 必要に応じて、[プロパティ] (Properties) ウィンドウの [プロパティ] (Properties) タブに表示されたリストボックスのプロパティを変更します。詳細は、167 ページの「[プロパティウィンドウ - リストボックスプロパティ](#)」を参照してください。

4. 既存のパラメータをリストボックスにバインドします。

パラメータをリストボックスにバインドすると、入力パラメータが作成されます。入力パラメータは、コントロールにバインドされたパラメータです。パラメータ値は、リストボックスに値を入力します。パラメータをリストボックスにバインドする場合、単数または複数選択の値を使用することができます。

- [パラメータ] (Parameters) タブをクリックします。

[プロパティと設定] (Properties and settings) ダイアログボックスが開きます。

- [プロパティと設定] (Properties and settings) ダイアログボックスを閉じます。

リストボックスにはパラメータ値を入力するため、このダイアログボックスは閉じます。

- パラメータ名オブジェクトの中央を選択してクリックし、リストボックスオブジェクトの中央にドラッグしてマウスボタンを離すと、バインドが完成します。
- パラメータのバインドを解除するには、矢印のやじり部分を選択して右クリックし、[バインディングの解除] (Break binding) を選択します。

5. リストボックスをパラメータにバインドします。

ドロップダウンリストをパラメータにバインドすると、パラメータに値リストが入力されます。

- [パラメータ] (Parameters) タブをクリックします。

[プロパティと設定] (Properties and settings) ダイアログボックスが開きます。

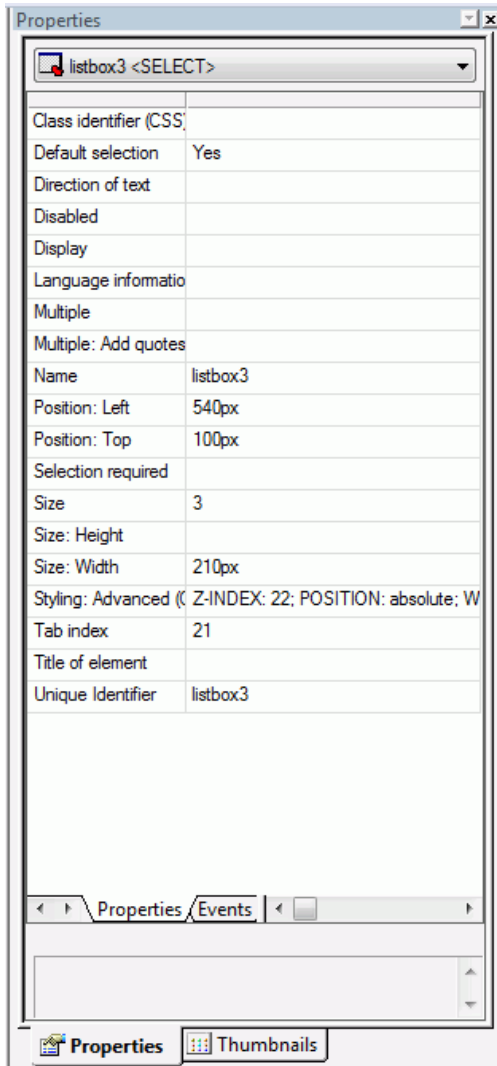
- リストボックスコントロールの値リストを作成します。静的、動的値リストを作成することができます。
- [プロパティと設定] (Properties and settings) ダイアログボックスを閉じて、値リストを含むリストボックスを作成します。

- リストボックスをパラメータにバインドします。リストボックスの中央を選択してクリックし、パラメータオブジェクトの中央にドラッグしてマウスボタンを離すと、バインドが完成します。

参照

プロパティウィンドウ-リストボックスプロパティ

リストボックスを選択すると、[プロパティ] (Properties) ウィンドウの [プロパティ] (Properties) タブに、リストボックスのプロパティが表示されます。



プロパティのいずれかをクリックすると、選択したプロパティの説明が [プロパティ] (Properties) ウィンドウの下部に表示されます。

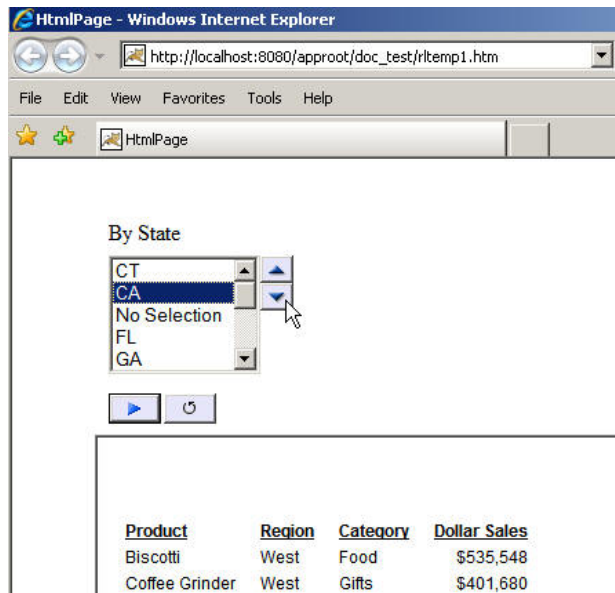
手順

リストボックス選択値の順序を変更するには

リストボックスを使用する場合、レポートの選択値の順序を変更することができます。

1. HTML ページの [デザイン] (Design) 表示で、リストボックスオブジェクトを選択して右クリックし、[項目の移動コントロールを追加] (Add Move Items) を選択します。
リストボックスコントロールの横に、上下の矢印が追加されます。
2. HTML ページを実行します。
3. リストボックスから値を選択して、レポートを実行します。
4. 選択値の順序を変更する場合は、上向き矢印をクリックして選択値をリストボックスの上に移動するか、下向き矢印をクリックしてリストボックスの下に移動します。
5. レポートを再び実行し、選択した値の結果を確認します。

下図の例では、「CA」が [BY State] リストボックスの最初の値です。下矢印を選択して、リストボックスの CA の位置を変更し、レポートを再び実行します。



ダブルリストコントロールの使用

手順/構文

ダブルリストコントロールを追加するには

参照

プロパティウィンドウ - ダブルリストボックスプロパティ

ダブルリストコントロールを追加すると、複数選択値を表示することができます。これにより、利用可能な値をリスト表示し、これらの値を別のリストに追加したり、リストから削除したりすることが可能になります。実行時は、リストに追加した値に基づいてレポートが作成されます。

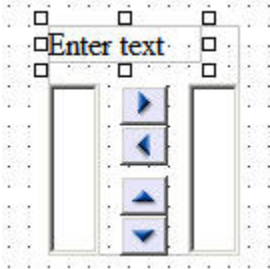
注意：ダブルリストコントロールの静的値リスト作成時には、全値の追加オプションは無効になります。

手順

ダブルリストコントロールを追加するには

1. 次の操作のいずれかを実行し、ダブルリストボックスを追加します。
 - [コンポーネント](Component) ツールバーで、[ダブルリストコントロール](Double List Control) ボタンをクリックします。
または
 - [挿入](Insert) メニューから、[コントロール](Controls)、[ダブルリストボックス](Double List Box) を選択します。
マウスポインタが十字カーソルに変わります。
2. 十字カーソルをドラッグしてダブルリストコントロールを作成し、必要なサイズに調整します。
レイアウト内にダブルリストコントロールが作成され、「customselectn_selectfrom」および「customselectn_selectto」という名前が付けられます。ここで、末尾の n には番号が割り当てられます。

- 必要に応じて、ダブルリストコントロールの「テキストを入力してください」(Enter text) をダブルクリックしてテキストを入力し、デフォルト設定の記述名を編集します。



- 必要に応じて、[プロパティ] (Properties) ウィンドウの [プロパティ] (Properties) タブに表示されるダブルリストコントロールのプロパティを調整することによって、プロパティを変更します。詳細は、173 ページの「[プロパティウィンドウ-ダブルリストボックスプロパティ](#)」を参照してください。
- 既存のパラメータをダブルリストコントロールにバインドします。

パラメータをダブルリストコントロールにバインドすると、入力パラメータが作成されます。入力パラメータは、コントロールにバインドされたパラメータです。パラメータ値は、ダブルリストコントロールに値を入力します。パラメータをダブルリストコントロールにバインドする場合、単数または複数選択の値を選択することができます。

- [パラメータ] (Parameters) タブをクリックします。
[プロパティと設定] (Properties and settings) ダイアログボックスが開きます。
- [プロパティと設定] (Properties and settings) ダイアログボックスを閉じます。
ダブルリストコントロールにはパラメータ値を入力するため、このダイアログボックスは閉じます。
- パラメータ名オブジェクトの中央を選択してクリックし、ダブルリストコントロールの中央にドラッグしてマウスボタンを離すと、バインドが完成します。
- ダブルリストコントロールからパラメータのバインドを解除するには、矢印のやじり部分を選択して右クリックし、[バインディングの解除] (Break binding) を選択します。

- ダブルリストコントロールをパラメータにバインドします。

ダブルリストコントロールをパラメータにバインドすると、パラメータに値リストが入力されます。

- [パラメータ] (Parameters) タブをクリックします。

[プロパティと設定] (Properties and settings) ダイアログボックスが開きます。

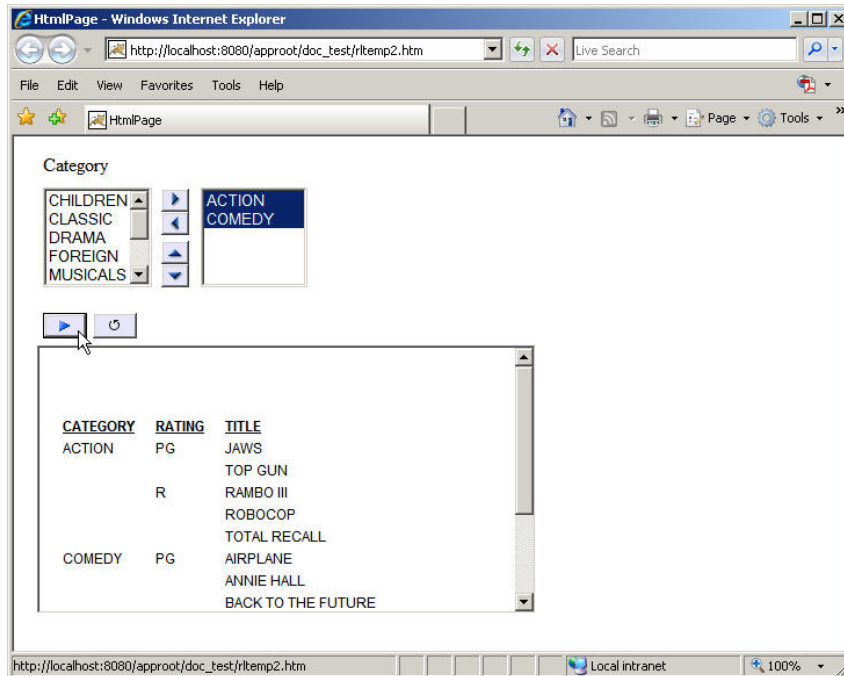
- ダブルリストコントロールの値リストを作成します。静的、動的値リストを作成することができます。
- [プロパティと設定] (Properties and settings) ダイアログボックスを閉じて、値リストを含むダブルリストコントロールを作成します。
- ダブルリストコントロールをパラメータにバインドします。ダブルリストコントロールの中央を選択してクリックし、パラメータオブジェクトの中央にドラッグしてマウスボタンを離すと、バインドが完成します。

注意：デフォルトのダブルリストコントロールを別のタイプのコントロールに変更するには、[パラメータ] (Parameters) タブまたは [デザイン] (Design) タブでコントロールオブジェクトを右クリックし、[コントロールタイプの設定] (Set Control Type) を選択します。

オプションには、[カレンダー] (Calendar)、[チェックボックス] (Check box)、[ドロップダウンリスト] (Drop down list)、[非表示] (Hidden)、[リストボックス] (List box)、[ラジオボタン] (Radio button)、[テキスト領域] (Text Area)、[テキストボックス] (Text box)、[シングルソースツリーコントロール] (Single source Tree control)、[マルチソースツリーコントロール] (Multi source Tree control) があります。

7. HTML ページを実行した後、左右の矢印を使用して値を追加または削除し、選択する値を確定します。

選択した値は2つ目のボックスに表示されます。出力は、2つ目のボックスに選択した値に基づいて生成されます。次の例では、「Action」および「Comedy」が選択値です。



8. 必要に応じて、レポートの選択値の順序を変更することができます。

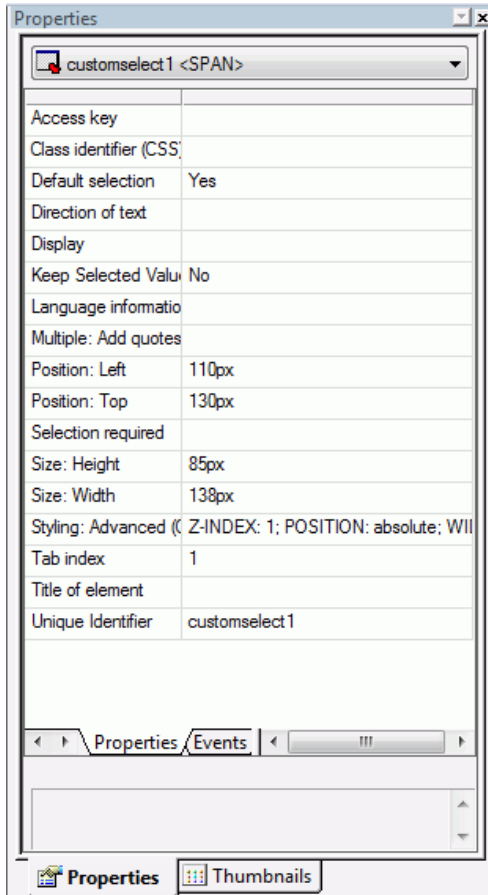
上下の矢印を使用して、ダブルリストコントロールの2列目に表示される選択値の順序を変更します。

ダブルリストコントロールの2列目の選択値を上に移すには上向き矢印を、下に移動するには下向き矢印をそれぞれクリックします。

参照

プロパティウィンドウ - ダブルリストボックスプロパティ

ダブルリストボックスを選択すると、[プロパティ](Properties) ウィンドウの [プロパティ] (Properties) タブに、ダブルリストコントロールのプロパティが表示されます。



選択した値を保持する (Keep Selected Value) [はい] (Yes) を選択すると、検索した値が右側のボックスに蓄積されます。別の値を検索する際は、以前に検索した値は削除されません。デフォルト設定では、[いいえ] (No) が選択されています。

プロパティのいずれかをクリックすると、選択したプロパティの説明が [プロパティ] (Properties) ウィンドウの下部に表示されます。

HTML コンポーザへのページコントロールの追加

手順/構文

ページコントロールを追加するには

リストボックス、ドロップダウンリスト、ダブルリストコントロールの最初のコントロールに、ページコントロールを追加して、値を選択する前に、値の長いリストをページ単位で閲覧することができます。入力コントロールが選択されている場合、HTML コンポーザの [デザイン] (Design) タブで、右クリックのコンテキストメニューから [ページコントロールの追加] (Add 'Paging' control) を選択することができます。

手順

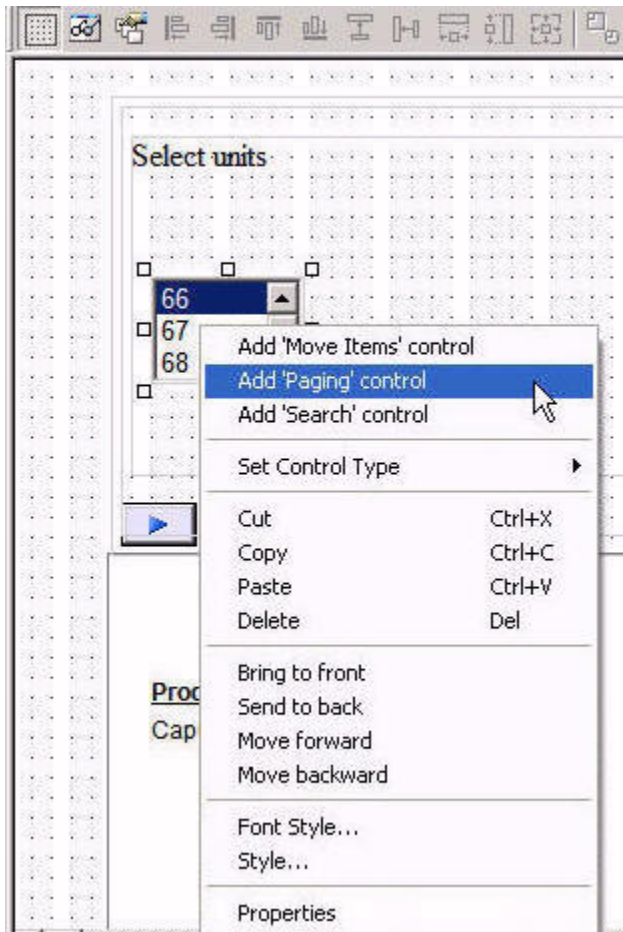
ページコントロールを追加するには

[ページコントロールの追加] (Add 'Paging' control option) オプションを使用して、リストボックス、ドロップダウンリスト、ダブルリストコントロールの最初のコントロールの値の長いリストを、値を選択する前にページ単位で閲覧することができます。ここでは、50 件の値を含むリストがある場合を想定します。ページコントロールを追加することにより、これらの値を値のページとして表示したり、最初のページ、前のページ、次のページ、最後のページを直接表示して、値を選択したりすることができます。

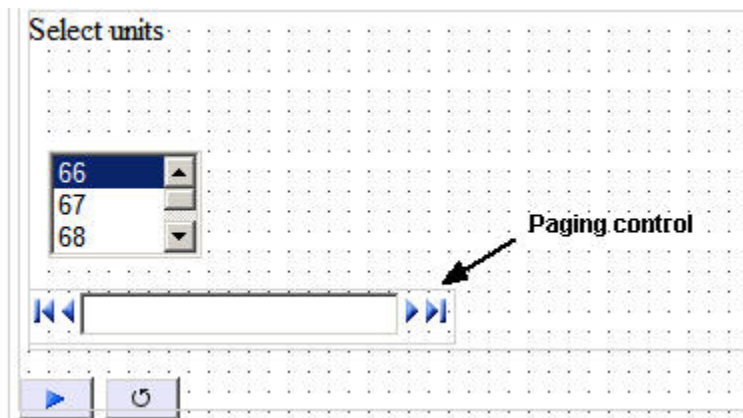
1. HTML コンポーザの [デザイン] (Design) タブで入力コントロールを選択し、[ページコントロールの追加] (Add 'Paging' control) を選択します。

注意： ページコントロールは、リストボックス、ドロップダウンリスト、ダブルリストコントロールの最初のコントロールのみで有効です。

下図は、HTML コンポーザの [ページコントロールの追加] (Add 'Paging' control) オプションを示しています。



下図のように、作業領域の入力コントロールの下に、ページコントロールが追加されます。



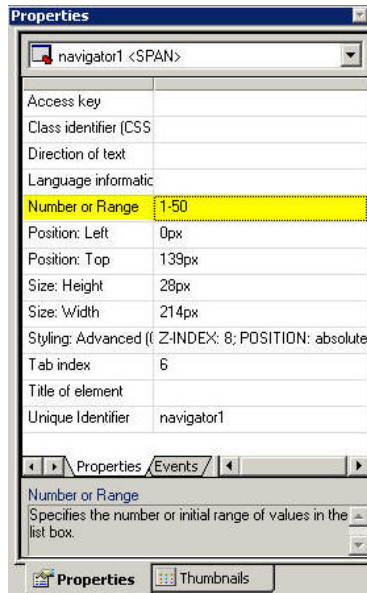
注意：ページコントロールが表示されない場合は、作業領域のフォームコントロールオブジェクトと入力コントロールオブジェクトのサイズを変更します。

2. 必要に応じて、[プロパティ] (Properties) ウィンドウの [プロパティ] (Properties) タブで、ページコントロールの [数または範囲] (Number or Range) プロパティを変更します。

[数または範囲] (Number or Range) のデフォルト値は「1-50」です。これにより、入力コントロールおよび開始項目番号を表示する値の数またはページ範囲が指定されます。たとえば、入力コントロールを最初の値から開始し、各ページに 50 件の値を表示します。

注意：ページコントロールプロパティは、ページコントロールが選択されている場合に、[プロパティ] (Properties) ウィンドウの [プロパティ] (Properties) タブで使用することができます。ページコントロールは、[プロパティ] (Properties) ウィンドウのドロップダウンリストに「navigator」として表示されます。

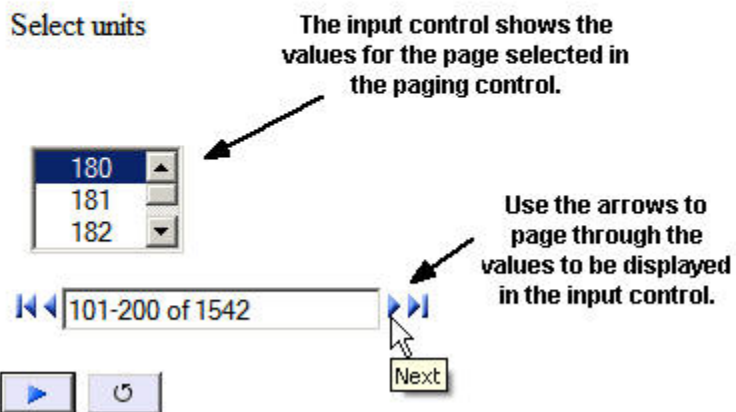
下図は、HTML コンポーザのページコントロールの [数または範囲] (Number or Range) プロパティを示しています。



3. HTML ページを実行します。
4. 矢印ボタンを使用して、入力コントロールに表示される値をページ単位で閲覧します。[最初] (First)、[戻る] (Previous)、[次へ] (Next)、[最後] (Last) を選択することができます。

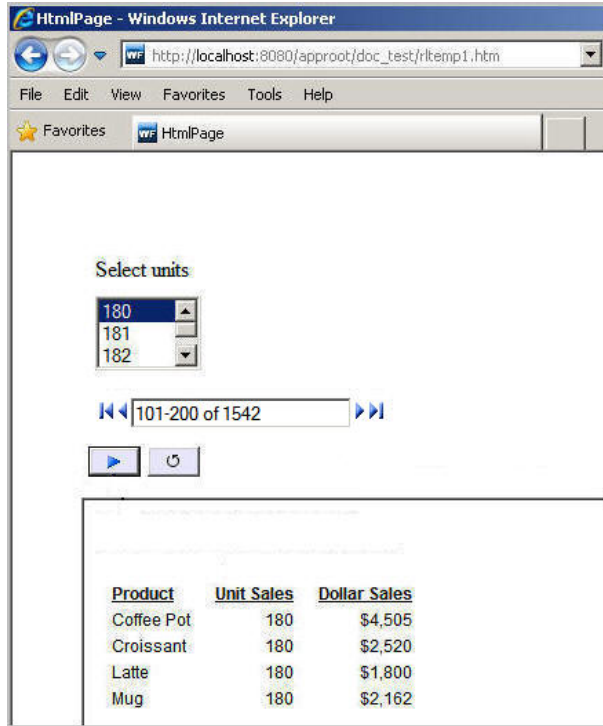
注意：手順 2 の [数または範囲] (Number or Range) プロパティに記述されているように、実行時にページコントロールにページ番号または範囲を入力することもできます。これにより、入力コントロールの各ページに表示される値の数または範囲が指定されます。

入力コントロールには、ページコントロールで選択されたページの値が表示されます。



5. 入力コントロールから値を選択します。
6. [実行] (Run) ボタンをクリックすると、レポートが更新され、入力コントロールで選択した値が表示されます。

次の例では、ページコントロールには「101-200 of 1542」と表示されています。これは、リストボックスに表示されているように、このページには、選択可能な値が 99 個存在することを示しています。リストボックスには、選択済みの単位として「180」が表示されています。レポートを実行すると、Unit Sales の値が 180 のデータが表示されます。



HTML コンポーザへの検索コントロールの追加

手順/構文

検索コントロールを追加するには

リストボックス、ドロップダウンリスト、ダブルリストコントロールの最初のコントロールに、検索コントロールを追加して、値を選択する前にコントロールの値を検索することができます。入力コントロールが選択されている場合、HTML コンポーザの [デザイン] (Design) タブで、右クリックのコンテキストメニューから [検索コントロールの追加] (Add 'Paging' control) を選択することができます。

手順

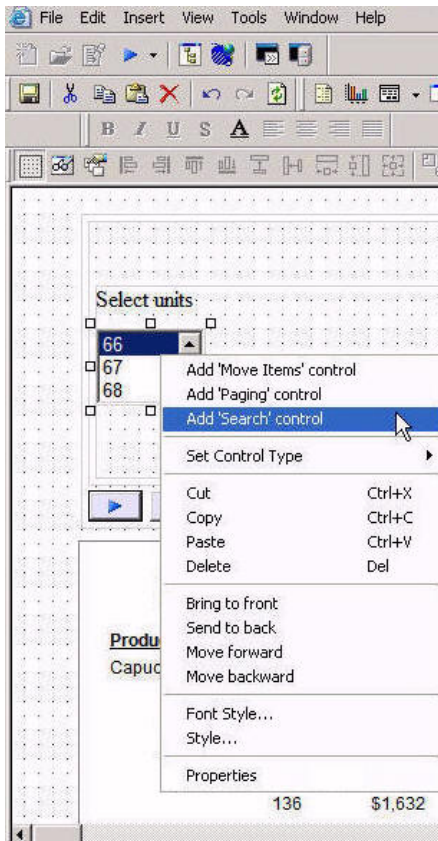
検索コントロールを追加するには

[検索コントロールの追加] (Add 'Search' control) オプションを使用して、リストボックス、ドロップダウンリスト、ダブルリストコントロールの最初のコントロールで値を検索することができます。ここでは、30 件の項目を含むリストについて考察します。検索コントロールを追加することにより、出力ページに入力フィールドが追加されます。検索する値を入力し、入力コントロールの検索ボタンをクリックします。

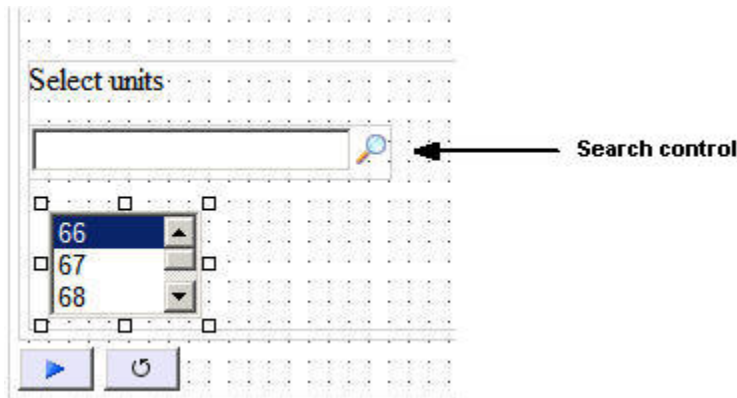
1. HTML コンポーザの [デザイン] (Design) タブで、入力コントロールを選択し、[検索コントロールの追加] (Add 'Search' control) を選択します。

注意：検索コントロールはリストボックス、ドロップダウンリスト、ダブルリストコントロールの最初のコントロールのみで有効です。

下図は、HTML コンポーザの [検索コントロールの追加] (Add 'Search' control) オプションを示しています。



下図のように、作業領域の入力コントロールの上部に、検索コントロールが追加されます。

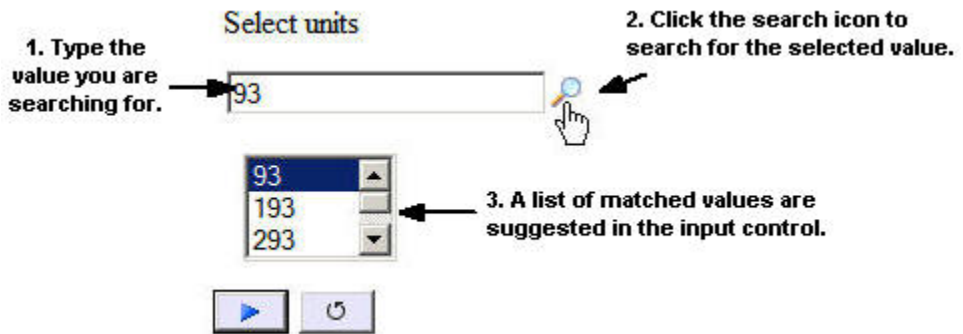


注意：検索コントロールが表示されない場合は、作業領域のフォームコントロールオブジェクトと入力コントロールオブジェクトのサイズを変更します。

2. HTML ページを実行します。
3. 入力コントロールに表示する値を入力し、検索ボタンをクリックします。

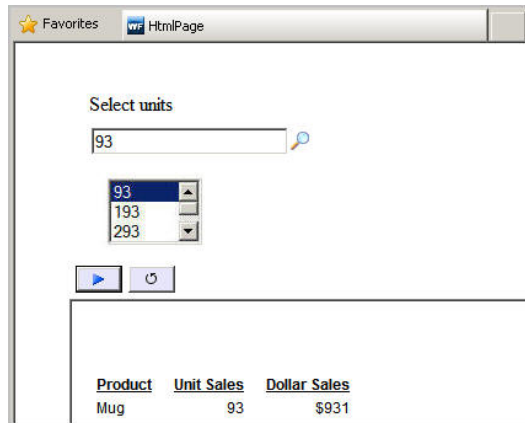
Enter キーを押しても検索は実行されません。検索ボタンをクリックする必要があります。

入力コントロールに、一致する値として推奨される値のリストが表示されます。



4. 入力コントロールから値を選択します。
5. [実行] (Run) ボタンをクリックすると、レポートが更新され、入力コントロールで選択した値が表示されます。

次の例では、検索コントロールに検索値として「93」が表示されています。これは、リストボックスのレコードで「93」と一致する値を検索することを示しています。リストボックスは、単位に「93」を選択したことを示しています。レポートを実行すると、Unit Sales の値が 93 のデータが表示されます。



グローバル検索/ページの使用

手順/構文

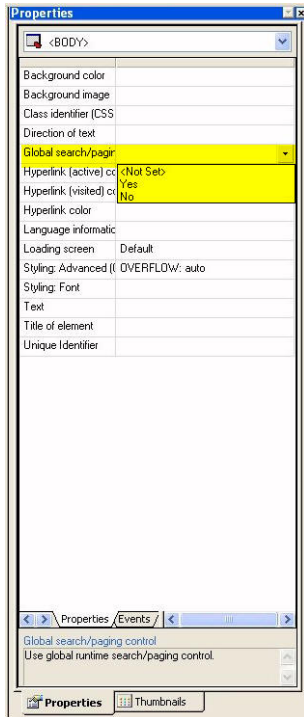
グローバル検索/ページを有効化するには

BODY オブジェクトでグローバル検索/ページオプションを使用し、ページの各入力コントロールで利用可能な単一のグローバル検索/ページコントロールを追加することができます。

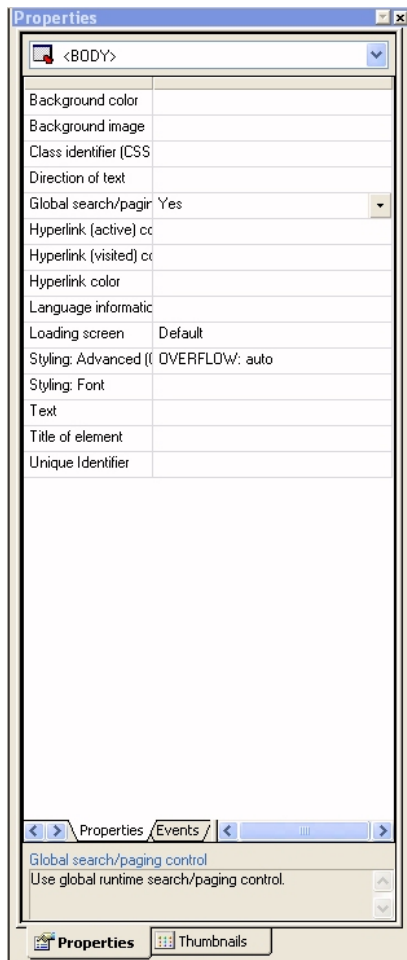
手順

グローバル検索/ページを有効化するには

1. 下図のように、BODY オブジェクトの [プロパティ] (Properties) ウィンドウの [プロパティ] (Properties) タブで、[グローバル検索/ページ] (Global search/paging) プロパティをクリックします。



2. 下図のように、ドロップダウンメニューから [はい] (Yes) を選択します。



下図のように、実行時に、ホームの位置に [検索/ページ] (Search/Paging) ウィンドウが開きます。

The screenshot displays a web application interface. At the top right, there is a 'Search/Paging' window with a search input field and navigation buttons (back, search, forward, refresh, next). Below this, there are three dropdown menus for 'REGION' (Midwest), 'ST' (IL), and 'CITY' (Chicago). A 'Go' button is located below these menus. The main content area shows a table with the following data:

Category	Product ID	Product	Region	State	City	Store ID	Dollar Sales
Coffee	C141	Espresso	Midwest	IL	Chicago	R1020	420439
	C142	Latte	Midwest	IL	Chicago	R1020	978340
Food	F101	Scone	Midwest	IL	Chicago	R1020	595069
	F102	Biscotti	Midwest	IL	Chicago	R1020	378412
	F103	Croissant	Midwest	IL	Chicago	R1020	549366
Gifts	G100	Mug	Midwest	IL	Chicago	R1020	376754
	G104	Thermos	Midwest	IL	Chicago	R1020	187901
	G110	Coffee Grinder	Midwest	IL	Chicago	R1020	233292
	G121	Coffee Pot	Midwest	IL	Chicago	R1020	204828

選択されたコントロールへの自動リンクはデフォルト設定でオンになっているため、下図のように、入力コントロールをクリックすると、入力コントロールの下に [検索/ページ] (Search/Paging) ウィンドウが表示されます。デフォルト設定では、ウィンドウには 1 ページ目のすべての値が表示されます (例、1-4/4)。

REGION ST CITY

Midwest IL Chicago

combobox1

1-4 of 4


Category	<u>Product ID</u>	Product	Region	State	City	<u>Store ID</u>	<u>Dollar Sales</u>
Coffee	C141	Espresso	Midwest	IL	Chicago	R1020	420439
	C142	Latte	Midwest	IL	Chicago	R1020	978340
Food	F101	Scone	Midwest	IL	Chicago	R1020	595069
	F102	Biscotti	Midwest	IL	Chicago	R1020	378412
	F103	Croissant	Midwest	IL	Chicago	R1020	549366
Gifts	G100	Mug	Midwest	IL	Chicago	R1020	376754
	G104	Thermos	Midwest	IL	Chicago	R1020	187901
	G110	Coffee Grinder	Midwest	IL	Chicago	R1020	233292
	G121	Coffee Pot	Midwest	IL	Chicago	R1020	204828

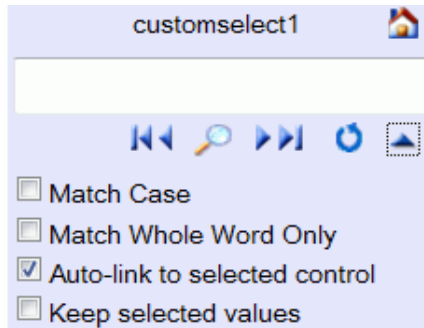
入力コントロールには、その入力コントロールとのリンクが設定されていることを示すラベルが表示されます。入力コントロールにラベルが関連付けられていない場合は、「combobox1」など入力コントロールの一意の ID が表示されます。

3. 複数のページを指定する場合は、下図のように、「1-2 of 4」のように、[検索/ページ] (Search/Paging) フィールドに範囲を入力します。

combobox1

1-2 of 4


4. 下図のように、[グローバル/ページ](Global/Paging) ウィンドウの [設定の表示](Show settings)  ボタンをクリックしてウィンドウを展開し、[検索/ページ](Search/Paging) のオプションを表示します。



[検索/ページ] (Search/Paging) には、次のオプションがあります。

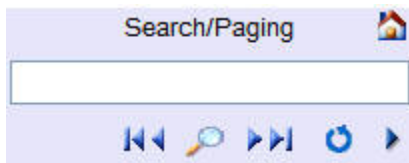
- **大文字と小文字の区別 (Match Case)** 入力コントロールの値と完全に一致する値が検索されます。
- **単語単位で検索 (Match Whole Word Only)** 検索する単語が含まれる文字列が検索されます。
- **選択したコントロールとのリンクを自動設定 (Auto-link to selected control)** 選択した入力コントロールの下に [検索/ページ] (Search/Paging) ウィンドウが表示されます。リンクの自動設定は、デフォルト設定でオンになっています。
- **選択した値を保持する (Keep selected values)** このオプションは、ダブルリストコントロールのみに影響します。チェックをオンにすると、検索した値が右側のボックスに蓄積されます。別の値を検索する際は、以前に検索した値は削除されません。

注意

- グローバルコントロールオプションは、個別のコントロールオプションを上書きしません。ダブルリストでの設定に関わらず、グローバル検索/ページで [選択した値を保持する] (Keep selected values) を選択した場合は、その設定で上書きされます。
- 展開されたウィンドウを折りたたむには、 ボタンをクリックすることもできます。
- [検索/ページ] (Search/Paging) ウィンドウで [ホーム] (House) アイコンをクリックして、[ホーム] (Home) ウィンドウに戻ることができます。

手順 検索/ページ機能を使用するには

[検索/ページ] (Search/Paging) ウィンドウでは、次のボタンを使用して、ページを移動することができます。



ボタン	説明
	最初 (First) 値の最初のページを表示します。
	戻る (Previous) 値で前のページを表示します。
	検索 (Search) テキストボックスへの入力に基づいて、値の検索を開始します。
	次へ (Next) 値で次のページを表示します。
	最後 (Last) 値で最後のページを表示します。
	すべてリセット (Reset All) 元のページにリセットします。
	設定の表示 (Show Settings) [グローバル/ページ] (Global/Paging) ウィンドウを展開し、オプションを表示します。 展開後は、  ボタンを使用して、設定の表示を折りたたむことができます。

チェックボックスの使用

手順/構文

チェックボックスを追加するには

参照

プロパティウィンドウ - チェックボックスプロパティ

チェックボックスを使用すると、ユーザは提供された値のリストから 1 つの値を選択することができます。グループ化された複数のチェックボックス入力コントロールが存在する場合は、各コントロールの [複数值の選択] (Multiple) プロパティを選択することができます。[複数值の選択] (Multiple) により、各チェックボックスコントロールから、単一値を選択することができます。

チェックボックスの値には、動的な値または静的な値のいずれかを指定することができます。

手順

チェックボックスを追加するには

1. 次の操作のいずれかを実行し、チェックボックスを追加します。
 - [コンポーネント] (Components) ツールバーの [チェックボックス] (Check box) ボタンをクリックします。
または
 - [挿入] (Insert) メニューから、[コントロール] (Controls)、[チェックボックス] (Check Box) を選択します。
2. 十字カーソルをドラッグしてチェックボックスリストを作成し、必要なサイズに調整します。
レイアウト内にチェックボックスが作成され、「checkboxn」という名前が付けられます。ここで、末尾の n には番号が割り当てられます。
3. 必要に応じて、[プロパティ] (Properties) ウィンドウの [プロパティ] (Properties) タブに表示されたチェックボックスのプロパティを変更します。詳細は、192 ページの「プロパティウィンドウ - チェックボックスプロパティ」を参照してください。
4. 次の手順を実行し、既存のパラメータをチェックボックスにバインドします。

パラメータをチェックボックスにバインドすると、入力パラメータが作成されます。入力パラメータは、コントロールにバインドされたパラメータです。パラメータ値は、チェックボックスに値を入力します。

- [パラメータ] (Parameters) タブをクリックします。
 - [プロパティと設定] (Properties and settings) ダイアログボックスが開きます。
- [プロパティと設定] (Properties and settings) ダイアログボックスを閉じます。
 - チェックボックスにパラメータ値を入力しているため、このダイアログボックスは閉じます。
- パラメータ名オブジェクトの中央を選択してクリックし、チェックボックスオブジェクトの中央にドラッグしてマウスボタンを離すと、バインドが完成します。
- チェックボックスからパラメータのバインドを解除するには、矢印のやじり部分を選択して右クリックし、[バインディングの解除] (Break binding) を選択します。

5. 次の手順を実行し、チェックボックスをパラメータにバインドします。

チェックボックスをパラメータにバインドすると、パラメータに値リストが入力されます。

- [パラメータ] (Parameters) タブをクリックします。
 - [プロパティと設定] (Properties and settings) ダイアログボックスが開きます。
- チェックボックスコントロールの値リストを作成します。静的、動的値リストを作成することができます。
- 必要に応じて、[表示イメージを追加する]のチェックをオンにして、チェックボックス横のテキストに加えて、イメージを表示します。
 - [プロパティと設定] (Properties and settings) ダイアログボックスで、[画面] (Display) 横の [...] (参照) ボタンをクリックし、イメージを選択することができます。
 - 動的イメージ値を使用するには、データソースにイメージファイル名を含むフィールドが存在する必要があります。ローカルプロジェクトで作業している場合、現在のアプリケーションに物理イメージファイルが格納されている必要があります。

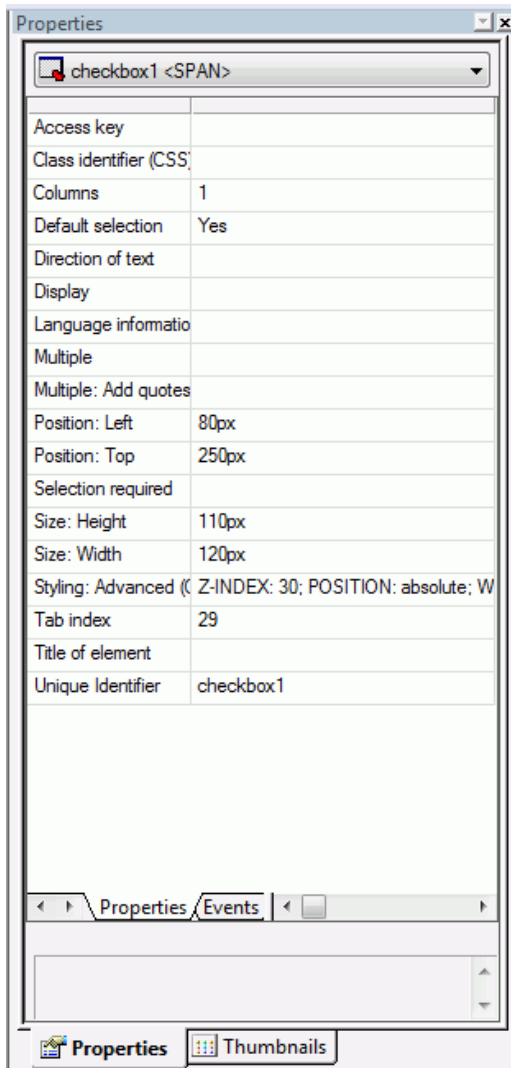
- HTML ページのレポートがユーザ出力フォーマット (パラメータ名 WFFMT) を使用するようコーディングされている場合、ユーザは [新規パラメータ](New Parameters) ダイアログボックスからチェックボックスコントロールを選択することができます。チェックボックスのそれぞれには、製品に付属の出力タイプイメージが、自動的に関連付けられます。

注意：ユーザ出力フォーマットについての詳細は、『InfoAssist ユーザガイド』を参照してください。

- [プロパティと設定] (Properties and settings) ダイアログボックスを閉じて、値リストを含むチェックボックスを作成します。
- 次の手順を実行し、チェックボックスをパラメータにバインドします。チェックボックスの中央を選択してクリックし、パラメータオブジェクトの中央にドラッグしてマウスボタンを離すと、バインドが完成します。

参照 プロパティウィンドウ - チェックボックスプロパティ

チェックをオンにすると、[プロパティ](Properties) ウィンドウの [プロパティ](Properties) タブに、チェックボックスのプロパティが表示されます。



プロパティのいずれかをクリックすると、選択したプロパティの説明が [プロパティ] (Properties) ウィンドウの下部に表示されます。

ラジオボタンの使用

手順/構文

ラジオボタンを追加するには

参照

プロパティウィンドウ - ラジオボタンプロパティ

ラジオボタンを使用すると、ユーザは提供された値のリストから 1 つの値を選択することができます。ラジオボタンの値には、静的な値または動的な値のいずれかを指定することができます。

手順

ラジオボタンを追加するには

1. 次の操作のいずれかを実行し、ラジオボタンを追加します。
 - [コンポーネント] (Components) ツールバーの [ラジオ] (Radio) ボタンをクリックします。
または
 - [挿入] (Insert) メニューから、[コントロール] (Controls)、[ラジオボタン] (Radio Button) を選択します。
マウスポインタが十字カーソルに変わります。
2. 十字カーソルをドラッグしてラジオボタンリストを作成し、必要なサイズに調整します。
レイアウト内にラジオボタンが作成され、「radion」という名前が付けられます。
「n」には数字が入ります。
3. 必要に応じて、[プロパティ] (Properties) ウィンドウの [プロパティ] (Properties) タブに表示されたラジオボタンのプロパティを変更します。詳細は、196 ページの「[プロパティウィンドウ - ラジオボタンプロパティ](#)」を参照してください。
4. 次の手順を実行し、既存のパラメータをラジオボタンにバインドします。
パラメータをラジオボタンにバインドすると、入力パラメータが作成されます。入力パラメータは、コントロールにバインドされたパラメータです。パラメータ値は、ラジオボタンに値を入力します。
 - [パラメータ] (Parameters) タブをクリックします。

[プロパティと設定] (Properties and settings) ダイアログボックスが開きます。

- [プロパティと設定] (Properties and settings) ダイアログボックスを閉じます。

注意：ラジオボタンにはパラメータ値を入力するため、このダイアログボックスは閉じます。

- パラメータ名オブジェクトの中央を選択してクリックし、ラジオボタンオブジェクトの中央にドラッグしてマウスボタンを離すと、バインドが完成します。
- パラメータの、ラジオボタンとのバインドを解除するには、線上のやじり部分を選択して、線が太字になったところで右クリックし、[Break binding] を選択します。

5. 次の手順を実行し、ラジオボタンをパラメータにバインドします。

ラジオボタンをパラメータにバインドすると、パラメータに値リストが入力されます。

- [パラメータ] (Parameters) タブをクリックします。

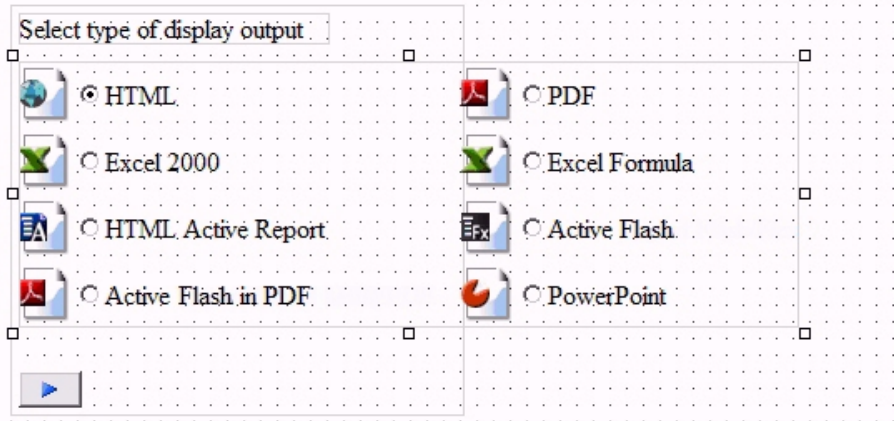
[プロパティと設定] (Properties and settings) ダイアログボックスが開きます。

- ラジオボタンコントロールの値リストを作成します。静的、動的値リストを作成することができます。
- [表示イメージを追加する] (Add display image) のチェックをオンにすると、ラジオボタンの横に、テキストのほかにイメージを表示することができます。

[プロパティと設定] (Properties and settings) ダイアログボックスで、[画面] (Display) 横の [...] (参照) ボタンをクリックし、イメージを選択することができます。

動的イメージ値を使用するには、データソースにイメージファイル名を含むフィールドが存在する必要があります。物理的なイメージがドメインの [その他] (Other) フォルダに格納されてる必要があります。このフィールド名は、[プロパティと設定] (Properties and settings) ダイアログボックスの [画面] (Display) フィールドで指定します。

- HTML ページのレポートがユーザ出力フォーマット (パラメータ名 WFFMT) を使用するようコーディングされている場合、ユーザは [新規パラメータ] (New Parameters) ダイアログボックスからラジオボタンコントロールを選択することができます。下図のように、製品に含まれる出力タイプのイメージが、各ラジオボタンに自動的に関連付けられます。

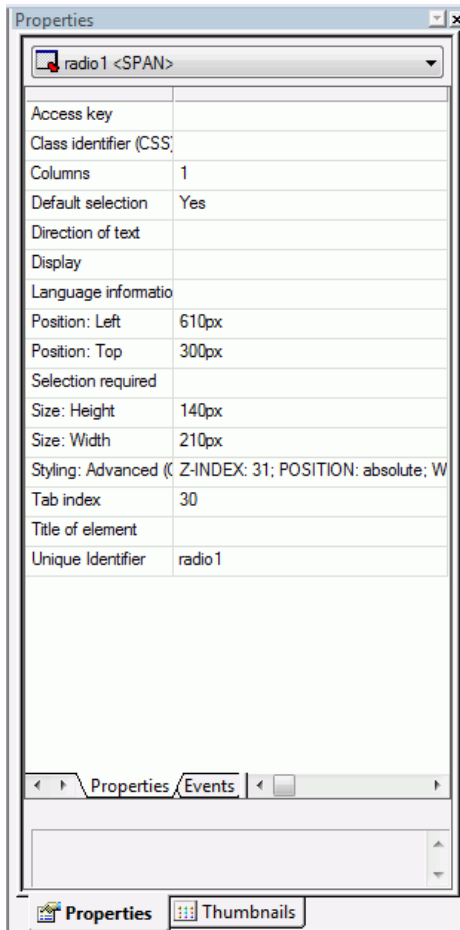


注意：ユーザ出力フォーマットについての詳細は、『InfoAssist ユーザガイド』を参照してください。

- [プロパティと設定] (Properties and settings) ダイアログボックスを閉じて、値リストを含むラジオボタンを作成します。
- ラジオボタンをパラメータにバインドします。ラジオボタンの中央を選択してクリックし、パラメータオブジェクトの中央にドラッグしてマウスボタンを離すと、バインドが完成します。

参照 プロパティウィンドウ - ラジオボタンプロパティ

ラジオボタンを選択すると、[プロパティ](Properties) ウィンドウの[プロパティ](Properties) タブに、ラジオボタンプロパティを制御するオプションが表示されます。



プロパティのいずれかをクリックすると、選択したプロパティの説明が [プロパティ] (Properties) ウィンドウの下部に表示されます。

ツリーコントロールの使用

手順/構文

既存のプロシジャを使用して HTML ページにツリーコントロールを追加するには
マルチソースツリーコントロールにデータを入力するには

静的値を使用して HTML ページにツリーコントロールを追加するには
新規パラメータダイアログボックスで新しいツリーコントロールを作成するには

参照

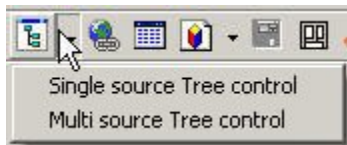
ツリーコントロールに連鎖を設定する際の注意

プロパティウィンドウ - ツリーコントロールプロパティ

HTML レポートでツリー構造を使用すると、非階層データソースのデータを表示することができます。

ツリーコントロールの動作は、パラメータの定義に統合されています。パラメータを単一値として定義し、このパラメータをツリーコントロールに割り当てた場合、コントロールは階層の各ノードに対してラジオボタンを使用します。パラメータが [複数選択 OR] (Multiselect OR) または [複数選択 AND] (Multiselect AND) として定義され、ツリーコントロールにバインドされている場合、各階層ノードのチェックボックスで、複数のノードを選択することができます。

下図は、HTML コンポーザのツリーコントロールコンポーネントを示しています。



手順 **既存のプロシジャを使用して HTML ページにツリーコントロールを追加するには**

既存のプロシジャを選択し、HTML ページ内のツリーコントロールに追加することができます。プロシジャを選択すると、そのプロシジャは親子階層に存在するフィールドを使用して次のように設定されます。

```
TABLE FILE file
SUM FST.dispfield
BY ParentUniqueField
BY UniqueField
BY datafield
ON TABLE PCHOLD FORMAT XML
END
```

説明

file

データソース名です。

dispfield

このフィールドの値がツリーコントロールに表示されます。

ParentUniqueField

親子階層の親を表すフィールドです (PROPERTY = PARENT_OF)。

UniqueField

階層メンバーの一意の ID を表すフィールドです (PROPERTY=UID)。

datafield

このフィールドの値がパラメータ値として渡されます。

プロシジャを設定した後、次の手順を実行します。

1. HTML コンポーザで、[コンポーネント] (Components) ツールバーからツリーコントロールを挿入します。

ヒント：[シングルソースツリーコントロール] (Single source Tree control) または [マルチソースツリーコントロール] (Multi source Tree control) を選択することができます。タイプを選択しない場合のデフォルト設定は、[シングルソースツリーコントロール] (Single source Tree control) です。

マウスポインタが十字カーソルに変わります。

2. 十字カーソルをドラッグしてツリーコントロールを作成し、必要なサイズに調整します。

レイアウト内にツリーコントロールが作成され、「treecontroln」という名前が付けられます。ここで、末尾の「n」には番号が割り当てられます。また、ツリーコントロールの [プロパティと設定] (Properties and settings) ダイアログボックスが表示されます。

3. 必要に応じて、[プロパティ] (Properties) ウィンドウの [プロパティ] (Properties) タブで、[展開] (Expanded) プロパティを選択することができます。
4. 必要に応じて、[プロパティ] (Properties) ウィンドウの [プロパティ] (Properties) タブで、[ハイパーリンク] (Hyperlink) プロパティを選択し、実行時にツリーノードをラジオボタンではなくハイパーリンクとして表示することができます。
5. [プロパティと設定] (Properties and settings) ダイアログボックスで、[データタイプ] (Data type) として [動的] (Dynamic) を選択します。
6. [外部プロシジャ] (External Procedure) を選択し、テキストボックス横の [...] (参照) ボタンをクリックします。

[ファイルを選択してください] (Get source file) ダイアログボックスが開きます。

7. プロシジャの 1 つを選択し、[開く] (Open) をクリックします。
プロシジャ名が外部プロシジャに追加されます。
8. [値フィールド] (Value field) 横の [参照] (...) ボタンをクリックし、階層からフィールドを選択します。
値フィールドは、値の取得元となるデータソースのフィールドです。
9. [表示フィールド] (Display field) 横の [参照] (...) ボタンをクリックし、階層からフィールドを選択します。
表示フィールドは、ツリーコントロールのパラメータ値を表すテキストです。
10. ページを保存して実行し、ツリーコントロールにマルチディメンションデータソースを表示します。

手順

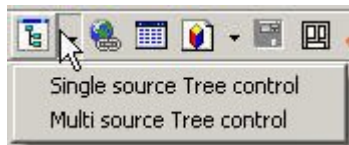
マルチソースツリーコントロールにデータを入力するには

ツリーコントロールを使用して、非階層データソースのツリー構造を表示することができます。ツリーコントロールのレイヤ数を識別して、ツリーコントロールの各レイヤに、独自のプロシジャでデータを入力することができます。レイヤ数を設定すると、ツリー構造が作成され、各レイヤがそれ自体のサブコントロールになり、無条件に連鎖が設定されません。

この手順では、ツリーコントロールにパラメータを追加し、レイヤ数のプロパティを設定する方法について説明します。

1. HTML コンポーザで、次のいずれかの方法でツリーコントロールを挿入します。

- [コンポーネント] (Components) ツールバーの [ツリーコントロール] (Tree control) ドロップダウンリストで、[マルチソースツリーコントロール] (Multi source Tree control) をクリックします。



または

- [挿入] (Insert) メニューから [コントロール] (Control)、[マルチソースツリーコントロール] (Multi source Tree control) を選択します。

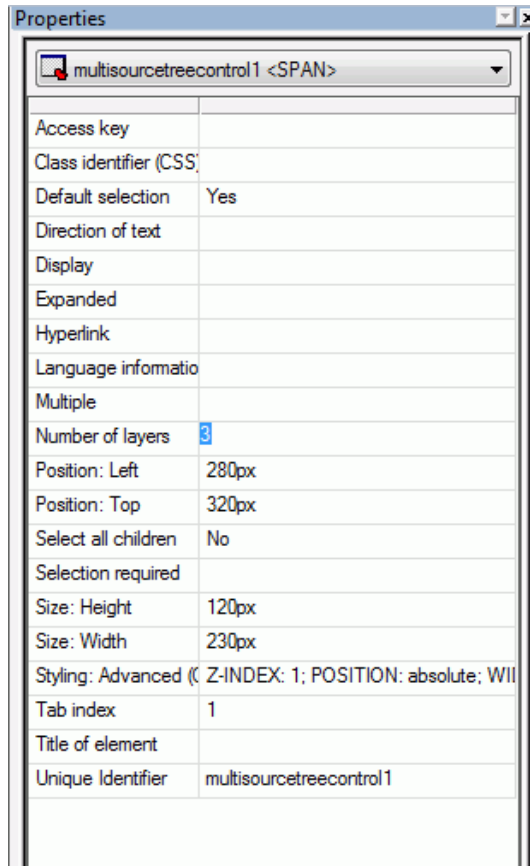
マウスポインタが十字カーソルに変わります。

2. 十字カーソルをドラッグしてツリーコントロールを作成し、必要なサイズに調整します。

レイアウト内にツリーコントロールが作成され、「treecontroln」という名前が付けられます。ここで、末尾の「n」には番号が割り当てられます。また、ツリーコントロールの [プロパティと設定] (Properties and settings) ダイアログボックスが表示されます。

3. [プロパティ] (Properties) ウィンドウの [プロパティ] (Properties) タブで、[レイヤ数] (Number of layers) に、ツリーコントロールのレイヤ数を入力し、Enter キーを押します。

これにより、入力するレイヤの数を指定することができます。下図は、レイヤが3つの [レイヤ数] (Number of layers) プロパティを示しています。



4. 必要に応じて、[プロパティ] (Properties) ウィンドウの [プロパティ] (Properties) タブで、[展開] (Expanded) プロパティを選択することができます。
5. 必要に応じて、[プロパティ] (Properties) ウィンドウの [プロパティ] (Properties) タブで、[ハイパーリンク] (Hyperlink) プロパティを選択し、実行時にツリーノードをラジオボタンではなくハイパーリンクとして表示することができます。
6. ツリーコントロールを選択し、[パラメータ] (Parameters) タブをクリックします。

ツリーコントロールオブジェクトに、指定した数のレイヤが表示されます。下図の例では、[パラメータ](Parameters) タブに表示されるレイヤが3つのツリーコントロールを示しています。

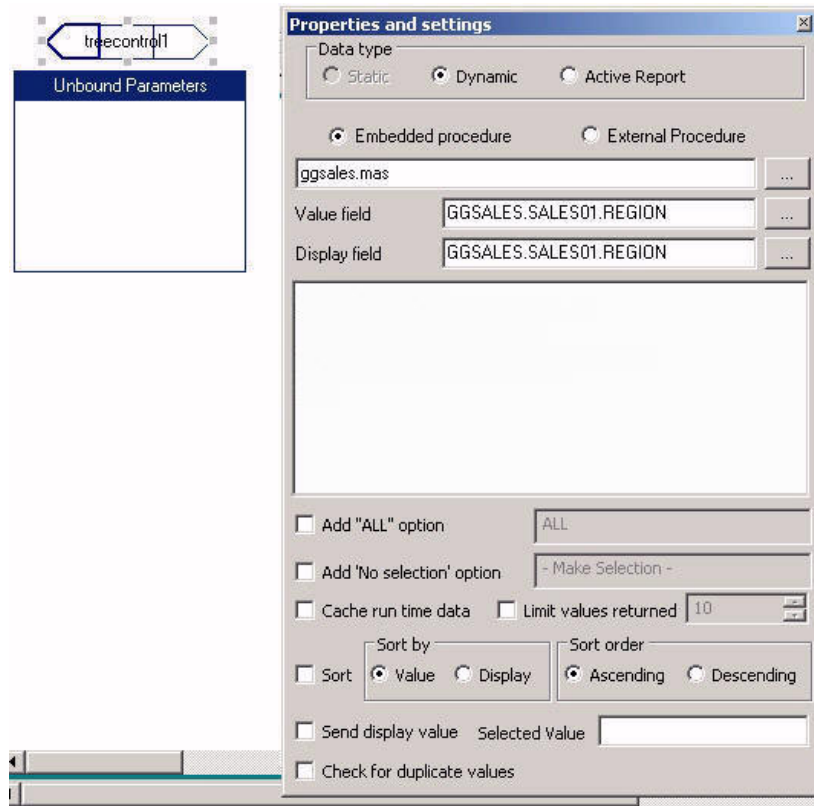


7. ツリーコントロールの各レイヤを選択し、データ入力のプロパティと設定を作成します。

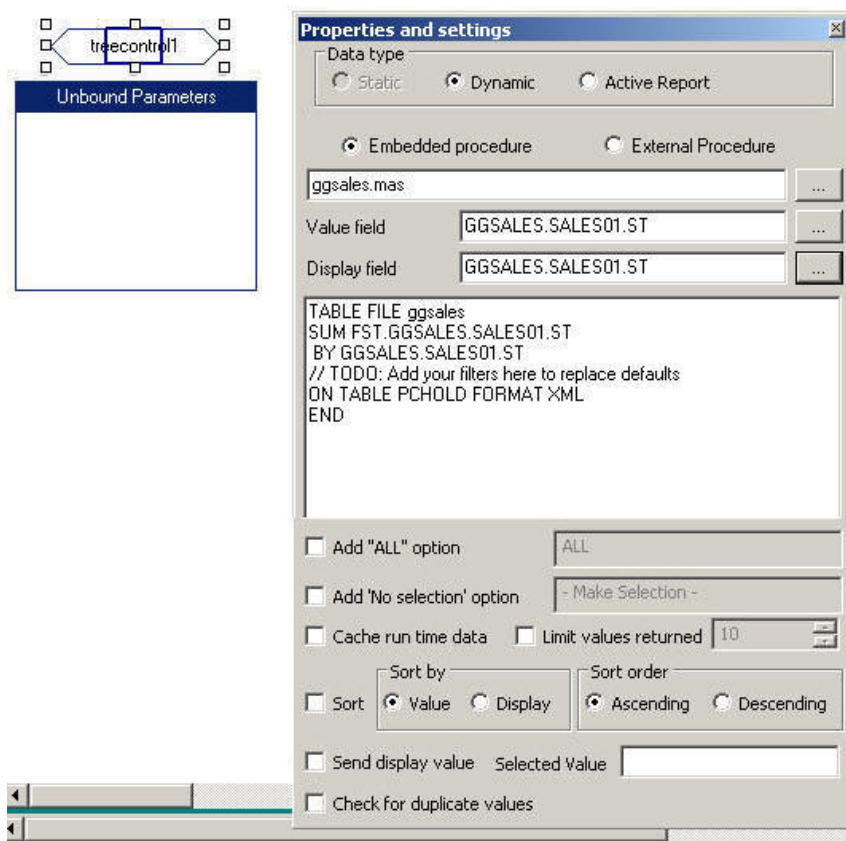
マルチソースツリーコントロールを作成する場合、静的データタイプは使用できません。ツリーコントロールで静的値を作成するには、シングルソースツリーコントロールを作成する必要があります。静的値リストの作成についての詳細は、209ページの「[静的値を使用して HTML ページにツリーコントロールを追加するには](#)」を参照してください。

たとえば、ツリーコントロールに3つのレイヤが存在する場合、次の手順を実行します。

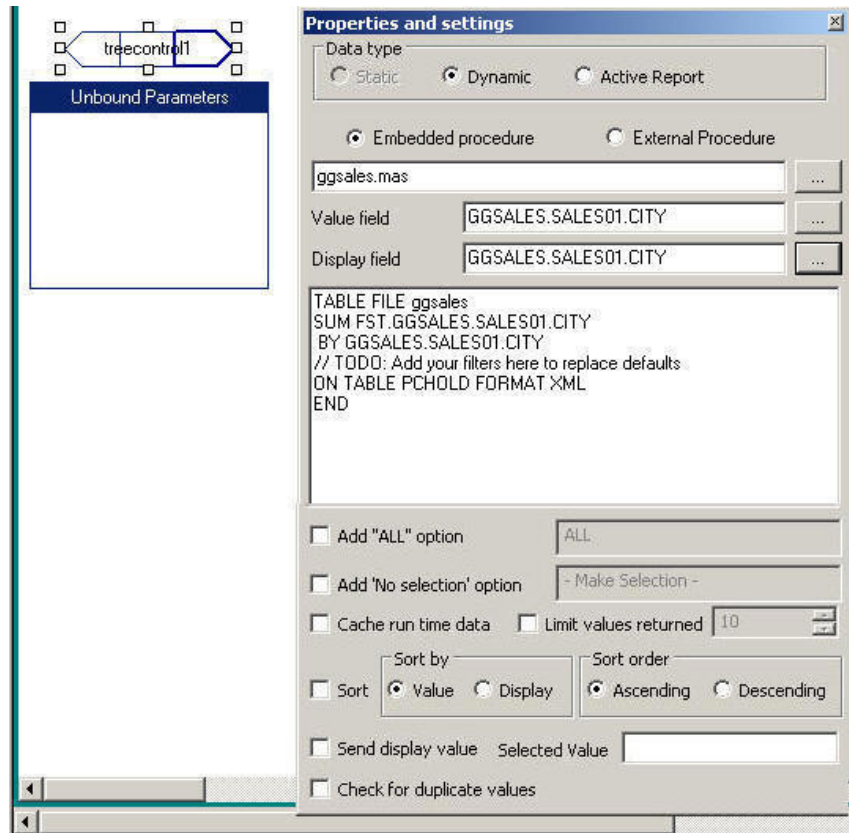
- ツリーコントロールで最初のレイヤを選択し、GGSALES データソースの REGION フィールドで、動的埋め込みプロシジャを作成します。



- ツリーコントロールで 2 つ目のレイヤを選択し、GGSales データソースの ST フィールドで、動的埋め込みプロシジャを作成します。

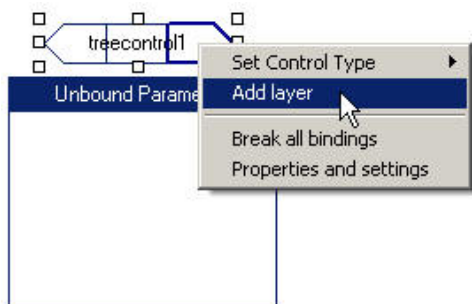


- ツリーコントロールで 3 つ目のレイヤを選択し、GGSales データソースの CITY フィールドで、動的埋め込みプロシジャを作成します。

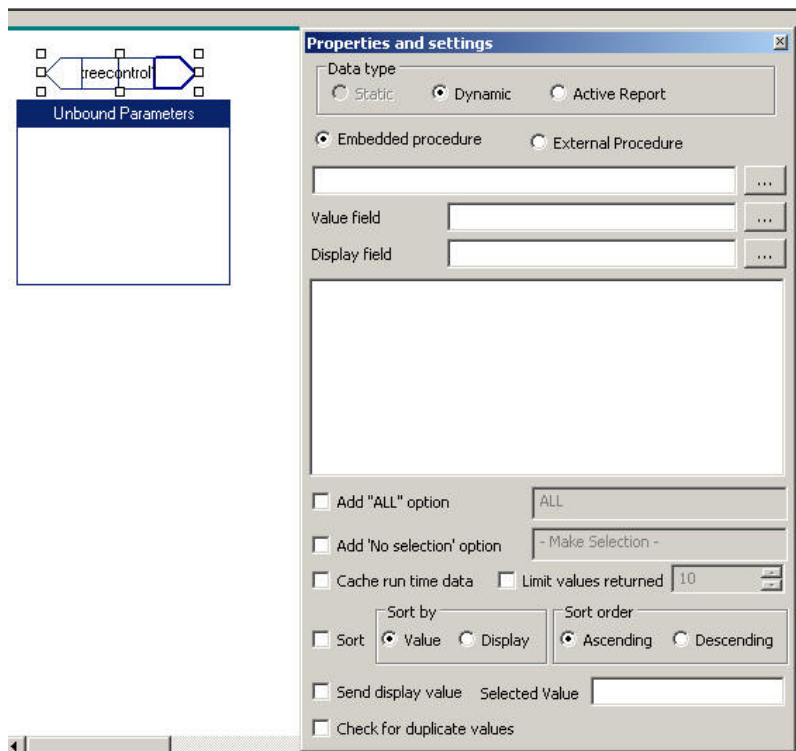


8. ツリーコントロールにレイヤを追加する場合は、[パラメータ] (Parameters) タブのツリーコントロールオブジェクトを右クリックし、[レイヤの追加] (Add layer) を選択します。

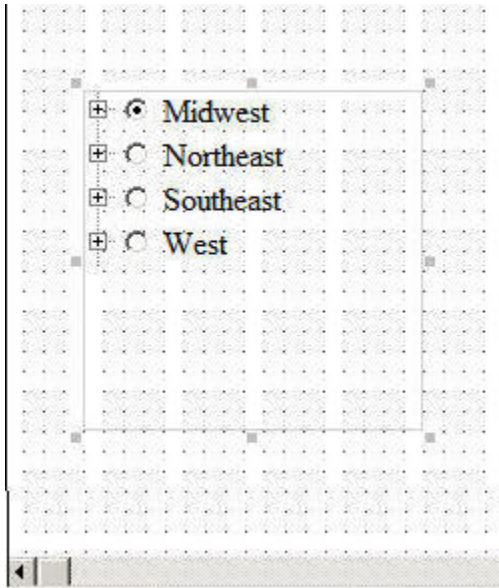
注意：[レイヤの追加] (Add layer) はマルチソースツリーコントロールオブジェクトにのみ表示されます。



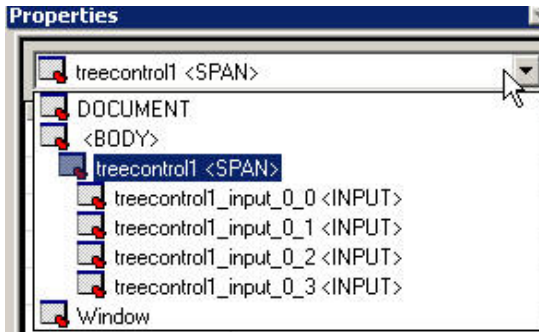
9. 追加したレイヤをクリックし、このレイヤのプロパティと設定を表示します。



- HTML コンポーザの [デザイン] (Design) タブに切り替え、データが入力されたツリーコントロールのプレビューを表示します。



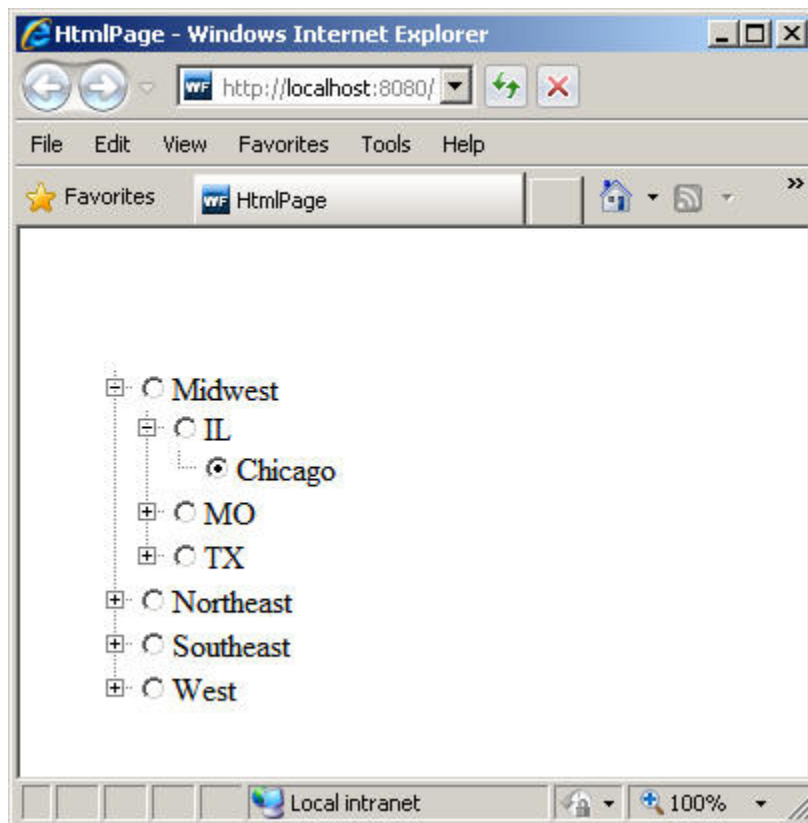
[プロパティ] (Properties) ウィンドウのこのツリーコントロールのドロップダウンリストには、各レイヤの入力値が表示されます。



- ページを保存して実行します。

注意：あるレイヤで下位ノードを選択し、別のレイヤで上位ノードを選択した場合、プロシジャの実行時には、最下位の選択のみが有効になります。たとえば、「COUNTRY」、「CAR」、「MODEL」という3つのレイヤが存在する場合について考察します。ENGLAND、TRIUMPH 下で、TR7 を選択します。FRANCE 下で、PEUGEOT を選択します。FRANCE ノードで MODEL を選択しなかったため、実行時には TR7 のレコードのみが取得されます。

ツリーコントロールの各レイヤに、値が入力されます。下図の例では、ツリーコントロールの GGSales データソースの階層に、REGION、ST、CITY のフィールドが表示されています。



注意：[選択項目を保存] (Save Selection) ボタンをクリックする前に、各レイヤで、値を選択する必要があります。

Layer1 に存在しないフィールドの値を選択した場合、前のレイヤでも、対応する選択値を指定する必要があります。

実行時には、最初と 2 つ目のレイヤのみがロードされます。Layer1 のフィールドのみの値を選択した場合、最初の 2 つのレイヤの値のみが選択されます。

手順

静的値を使用して HTML ページにツリーコントロールを追加するには

この手順では、ツリーコントロールに静的データタイプのパラメータを追加する方法について説明します。ここでは、ツリーコントロールのレイヤ数のプロパティは設定されていません。このため、静的値リストを追加することができます。

1. HTML コンポーザで、次のいずれかの方法でツリーコントロールを挿入します。

- [コンポーネント] (Components) ツールバーの [ツリーコントロール] (Tree control) ドロップダウンリストで、[シングルソースツリーコントロール] (Single source Tree control) をクリックします。

または

- [挿入] (Insert) メニューから [コントロール] (Control)、[シングルソースツリーコントロール] (Single source Tree control) を選択します。

マウスポインタが十字カーソルに変わります。

2. 十字カーソルをドラッグしてツリーコントロールを作成し、必要なサイズに調整します。

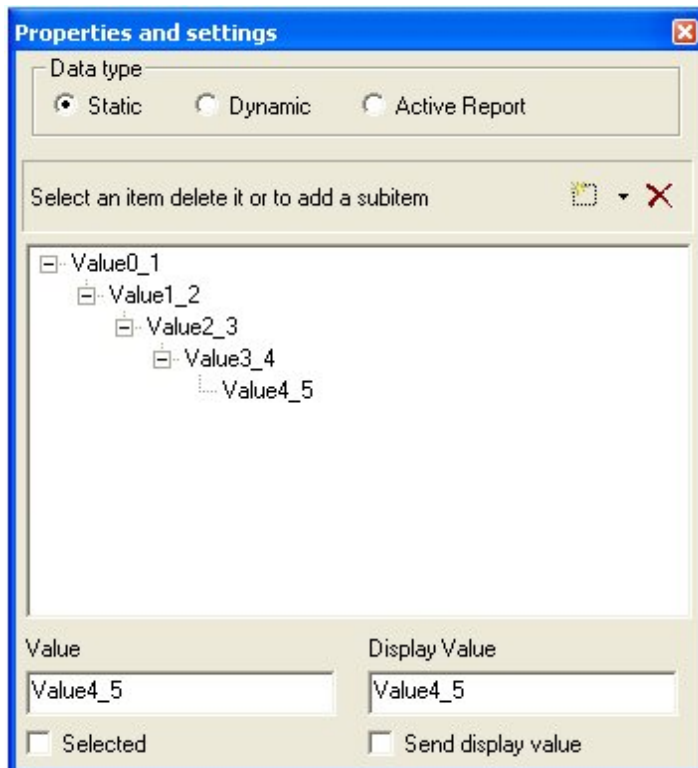
レイアウト内にツリーコントロールが作成され、「treecontroln」という名前が付けられます。ここで、末尾の「n」には番号が割り当てられます。また、ツリーコントロールの [プロパティと設定] (Properties and settings) ダイアログボックスが表示されます。

3. [プロパティと設定] (Properties and settings) ダイアログボックスで、[データタイプ] (Data type) として [静的] (Static) を選択します。

デフォルト設定では、[静的] (Static) が選択されています。項目の選択や削除、またはサブ項目の追加が可能です。

4. コントロールのパラメータ値を作成します。

- [値の追加] (add value) ボタンをクリックし、値のリストを追加します。値は、連続する階層構造として追加されます。最後に追加した値が、[値] (Values) および [表示値] (Display Value) テキストボックスに追加されます。

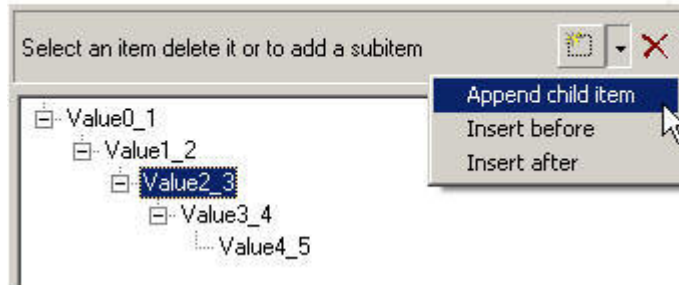


- 値を編集するには、[値] (Value) テキストボックスおよび [表示値] (Display Value) テキストボックスに、値を直接入力します。



- 静的値のドロップダウンリストから、[子項目の追加] (Append child item) を選択し、現在選択中のレベルに値を追加し、選択中の値の子として、新しい値を作成します。下図は、その例を示しています。値の番号に注意してください。

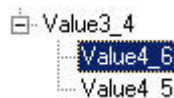
With Value2_3 selected, click *Append child item*.



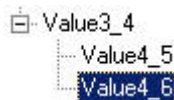
Value3_6 is added as the new child value of Value 2_3.



- 静的値のドロップダウンリストから、[前に挿入] (Insert before) を選択し、選択した値の前に値を挿入します。値の番号に注意してください。



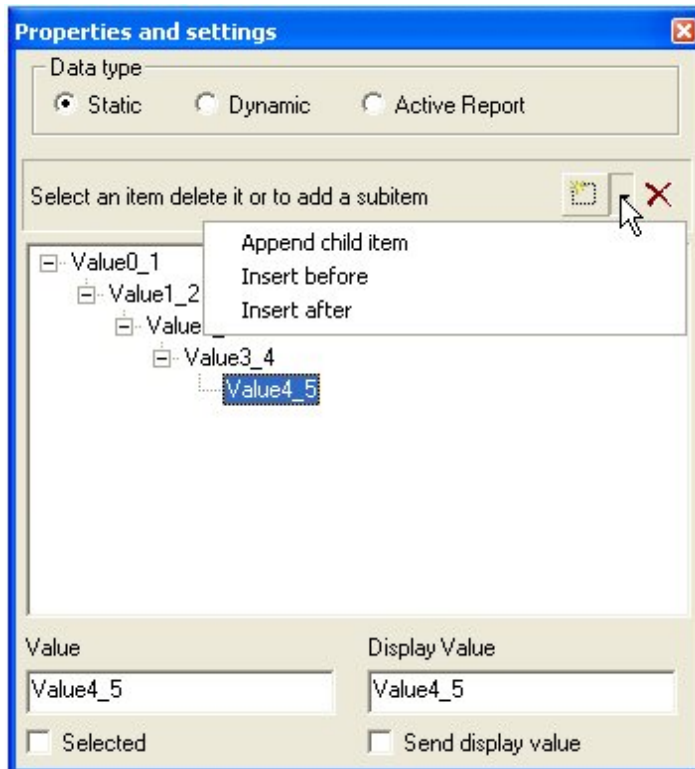
- 静的な値のドロップダウンリストから、[後に挿入] (Insert after) を選択し、選択した値の後に値を挿入します。値の番号に注意してください。



この手順を繰り返して、必要な値をすべてリストに追加します。

- 必要に応じて、[削除] (Delete) ボタンをクリックし、値を削除します。

下図は、ツリーコントロールの [プロパティと設定] (Properties and settings) ダイアログボックス、および [静的データタイプ] (Static data type) オプションを示しています。



5. [選択済み] (Selected) のチェックをオンにして、[値] (Values) テキストボックスのデフォルト値として入力された値を表示します。
6. パラメータとして、実際のデータではなく表示値を送信するには、[表示値を送信する] (Send display value) のチェックをオンにします。
7. ページを保存して実行し、ツリーコントロールに静的な値を入力します。

手順

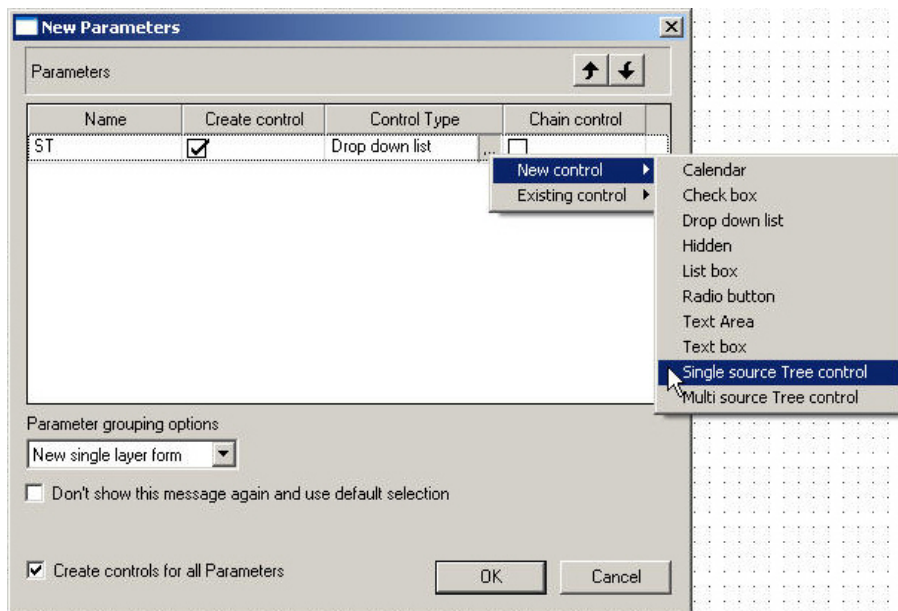
新規パラメータダイアログボックスで新しいツリーコントロールを作成するには

レポートアシスタントを使用してレポートに 1 つまたは複数の新しい変数パラメータを作成した場合、そのレポートを保存して HTML コンポーザに戻ると、[新規パラメータ] (New Parameters) ダイアログボックスが表示されます。HTML ページからの新しいシングルソースまたはマルチソースツリーコントロールを [新規パラメータ] (New Parameters) ダイアログボックスからのパラメータに割り当てることができます。

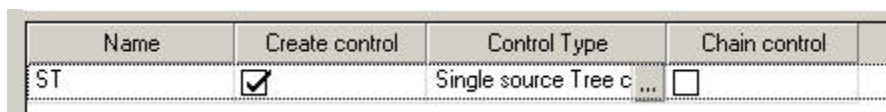
各パラメータに、[名前] (Name) フィールド、[コントロールタイプ] (Control Type) フィールド、[コントロールの作成] (Create control) チェックボックス、およびシングルソースまたはマルチソースツリーコントロールタイプを設定する [コントロールタイプ] (Control Type) オプションが表示されます。

1. HTML コンポーザの [デザイン] (Design) タブで、パラメータを含むレポートをインポートします。
パラメータを含むレポートをインポートする際に、[新規パラメータ] (New Parameters) ダイアログボックスが表示され、コントロールタイプを作成するよう要求されます。
2. [新規パラメータ] (New Parameters) ダイアログボックスから、新しいツリーコントロールを選択します。

下図は、パラメータの新しいコントロールタイプとして、シングルソースツリーコントロールを選択している ST パラメータを示しています。

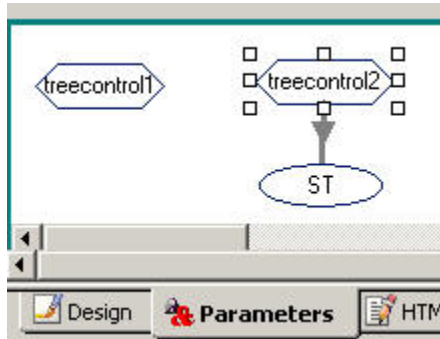


[コントロールタイプ](Control Type)列が更新され、選択したコントロールが表示されます。



3. [OK]をクリックし、[新規パラメータ](New Parameters)ダイアログボックスを閉じます。

レポートが追加され、関連付けられたパラメータがツリーコントロールにバインドされ、[パラメータ] (Parameters) タブに図示されます。それ以外のタイプの入力コントロール同様、プロパティと設定の変更、コントロールへの連鎖の設定、コントロールタイプの変更などが行えます。



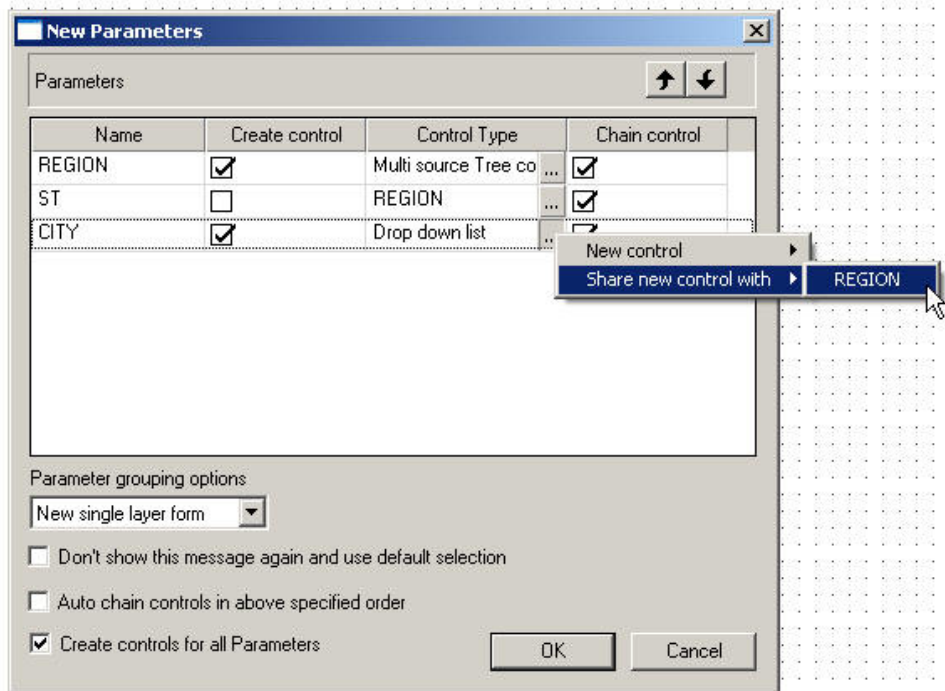
参照

ツリーコントロールに連鎖を設定する際の注意

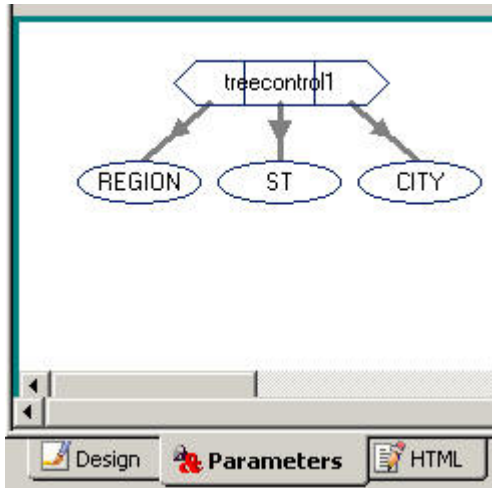
ツリーコントロールに連鎖を設定する際は、次のことに注意してください。コントロールの連鎖は、[新規パラメータ] (New Parameters) ダイアログボックスおよび [パラメータ] (Parameters) タブで、設定することができます。

- 連鎖内でマルチソースツリーコントロールがリンクになっている場合は、[新規パラメータ] ダイアログボックスを使用して、複数のパラメータで同一のマルチソースコントロールを共有することができます。

下図の例は、連鎖で最初のリンクである REGION が、マルチソースツリーコントロールの場合に表示される [新規パラメータ] (New Parameters) ダイアログボックスを示しています。このパラメータの [連鎖コントロール] (Chain control) 列のチェックをオンにした場合、残りパラメータ、ST および CITY では、REGION パラメータとツリーコントロールを共有することができます。パラメータがマルチソースツリーコントロールと共有される場合、[コントロールの作成] (Create control) 列は選択されません。

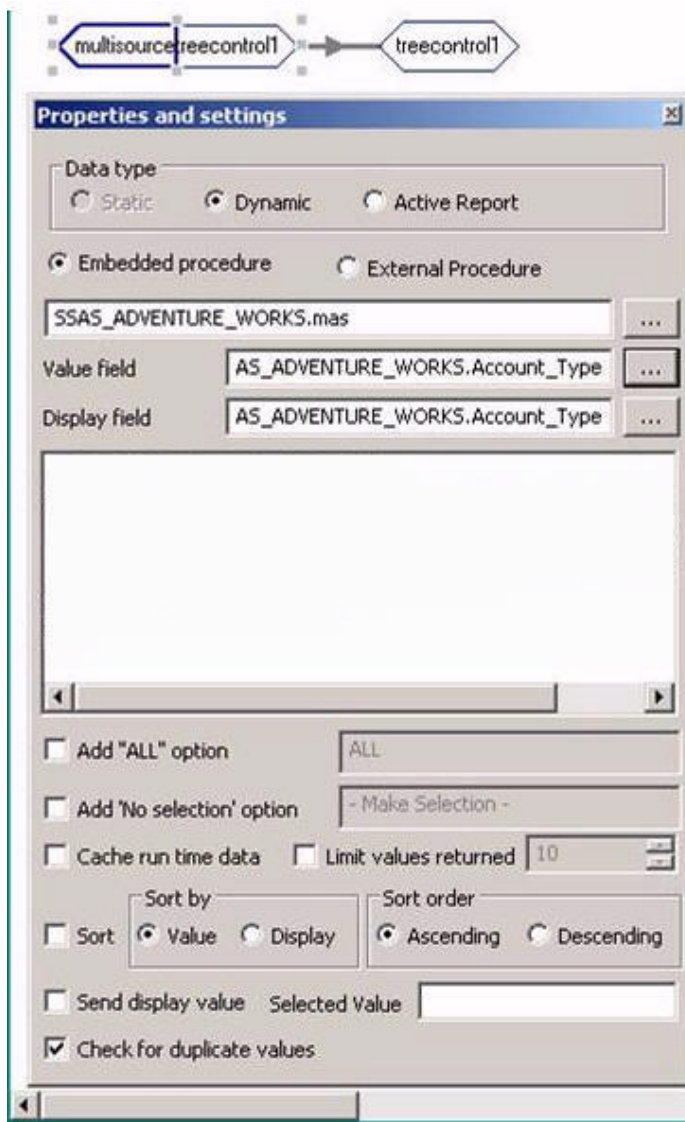


下図は、新しいコントロールをマルチソースツリーコントロールと共有した結果の[パラメータ](Parameters) タブを示しています。REGION、ST、CITY に連鎖が設定され、ツリーコントロールのマルチレイヤは次のように表示されます。



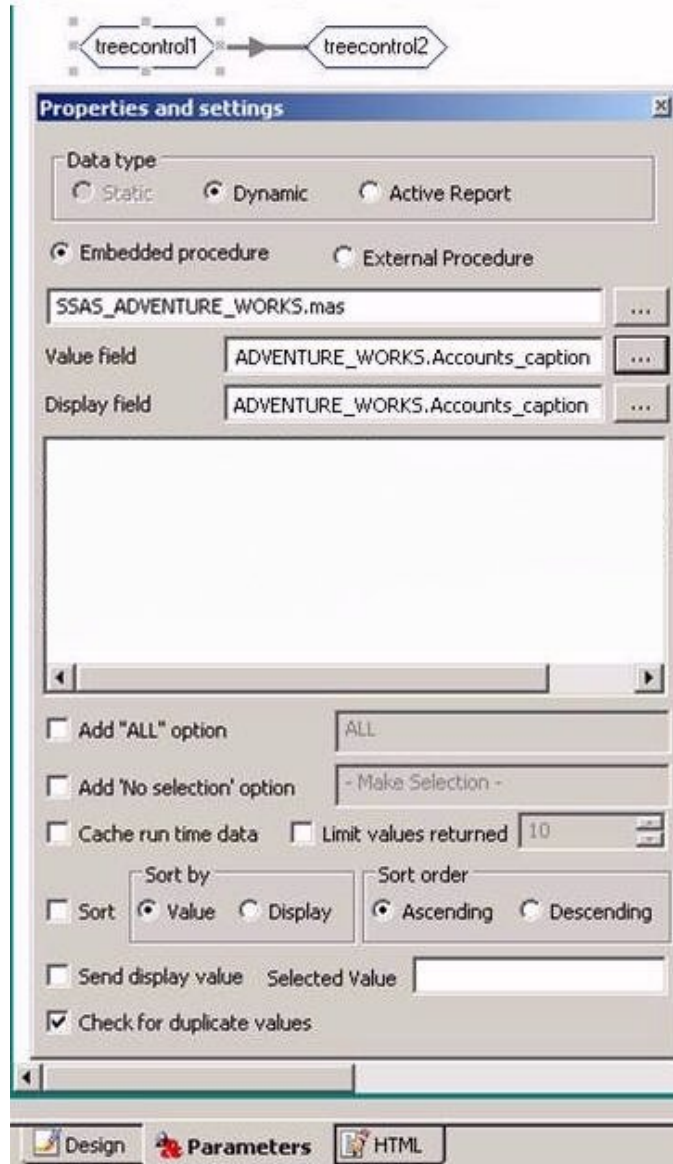
- マルチソースツリーコントロールからシングルソースツリーコントロールへの連鎖を設定することができます。

下図の例は、Account Properties が入力された、マルチソースツリーコントロールの最初のレイヤを示しています。2 つ目のレイヤには、Accounts が入力されています。マルチソースツリーからシングルソースツリーへの連鎖が設定され、このシングルソースツリーには、Account Properties の Account_Number が入力されています。



- シングルソースツリーコントロールから、別のシングルソースツリーコントロールへの連鎖を設定することができます。

下図は、データが入力されたシングルソースツリーコントロールの例を示しています。Treecontrol1 には Accounts Member Caption が、treecontrol2 には Account Type が入力されています。



- マルチソースツリーコントロールから、別のマルチソースツリーコントロールへの連鎖を設定することができます。

下図の例は、2つのマルチソースツリーコントロールを持つ [新規パラメータ] (New Parameters) ダイアログボックスを示しています。最初のツリーコントロールには、REGION、ST、CITYが格納されています。パラメータがマルチソースツリーコントロールと共有される場合、[コントロールの作成] (Create control) 列は選択されません。2つ目のツリーコントロールには、CATEGORYとPRODUCTが格納されています。すべてのパラメータで [連鎖コントロール] (Chain control) 列のチェックがオンになっているため、すべてのコントロールに連鎖が設定されます。

Name	Create control	Control Type	Chain control
REGION	<input checked="" type="checkbox"/>	Multi source Tree co ...	<input checked="" type="checkbox"/>
ST	<input type="checkbox"/>	REGION	<input checked="" type="checkbox"/>
CITY	<input type="checkbox"/>	REGION	<input checked="" type="checkbox"/>
CATEGORY	<input checked="" type="checkbox"/>	Multi source Tree co ...	<input checked="" type="checkbox"/>
PRODUCT	<input type="checkbox"/>	CATEGORY	<input checked="" type="checkbox"/>
Separator			

Parameter grouping options:
New single layer form

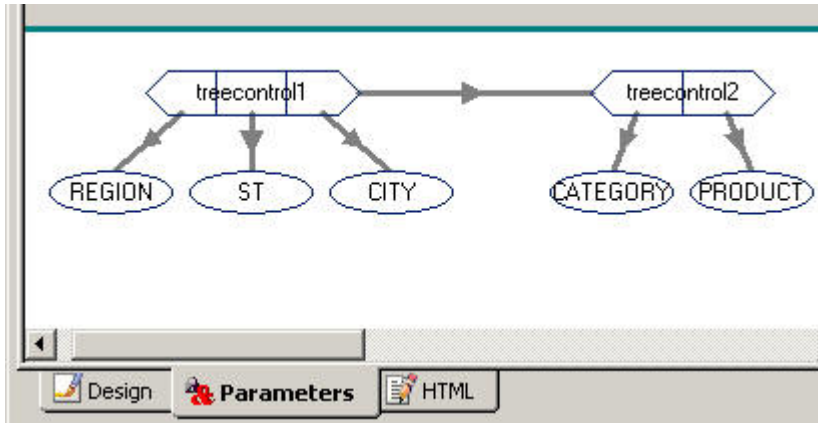
Don't show this message again and use default selection

Auto chain controls in above specified order

Create controls for all Parameters

OK Cancel

下図は、結果の [パラメータ] (Parameters) タブを示しています。最初のツリーコントロールである treecontrol1 は、REGION、ST、CITY の 3 つのレイヤを含むマルチソースツリーコントロールです。2 つ目のツリーコントロール treecontrol2 は、マルチソースツリーコントロールで、CATEGORY と PRODUCT の 2 つのレイヤが格納されています。treecontrol1 から treecontrol2 に連鎖が設定されています。



- ツリーコントロールには、ドロップダウンリストやリストボックスなど、それ以外のコントロールとの連鎖を設定することができます。

下図の例は、ドロップダウンリストとマルチソースツリーコントロールを持つ[新規パラメータ](New Parameters)ダイアログボックスを示しています。ドロップダウンリストには、CATEGORY パラメータが含まれています。マルチソースツリーコントロールには、REGION、ST、CITYのパラメータが格納されています。パラメータがマルチソースツリーコントロールと共有される場合、[コントロールの作成](Create control)列は選択されません。すべてのパラメータで[連鎖コントロール](Chain control)列のチェックがオンになっているため、すべてのコントロールに連鎖が設定されます。

Name	Create control	Control Type	Chain control
CATEGORY	<input checked="" type="checkbox"/>	Drop down list ...	<input checked="" type="checkbox"/>
REGION	<input checked="" type="checkbox"/>	Multi source Tree co ...	<input checked="" type="checkbox"/>
ST	<input type="checkbox"/>	REGION ...	<input checked="" type="checkbox"/>
CITY	<input type="checkbox"/>	REGION ...	<input checked="" type="checkbox"/>
Separator	<input type="checkbox"/>		

Parameter grouping options:
New single layer form

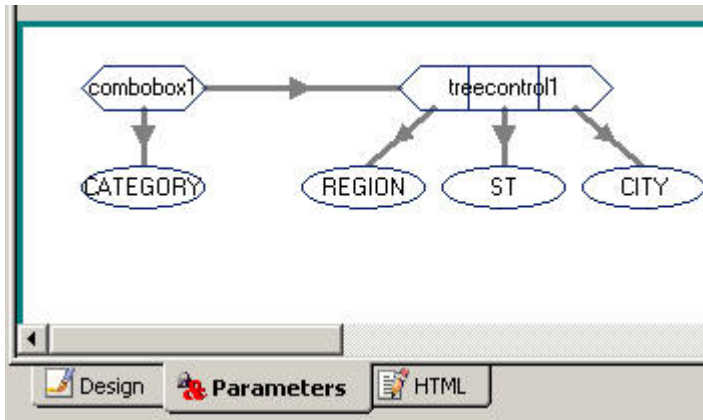
Don't show this message again and use default selection

Auto chain controls in above specified order

Create controls for all Parameters

OK Cancel

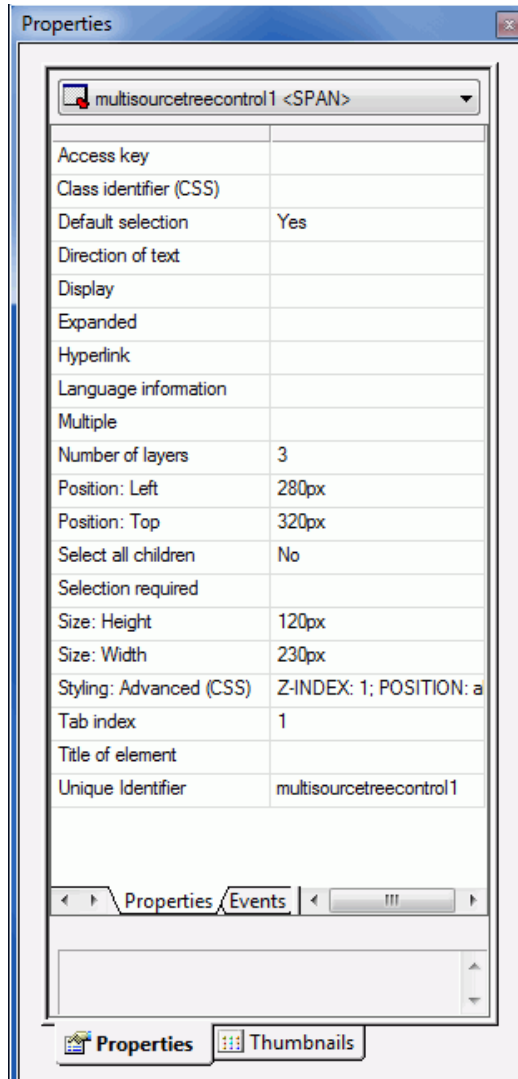
下図は、結果の [パラメータ] (Parameters) タブを示しています。ドロップダウンリストの combobox1 には、CATEGORY パラメータが格納されています。treecontrol1 はマルチソースツリーコントロールで、3つのレイヤ REGION、ST、CITY が格納されています。combobox1 から treecontrol1 に連鎖が設定されています。



- ❑ フィールド名のみで連鎖を設定することはできません。
- ❑ フィールド名でコントロールを動的に入力するには、SYSCOLUMN コールを使用する必要があります。

参照 プロパティウィンドウ-ツリーコントロールプロパティ

ツリーコントロールを選択すると、[プロパティ] (Properties) ウィンドウの [プロパティ] (Properties) タブにツリーコントロールのプロパティを制御するオプションが表示されます。



プロパティのいずれかをクリックすると、選択したプロパティの説明が [プロパティ] (Properties) ウィンドウの下部に表示されます。

すべての子を選択 (Select all children) [すべての子を選択] (Select all children) オプションを [はい] (Yes) に設定すると、親を選択するとすべての子を選択され、親を選択しない場合は子はどれも選択されません。デフォルト設定では、このオプションが選択されています。

注意：[レイヤ数] (Number of layers) プロパティは、単一ツリーソースの [プロパティ] (Properties) ウィンドウには表示されません。

スライダコントロールの使用

手順/構文

スライダコントロールを追加するには

デフォルトのスライダバーを変更するには

参照

プロパティウィンドウ - スライダコントロールプロパティ

レポートまたはグラフに数値範囲のスライダコントロールを追加することができます。これにより、スライダバーを使用して特定の範囲から値を選択することができます。

手順 **スライダコントロールを追加するには**

1. 次の操作のいずれかを実行し、スライダコントロールを追加します。
 - [コンポーネント] (Components) ツールバーの [スライダ] (Slider) ボタンをクリックします。次に、スライダの方向(縦または横)を選択し、スライダのタイプ(シングル、カラーバー、矢印、またはカラーバー、矢印、編集)を選択します。
または
 - [挿入] (Insert) メニューから、[コントロール] (Controls)、[スライダ] (Slider) を選択します。次に、スライダの方向(縦または横)を選択し、スライダのタイプ(シングル、カラーバー、矢印、またはカラーバー、矢印、編集)を選択します。

マウスポインタが十字カーソルに変わります。

2. 十字カーソルをドラッグしてスライダコントロールを作成し、必要なサイズに調整します。

スライダコントロールがレイアウトに作成され、「slidern」という名前が指定されます。「n」は番号を示します。

注意：スライダコントロールは、[Developer Studio オプション] (Developer Studio Options) ダイアログボックスの [HTML ページ] (HTML Page) タブから選択するデフォルトスライダコントロールタイプによって決定されます。詳細は、228 ページの「[デフォルトのスライダバーを変更するには](#)」を参照してください。

3. 必要に応じて、[プロパティ] (Properties) ウィンドウの [プロパティ] (Properties) タブに表示されたスライダコントロールのプロパティを変更します。詳細は、230 ページの「[プロパティウィンドウ - スライダコントロールプロパティ](#)」を参照してください。
4. 既存のパラメータをスライダコントロールにバインドします。

スライダコントロールをリストボックスにバインドすると、入力パラメータが作成されます。入力パラメータは、コントロールにバインドされたパラメータです。パラメータ値は、スライダコントロールに値を入力します。

- [パラメータ] (Parameters) タブをクリックします。

[プロパティと設定] (Properties and settings) ダイアログボックスが開きます。

- [プロパティと設定] (Properties and settings) ダイアログボックスを閉じます。

スライダコントロールにはパラメータ値を入力するため、このダイアログボックスは閉じます。

- パラメータ名オブジェクトの中央を選択してクリックし、スライダコントロールオブジェクトの中央にドラッグしてマウスボタンを離すと、バインドが完成します。
- スライダコントロールからパラメータのバインドを解除するには、矢印のやじり部分を選択して右クリックし、[バインディングの解除](Break binding)を選択します。

5. スライダコントロールをパラメータにバインドします。

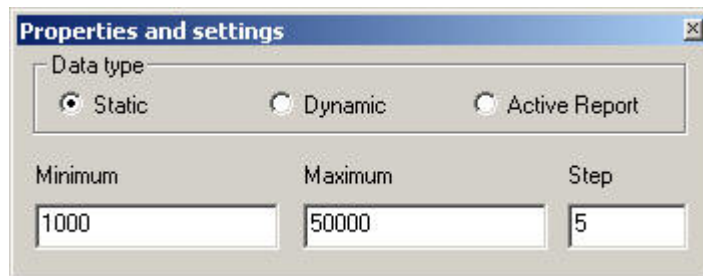
スライダコントロールをパラメータにバインドすると、パラメータに値の範囲が入力できます。

- [パラメータ] (Parameters) タブをクリックします。

[プロパティと設定] (Properties and settings) ダイアログボックスが開きます。

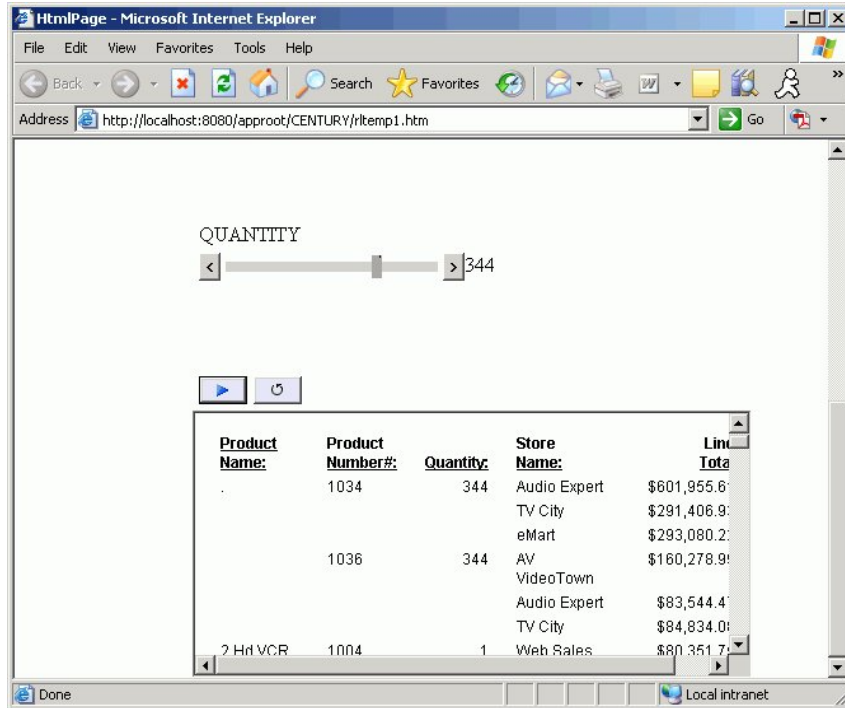
- スライダコントロールの値の範囲を作成します。静的、動的値の範囲リストを作成することができます。

注意：スライダコントロールの [静的] (Static) データタイプを作成する場合は、[最小] (Minimum)、[最大] (Maximum) 入力フィールドに最小値と最大値の幅を入力します。[ステップ] (Step) 入力フィールドは、スライダバーの数値の増分値を示します。



- [プロパティと設定] (Properties and settings) ダイアログボックスを閉じて、値の範囲を含むスライダコントロールを作成します。
- スライダコントロールをパラメータにバインドします。スライダコントロールの中央を選択してクリックし、連鎖内の次のパラメータオブジェクトの中央にドラッグしてマウスボタンを離すと、バインドが完成します。

- HTML ページを実行し、スライダバーを使用して値を増減します。終端の矢印を使用し、範囲内の数値を小さくすることもできます。出力は、スライダバーで選択した数値に基づいて生成されます。



手順

デフォルトのスライダバーを変更するには

デフォルトのスライダタイプは、[Developer Studio オプション] (Developer Studio Options) ダイアログボックスの [HTML ページ] (HTML Page) タブから設定されます。

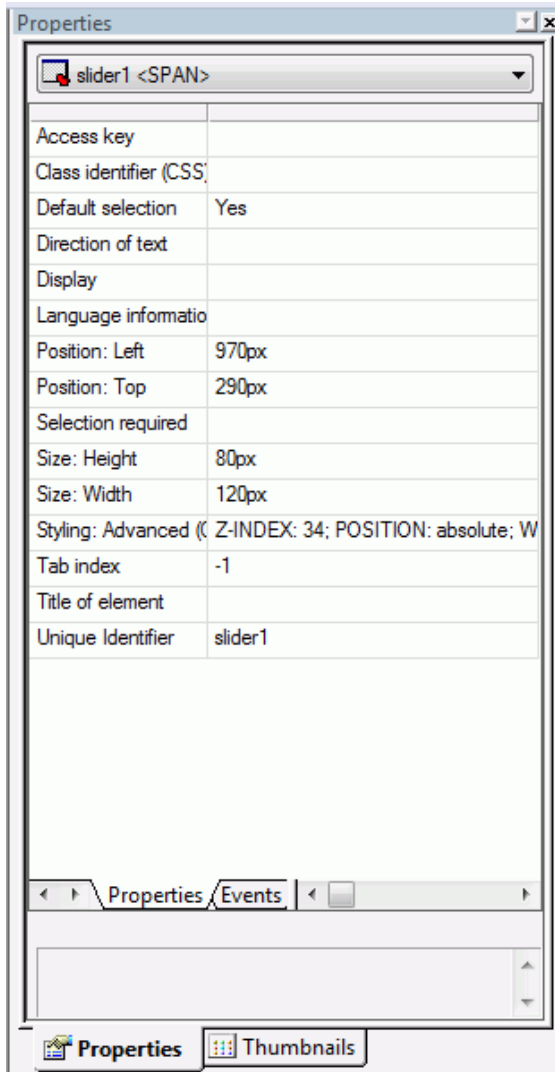
- [ツール] (Tool) メニューから [設定] (Settings) を選択し、デフォルトのスライダタイプを変更します。
[Developer Studio オプション] (Developer Studio Options) ダイアログボックスが開きます。
- [HTML ページ] (HTML Page) タブを選択します。
- [フォームの設定] (Form Settings) ボタンをクリックし、[フォームの設定] (Form Settings) ダイアログボックスを開きます。

4. ドロップダウンリストを使用し、デフォルトスライダコントロールタイプを変更します。次のいずれかを選択します。
 - 縦または横シンプルスライダバー (Horizontal/Vertical Slider Simple bar)。このスライダバーの終端に矢印は表示されません。
 - 縦または横カラーバー矢印スライダバー (Horizontal/Vertical Slider with Color Bar and Arrows)。スライダバーの両端に矢印が表示されます。
 - 縦または横カラーバー、矢印、編集スライダバー (Horizontal/Vertical Slider with Color Bar, Arrows, and Edit)。スライダバーの両端に矢印および編集ボックスが表示され、現在の値を表示します。

HTML コンポーザにスライダコントロールを挿入後、これらのオプションを変更しても、既存のスライダには変更は反映されません。このオプションは、新しいスライダコントロールにのみ適用されます。既存のスライダバータイプを変更するには、スライダオブジェクトを削除し、新しいスライダコントロールを挿入します。

参照 プロパティウィンドウ - スライダコントロールプロパティ

スライダコントロールを選択すると、[プロパティ](Properties) ウィンドウの [プロパティ] (Properties) タブに、スライダコントロールのプロパティが表示されます。



プロパティのいずれかをクリックすると、選択したプロパティの説明が [プロパティ] (Properties) ウィンドウの下部に表示されます。

動的カレンダーの追加

手順/構文

カレンダーのプロパティを設定するには

参照

プロパティウィンドウ - カレンダープロパティ

日付パラメータは、組み込みカレンダーコントロールを利用できます。組み込みカレンダーコントロールでは、ポップアップの動的カレンダーから日付、または日付範囲を選択できます。HTML コンポーザで追加または参照するプロシジャに日付パラメータを含めると、[プロパティ] (Properties) ウィンドウの [プロパティ] (Properties) タブで [カレンダー] (Calendar) コントロールタイプが使用可能になります。

[カレンダー] (Calendar) コントロールタイプを選択すると、レイアウトのデザイン表示にテキストボックスとカレンダーアイコンが表示されます。カレンダーに使用できるコントロールはこのテキストボックスのみです。カレンダーアイコンは、常にテキストボックスの右側に表示されます。カレンダーアイコンをテキストボックスから独立して表示させることはできません。

プログラムでカレンダーに日付を返す場合は、カレンダーのプロパティでサポートされるデータタイプのリストから日付を指定する Web Query 日付フォーマットである必要があります。

手順

カレンダーのプロパティを設定するには

1. 次の操作のいずれかを実行し、カレンダーを追加します。

- [コンポーネント] (Components) ツールバーの [カレンダー] (Calendar) ボタンをクリックします。

または

- [挿入] (Insert) メニューから、[コントロール] (Controls)、[カレンダー] (Calendar) を選択します。

マウスポインタが十字カーソルに変わります。

2. 十字カーソルをドラッグし、カレンダーを作成して、必要なサイズに調整します。

レイアウト内にカレンダーのプレースホルダが作成され、「calendar_n」という名前が付けられます。ここで、末尾の「n」には番号が割り当てられます。

3. 必要に応じて、[プロパティ] (Properties) ウィンドウの [カレンダー] タブに表示されたプロパティを変更します。詳細は、237 ページの「[プロパティウィンドウ-カレンダープロパティ](#)」を参照してください。
4. 既存のパラメータをカレンダーにバインドします。

パラメータをカレンダーにバインドすると、入力パラメータが作成されます。入力パラメータは、コントロールにバインドされたパラメータです。パラメータをカレンダーにバインドする場合、パラメータ値は、Web Query 日付フォーマットで指定します。[カレンダー]プロパティでサポートされるデータタイプのいずれかと完全に一致する FOCUS 日付フォーマットを指定する必要があります。パラメータ値により、カレンダーに日付値が入力されます。

- [パラメータ] (Parameters) タブをクリックします。
[プロパティと設定] (Properties and settings) ダイアログボックスが開きます。
- [プロパティと設定] (Properties and settings) ダイアログボックスを閉じます。
カレンダーにパラメータ値を入力しているため、このダイアログボックスは閉じます。
- パラメータ名オブジェクトの中央を選択してクリックし、カレンダーオブジェクトの中央にドラッグしてマウスボタンを離すと、バインドが完成します。
- カレンダーからパラメータのバインドを解除するには、矢印のやじり部分を選択して右クリックし、[バインディングの解除] (Break binding) を選択します。

5. カレンダーをパラメータにバインドします。

カレンダーをパラメータにバインドすると、パラメータに日付値が入力されます。

- [パラメータ] (Parameters) タブをクリックします。
[プロパティと設定] (Properties and settings) ダイアログボックスが開き、カレンダーの設定オプションが表示されます。カレンダーの設定オプションにより、実行時にユーザが選択可能な日付範囲を設定することができます。選択可能な日付はアクティブなハイパーリンク (下線付きの青色) として表示され、選択不可の日付は下線の付いていない黒色で表示されます。


注意：カレンダーの [プロパティと設定] (Properties and settings) ダイアログボックスには、選択したデータタイプに応じて、異なるオプションが表示されます。

- カレンダーの値を作成します。静的な値または動的な値を作成することができます。

[現在/開始日] (Current/Start date) のチェックをオンにすると、カレンダーコントロールで実行時の日付が使用されます。

カレンダーの日付範囲オプションには、次のオプションがあります。

- **静的 (Static)** このオプションを選択して、静的な日付範囲を設定します。開発者は、ポップアップカレンダーアイコンを使用するか、コントロールから月、日、年をクリックして開始日と終了日を選択します。

[静的] (Static) データ範囲選択時、[開始] (From)、[終了] (To) セクションに、ポップアップカレンダー  アイコンが表示されます。ポップアップカレンダーアイコンをクリックすると、デフォルト設定で現在の日付が選択され、赤で囲まれたポップアップカレンダーが表示されます。左右の矢印を使用してカレンダーをスクロールする場合、表示する月を変更しても、現在の日付と同一の日付が選択された状態になります。日付をクリックすると、その日付がコントロールに追加されます。日付を選択するには、カレンダーを左右にスクロールするか、月、日、年をテキストとして入力するか、ドロップダウンリストおよびスピンボックスから月、日、年を選択します。

- **相対的 (Relative)** このオプションを選択すると、現在の日付を基準として相対的な日数、月数、年数を設定することができます。実行時においての現在の日付が常に基準日 (開始日) になり、カレンダーには現在の日付を基準とした日数、月数、年数が表示されます。日付範囲をすべて過去の日付 (例、5 年前から現在の日付) にしたり、すべて未来の日付 (例、現在の日付から 5 年先) にしたりすることも可能です。これは、デフォルトの日付範囲として選択されています。
- **動的 (Dynamic)** このオプションを選択すると、日付範囲を返すプロシジャを指定することができます。開発者は、[...] (参照) ボタンをクリックして、現在のアプリケーションディレクトリ (データサーバ) または Managed Reporting のドメインに格納された既存のプロシジャを選択することができます。プロシジャは、XML フォーマットの同一のデータ行に、2 つの日付値を返す必要があります。日付値を返す場合は、月および日を 2 桁、年を 4 桁で表すフォーマット (例、MM/DD/YYYY) を使用する必要があります。
- [プロパティと設定] (Properties and settings) ダイアログボックスを閉じて、日付値の幅を含むカレンダーを作成します。
- カレンダーをパラメータにバインドします。カレンダーの中央を選択してクリックし、パラメータオブジェクトの中央にドラッグしてマウスボタンを離すと、バインドが完成します。

参照

日付フォーマット

カレンダーコントロールの [プロパティと設定] (Property and settings) ダイアログボックスで、[データソースの日付フォーマット] (Date format in data source) ドロップダウンリストからフォーマットのいずれかを選択し、日付フォーマットを変更することができます。

次の日付フォーマットが利用可能です。

日付表示	日付フォーマット
11/01/15	(YMD)
15/01/11	(DMY)
15/01/2011	(DMYY)
01/15/11	(MDY)
1/15/2011	(MDYY)
2011/01/15	(YYMD)
January, 2011	(trMYY)
January 15, 2011	(trMDYY)
Jan 15, 2011	(tMDYY)
Jan, 2011 2011	(tDMYY)
Wednesday, January 15, 2011	(wrMtrDYY)
11 Q1	(YQ)
11.01.15	(Y.M.D)
11-01	(Y-M)
11 01 15	(YBMBD)
2011/01	(YYM)
01/11	(MY)
2011 Q1	(YYQ)
Q1 2011	(QYY)
Q1 11	(QY)
01	(M)

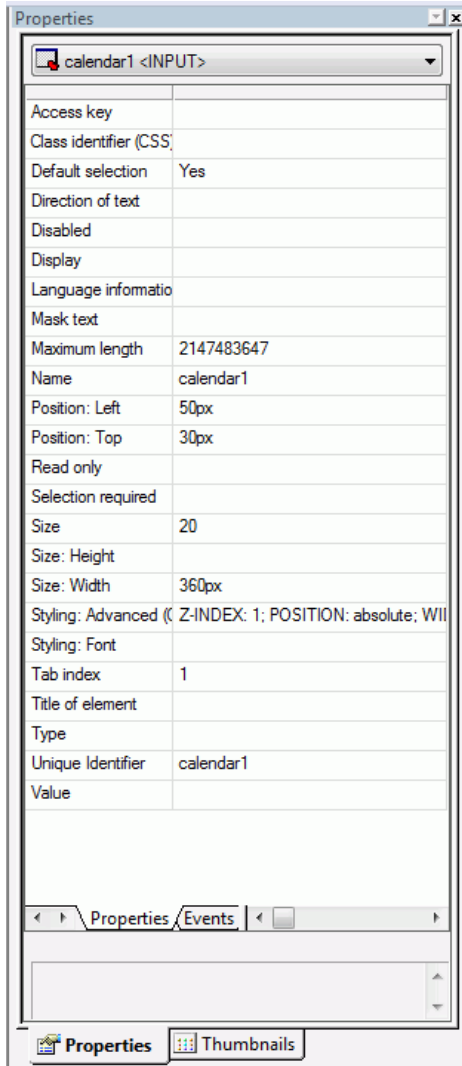
日付表示	日付フォーマット
Jan	(Mt)
January	(Mtr)
Q 1	(Q)
2011	(YY)
11	(Y)
15	(D)
1	(W)
Wednesday	(Wr)
Wed, Jan 15, 2011	(wMtDYY)
Wed, 15 Jan, 2011	(wtDMYY)
15 January 2011	(trDMYY)
Wednesday, 15 January, 2011	(wrtrDMYY)

注意：使用するフォーマットの日付構成要素が不足している場合 (MY フォーマットの日など)、不足している要素は、現在の日付から取得されます。

参照

プロパティウィンドウ - カレンダープロパティ

HTML コンポーザでカレンダーを選択すると、[プロパティ] (Properties) ウィンドウの [プロパティ] (Properties) タブに、そのカレンダーのプロパティが表示されます。



プロパティのいずれかをクリックすると、選択したプロパティの説明が [プロパティ] (Properties) ウィンドウの下部に表示されます。

非表示パラメータ値の使用

手順/構文

非表示のコントロールを追加するには

非表示の入力コントロールにより、フォームコントロールで、ユーザに表示されないパラメータ値を使用することができます。非表示の入力コントロールを使用する場合、その時点でパラメータに割り当てられている入力コントロールは表示されません。パラメータ値は [パラメータ] (Parameters) タブの [プロパティと設定] (Properties and settings) ダイアログボックスに入力するか、連鎖をから提供することができます。

手順

非表示のコントロールを追加するには

1. 次の操作のいずれかを実行し、非表示のコントロールを追加します。

- [コンポーネント] (Components) ツールバーの [非表示] (Hidden) ボタンをクリックします。

または

- [挿入] (Insert) メニューから、[コントロール] (Controls)、[非表示] (Hidden) を選択します。

マウスポインタが十字カーソルに変わります。

2. 十字カーソルをドラッグして非表示コントロールを作成し、必要なサイズに調整します。

レイアウト内に非表示コントロールが作成され、「inputhiddenn」という名前が付けられます。ここで、末尾の「n」には番号が割り当てられます。

非表示のコントロールは、レイアウトのデザインビューでは表示されません。[パラメータ] (Parameters) タブのコントロールオブジェクトとして利用することができます。

3. 必要に応じて、[プロパティ] (Properties) ウィンドウの [プロパティ] (Properties) タブに表示される非表示コントロールのプロパティを調整することによって、プロパティを変更します。

[プロパティ] (Properties) ドロップダウンリストで、「inputhiddenn」を選択します。[プロパティ] (Properties) ウィンドウには、レイアウト内に存在するオブジェクトの階層ドロップダウンリストが表示されます。

4. 非表示コントロールをパラメータにバインドします。

非表示のコントロールをパラメータにバインドすると、HTML ページの実行時に、パラメータ値が非表示になります。

- [パラメータ] (Parameters) タブをクリックします。

[プロパティと設定] (Properties and settings) ダイアログボックスが開きます。

- 非表示コントロールの値リストを作成します。静的または動的な値を作成することができます。

注意：値が表示されない場合は、リストが 1 つの値として評価されるようにする必要があります。

- [プロパティと設定] (Properties and settings) ダイアログボックスを閉じて、値リストを含む非表示コントロールを作成します。
- 非表示コントロールをパラメータにバインドします。非表示コントロールの中央を選択してクリックし、パラメータオブジェクトの中央にドラッグしてマウスボタンを離すと、バインドが完成します。

5. 既存の入力コントロールを非表示コントロールに変更するには、次の手順を実行します。

- [パラメータ] (Parameters) タブで、入力コントロールを選択します。

- 右クリックのコンテキストメニューで、[コントロールタイプの設定] (Set Control Type) から [非表示] (Hidden) を選択します。

この入力コントロールは、[デザイン] 表示のフォームコントロール、および HTML 上では、非表示になります。

6. 次の手順に従って、非表示コントロールをフォームコントロール上で表示することができます。

- [パラメータ] (Parameters) タブで、非表示コントロールオブジェクトを選択します。

- 右クリックのコンテキストメニューで、[コントロールタイプの設定] (Set Control Type) から、目的のコントロールフォームを選択します。

注意：コントロールタイプを変更する際は、[デザイン] (Design) タブのレイアウトで、入力コントロールの位置の変更が必要な場合があります。

追加パラメータ付きハイパーリンクアクションの作成

手順/構文

追加パラメータ付きハイパーリンクアクションを作成するには

[パラメータ] (Parameters) タブで新しいパラメータを手動で追加する際に、パラメータの変数をハイパーリンクのアクションに渡すことができます。追加パラメータは、新しいアクションを作成する際に、[ハイパーリンクのプロパティ] (Hyperlink Properties) ダイアログボックスに表示されます。

[ハイパーリンクのプロパティ] (Hyperlink Properties) ダイアログボックスは、ハイパーリンク、プッシュボタン、フレーム、イメージ、実行ボタンを作成する際に、使用可能です。

注意： Google Chrome を使用している場合は、ハイパーリンクのアクションがレポートを新しいウィンドウで実行するよう指定されていても、レポートは新しいウィンドウではなく、新しいタブで実行されます。

手順

追加パラメータ付きハイパーリンクアクションを作成するには

1. 次の手順を実行し、新しいパラメータを作成します。

- [パラメータ] (Parameters) タブの任意の位置を右クリックし、[パラメータの追加] (Add parameter) を選択します。

[プロパティと設定] (Properties and Settings) ダイアログボックスが開きます。

- [名前] (Name) テキストボックスにパラメータ名を入力するか、デフォルトの名前を使用します。

- 必要に応じて、[フォーマット] (Format) テキストボックスを使用して、A20 や D12.1 など、パラメータのフォーマットを定義します。

このフィールドを空白のままにしておくと、値フィールドには文字フォーマットが自動的に適用されます。

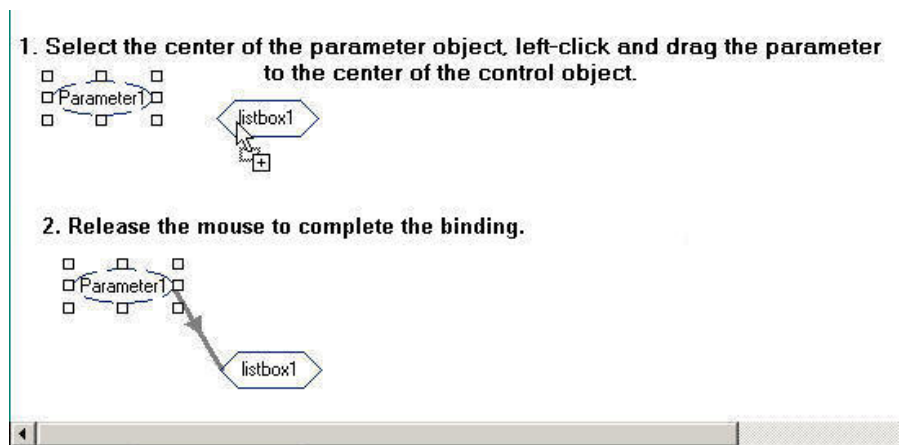
- パラメータ値の情報を入力します。オプションには、[単一選択] (Single select)、[複数選択 OR] (Multiselect OR)、[複数選択 AND] (Multiselect AND) があります。

これらは静的パラメータのオプションです。

- [プロパティと設定] (Properties and settings) ダイアログボックスを閉じて、未インドのパラメータを作成します。

- 新しいパラメータをコントロールにバインドするには、[デザイン](Design) 表示を選択し、入力コントロールを作成します。たとえば、リストボックスやドロップダウンリストなどを挿入します。
- [パラメータ] (Parameters) タブをクリックします。
コントロールの [プロパティと設定] (Properties and settings) ダイアログボックスが表示されます。
- [プロパティと設定] (Properties and settings) ダイアログボックスを閉じます。
- パラメータ名オブジェクトの中央を選択し、左クリックしてから、パラメータをコントロールオブジェクトの中央にドラッグします。
これにより、このオブジェクトは、コントロールに入力される入力パラメータになります。コントロールにパラメータを入力する場合、コントロールオブジェクトの中央を選択し、左クリックして、コントロールオブジェクトをパラメータオブジェクトの中央にドラッグします。
- マウスボタンを離し、バインドを完了します。

下図は、入力パラメータの例を示しています。



パラメータ値を変更するには、[パラメータ] (Parameters) タブでパラメータを右クリックし、[プロパティと設定] (Properties and settings) を選択します。

ヒント：標準ツールバーの [元に戻す] (Undo) ボタンと [やり直し] (Redo) ボタンを使用することもできます。「元に戻す」、「やり直し」では、[プロパティと設定] (Properties and setting) ダイアログボックス全体が、1つの操作として処理されます。

2. [デザイン] (Design) 表示で、入力コントロールの [ハイパーリンクのプロパティ] (Hyperlink Properties) ダイアログボックスを開いてハイパーリンクのプロパティを作成し、ハイパーリンクのアクションを作成します。たとえば、[プッシュボタン] (Push Button) オブジェクトを挿入して右クリックし、[ハイパーリンクの作成] (Create hyperlink) を選択します。

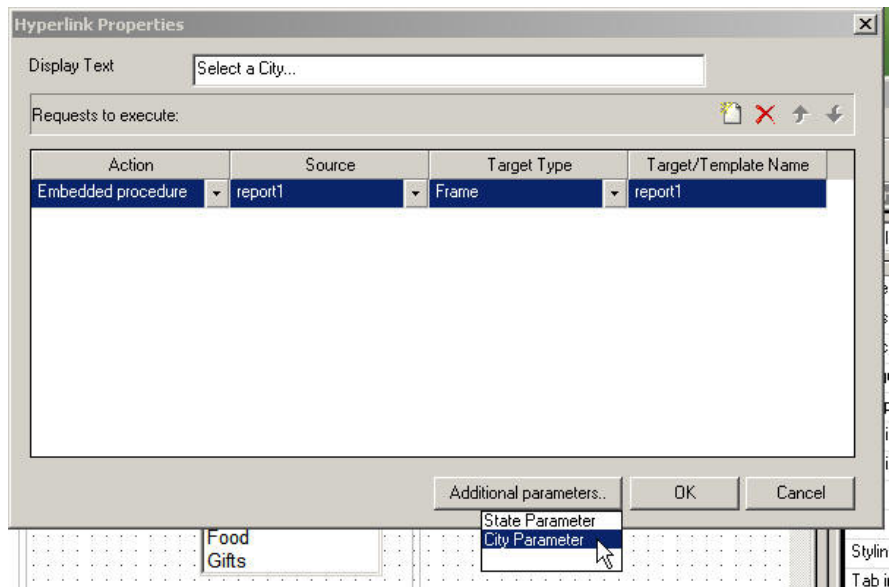
選択したオブジェクトの [ハイパーリンクのプロパティ] (Hyperlink Properties) ダイアログボックスが開きます。

3. [新規作成] (New) ボタンをクリックし、新しいアクションを作成します。

[ハイパーリンクのプロパティ] (Hyperlink Properties) ダイアログボックスに [追加パラメータ] (Additional parameters) ボタンが表示されます。

[追加パラメータ] (Additional parameters) ボタンは、パラメータを HTML コンポーザの [パラメータ] (Parameters) タブで作成した場合にのみ表示されます。

4. このハイパーリンクの [アクション] (Action)、[ソース] (Source)、[ターゲットのタイプ] (Target Type)、[ターゲットフレーム] (Target/Template Name) をそれぞれ選択します。
5. [追加パラメータ] (Additional parameters) ボタンをクリックし、このハイパーリンクに渡すパラメータ名を選択します (複数可)。



6. [OK] をクリックして [ハイパーリンクのプロパティ] (Hyperlink Properties) ダイアログボックスを閉じます。

ハイパーリンクのプロパティに別のページまたはプロパティとのリンクを設定している場合、HTML コンポーザは、他方のファイルで未解決のパラメータを解析して、[新規パラメータ] (New Parameters) ダイアログボックスを表示します。

レポートを実行してハイパーリンクをクリックすると、そのアクションによって、[ハイパーリンクのプロパティ] (Hyperlink Properties) ダイアログボックスの [ソース] (Source) 列で指定した項目にパラメータ値が渡されます。

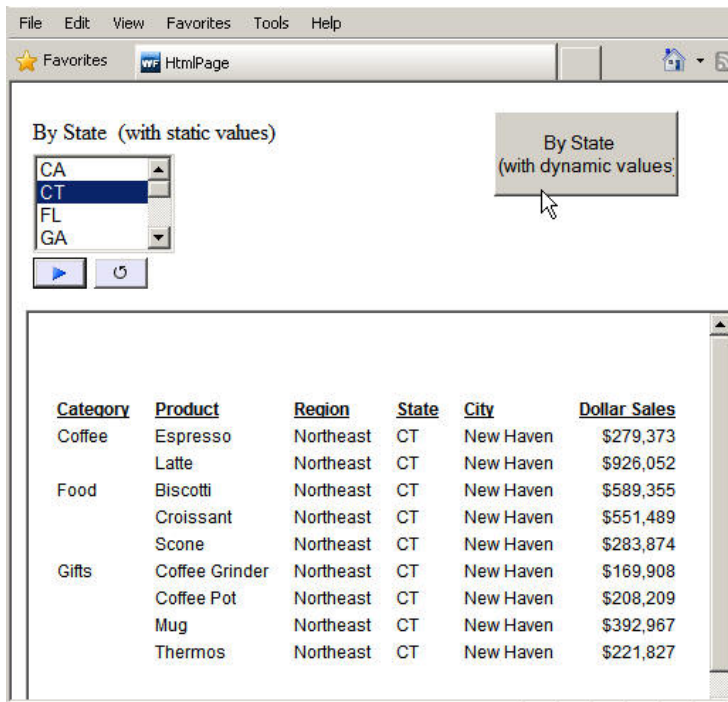
コントロールへのボタン、ハイパーリンク、イメージのバインド

手順/構文

コントロールに入力するボタンをバインドするには

HTML コンポーザの [パラメータ] (Parameters) タブでは、ボタン、ハイパーリンク、またはイメージをコントロールにバインドすることができます。これにより、実行時にボタン、ハイパーリンク、またはイメージをクリックして、コントロールに新しい値を動的に再入力することができます。

下図の例では、リストボックスコントロールに State フィールドの静的値カスタムリストが入力されたレポートを示しています。ボタンをクリックすると、リストボックスコントロールに州の値の動的リストが再入力され、州を選択してレポートを実行することができます。



手順

コントロールに入力するボタンをバインドするには

サンプルデータソース GGSales の情報を使用して、ST パラメータ付きレポートを作成します。リストボックスコントロールに、事前に作成した選択する州の値のカスタムリストを表示します。プッシュボタンをリストボックスにバインドし、実行時にデータソースの州の動的値リストを再入力して表示します。これにより、レポートを実行する前に、リストボックスの値を静的または動的に選択して入力することが可能になります。

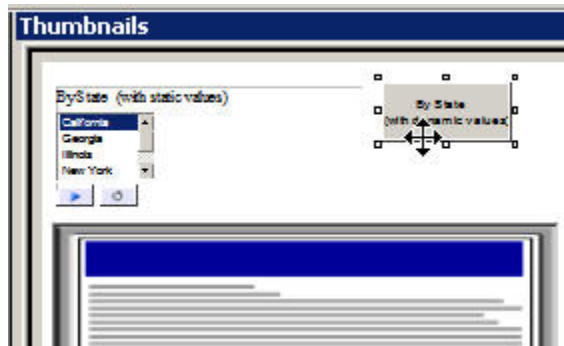
1. HTML ページを作成します。

ヒント：Gotham Grinds Sales データソース (ggsales.mas) は、Developer Workbench の [localhost] フォルダの [ibisamp] アプリケーションに格納されています。これらのソースファイルは、使用するプロジェクトディレクトリにコピーしておくことができます。

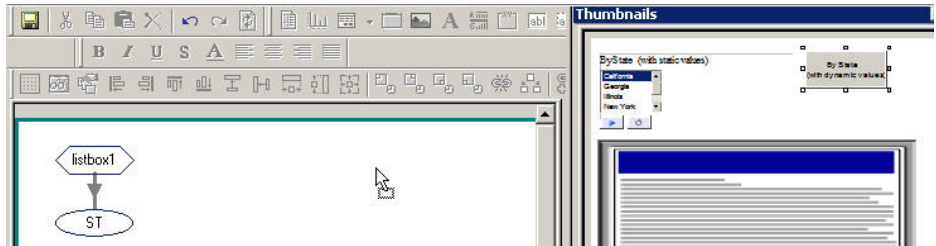
- a. Developer Workbench のエクスプローラで、プロジェクトから [HTML ファイル] (HTML Files) フォルダを選択します。
 - b. 右クリックして、[新規作成] (New)、[HTML ファイル] (HTML Files) を選択します。
[HTML ファイルの追加] (Add HTML File) ダイアログボックスが表示されます。
 - c. [ファイル名] (File name) テキストボックスで「binding_button」と入力し、[開く] (Open) をクリックします。
HTML コンポーザが開きます。
2. Gotham Grinds の売上レポートを作成します。
 - a. [挿入] (Insert) メニューから [新規レポート] (New Report) を選択します。
マウスポインタが十字カーソルに変わります。
 - b. 十字カーソルをドラッグしてレポートオブジェクトを作成し、必要なサイズに調整します。
 - c. レポートのプレースホルダをダブルクリックします。
[開く] (Open) ダイアログボックスが開きます。
 - d. ggsales マスターファイルを選択し、[開く] (Open) をクリックします。
レポートアシスタントが開き、ggsales データソースのフィールド名が表示されます。
 - e. [列] (Columns) ツールバーの [BY] をクリックし、[CATEGORY]、[PRODUCT]、[REGION]、[ST]、[CITY] フィールド名をダブルクリックします。
 - f. レポートアシスタントの作業領域で CITY フィールドの後ろにカーソルを置き、[列] (Columns) ツールバーの [SUM] を選択します。
 - g. [DOLLARS] をダブルクリックしてレポートに追加します。
 3. ST フィールドのパラメータを作成します。このパラメータ値は、HTML ページでレポートを最初に行う際に、静的リストから入力されます。
 - a. [列] (Columns) ツールバーの [選択条件] (Where/If) ボタンをクリックします。
[レポートオプション] (Report Options) ダイアログボックスの [出力] タブが開きます。

- b.** [アシスト] (Assist) をクリックします。
式ビルダが表示されます。
- c.** [条件式の作成] (Expression Builder) で[ST] のパラメータを作成します。
 - [フィールド] (Fields) リストの [ST] をダブルクリックします。
 - [論理関係] (Logical Relations) ドロップダウンリストから [等しい (EQ)] を選択します。
 - [比較タイプ] (Compare Type) ボックスから [パラメータ] (Parameter) を選択します。
 - [比較値] (Compare Value) ボックスをダブルクリックして、変数エディタを開きます。
 - この名前は、デフォルト設定の「ST」のままにします。
 - [プロンプト] (Prompt) テキストボックスに、「By State」と入力します。
 - [受容リスト] (Accept List) セクションは、デフォルトの [静的リスト] (Static list) のままにします。
 - [表示値] (Display Value) と [戻り値] (Return Value) のそれぞれに、次の州名を入力します。
California, CA, Georgia, GA, Illinois, IL, New York, NY.
 - [OK] をクリックして、変数エディタを閉じます。
- d.** [OK] をクリックし、式ビルダを閉じます。
- e.** [OK] をクリックして、[レポートオプション] (Report Options) ダイアログボックスを閉じます。
- f.** [ファイル] (File) メニューから [閉じる] (Close) を選択し、レポートアシスタントを閉じます。
- g.** 変更の保存を確認するメッセージが表示された場合は、[はい] (Yes) をクリックします。
HTML コンポーザに戻り、[新規パラメータ] (New Parameters) ダイアログボックスが表示されます。

- h. [コントロールタイプ] (Control Type) の [...] (参照) ボタンをクリックし、[リストボックス] (List box) を選択して [OK] をクリックすると、HTML ページに ST パラメータコントロールが自動的に追加されます。
4. ボタン、ハイパーリンク、またはイメージオブジェクトを挿入します。
- レイアウトにボタン、ハイパーリンク、またはイメージを追加すると、実行時にリクエストを実行することができます。この例では、プッシュボタンを挿入します。
- a. [挿入] (Insert) メニューから、[コントロール] (Controls)、[プッシュボタン] (Push Button) を選択します。
マウスポインタが十字カーソルに変わります。
 - b. 十字カーソルをドラッグしてプッシュボタンを作成し、必要なサイズに調整します。
レイアウト内にプッシュボタンが作成され、「buttonn」という名前が付けられます。ここで、末尾の「n」には番号が割り当てられます。
 - c. ボタン名を変更する場合は、[プロパティ] (Properties) ウィンドウの [値] (Value) プロパティテキストボックスに、テキストを入力します。
5. [パラメータ] (Parameters) タブで、ボタンオブジェクトを追加します。
- a. [パラメータ] (Parameters) タブをクリックします。
[プロパティと設定] (Properties and settings) ダイアログボックスが開き、HTML ページの有効なコントロールの凡例が表示されます。
 - b. [サムネール] (Thumbnails) タブで、ボタンオブジェクトを選択します。

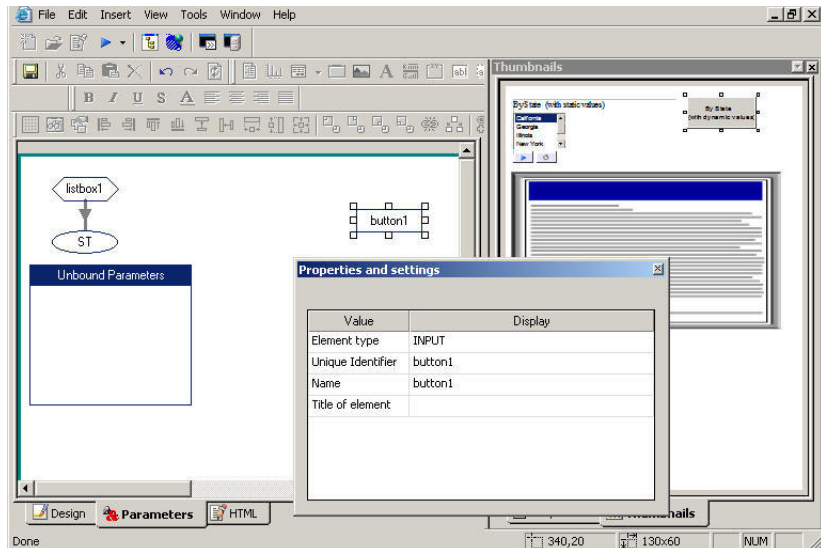


- c. オブジェクトを左クリックし、[パラメータ](Parameters) タブにドラッグします。



- d. マウスボタンを離し、オブジェクトを [パラメータ] (Parameters) タブに移動します。

ボタンオブジェクトが [パラメータ] (Parameters) タブに表示され、このボタンのプロパティと設定が表示されます。



6. ボタンオブジェクトをリストボックスコントロールにバインドします。

コントロールにボタン、ハイパーリンク、またはイメージをバインドすると、コントロールに別のコードを入力することができます。

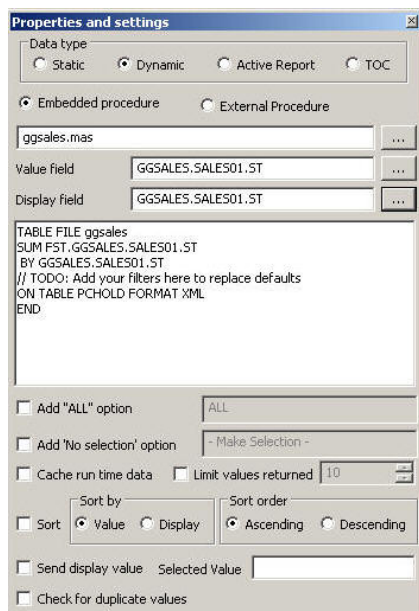
- a. ボタンオブジェクトの中央を選択してクリックし、リストボックスコントロールオブジェクトの中央にドラッグしてマウスボタンを離すと、バインドが完成します。線は、バインドの方向を示します。



7. バインドしたオブジェクトのプロパティと設定を作成します。
 - a. ボタンとリストボックスコントロールの間で、連鎖リンクの矢じり部分をクリックします。

[プロパティと設定] (Properties and settings) ダイアログボックスを使用して、実行時にリストボックスに値を入力する別のコードを作成することができます。
 - b. ST パラメータの動的値を作成します。
 - [データタイプ] (Data type) として [動的] (Dynamic) を選択します。
 - デフォルトの [埋め込みプロシジャ] (Embedded procedure) が選択されたままにします。
 - [...] (参照) ボタンをクリックし、[ファイルを選択してください] (Get source file) ダイアログボックスから [ggsales.mas] を選択します。
 - [値] フィールドの [...] (参照) ボタンをクリックし、[ST] をダブルクリックします。

下図のように、[値フィールド] (Value field) と [表示フィールド] (Display field) に、GGSALES データソースが追加されます。



- [プロパティと設定] (Properties and settings) ダイアログボックスを閉じます。

8. HTML ページを保存して実行します。

デフォルトの静的 ST フィールドを使用して、レポートを実行します。

The screenshot shows a web browser window titled "HtmlPage - Windows Internet Explorer". The address bar shows the URL "http://localhost:8080/approot/doc_test/rltemp1.htm". The browser interface includes a menu bar (File, Edit, View, Favorites, Tools, Help) and a Favorites bar. The main content area displays a report titled "By State (with static values)".

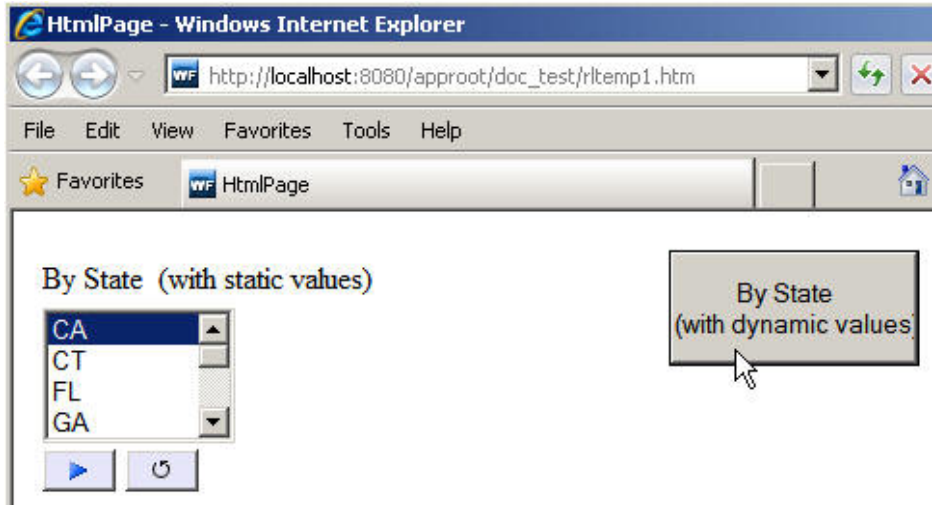
On the left side of the report, there is a dropdown menu with the following options: California, Georgia, Illinois, and New York. Below the dropdown are two buttons: a blue play button and a refresh button. A mouse cursor is pointing at the play button.

On the right side of the report, there is a button labeled "By State (with dynamic values)".

Below the controls is a table with the following data:

<u>Category</u>	<u>Product</u>	<u>Region</u>	<u>State</u>	<u>City</u>	<u>Dollar Sales</u>
Coffee	Espresso	West	CA	Los Angeles	\$606,079
	Latte	West	CA	Los Angeles	\$1,745,509
Food	Biscotti	West	CA	Los Angeles	\$535,548
	Croissant	West	CA	Los Angeles	\$1,624,541
	Scone	West	CA	Los Angeles	\$608,423
Gifts	Coffee Grinder	West	CA	San Francisco	\$401,680
	Coffee Pot	West	CA	Los Angeles	\$400,130
	Mug	West	CA	San Francisco	\$761,325
	Thermos	West	CA	San Francisco	\$372,728

9. プッシュボタンをクリックし、リストボックスに GGSales データソースの動的 ST 値を再入力します。ST 値がどのように変化するか注目してください。



10. リストボックスから ST 値を選択し、レポートを実行します。

ヒント：リストボックスにデフォルトの ST 値を再入力するには、[リフレッシュ] (Refresh) ボタンをクリックします。

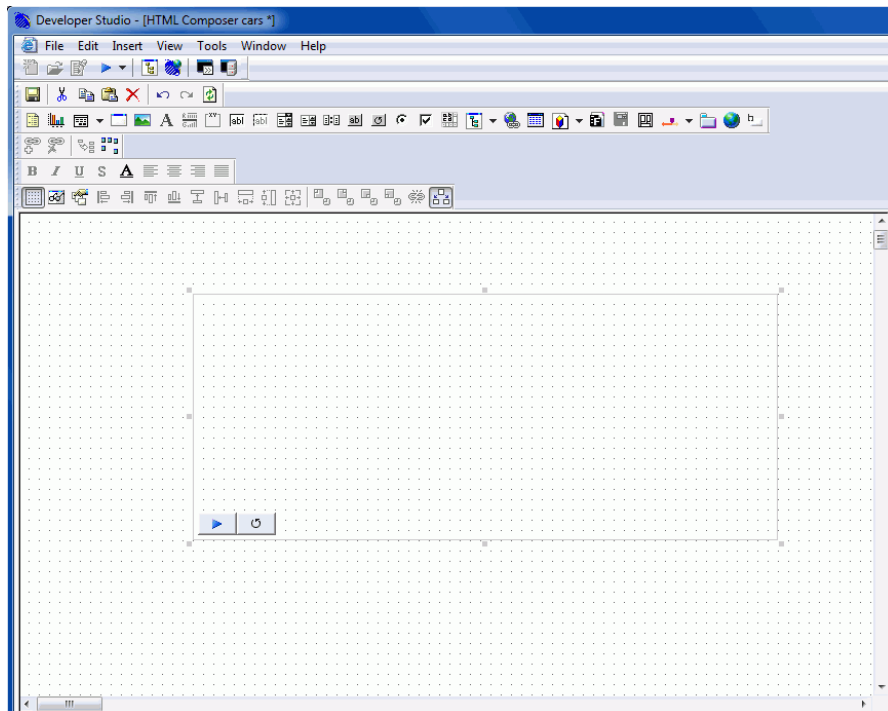
手順

選択値に基づいて別のコントロールを入力するには

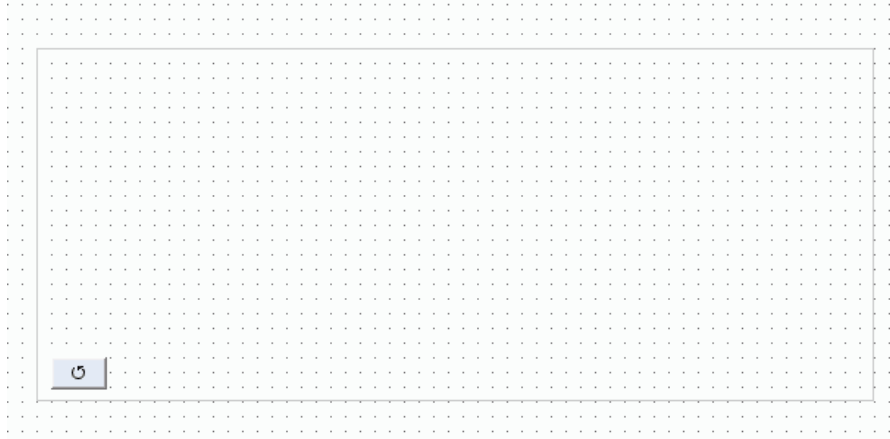
この手順では、複数のリストボックスを作成し、すべてのパラメータをそれらのリストボックスにバインドします。これら 4 つのパラメータの適切な組み合わせを選択すると、関連する情報が、5 つ目のリストボックスコントロールに入力されます。

1. CAR マスターファイルを使用して、「countrycars.fex」という名前のプロシジャを作成します。
2. このプロシジャで、次の手順を実行します。
 - a. COUNTRY フィールドを 2 つ挿入し、「SUM FST.COUNTRY BY COUNTRY」にします。
これにより、COUNTRY の値が個別に取得され、ソートされます。
 - b. CAR と &Parameter1、MODEL と &Parameter2、DEALER_COST と &Parameter3、RETAIL_COST と &Parameter4 を比較する選択テストを作成します。

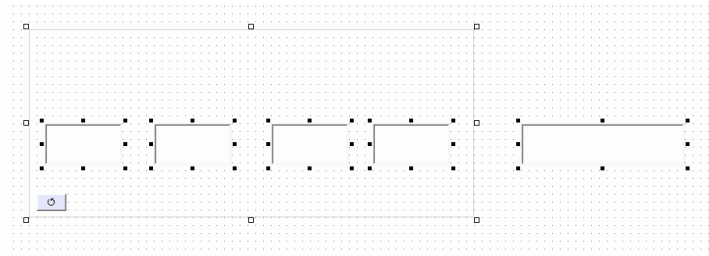
- c. このプロシジャの出力フォーマットを XML に設定します。
3. プロシジャを保存して閉じます。
4. 「cars.htm」という名前の新しい HTML ファイルを作成します。
5. 下図のように、HTML ファイルに新しいシングルレイヤフォームを作成します。



6. 下図のように、[フォームの実行] (Submit Form) ボタンを削除します。

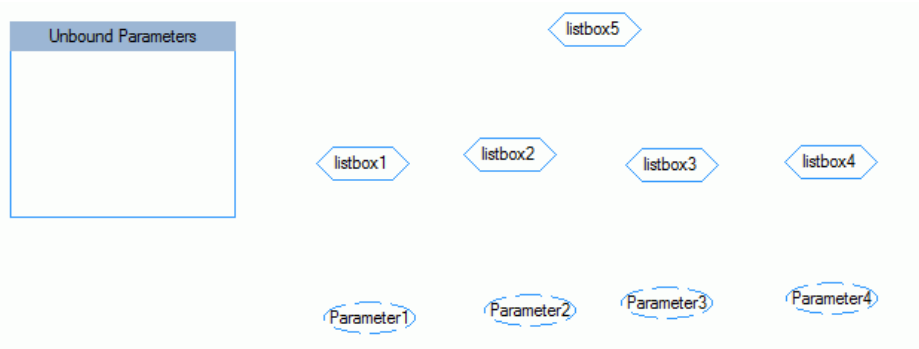


7. 下図のように、リストボックスをフォームの内側に 4 つ、フォームの外側に 1 つ作成します。

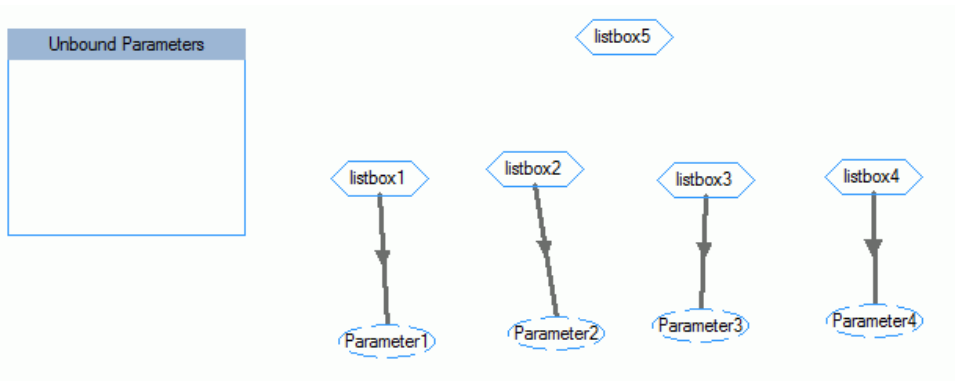


8. [プロパティと設定] (Properties and Settings) ダイアログボックスで、[選択 (必須)] (Selection Required) を [はい] (Yes) に変更します。
9. 各リストボックスにラベルを挿入します。フォーム内側の 4 つには、「Parameter1」、「Parameter2」、「Parameter3」、「Parameter4」という名前を付けます。外側のリストボックスには、「Result」という名前を付けます。
10. [HTML コンポーザ] (HTML Composer) ウィンドウ下部の [パラメータ] (Parameters) タブを選択します。

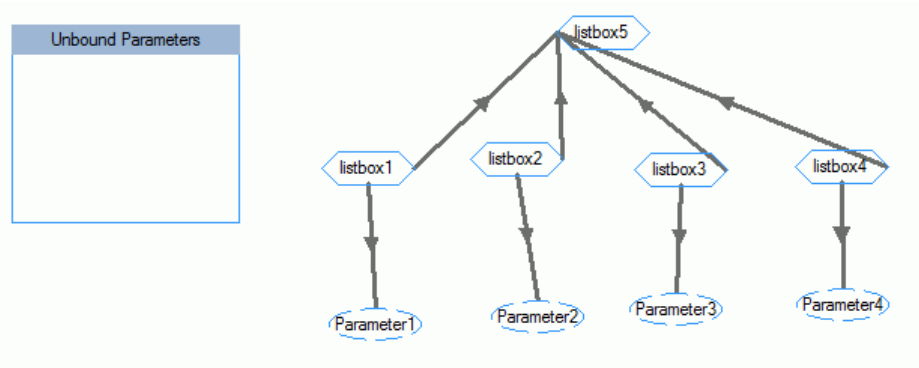
- 11** 下図のように、ファイルに 4 つのパラメータを追加します。



- 12** 下図のように、listbox1 と Parameter1、listbox2 と Parameter2、listbox3 と Parameter3、listbox4 と Parameter4 をそれぞれバインドします。



- 13** 下図のように、listbox1、listbox2、listbox3、listbox4 と listbox5 をバインドします。



- 14.** listbox1、listbox2、listbox3、listbox4 のパラメータを編集します。
 - a.** 4つのリストボックスすべての [データタイプ] (Data type) のオプションとして、[動的] (Dynamic) を選択します。
 - b.** 4つのリストボックスすべての [埋め込みプロシジャ] (Embedded procedure) を選択します。
 - c.** 4つすべてのリストボックスで、プロシジャの [...] (参照) ボタンをクリックし、[car.mas] を選択します。
 - d.** listbox1 の [値フィールド] (Value field) を [CAR]、listbox2 の [値フィールド] (Value field) を [MODEL]、listbox3 の [値フィールド] (Value field) を [DEALER_COST]、listbox4 の [値フィールド] (Value field) を [RETAIL_COST] に設定します。

- 15.** listbox5 のプロパティを編集します。
 - a.** [データタイプ] (Data type) のオプションとして、[動的] (Dynamic) を選択します。
 - b.** [外部プロシジャ] (External Procedure) を選択します。
 - c.** プロシジャの [...] (参照) ボタンをクリックし、[countrycars.fex] を選択します。
 - d.** まだ設定されていない場合は、listbox5 の [値フィールド] (Value field) を [COUNTRY] に設定します。

- 16.** listbox1、listbox2、listbox3、listbox4 と listbox5 のバインドのプロパティを編集します。
 - a.** [データタイプ] (Data type) のオプションとして、[動的] (Dynamic) を選択します。
 - b.** [外部プロシジャ] (External Procedure) を選択します。
 - c.** 4つすべてのバインドで、プロシジャの [...] (参照) ボタンをクリックし、[countrycars.fex] を選択します。

プロシジャを選択する際に、[値フィールド] (Value field) および [表示フィールド] (Display field) に [COUNTRY] フィールドが割り当てられます。
 - d.** [パラメータの解決] (Resolves Parameter) をリストボックスで適切なパラメータに変更します。

たとえば、listbox1 は Parameter1 にバインドされています。そのため、[パラメータの解決] (Resolves Parameter) フィールドとして [Parameter1] を選択します。

- 17.** レポートを保存して実行します。

新しい Web ブラウザウィンドウが開き、4つの入力済みリストボックス、および1つのブランクのリストボックスが表示されます。

- 18.** Parameter1 から、[ALFA ROMEO] を選択します。Parameter2 から、[2000 4 DOOR BERLINA] を選択します。Parameter3 から、[4,915] を選択します。さらに、Parameter4 から [5,925] を選択します。

下図のように、Listbox5 には、「ITALY」という値が入力されています。

The screenshot shows a web form with four dropdown menus labeled Parameter1, Parameter2, Parameter3, and Parameter4, and a result box labeled Result. A push button is located below the dropdown menus.

Parameter1	Parameter2	Parameter3	Parameter4	Result
ALFA ROMEO	2000 4 DOOR	4,915	5,925	ITALY

注意：結果を表示するには、値の適切な組み合わせを選択する必要があります。Parameter4 から [5,610] を選択した場合、結果は表示されません。

外部レポートへのパラメータ値の入力

手順/構文

プッシュボタンを使用して外部レポートにパラメータ値を入力するには
 イメージを使用して外部レポートにパラメータ値を入力するには
 ハイパーリンクを使用して外部レポートにパラメータ値を入力するには
 URL を使用してレポートにパラメータ値を提供するには
 ページからページにパラメータを渡すには

外部レポートにパラメータを入力する方法は、アシスタントで作成したレポートにパラメータを適用する方法と同一です。HTML ページには、共通する一連のパラメータに関連付けられた複数のレポートを含めることもできます。プッシュボタン、ハイパーリンク、イメージなどの起動機能を持つコントロールは、異なるパラメータを含む外部レポートに関連付けることができます。HTML ページ内で、外部レポートのパラメータを直接更新してフレームまたはウィンドウに適用することもできます。

パラメータ値を外部レポートに提供するには、外部レポートへのハイパーリンクを作成し、そのハイパーリンクに起動機能を関連付ける必要があります。プッシュボタン、ハイパーリンク、イメージなどの起動機能を外部レポートに関連付けると、レポートレイアウトにパラメータが設定されます。

手順 **プッシュボタンを使用して外部レポートにパラメータ値を入力するには**

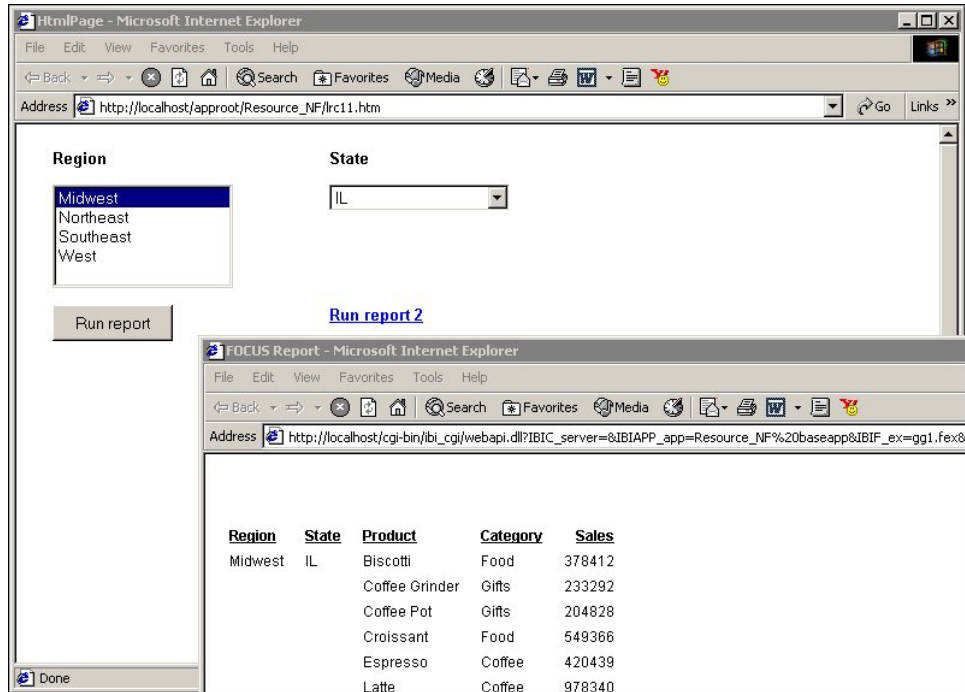
この手順では、外部レポートを実行し、ウィンドウに出力を送信するプッシュボタンを作成します。

1. [挿入] (Insert) メニューから、[コントロール] (Controls)、[プッシュボタン] (Push Button) を選択します。

マウスポインタが十字カーソルに変わります。

2. 十字カーソルをドラッグしてプッシュボタンを作成し、必要なサイズに調整します。
3. ボタンを右クリックして [ハイパーリンクの作成] (Create hyperlink) を選択します。
[ハイパーリンクのプロパティ] (Hyperlink Properties) ダイアログボックスが開きます。
4. ハイパーリンクとして表示するテキストを [表示するテキスト] (Display Text) フィールドに入力します。
5. ハイパーリンクのクリック操作で外部レポートを実行するように設定するには、[新規作成] (New) ボタンをクリックし、[アクション] (Action) ドロップダウンリストから [外部プロシジャ] (External procedure) を選択します。
6. [ソース] (Source) テキストボックスに外部レポートのプロシジャ名を入力するか、[...] (参照) ボタンをクリックしてプロシジャを選択します。
7. 必要に応じて、[ターゲットのタイプ] (Target Type) ドロップダウンリストから [ウィンドウ] (Window) または [フレーム] (Frame) を選択して特定の出力先を指定します。
8. [ターゲットフレーム] (Target/Template Name) で、ターゲットフレームまたはターゲットウィンドウの名前を指定します。
9. [OK] をクリックします。
レポートのパラメータが自動的にレイアウト内のオブジェクトに追加され、[パラメータ] (Parameters) タブに表示されます。
10. [ファイル] (File) メニューから [実行] (Run) を選択します。
11. プッシュボタンをクリックして外部レポートを表示します。

このレポートは、プッシュボタンの[ハイパーリンクのプロパティ](Hyperlink Properties)ダイアログボックスで指定したとおり、新しいウィンドウに表示されます。



手順

イメージを使用して外部レポートにパラメータ値を入力するには

この手順では、クリック操作で外部レポートを起動するためのイメージを挿入します。出力は、新しいウィンドウに表示します。

1. [挿入] (Insert) メニューから、[コンポーネント] (Component)、[イメージ] (Images) を選択します。

マウスポインタが十字カーソルに変わります。

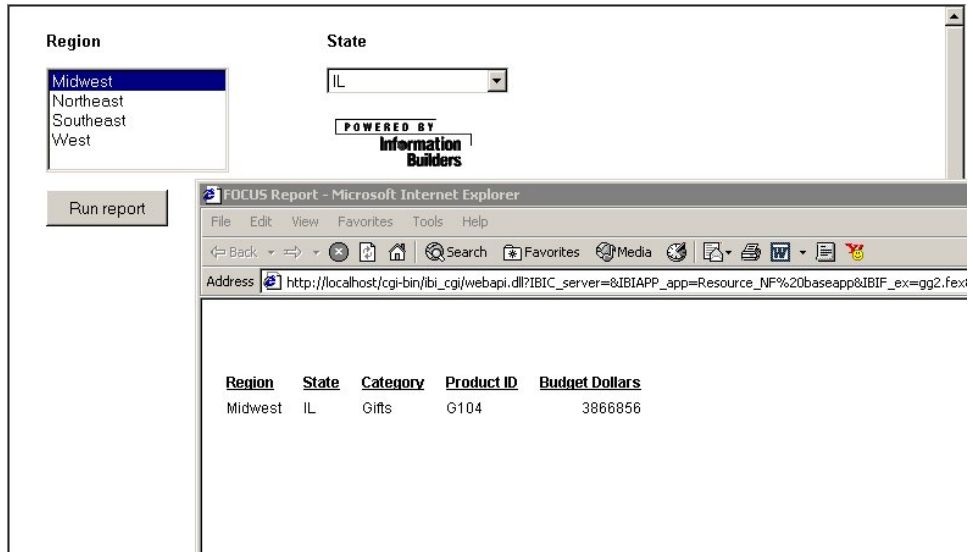
2. 十字カーソルをドラッグしてイメージを配置します。

[ファイルを選択してください] (Get source file) ダイアログボックスが開きます。

3. [検索先] (Look in) ドロップダウンリストを使用してイメージに移動し、イメージを選択して、[開く] (Open) をクリックします。
4. イメージを目的のサイズと位置に調整します。

5. イメージを右クリックして[ハイパーリンクの作成](Create Hyperlink)を選択します。
[ハイパーリンクのプロパティ](Hyperlink Properties)ダイアログボックスが開きます。
6. ハイパーリンクのクリック操作で外部レポートを実行するように設定するには、[新規作成](New) ボタンをクリックし、[アクション](Action) ドロップダウンリストから[外部プロシジャ](External procedure)を選択します。
7. [ソース](Source) テキストボックスに外部レポートのプロシジャ名を入力するか、[...] (参照) ボタンをクリックしてプロシジャを選択します。
8. [ターゲットのタイプ](Target Type) ドロップダウンリストから [ウィンドウ](Window) を選択し、出力先をウィンドウにします。
9. [ターゲットフレーム](Target/Template Name) で、ターゲットフレームまたはターゲットウィンドウの名前を指定します。
10. [OK] をクリックします。
レポートのパラメータが自動的にレイアウト内のオブジェクトに追加され、[パラメータ](Parameters) タブに表示されます。
11. [ファイル](File) メニューから [実行](Run) を選択します。
12. イメージをクリックして外部レポートを表示します。

レポートは、このハイパーリンクの[ハイパーリンクのプロパティ](Hyperlink Properties)ダイアログボックスで指定したウィンドウに表示されます。



手順

ハイパーリンクを使用して外部レポートにパラメータ値を入力するには

この手順では、フレームを作成し、外部レポートからのレポート出力をそのフレームに表示します。また、外部レポートを起動するためのハイパーリンクも作成します。

1. [挿入] (Insert) メニューから、[コンポーネント] (Components)、[フレーム] (Frame) を選択します。十字カーソルをドラッグしてフレームを作成し、必要に応じてサイズを調整します。[プロパティ] (Properties) ウィンドウの [プロパティ] (Properties) タブに表示された [名前] (Name) テキストボックスをダブルクリックし、フレームの名前を入力します。
2. [挿入] (Insert) メニューから、[コンポーネント] (Component)、[ハイパーリンク] (Hyperlink) を選択します。十字カーソルをドラッグしてハイパーリンクを作成し、必要なサイズに調整します。

[ハイパーリンクのプロパティ] (Hyperlink Properties) ダイアログボックスが開きます。

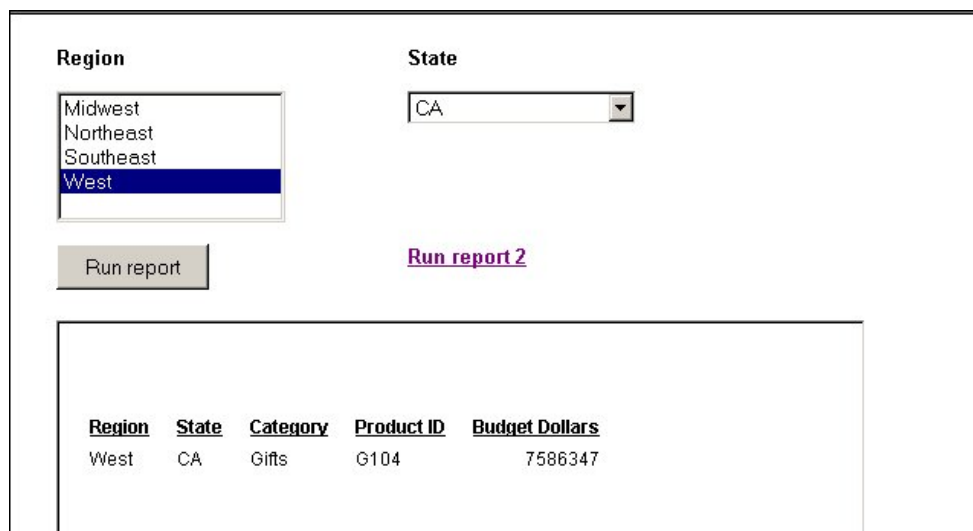
3. ハイパーリンクとして表示するテキストを [表示するテキスト] (Display Text) フィールドに入力します。

4. ハイパーリンクのクリック操作で外部レポートを実行するように設定するには、[新規作成] (New) ボタンをクリックし、[アクション] (Action) ドロップダウンリストから [外部プロシジャ] (External procedure) を選択します。
5. [ソース] (Source) テキストボックスに外部レポートのプロシジャ名を入力するか、[...] (参照) ボタンをクリックしてプロシジャを選択します。
6. [ターゲットタイプ] (Target Type) として [フレーム] (Frame) を選択することで、出力先としてフレームを指定します。
7. 作成したフレームの名前を [ターゲットフレーム] (Target/Template Name) に入力します。
8. [OK] をクリックします。

レポートのパラメータが自動的にレイアウト内のオブジェクトに追加され、[パラメータ] (Parameters) タブに表示されます。

9. [ファイル] (File) メニューから [実行] (Run) を選択します。
10. ハイパーリンクをクリックして外部レポートを表示します。

このレポートは、このハイパーリンクの [ハイパーリンクのプロパティ] (Hyperlink Properties) ダイアログボックスで指定したフレームに表示されます。



The screenshot shows a web-based interface for running a report. It features two input fields: 'Region' with a list box containing 'Midwest', 'Northeast', 'Southeast', and 'West' (where 'West' is selected), and 'State' with a dropdown menu showing 'CA'. Below these is a 'Run report' button and a purple link labeled 'Run report 2'. At the bottom, a table displays the report results.

<u>Region</u>	<u>State</u>	<u>Category</u>	<u>Product ID</u>	<u>Budget Dollars</u>
West	CA	Gifts	G104	7586347

例

複数の外部レポートへのパラメータ値の提供

この例では、レイアウトに 2 つのレポートを追加します。最初のレポートにはプッシュボタンを関連付け、出力先をウィンドウに設定します。2 つ目のレポートにはハイパーリンクを関連付け、出力先をフレームに設定します。

1. [挿入](Insert) メニューから、[コントロール](Controls)、[プッシュボタン](Push Button) を選択します。

マウスポインタが十字カーソルに変わります。

2. 十字カーソルをドラッグしてプッシュボタンを作成し、必要なサイズに調整します。

レイアウト内にプッシュボタンが作成され、「buttonn」という名前が付けられます。ここで、末尾の「n」には番号が割り当てられます。

3. ボタンを右クリックして [ハイパーリンクの作成](Create hyperlink) を選択します。

[ハイパーリンクのプロパティ](Hyperlink Properties) ダイアログボックスが開きます。

4. [表示するテキスト](Display Text) テキストボックスに「Run report」と入力します。

5. ハイパーリンクのクリックでレポートを実行するように設定するには、[新規作成](New) ボタンをクリックし、[アクション](Action) ドロップダウンリストから [外部レポート](External procedure) を選択します。

6. [ソース](Source) テキストボックスに外部レポートのプロシジャ名を入力するか、[...] (参照) ボタンをクリックしてプロシジャを選択します。

7. [ターゲットのタイプ](Target Type) ドロップダウンリストから [ウィンドウ](Window) を選択します。

8. [ターゲットフレーム](Target/Template) のドロップダウンリストから [新規ウィンドウ](New window) を選択します。

9. [OK] をクリックします。

1 つ目のレポートのパラメータが自動的にレイアウト内のオブジェクトに追加され、[パラメータ](Parameters) タブに表示されます。

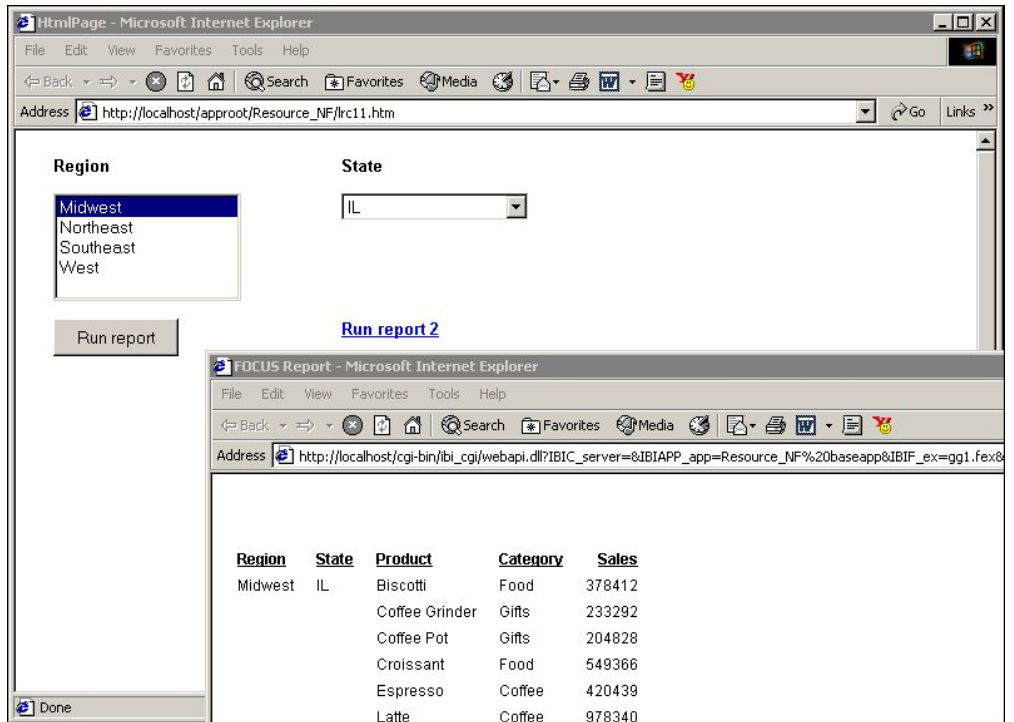
10. [挿入](Insert) メニューから、[コンポーネント](Components)、[フレーム](Frame) を選択します。十字カーソルをドラッグしてフレームを作成し、必要なサイズに調整します。

11. [プロパティ](Properties) ウィンドウの [プロパティ](Properties) タブで、[名前](Name) テキストボックスをダブルクリックし、「frame1」と入力します。

- 12** [挿入] (Insert) メニューから、[コンポーネント] (Component)、[ハイパーリンク] (Hyperlink) を選択します。十字カーソルをドラッグしてハイパーリンクを作成し、必要なサイズに調整します。

[ハイパーリンクのプロパティ] (Hyperlink Properties) ダイアログボックスが開きます。
- 13** [表示するテキスト] (Display Text) テキストボックスに「Run report2」と入力します。
- 14** ハイパーリンクのクリックでレポートを実行するように設定するには、[新規作成] (New) ボタンをクリックし、[アクション] (Action) ドロップダウンリストから [外部レポート] (External procedure) を選択します。
- 15** [ソース] (Source) テキストボックスに外部レポートのプロシジャ名を入力するか、[...] (参照) ボタンをクリックしてプロシジャを選択します。
- 16** [ターゲットのタイプ] (Target Type) ドロップダウンリストから [フレーム] (Frame) を選択します。
- 17** [ターゲットフレーム] ドロップダウンリストで、作成したフレームの名前を選択します。
- 18** [OK] をクリックします。
- 19** [ファイル] (File) メニューから [実行] (Run) を選択します。
- 20** プッシュボタンをクリックし、最初の外部レポートを表示します。

このレポートは、プッシュボタンの[ハイパーリンクのプロパティ](Hyperlink Properties)ダイアログボックスで指定したとおり、新しいウィンドウに表示されます。



The screenshot shows two overlapping Microsoft Internet Explorer windows. The background window, titled 'HtmlPage - Microsoft Internet Explorer', displays a web page with a 'Region' dropdown menu (with 'Midwest' selected), a 'State' dropdown menu (with 'IL' selected), a 'Run report' button, and a blue hyperlink labeled 'Run report 2'. The foreground window, titled 'FOCUS Report - Microsoft Internet Explorer', displays a table with the following data:

<u>Region</u>	<u>State</u>	<u>Product</u>	<u>Category</u>	<u>Sales</u>
Midwest	IL	Biscotti	Food	378412
		Coffee Grinder	Gifts	233292
		Coffee Pot	Gifts	204828
		Croissant	Food	549366
		Espresso	Coffee	420439
		Latte	Coffee	978340

2. ハイパーリンクをクリックし、2つ目の外部レポートを表示します。このレポートは、このハイパーリンクの [ハイパーリンクのプロパティ] (Hyperlink Properties) ダイアログボックスで指定したフレームに表示されます。

<u>Region</u>	<u>State</u>	<u>Category</u>	<u>Product ID</u>	<u>Budget Dollars</u>
West	CA	Gifts	G104	7586347

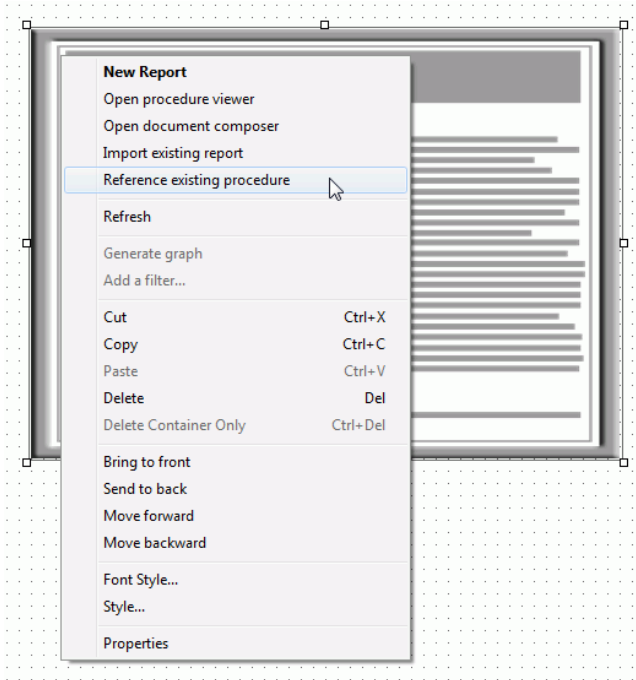
手順

URL を使用してレポートにパラメータ値を提供するには

この手順では、HTML ページ内にレポートを作成し、レポートに URL から直接パラメータを渡せるようにします。

1. Developer Workbench の [データサーバ] (Data Servers) エリアでレポートペインタを使用して、CAR マスターファイルでプロシジャを作成します。
 - a. COUNTRY、CAR、DEALER_COST、RETAIL_COST フィールドを挿入し、[PRINT] に設定します。
 - b. COUNTRY フィールドに「Parameter1」という名前のパラメータを割り当てます。レポートペインタを使用したレポート作成についての詳細は、『レポートペインタ操作ガイド』を参照してください。
2. プロシジャを保存して閉じます。
3. 「pass_on_url.htm」という名前の新しい HTML ファイルを作成します。
4. HTML ファイル内に新しいレポートを作成します。

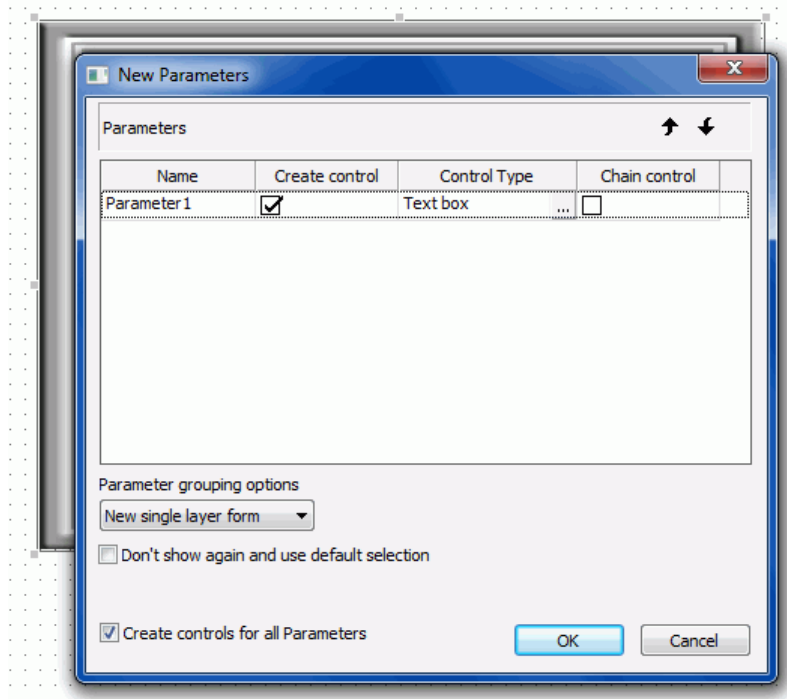
5. 下図のように、レポートフレームを右クリックし、[既存プロシジャの参照] (Reference existing procedure) を選択します。



[ファイルを選択してください] (Get source file) ダイアログボックスが開きます。

6. 手順 1 で作成したプロシジャを選択します。

下図のように、[新規パラメータ] (New Parameters) ダイアログボックスが開きます。



7. [キャンセル] をクリックします。

ページに表示されるレポートにはパラメータが必要ですが、パラメータ値は提供されていません。

8. [保存] をクリックし、HTML ファイルを保存します。
9. 新しいブラウザウィンドウのアドレスバーに、次のように入力します。

http://localhost:8080/approot/appname/pass_on_url.htm?Parameter1=ITALY

説明

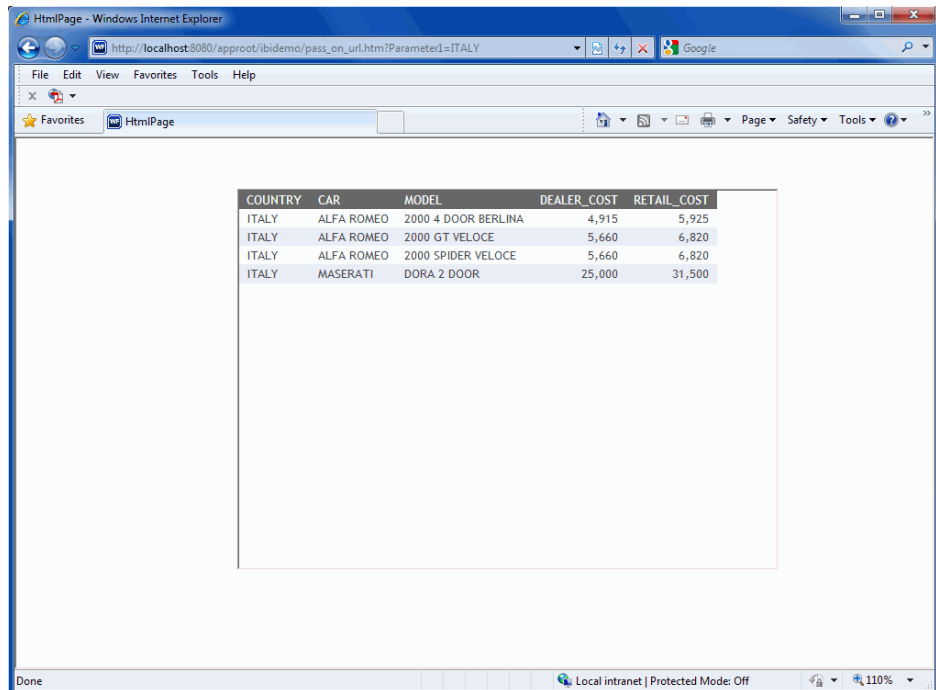
appname

HTML ページが格納されたアプリケーション名です。

Parameter1=ITALY - 前の値が設定されていない Parameter1 の値を ITALY に設定します。

10. Enter キーを押します。

下図のように、ITALY の値でレポートが実行されます。



The screenshot shows a Windows Internet Explorer browser window displaying a table of car data. The table has five columns: COUNTRY, CAR, MODEL, DEALER_COST, and RETAIL_COST. The data is filtered to show only cars from Italy.

COUNTRY	CAR	MODEL	DEALER_COST	RETAIL_COST
ITALY	ALFA ROMEO	2000 4 DOOR BERLINA	4,915	5,925
ITALY	ALFA ROMEO	2000 GT VELOCE	5,660	6,820
ITALY	ALFA ROMEO	2000 SPIDER VELOCE	5,660	6,820
ITALY	MASERATI	DORA 2 DOOR	25,000	31,500

手順

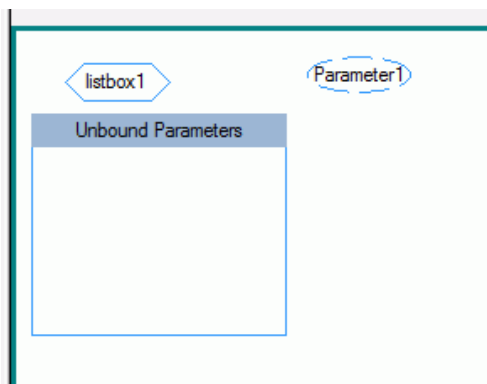
ページからページにパラメータを渡すには

この手順では、リストボックスとボタンを含む HTML ファイルを作成します。この HTML ファイルは、Web ページから別の Web ページにパラメータを渡すことができます。

注意：ここでは、266 ページの「URL を使用してレポートにパラメータ値を提供するには」で作成したプロシジャ「pass_on_url.htm」を使用します。パラメータは、この Web ページに送信されます。

1. 「pass_on_page.htm」という名前の新しい HTML ファイルを作成します。
2. 165 ページの「リストボックスを追加するには」を参照し、HTML ファイルにリストボックスを作成します。
3. [HTML コンポーザ] (HTML Composer) ウィンドウ下部の [パラメータ] (Parameters) タブを選択します。
4. 右クリックして [パラメータの追加] (Add parameter) を選択します。

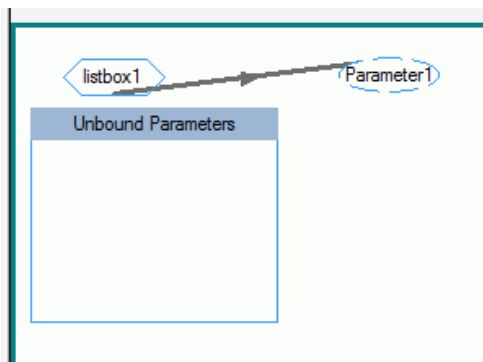
HTML ファイルに新しいパラメータが追加されます。下図のように、このパラメータには、デフォルト設定で「Parameter1」という名前が付けられています。



5. 新しく作成した [Parameter1] をクリックし、[プロパティと設定] (Properties and settings) ダイアログボックスの [フォーマット] (Format) テキストボックスに「A4」と入力します。

A10 は、pass_on_url.htm で使用されている COUNTRY フィールドのフォーマットです。

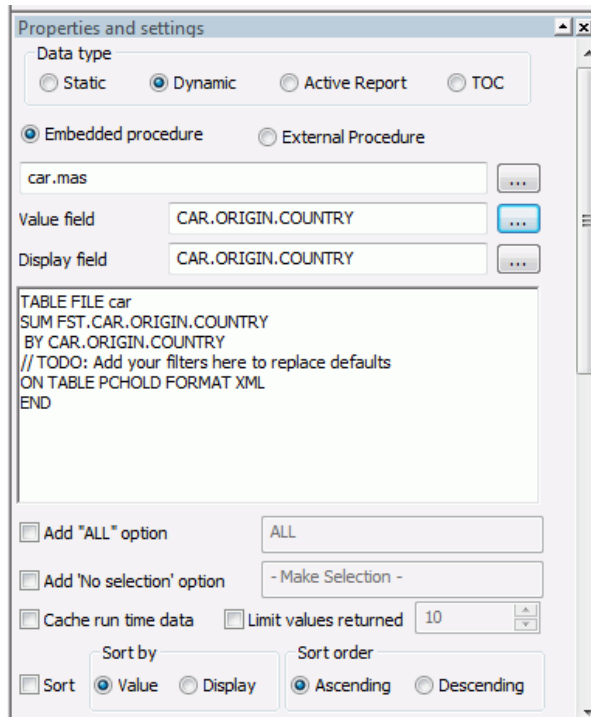
6. 下図のように、listbox1 を Parameter1 にバインドします。



7. listbox1 を選択し、次の手順を実行します。
 - a. [プロパティと設定] (Properties and settings) ダイアログボックスで、[動的] (Dynamic) オプションを選択します。
 - b. プロシジャの [...] (参照) ボタンをクリックし、[car.mas] を選択します。

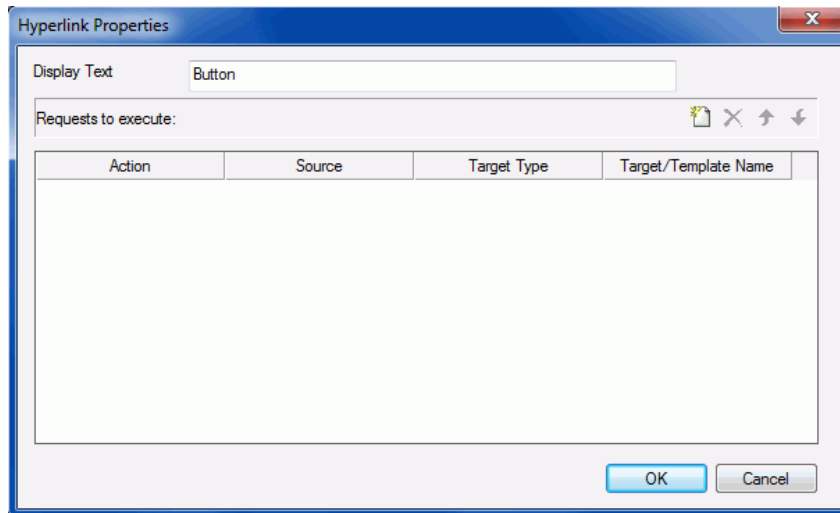
- c. [値フィールド] (Value field) の [...] (参照) ボタンをクリックします。listbox1 に COUNTRY フィールドを入力します。

listbox1 の [プロパティと設定] (Properties and settings) ダイアログボックスは、下図のようになります。



8. [HTML コンポーザ] (HTML Composer) ウィンドウ下部の [デザイン] (Design) タブを選択します。
9. HTML ファイル内に、新しいプッシュボタンを作成します。
10. ボタンを右クリックして [ハイパーリンクの作成] (Create Hyperlink) を選択します。

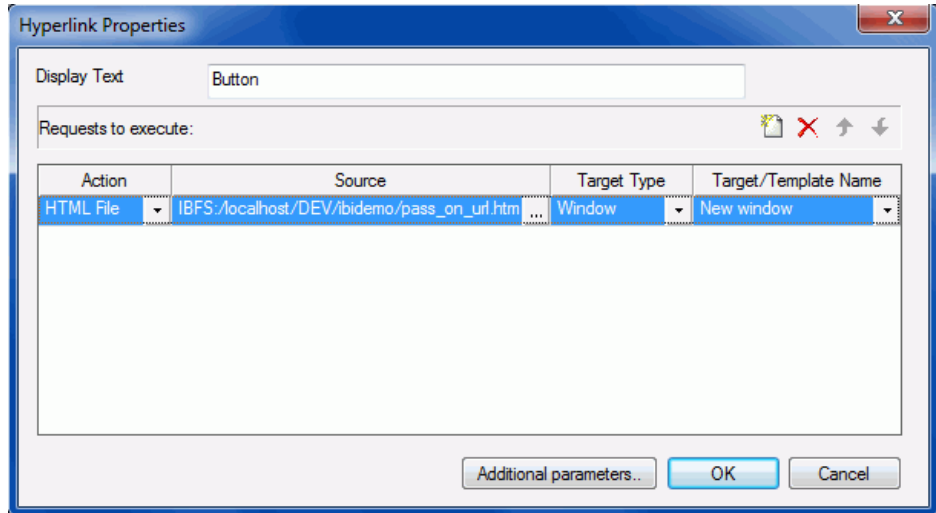
下図のように、[ハイパーリンクのプロパティ] (Hyperlink Properties) ダイアログボックスが開きます。



11 新しいハイパーリンクを作成し、プロパティを次のように設定します。

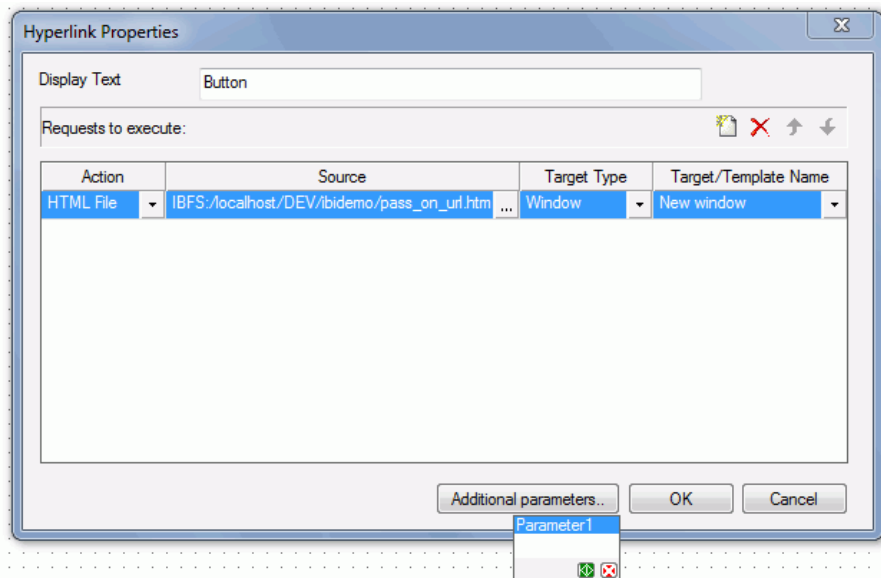
- ❑ アクション (Action) - HTML ファイル (HTML File)
- ❑ ソース (Source) - pass_on_url.html (前の手順で作成したファイル)
- ❑ ターゲットのタイプ (Target Type) - ウィンドウ (Window)
- ❑ ターゲットフレーム (Target/Template Name) - 新規ウィンドウ (New window)

下図は、新しいハイパーリンクの設定を示しています。



- 12** [ハイパーリンクのプロパティ] (Hyperlink Properties) ダイアログボックスを開いたまま、[追加パラメータ] (Additional parameters) をクリックします。

下図のように、[Parameter1] のみが表示された小さいウィンドウが開きます。

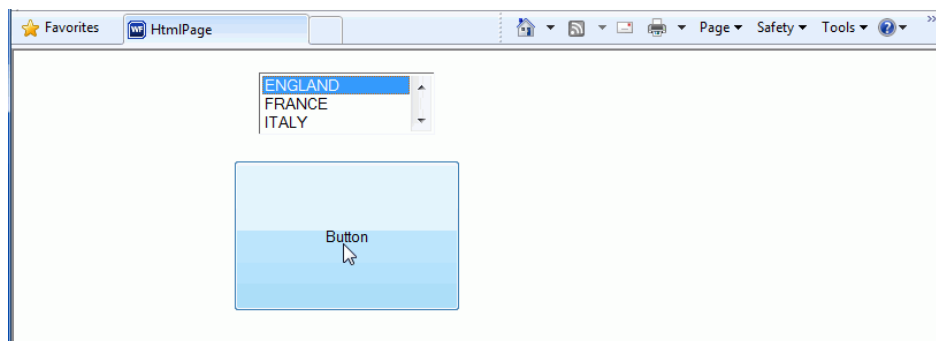


- 13.** [Parameter1] をダブルクリックします。

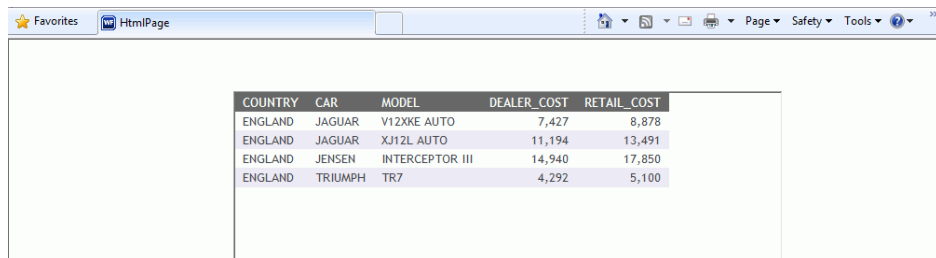
ウィンドウが閉じます。

この手順により、ハイパーリンクに Parameter1 を渡すことが、HTML コンポーザに指示されます。

- 14.** [ハイパーリンクのプロパティ] (Hyperlink Properties) ダイアログボックスの [OK] をクリックします。
- 15.** ページを実行します。
- 16.** 下図のように、リストボックスから [ENGLAND] を選択してボタンをクリックします。



下図のように、レポートが実行され、ENGLAND のレコードのみが表示されます。

A screenshot of a web browser window showing a table of car records. The table has five columns: COUNTRY, CAR, MODEL, DEALER_COST, and RETAIL_COST. The data is filtered to show only records for ENGLAND.

COUNTRY	CAR	MODEL	DEALER_COST	RETAIL_COST
ENGLAND	JAGUAR	V12XKE AUTO	7,427	8,878
ENGLAND	JAGUAR	XJ12L AUTO	11,194	13,491
ENGLAND	JENSEN	INTERCEPTOR III	14,940	17,850
ENGLAND	TRIUMPH	TR7	4,292	5,100

値は、最初のページから次のページに渡されています。

レイアウトのスタイル設定

トピックス

レイアウトへのカスケードスタイルシート (CSS) またはスクリプトの追加
HTML ページプロパティの設定
レイアウトのカスタマイズ

HTML コンポーザで HTML ページを作成すると、レイアウト内のオブジェクトは、ブラウザのデフォルトスタイルに基づいて表示されます。テーマまたはテンプレートを追加し、HTML のページの外観を変更することができます。また、テンプレートセレクタで、定義済みのテンプレートを使用することもできます。テーマのプロパティは、DOCUMENT オブジェクトの [プロパティ] (Properties) ウィンドウに表示されます。

レイアウトへのカスケードスタイルシート (CSS) またはスクリプトの追加

手順/構文

レイアウトにカスケードスタイルシート (CSS) またはスクリプトを追加するには

レイアウトにカスケードスタイルシート (CSS) またはスクリプトを追加して、Web ページの外観を指定することができます。この方法は、レイアウトに会社のスタイル設定をすばやく適用したり、スタイル設定をグローバルに割り当てたりする場合に便利です。また、デフォルトのスタイル設定をレイアウト全体のすべての要素に 1 つの処理で簡単に割り当てられる方法でもあります。カスケードスタイルシート (CSS) またはスクリプトに組み込まれたスタイル設定は、プレビューモードでのみ表示されます。

手順

レイアウトにカスケードスタイルシート (CSS) またはスクリプトを追加するには

1. [挿入] (Insert) メニューから [CSS/Scripts] を選択します。
[Web ファイルの挿入] (Insert Web Files) ダイアログボックスが表示されます。
2. [新規作成] (New) ボタンをクリックし、CSS またはスクリプトが格納されているディレクトリに移動してファイルを選択し、[開く] (Open) をクリックします。

注意：[ファイル名](File name) テキストボックスに、スタイルシートファイルまたはスクリプトファイルの完全修飾 URL または相対 URL を入力することもできます。完全修飾 URL は、`http://` または `https://` で始める必要があります。相対 URL は、Web Query が使用する既知のコンテキストルートで始める必要があります (例、`/aproot/appname/scriptname.js.`)。

3. 必要に応じて、別のファイルを追加します。[OK] をクリックし、指定したファイルを追加します。

HTML ページプロパティの設定

参照

プロパティウィンドウ - HTML ページプロパティ

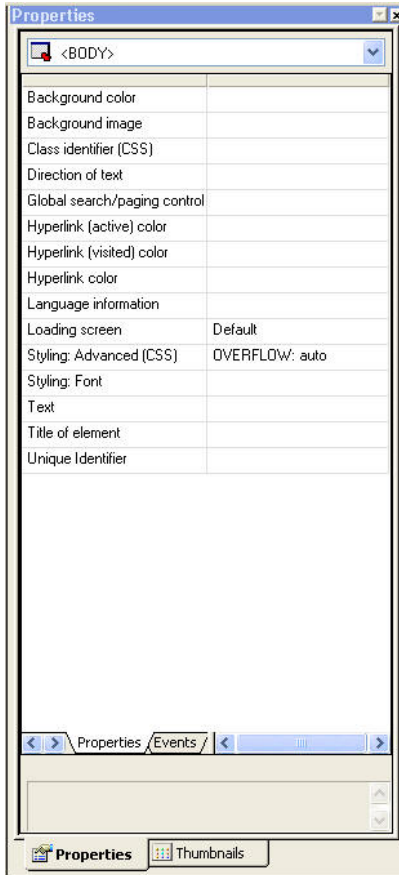
HTML コンポーザで作成する HTML ページのプロパティは、[プロパティ](Properties) ウィンドウの [プロパティ](Properties) タブで設定することができます。

HTML ページに設定したプロパティは、レイアウトに追加したほとんどのオブジェクトに継承されます。レイアウト内のオブジェクトのスタイルを変更すると、テンプレートまたはテーマを使用してそのオブジェクトのスタイルを設定することはできません。そのため、各オブジェクトのプロパティを個別に設定する前に、HTML ページのスタイルをグローバルに設定しておくことをお勧めします。

参照

プロパティウィンドウ - HTML ページプロパティ

レポートの背景を選択すると、[プロパティ] (Properties) ウィンドウの [プロパティ] (Properties) タブに、HTML ページを制御するためのオプションが表示されます。



プロパティのいずれかをクリックすると、選択したプロパティの説明が [プロパティ] (Properties) ウィンドウの下部に表示されます。

レイアウトのカスタマイズ

レイアウトへの変更は、すべて HTML コンポーザまたは HTML エディタのデザイン表示で行うことが可能です。エディタでレイアウトに変更を加えた変更は、次に HTML コンポーザを開いた際に有効になります。

スタイルダイアログボックスによるブラウザのデフォルトの指定

手順/構文

スタイルダイアログボックスにアクセスするには

参照

スタイルダイアログボックス - フォントスタイルの指定

スタイルダイアログボックス - 背景プロパティの指定

スタイルダイアログボックス - テキストスタイルの指定

スタイルダイアログボックス - 位置モードの指定

スタイルダイアログボックス - レイアウトスタイルの指定

スタイルダイアログボックス - 境界スタイルの指定

スタイルダイアログボックス - リストスタイルの指定

スタイルダイアログボックス - その他スタイルの指定

[スタイル] (Style Composer) ダイアログボックスを使用してフォント、背景プロパティ、位置モード、フロー管理、マージン、リストスタイル、表示のデフォルト設定を管理することができます。

注意：便宜上、このトピックで紹介する [スタイル] (Style Composer) ウィンドウの図では項目をブランクで表示しているものが多数あります。Developer Workbench で実際に [スタイル] (Style) ウィンドウを表示すると、これらの項目には <設定しない> (Not Set) という語句が表示されます。

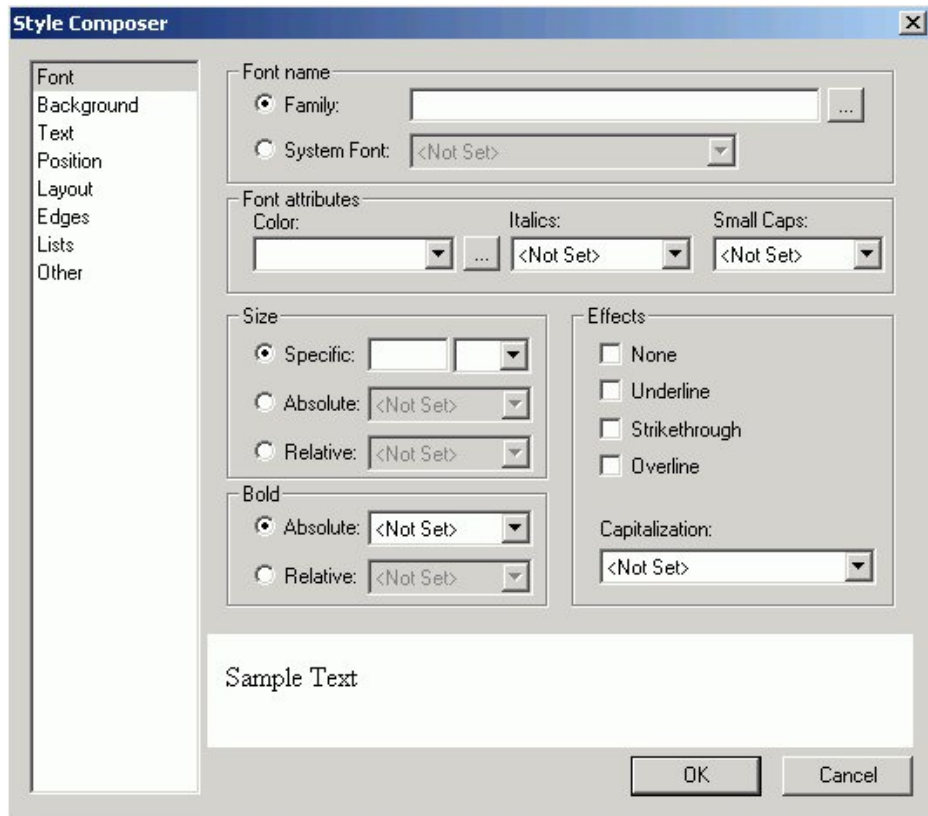
手順

スタイルダイアログボックスにアクセスするには

[スタイル] (Style Composer) ダイアログボックスにアクセスするには、次の手順を実行します。

1. HTML コンポーザで HTML ページの背景を右クリックします。
2. コンテキストメニューから [スタイル] (Style) を選択します。

[スタイル] (Style Composer) ダイアログボックスが表示されます。



参照

スタイルダイアログボックス-フォントスタイルの指定

HTML レポートを表示する際にブラウザで使用するフォントスタイルは、[スタイル] (Style Composer) ダイアログボックスの [フォント] (Font) ウィンドウで指定します。

[スタイル] (Style Composer) ダイアログボックスの [フォント] (Font) ウィンドウは、次の要素で構成されています。

フォント名 (Font name)

ブラウザに表示するフォントを指定します。

指定可能なオプションには、[ファミリー] (Family) ([フォントの選択] ダイアログボックスを表示) または [システムフォント] (System Font) があります。

フォント属性 (**Font attributes**)

ブラウザに表示されるフォントの属性を指定します。

指定可能なオプションには、[色] (Color)、[斜体] (Italics)、[小型英大文字] (Caps) があります。

サイズ (**Size**)

ブラウザに表示するフォントのサイズを指定します。

指定可能なオプションには、[指定] (Specific)、[絶対] (Absolute)、[相対] (Relative) があります。

太字 (**Bold**)

ブラウザに表示するフォントに太字を適用するかどうかを指定します。

指定可能なオプションには、[絶対] (Absolute) および [相対] (Relative) があります。

効果 (**Effects**)

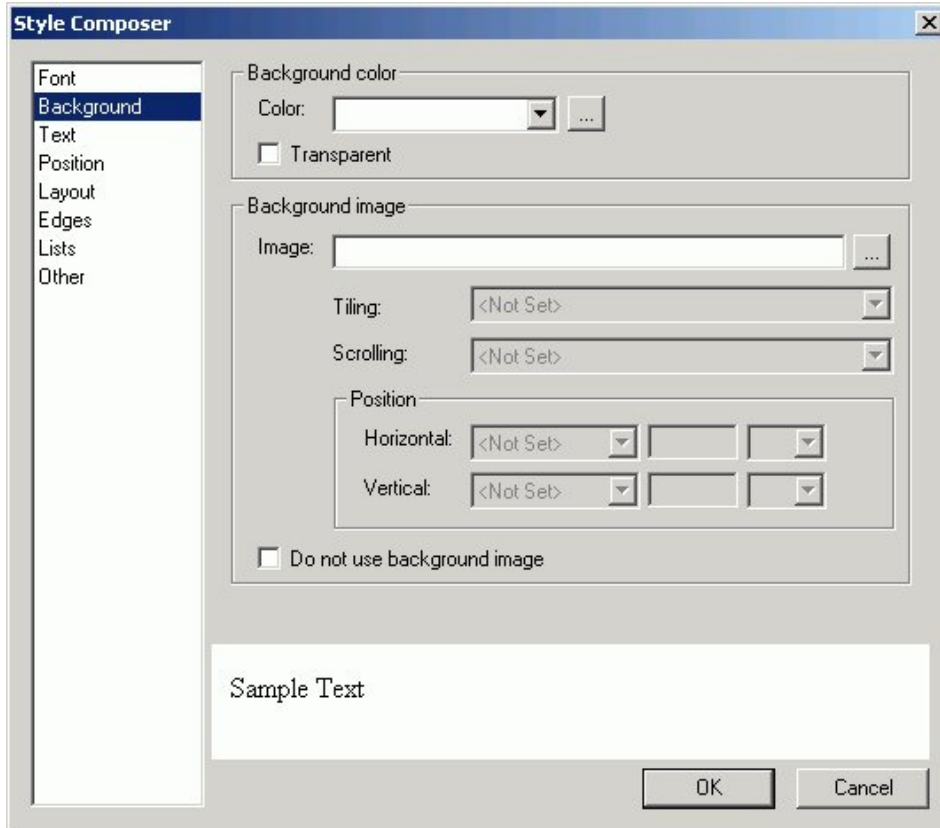
フォント効果をブラウザに表示するかどうかを指定します。

指定可能なオプションには、[なし] (None)、[下線] (Underline)、[取り消し線] (Strikethrough)、[上線] (Overline)、[大文字と小文字] (Capitalization) があります。

参照

スタイルダイアログボックス-背景プロパティの指定

HTML レポートを表示する際にブラウザで使用する背景スタイルは、[スタイル] (Style Composer) ダイアログボックスの [背景] (Background) ウィンドウで指定します。



[スタイル] (Style Composer) ダイアログボックスの [背景] (Background) ウィンドウは、次の要素で構成されています。

背景色 (Background color)

ブラウザに表示するフォントを指定します。

指定可能なオプションには、[色] (Color) および [透過] (Transparent) があります。

背景イメージ (Background image)

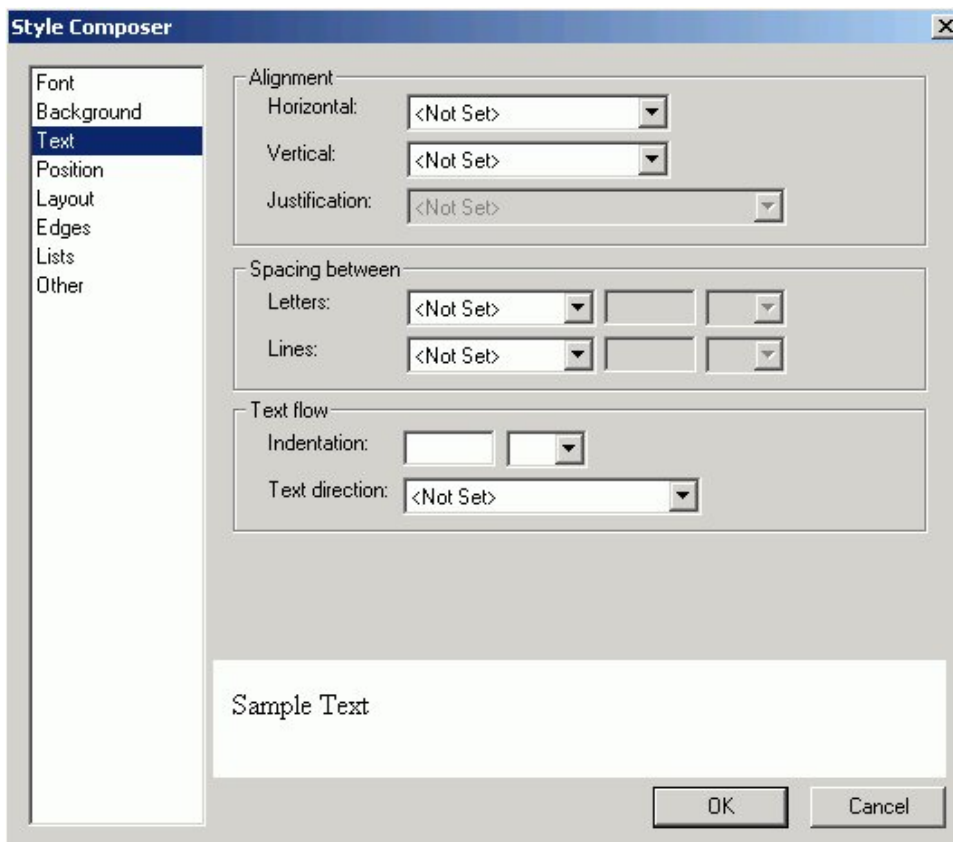
ブラウザに表示する背景イメージのプロパティを指定します。

指定可能なオプションには、[イメージ] (Image)、[表示位置] (Tiling)、[スクロール] (Scrolling)、[位置] (Position) (横 (Horizontal) および縦 (Vertical))、[背景イメージを使用しない] (Do not use background image) があります。

参照

スタイルダイアログボックス-テキストスタイルの指定

HTML レポートを表示する際にブラウザで使用するテキストスタイルは、[スタイル] (Style Composer) ダイアログボックスの [テキスト] (Text) ウィンドウで指定します。



[スタイル] (Style Composer) ダイアログボックスの [テキスト] (Text) ウィンドウは、次の要素で構成されています。

配置 (Alignment)

テキストの配置を指定します。

指定可能なオプションには、[横] (Horizontal)、[縦] (Vertical)、[配置] (Justification) があります。

字間と行間 (Spacing Between)

間隔を指定します。

指定可能なテキスト要素のオプションには、[字間] (Letters) および [行間] (Lines) があります。

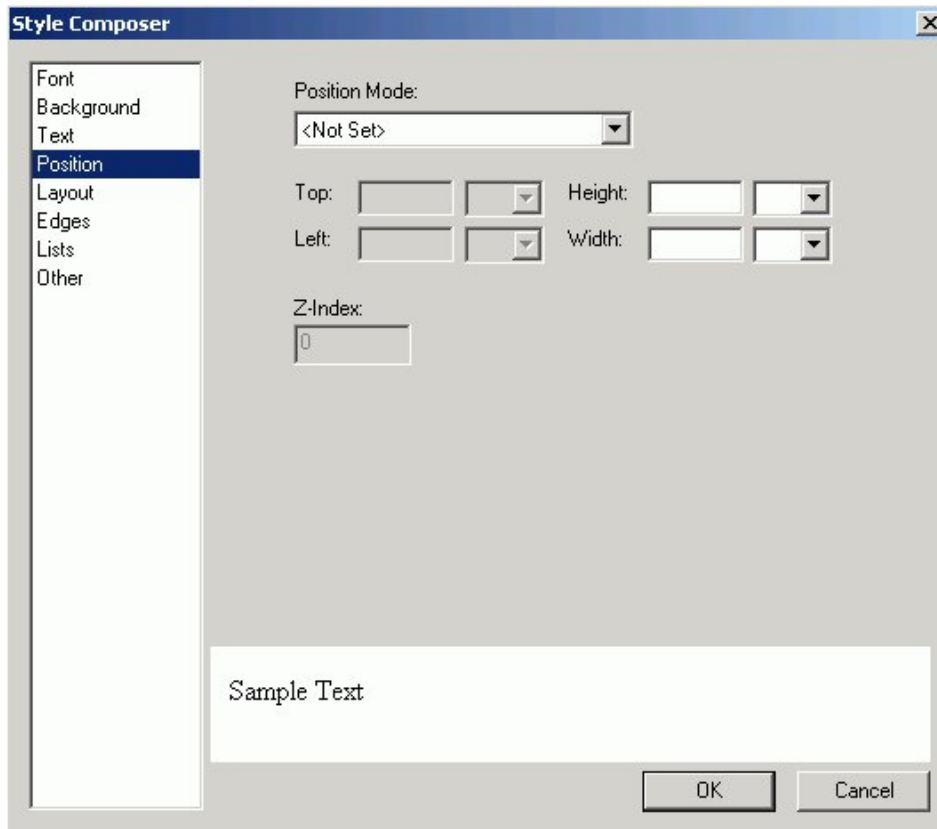
文字方向 (Text Flow)

文字方向を指定します。

指定可能なオプションには、[インデント] (Indent) および [文字方向] (Text Direction) があります。

参照 スタイルダイアログボックス-位置モードの指定

HTML レポートを表示する際にブラウザで使用する位置モードは、[スタイル] (Style Composer) ダイアログボックスの [位置] (Position) ウィンドウで指定します。



[スタイル] (Style Composer) ダイアログボックスの [位置] (Position) ウィンドウは、次の要素で構成されています。

位置モード (Position Mode)

[標準フローの位置] (Position in normal flow)、[標準フローからオフセット] (Offset from normal flow)、[絶対位置] (Absolutely position) のいずれかを選択します。

高さと幅 (Height/Width)

[絶対位置] (Absolutely Position) を選択した場合は、配置する位置を目盛りの値で指定することができます。

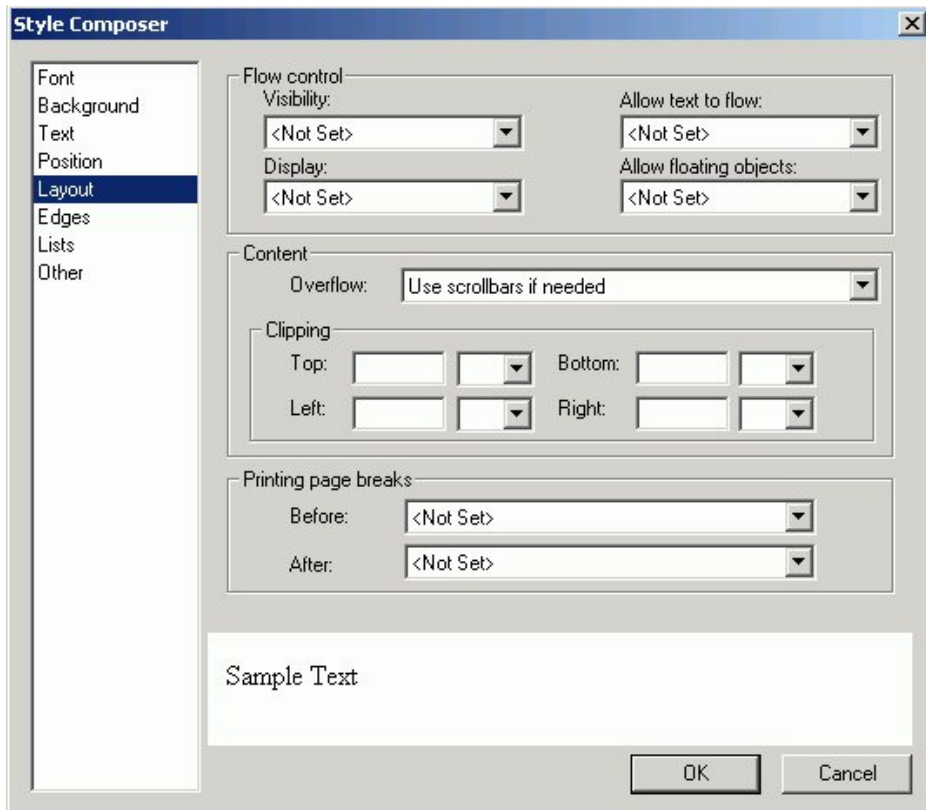
指定可能なオプションには、[上] (Top)、[左] (Left)、[Z - インデックス] (Z-Index) があります。

注意：[Z - インデックス] (Z-Index) は必要に応じて指定します。このオプションは、絶対配置または相対配置されたオブジェクトの積み上げ順を設定または取得します。

参照

スタイルダイアログボックス-レイアウトスタイルの指定

HTML レポートを表示する際にブラウザで使用するレイアウトスタイルは、[スタイル] (Style Composer) ダイアログボックスの [レイアウト] (Layout) ウィンドウで指定します。



[スタイル] (Style Composer) ダイアログボックスの [レイアウト] (Layout) ウィンドウは、次の要素で構成されています。

フロー管理 (Flow Control)

[表示] (Visibility)、[フロー可能なテキスト] (Allow Text to Flow)、[フロー可能なオブジェクト] (Allow floating objects) を指定します。

コンテンツ (Content)

[オーバーフロー] (Overflow) を指定します。

トリミング (Clipping)

レイアウトの上、下、左、右から、トリミングを行うかどうかを指定します。

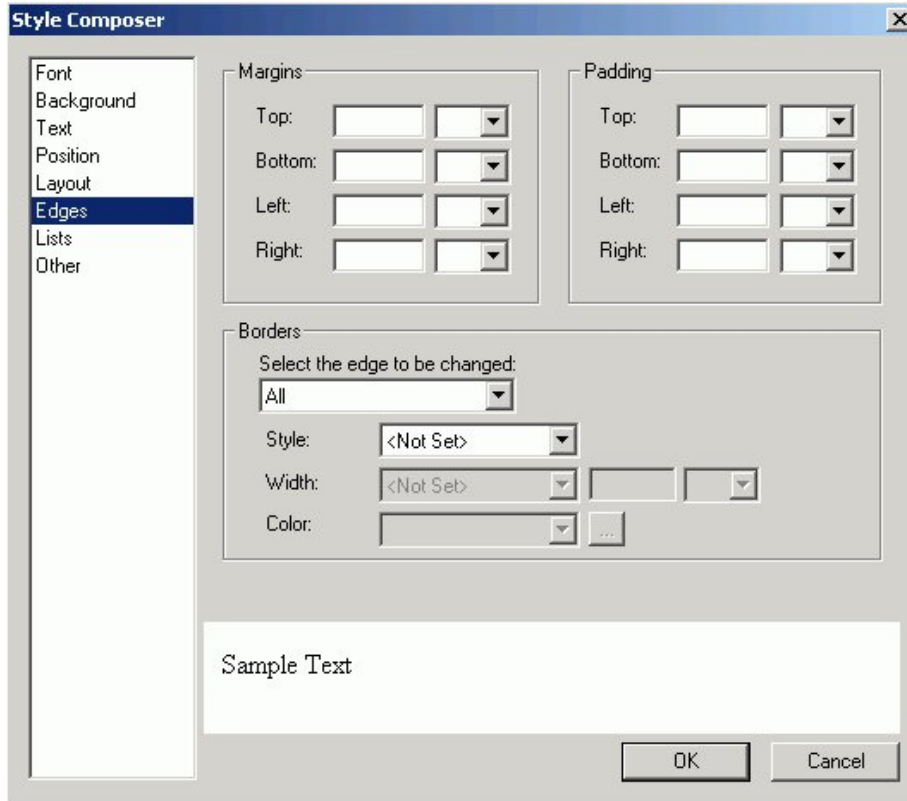
改ページの印刷 (Printing page breaks)

[前] (Before)、[後] (After) のいずれかを指定します。

参照

スタイルダイアログボックス - 境界スタイルの指定

HTML レポートを表示する際にブラウザで使用する境界スタイルは、下図に示す [スタイル] (Style Composer) ダイアログボックスの [境界] (Edges) ウィンドウで指定します。



[スタイル] (Style Composer) ダイアログボックスの [境界] (Edges) ウィンドウは、次の要素で構成されています。

マージン (Margins)

上、下、左、右のマージンを指定します。

パディング (Padding)

上、下、左、右のパディングを指定します。

罫線 (Borders)

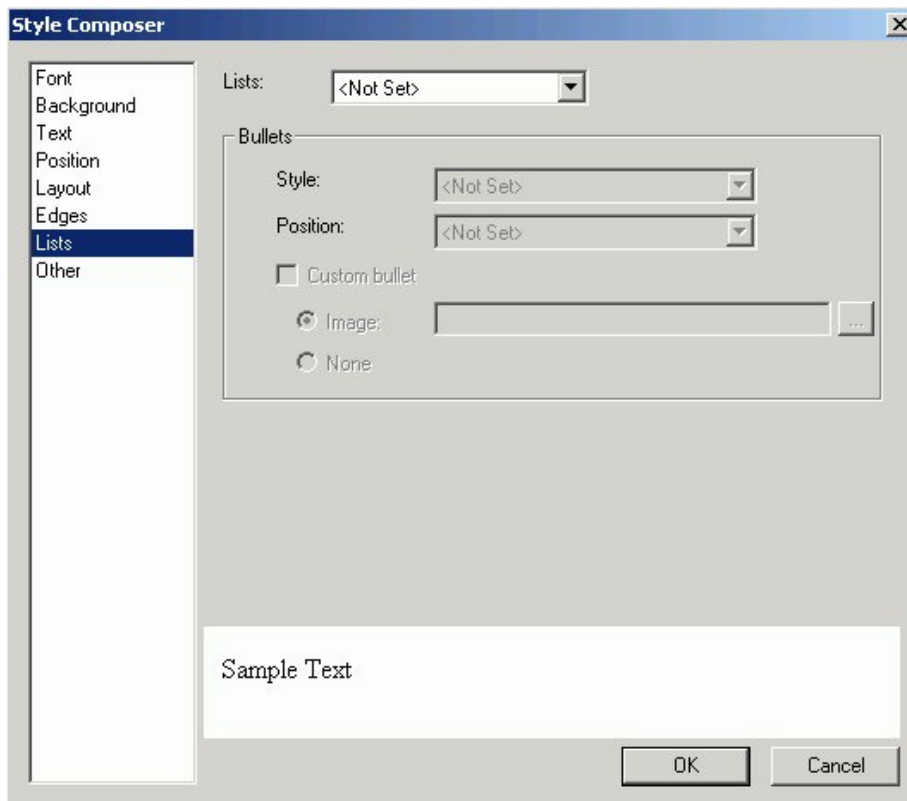
指定可能なオプションには、[変更する辺を選択] (Select the edge to be changed)、[スタイル] (Style)、[幅] (Width)、[色] (Color) があります。

注意：二重線を選択した場合でも、[スタイル] (Style Composer) ダイアログボックスのプレビューウィンドウでは、境界線は 1 本の実線で表示されます。[スタイル] (Style) ダイアログボックスのデザイン表示およびアプリケーションの HTML 出力では、設定した境界線が正確に表示されます。

参照

スタイルダイアログボックス-リストスタイルの指定

HTML レポート用のブラウザで使用されるリストスタイルは、[スタイル] (Style Composer) ダイアログボックスの [リスト] (Lists) ウィンドウで指定します。



[スタイル] (Style Composer) ダイアログボックスの [リスト] (Lists) ウィンドウは、次の要素で構成されています。

リスト (Lists)

[箇条書きにする] (Bulleted)、[箇条書きにしない] (Unbulleted) のいずれかを指定します。

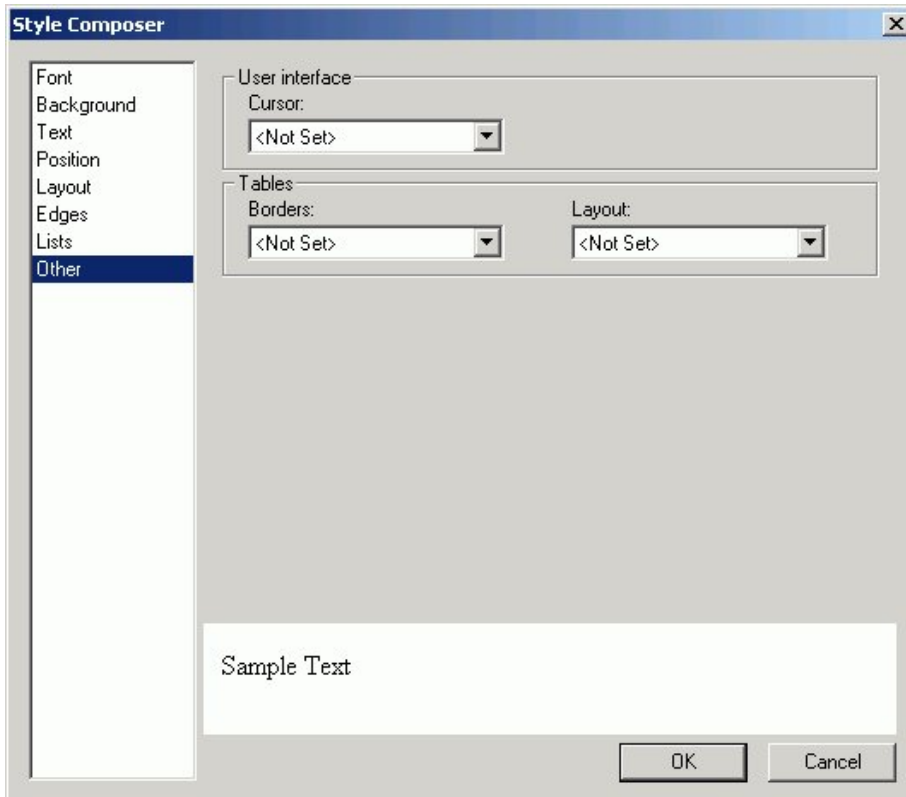
箇条書き (Bullets)

[スタイル] (Style)、[位置] (Position)、[行頭文字をカスタマイズする] (Custom bullet) を指定します。

参照

スタイルダイアログボックス-その他スタイルの指定

HTML レポート用のブラウザで使用されるその他スタイルおよび視覚的効果は、[スタイル] (Style Composer) ダイアログボックスの [その他] (Other) ウィンドウで指定します。



[スタイル] (Style Composer) ダイアログボックスの [その他] (Other) ウィンドウは、次の要素で構成されています。

ユーザインターフェイス (User Interface)

[カーソル] (Cursor) を指定します。

テーブル (Tables)

[罫線] (Borders)、[レイアウト] (Layout) を指定します。

HTML コンポーザによるオブジェクトレイアウト

トピックス

オブジェクト間の関係設定

レイアウト内のオブジェクトのサイズおよび位置は、次の方法で変更することができます。

- ❑ オブジェクト間の関係を設定する。この場合、オブジェクトとコントロールオブジェクト (上位オブジェクト) との関係を設定します。最後に選択したオブジェクトがコントロールオブジェクトになります。詳細は、291 ページの「[オブジェクト間の関係設定](#)」を参照してください。
- ❑ マウスでクリックしてドラッグする。
- ❑ オブジェクトをコピーして貼り付ける。

オブジェクト間の関係設定

手順/構文

オブジェクトサイズを設定するには

オブジェクト間の距離を設定するには

関係を解除するには

HTML ページのオブジェクトをグループ化するには

参照

配置ツールバー

ユーティリティツールバー

下位オブジェクトとコントロールオブジェクト (上位オブジェクト) との関係を設定することができます。コントロールオブジェクトは、最後に選択したオブジェクトまたはプレースホルダです。この関係を使用すると、選択したオブジェクトのプロパティを、コントロールオブジェクトを基準にして設定することができます。HTML ページレイアウト内の任意のオブジェクトをコントロールオブジェクトにすることができます。

設定可能な関係には次のタイプがあります。

- オブジェクト間の距離を保持する関係。プロシジャを実行すると、レイアウトに配置したレポートまたはグラフの占有範囲が多少変わる可能性があるため、この関係を設定しておくとお便利です。この方法でオブジェクト間に関係を設定する場合は、互いに最も近接したオブジェクトの角を選択する必要があります。これにより、一方のレポートが予想より大きくなった場合でも、レポート同士が重なり合うことはありません。
- オブジェクトの位置に影響する関係。この関係を設定すると、一方のオブジェクトのサイズまたは位置が変更されてもオブジェクト同士の位置関係は保持され、一方のオブジェクトのサイズが変更されても他方のオブジェクトのサイズは保持されます。

手順

オブジェクトサイズを設定するには

1. マウスを使用して複数のオブジェクトを選択します。Shift キーを押しながら隣接した複数の項目を選択するか、Ctrl キーを押しながら隣接していない複数の項目を選択して、オブジェクト間の関係を設定します。最後に選択したオブジェクトがコントロールオブジェクトになります。

配置ツールバーのサイズボタンが有効になります。

2. 配置ツールバーで、実行する操作のボタンをクリックします。
 - [幅を揃える] (Make same width) は、選択されたオブジェクトの幅を、コントロールオブジェクトの幅に設定します。
 - [高さを揃える] (Make same height) は、選択されたオブジェクトの高さを、コントロールオブジェクトの現在の高さに設定します。
 - [幅と高さを揃える] (Make same size) は、選択されたオブジェクトの高さと幅を、コントロールオブジェクトの高さと幅に設定します。

選択したすべてのオブジェクトのサイズは、コントロールオブジェクトのサイズに合わせて変化します。オブジェクトのサイズを変更してイメージが変形した場合は、元のサイズに戻すことができます。イメージを右クリックして、[サイズを元に戻す] (Restore size) を選択します。イメージ境界をクリックしてドラッグすると、イメージが変形することはありません。これにより、実際の縦横比が保持されます。


手順

オブジェクト間の距離を設定するには

1. マウスで複数の要素を選択します。これを行うには、選択する項目が隣接している場合は Shift キーを押しながら、隣接していない場合は Ctrl キーを押しながら選択します。最後に選択したオブジェクトがコントロールオブジェクトになります。
2. 配置ツールバーで、関係の設定に使用するボタンをクリックします。選択したオブジェクトの位置は、最後に選択したオブジェクトであるコントロールオブジェクトを基準にして設定されます。次のオプションがあります。
 - [左上合わせ] (Relate Top_Left) ボタンをクリックして、コントロールオブジェクトの左上の角と選択したオブジェクトの左上の角との間の距離を維持します。
 - [右上合わせ] (Relate Top_Right) ボタンをクリックして、コントロールオブジェクトの右上の角と選択したオブジェクトの左上の角との間の距離を維持します。
 - [右下合わせ] (Relate Bottom_Right) ボタンをクリックして、コントロールオブジェクトの右下の角と選択したオブジェクトの右上の角との間の距離を維持します。
 - [左下合わせ] (Relate Bottom_Left) ボタンをクリックして、コントロールオブジェクトの左下の角と選択したオブジェクトの左上の角との間の距離を維持します。

配置ツールバーのボタンについての詳細は、294 ページの「[配置ツールバー](#)」を参照してください。

手順 関係解除するには

[配置] (Positioning) ツールバーの [関係を解除] (Break Relationships)  をクリックします。

手順 HTML ページのオブジェクトをグループ化するには

グループボックス、パネル、フォームのいずれかを挿入して、HTML ページ上のオブジェクトをグループ化することができます。HTML ページと、グループ化されたオブジェクトとの間では、グループ化されたオブジェクトやページの間関係を保持したまま、コンポーネント (イメージやプッシュボタンなど) のコピーと貼り付けが行えます。

1. HTML ページにグループオブジェクトを挿入し、[挿入] (Insert) メニューの [コンポーネント] (Components) サブメニューから [フォーム] (Form) または [パネル] (Panel) を選択するか、[挿入] (Insert) メニューの [コントロール] (Control) サブメニューから [グループボックス] (Group Box) を選択します。

マウスポインタが十字カーソルに変わります。

2. 十字カーソルをクリックしてドラッグし、HTML ページに、グループ化するオブジェクトを作成します。
3. コピーするコンポーネントを選択して右クリックし、[コピー] (Copy) を選択します。
4. グループ化するオブジェクトを選択して右クリックし、[貼り付け] (Paste) を選択します。

コンポーネントが、グループ化するオブジェクトに新しいオブジェクトとしてコピーされます。たとえば、HTML ページからコピーされた「button1」というオブジェクトは、グループ化するオブジェクトでは「button2」として表示されます。元の「button1」の HTML ページとの関連は保持され、「button2」は、グループ化するオブジェクトに関連付けられます。





5. グループ化したオブジェクトを削除するには、グループ化したオブジェクトを右クリックして [削除] (Delete) を選択します。









グループ化したオブジェクトを削除すると、関連付けられたコンポーネントも削除されます。





参照 **配置ツールバー**

配置ツールバーには、下表のボタンがあります。

関係の設定に使用するボタンの場合、最後に選択したオブジェクトであるコントロールオブジェクト(上位オブジェクト)で関係を制御します。これらのボタンは、複数のオブジェクトを選択した場合にのみ有効になります。

ボタン	説明
	罫線のオンとオフを切り替えます。罫線は、レイアウト内でオブジェクトを整列する際に役立ちます。このボタンは、罫線が有効になっている間は選択された状態になります。
	[表示の切り替え] (Toggle visibility) を選択すると、非表示のオブジェクトが表示されます。 非表示のオプションは、[スタイル] (Style Composer) の [レイアウト] (Layout) セクションで設定します。
	タブの順序を指定します。
	選択したオブジェクトの左端をコントロールオブジェクトの左端の位置に揃えます。
	選択したオブジェクトの右端をコントロールオブジェクトの右端の位置に揃えます。
	選択したオブジェクトの上端をコントロールオブジェクトの上端の位置に揃えます。


ボタン	説明
	選択したオブジェクトの下端をコントロールオブジェクトの下端の位置に揃えます。
	デザイン表示の作業領域でオブジェクトの位置を横方向の中央に揃えます。
	デザイン表示の作業領域でオブジェクトの位置を縦方向の中央に揃えます。
	選択されたオブジェクトの幅を、コントロールオブジェクトの幅に設定します。
	選択されたオブジェクトの高さを、コントロールオブジェクトの現在の高さに設定します。
	選択されたオブジェクトの高さと幅を、コントロールオブジェクトの高さと幅に設定します。
	コントロールオブジェクトの左上の角と選択したオブジェクトの左上の角との間の距離を維持します。
	コントロールオブジェクトの左下の角と選択したオブジェクトの左上の角との間の距離を維持します。




ボタン	説明
	コントロールオブジェクトの右下の角と選択したオブジェクトの左上の角との間の距離を維持します。
	コントロールオブジェクトの左下の角と選択したオブジェクトの左上の角との間の距離を維持します。
	選択したオブジェクト間に設定されている関係を解除します。このボタンは、選択したオブジェクトに関係が設定されている場合にのみ有効になります。
	オブジェクト間の関係を示す矢印の表示と非表示を切り替えます。このボタンは、選択したオブジェクトに関係が設定されている場合にのみ有効になります。このボタンは、関係が表示されている間は選択された状態になります。関係が非表示になると、ボタンの選択は解除されます。

参照

ユーティリティツールバー

ユーティリティツールバーには、下表のボタンがあります。

ボタン	説明
	<p>連鎖にコントロールを追加します。値を選択するごとに、すべての連鎖パラメータが動的に更新されます。連鎖コントロールについての詳細は、「Chaining Controls for Dependencies」を参照してください。</p> <p>注意：[連鎖に追加] (Add to current chain) ボタンは、[デザイン] (Design) タブまたは [パラメータ] (Parameter) タブで、複数のコントロールを選択した場合に使用可能になります。このボタンは、連鎖に追加済みのコントロールを複数選択すると無効になります。</p>

ボタン	説明
	<p>コントロールを連鎖から削除します。連鎖コントロールについての詳細は、「Chaining Controls for Dependencies」を参照してください。</p> <p>注意：[連鎖から削除] (Remove from current chain) ボタンは、[デザイン] (Design) タブまたは [パラメータ] (Parameter) タブで、複数のコントロールを選択した場合に使用可能になります。このボタンは、連鎖で最初のコントロールでは無効になりますが、それ以外のコントロールでは有効になります。</p>
	<p>active dashboard を使用する際に、レポートまたはグラフオブジェクトを active report に同期します。詳細は、「Creating Active Dashboards With the HTML Composer」を参照してください。</p>
	<p>active dashboard を操作する際に、同期レポートグループを表示します。詳細は、「Creating Active Dashboards With the HTML Composer」を参照してください。</p>

HTML コンポーザ環境の管理

手順/構文

ページのプロパティを設定するには

HTML ページタブからフォームの設定を選択するには

参照

HTML ページタブ

フォーム設定ダイアログボックス

HTML コンポーザのプロパティは、[Developer Studio オプション] (Developer Studio Options) ダイアログボックスの [HTML ページ] (HTML Page) タブで設定することができます。このダイアログボックスを使用すると、レポートやグラフの場所、レイアウト内の罫線の表示、デフォルト設定のフォームタイプやHTML ページのキャッシュオプションなど、ページのプロパティを設定することができます。[設定] (Settings) ダイアログボックスで行われた変更は、レジストリに保存されます。これにより、さまざまなユーザに対して、カスタマイズした環境を作成することができます。

手順

ページのプロパティを設定するには

1. [ウィンドウ] (Window) メニューから [オプション] (Options) を選択します。

[Developer Studio オプション] (Developer Studio Options) ダイアログボックスが開きます。

2. [HTML ページ] (HTML Page) タブを選択します。

[HTML ページ] (HTML Page) タブについての詳細は、302 ページの「[HTML ページタブ](#)」を参照してください。

3. 必要な変更を加えて、[OK] をクリックします。

手順

HTML ページタブからフォームの設定を選択するには

1. [ウィンドウ] (Window) メニューから [オプション] (Options) を選択します。

[Developer Studio オプション] (Developer Studio Options) ダイアログボックスが開きます。

2. [HTML ページ] (HTML Page) タブを選択します。

3. [フォームの設定] (Form Settings) ボタンをクリックします。
[フォームの設定] (Form Settings) ダイアログボックスが開きます。
4. レイアウト内でのフォームオブジェクトの方向を選択します。
5. スピンボタンを使用して、フォームに適用するプロンプトと入力の間隔、コントロールの横間隔、コントロールの縦間隔、桁数のそれぞれの値を調整します。
または
テキストボックスにカーソルを置いて、値を入力します。
6. スライダーコントロールタイプのオプションを使用して、スライダーの表示方法を選択します。
スライダーは、レポートまたはグラフで数値範囲パラメータを使用する際に表示されます。
7. DB2 Web Query 環境が Report Broker の使用ライセンスを所有する場合、[スケジュールボタンの追加] (Add schedule button) ボタンオプションを使用して、パラメータ付き参照プロシジャにスケジュールボタンを追加します。詳細は、309ページの「[HTML コンポーザへの Report Broker スケジュール権限追加](#)」を参照してください。
8. [新規パラメータ] (New Parameters) ダイアログボックスで複数の連鎖を作成する場合は、各連鎖を新しい行で開始します。[新規パラメータ] (New Parameters) ダイアログボックスで選択したグループ化オプションに関わらず、連鎖を設定したパラメータセットのそれぞれは、[デザイン] タブの新しい行に表示されます。
[各連鎖を別の行に配置] (Start each chain on a new line) は、デフォルト設定で選択されています。

下図の例は、デフォルトの動作を示しています。最初の連鎖 (Product Category と Product Type) が 1 行で表示され、2 つ目の連鎖 (Product Number、Plant、Year) は、新しい行で開始されています。これにより、フォーム内の連鎖の関係が分かります。

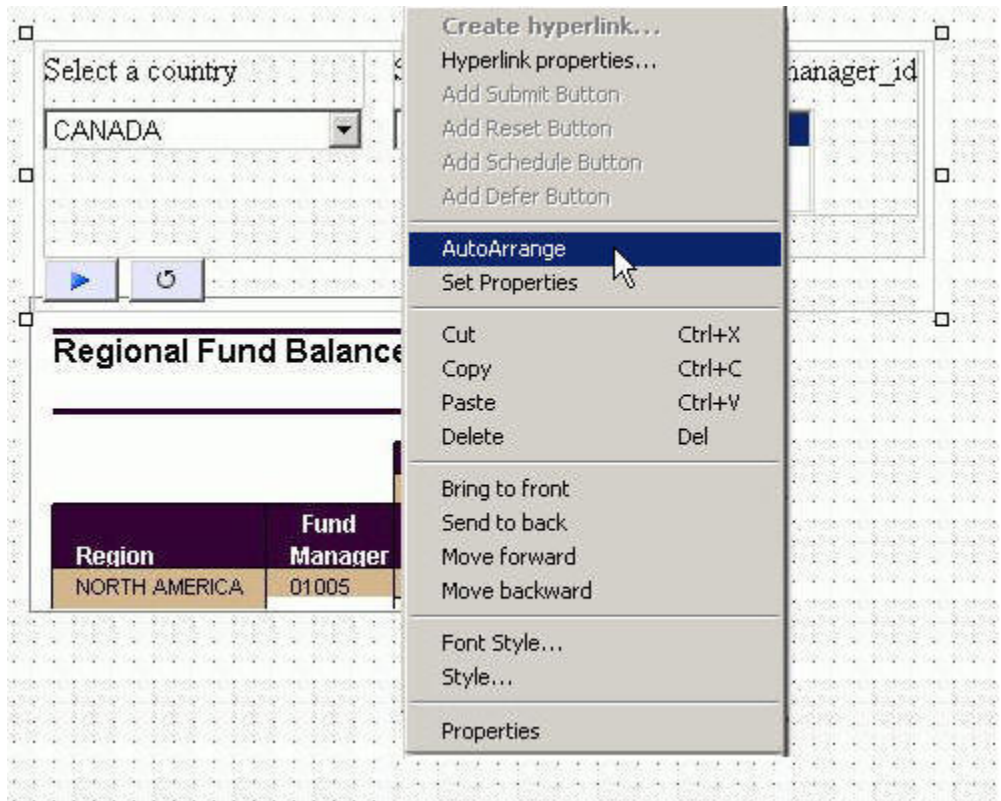
The screenshot shows a web form with a cascading menu structure. The first row contains two dropdown menus: 'Select a Product Category' and 'Select Product Type'. The second row contains three dropdown menus: 'Product Number', 'Please select a Plant', and 'Please select a Year'. At the bottom of the form, there are two buttons: a blue arrow button and a circular refresh button.

9. [OK] をクリックし、[フォームの設定] (Form Settings) ダイアログボックスを閉じます。

フォームの設定が適用され、HTML コンポーザのデザイン表示に反映されます。

10. デフォルトのフォーム設定にリセットするには、フォームオブジェクトを右クリックし、コンテキストメニューから [自動整列] (AutoArrange) を選択します。

注意：[自動整列] (AutoArrange) オプションは、フォームタイプとしてマルチレイヤを選択した場合にのみ使用可能です。

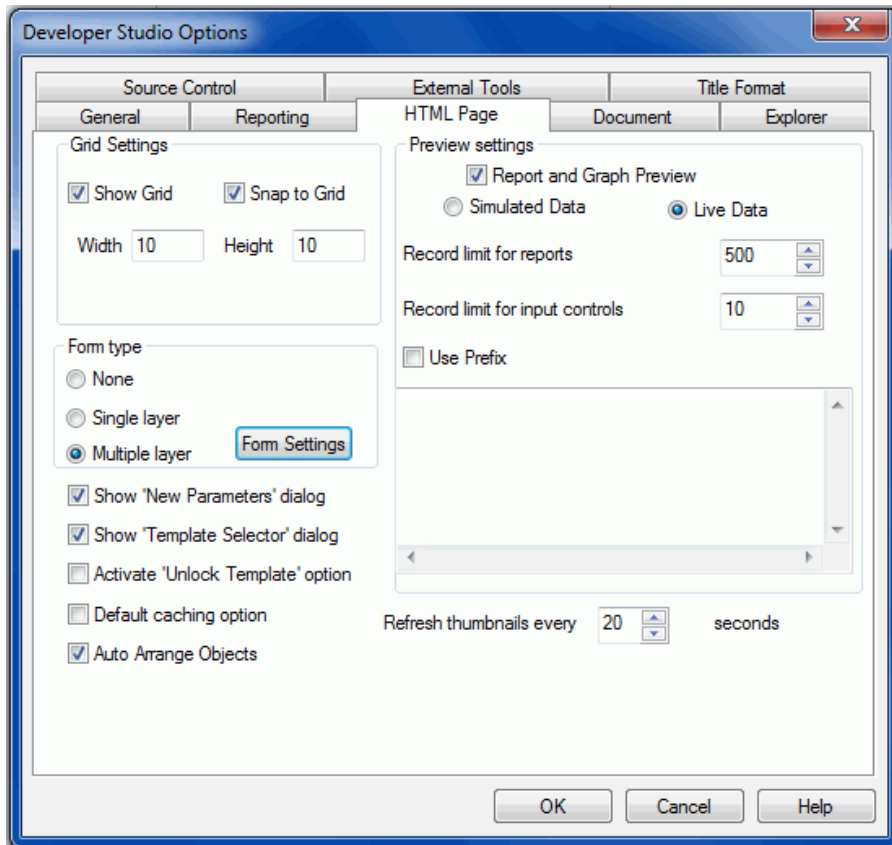


デフォルトフォーム設定で、フォームがレイアウト上に自動整列されます。

参照

HTML ページタブ

[Developer Studio オプション] (Developer Studio Options) ダイアログボックスの [HTML ページ] (HTML Page) タブには、次のオプションがあります。

**グリッドの設定 (Grid Settings)****グリッドの表示 (Show Grid)**

グリッドを表示します。このチェックをオフにすると、すべてのレイアウトでグリッドが非表示になります。

グリッドに吸着 (Snap to Grid)

このチェックをオンにすると、レイアウトにオブジェクトを配置する際に、オブジェクトがグリッドの位置に吸着されます。位置を詳細に指定する場合は、このオプションのチェックをオフにしてください。

幅 (Width)

グリッドの幅 (ピクセル単位) です。

高さ (Height)

グリッドの高さ (ピクセル単位) です。

プレビューの設定 (Preview Settings)

レポートとグラフのプレビューを表示 (Report and Graph Preview)

デザイン表示にレポートおよびグラフデータのプレビューを表示します。このチェックをオンにすると、追加のオプション (サンプルデータまたはライブデータ) を選択することができます。

このオプションは、デフォルト設定で選択されています。

このチェックをオフにすると、デザイン表示のレポートおよびグラフには領域を表すアイコンが表示されます。この表示方法ではリクエストがサーバに送信されないため、レポートを最速でロードすることができます。

サンプルデータ (Simulated Data)

サンプルデータのプレビューを選択すると、リクエストが Reporting Server に送信され、Reporting Server からマスターファイルのフォーマット情報が収集されます。データベースにはアクセスせずに、擬似データを使用してレポートを表示します。

このオプションは、[レポートとグラフのプレビューを表示] (Report and Graph Preview) を選択したときにのみ有効になります。

ライブデータ (Live Data)

ライブデータのプレビューを選択すると、リクエストが Reporting Server およびデータベースに送信され、レポートの実データのスナップショットが取得されます。

このオプションは、[レポートとグラフのプレビューを表示] (Report and Graph Preview) を選択したときにのみ有効になります。

レポートの最大レコード数 (Record limit for reports)

ライブデータモードでレポートのプレビューを表示する際に、データ収集に使用するレコード数を制限します。たとえば、レポートの最大レコード数を 500 に設定すると、レポートの表示に 500 行のデータが収集されます。

このオプションは、[ライブデータ] (Live Data) オプションを選択した場合にのみ有効になります。

入力コントロールの最大レコード数 (Record limit for input controls)

レポートおよびグラフに使用するデータを収集する際に、入力コントロールに表示するレコード数を設定します。

このオプションは、[ライブデータ] (Live Data) オプションを選択した場合にのみ有効になります。

接頭語の使用 (Use Prefix)

[接頭語の使用] (Use Prefix) を選択すると、プレビューの際に、テキストボックスに入力すべての Web Query 構文が、コンポーネントに適用されます。たとえば、SQL SQLORA SET OPTIMIZATION OFF などです。ドキュメントすべての設定が保存されるため、[接頭語の使用] (Use Prefix) オプションを選択して、接頭語の使用を特定のドキュメントに限定するかどうかを指定することができます。

フォームタイプ (Form type)

[新規パラメータ] (New Parameters) ダイアログボックスの [パラメータグループ化オプション] (parameter grouping options) のデフォルトフォームタイプを設定します。フォームタイプには、[なし] (None)、[シングルレイヤ] (Single layer)、[マルチレイヤ] (Multiple layer) があります。

- [なし] (None) を選択すると、[新規パラメータ] (New Parameters) ダイアログボックスの [パラメータグループ化オプション] (Parameter grouping options) に、[フォームを作成しない] (Do not create a form) が表示されます。
- [シングルレイヤ] (Single layer) を選択すると、[新規パラメータ] (New Parameters) ダイアログボックスの [パラメータグループ化オプション] (parameter grouping options) に、[新規シングルレイヤフォーム] (New single layer form) が選択されます。シングルレイヤフォームは、単一グループボックス内に、すべての要素を格納します。

デフォルト設定のフォームタイプは、[マルチレイヤ] (Multiple layer) です。

- [マルチレイヤ] (Multiple layer) を選択すると、[新規パラメータ] (New Parameters) ダイアログボックスの [パラメータグループ化オプション] (parameter grouping options) に、[新規マルチレイヤフォーム] (New multiple layer form) が表示されます。マルチレイヤフォームは、複数のグループボックスに、各要素を格納します。フォームコントロールの各要素は、移動やサイズの変更が可能です。

[HTML ページ] (HTML Page) タブの [フォームタイプ] (Form Type) の設定は、[新規パラメータ] (New Parameters) ダイアログボックスの [パラメータグループ化オプション] (Parameter grouping options) で変更することができます。詳細は、139 ページの「[新規パラメータダイアログボックスでのフォームコントロール自動作成](#)」を参照してください。

フォームの設定 (Form settings)

フォームに値を挿入する方法およびドキュメント内でのフォームの配置方法をカスタマイズするオプションが表示されます。詳細は、307 ページの「[フォーム設定ダイアログボックス](#)」を参照してください。

[新規パラメータ] ダイアログボックスを表示 (Show 'New Parameters' dialog)

HTML コンポーザでパラメータを追加する際に、[新規パラメータ] (New Parameters) ダイアログボックスを表示するかどうかを制御します。

[新規パラメータ] (New Parameters) ダイアログボックスはデフォルト設定で表示されます。

[テンプレートの使用] ダイアログボックスを表示 (Show 'Template Selector' dialog)

HTML コンポーザを使用して新しい HTML ページを作成する際に、テンプレートの選択ダイアログボックスを表示するかどうかを制御します。

[テンプレートのロックを解除] オプションをアクティブ化 (Activate 'Unlock Template' option)

テンプレートを使用している場合に、ツールバーにロック解除アイコンを追加するかどうかを制御します。

デフォルトキャッシュオプション (Default caching option)

HTML ページのキャッシュ実行時データのオンとオフを切り替えます。デフォルト値は [オフ] (off) です。

HTML ページに動的パラメータを追加する場合は、プロシジャを使用して、入力コントロールがデータを取得します。[パラメータ] (Parameters) タブの [プロパティと設定] (Properties and settings) ダイアログボックスに表示される [cache run time] オプションを使用して、入力コントロールの実行時データをキャッシュすることができます。この設定により、[HTML ページ] (HTML Page) タブの [デフォルトキャッシュオプション] (Default caching option) の設定は上書きされます。[パラメータ] (Parameters) タブについての詳細は、103 ページの「[値の動的リスト作成](#)」を参照してください。

オブジェクトの自動整列 (**Auto Arrange Objects**)

[パラメータ] (Parameters) タブのオブジェクトが、最小のスペースを使用して、相互に重なり合うことがないように、自動的に整列します。自動整列は、デフォルト設定でオンになっています。

このチェックをオフにした場合でも、[パラメータ] (Parameters) タブで、直接自動整列を有効にすることができます。[パラメータ] (Parameters) タブの任意の位置を右クリックし、コンテキストメニューから [自動整列] (AutoArrange) を選択します。

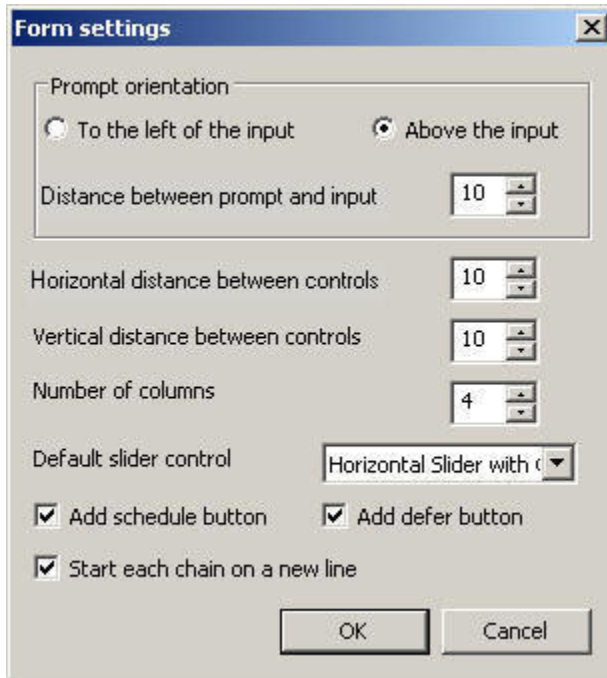
サムネールのリフレッシュ間隔 (**Refresh thumbnails every**)

[プロパティ] (Properties) ウィンドウの [サムネール] (Thumbnail) タブの内容を自動的に (デフォルト設定では 20 秒間隔で) リフレッシュします。自動リフレッシュの時間間隔は変更することができます。

参照

フォーム設定ダイアログボックス

HTML コンポーザの [フォームの設定] (Form settings) ダイアログボックスには、次のオプションがあります。

**プロンプトの配置 (Prompt orientation)**

プロンプトは、出力のコントロールおよびパラメータのラベルに使用する説明テキストです。

入力の左 (To the left of the input)

コントロールおよびパラメータのラベルに使用する説明テキストを入力の前側に配置します。

入力の上 (Above the input)

コントロールおよびパラメータのラベルに使用する説明テキストを入力の上側に配置します。

プロンプトと入力の間隔 (Distance between the prompt and input)

プロンプトと入力の間隔を設定します。

コントロールの横間隔 (**Horizontal distance between controls**)

コントロールの横間隔を設定します。

コントロールの縦間隔 (**Vertical distance between controls**)

コントロールの縦間隔を設定します。

桁数 (**Number of columns**)

フォームを折り返して新しい行を開始するまでの桁数を指定します。

デフォルトスライダコントロールタイプ (**Default slider control type**)

スライダコントロールの表示方法を設定します。次のスライダバータイプから選択します。

スライダコントロールは、レポートまたはグラフで数値範囲値のパラメータを使用するときに利用可能です。

- 縦または横シンプルスライダバー (Horizontal/Vertical Slider Simple bar)。このスライダバーの終端に矢印は表示されません。
- 縦または横カラーバー矢印スライダバー (Horizontal/Vertical Slider with Color Bar and Arrows)。スライダバーの両端に矢印が表示されます。
- 縦または横カラーバー、矢印、編集スライダバー (Horizontal/Vertical Slider with Color Bar, Arrows, and Edit)。スライダバーの両端に矢印および編集ボックスが表示され、現在の値を表示します。

HTML コンポーザにスライダコントロールを挿入後、これらのオプションを変更しても、既存のスライダには変更は反映されません。このオプションは、新しいスライダコントロールにのみ適用されます。既存のスライダバータイプを変更するには、スライダオブジェクトを削除し、新しいスライダコントロールを挿入します。

スケジュールボタンの追加 (**Add schedule button**)

パラメータを使用した参照プロシジャにスケジュールボタンを自動的に追加します。このオプションは、デフォルト設定で選択されています。HTML コンポーザのフォームにスケジュール機能を追加する方法についての詳細は、309 ページの「[HTML コンポーザへの Report Broker スケジュール権限追加](#)」を参照してください。

各連鎖を別の行に配置 (Start each chain on a new line)

[新規パラメータ] (New Parameters) ダイアログボックスで複数の連鎖を作成する場合、各連鎖パラメータは、[新規パラメータ] (New Parameters) ダイアログボックスで選択したグループ化オプションに関わらず、[デザイン] (Design) タブでは新しい行に表示されます。

[各連鎖を別の行に配置] (Start each chain on a new line) は、デフォルト設定で選択されています。

HTML コンポーザへの Report Broker スケジュール権限追加

手順/構文

フォームコントロールのスケジュールボタンを追加または無効化するには
既存のパラメータ付き参照プロシジャにスケジュールボタンを追加するには
スケジュールボタンを手動で追加するには
スケジュールページのデフォルトテンプレートを変更するには

参照

Report Broker スケジュールページ

HTML コンポーザでスケジュールボタンを追加するフォームコントロールを作成することができます。スケジュールボタンを使用すると、Report Broker でのレポートまたはグラフのスケジュールが可能になります。スケジュールを作成すると、Report Broker にアクセスして、そのスケジュールの情報を編集、管理することができます。

注意：HTML コンポーザで、スケジュールオプションを使用できるのは、DB2 Web Query 環境が Report Broker の使用ライセンスを所有する場合に限られます。

スケジュールを行えるのは、HTML コンポーザで参照されているプロシジャのみです。

HTML コンポーザでパラメータが使用された既存のプロシジャを参照する際に、スケジュールボタンが自動的に追加されます。また、作成するレポートまたはグラフに手動でスケジュールボタンを作成することもできます。

手順 **フォームコントロールのスケジュールボタンを追加または無効化するには**

フォームコントロールは、パラメータを使用するレポートまたはグラフを参照する際に表示されます。Web Query 環境が Report Broker の使用ライセンスを所有する場合、HTML コンポーザは、レイアウト内のパラメータに使用するフォームコントロール、実行ボタン、リセットボタン、スケジュールボタンを自動的に追加します。

[フォームの設定] (Form settings) ダイアログボックスで、フォームコントロールを使用してスケジュールボタンの表示 非表示を設定します。

[スケジュールボタン] (Schedule button) のチェックは、デフォルト設定でオンになっています。

デフォルト動作を変更するには、次の手順を実行します。

1. [ウィンドウ] (Window) メニューから [オプション] (Options) を選択します。

[Developer Studio オプション] (Developer Studio Options) ダイアログボックスが開きます。

2. [HTML ページ] (HTML Page) タブを選択します。

3. [フォームの設定] (Form Settings) ボタンをクリックします。

[フォームの設定] (Form Settings) ダイアログボックスが開きます。

4. [スケジュールボタンの追加] (Add schedule button) のチェックをオフにします。

注意：このオプションのチェックをオフにすると、スケジュールボタンを手動で追加できるようになります。詳細は、312 ページの「[スケジュールボタンを手動で追加するには](#)」を参照してください。

手順 **既存のパラメータ付き参照プロシジャにスケジュールボタンを追加するには**

この手順では、レイアウト内の参照プロシジャの HTML ページにスケジュールボタンを自動的に追加する方法について説明します。

1. HTML コンポーザの [挿入] (Insert) メニューから、[新規レポート] (New Report) または [新規グラフ] (New Graph) を選択します。

マウスポインタが十字カーソルに変わります。

2. 十字カーソルをドラッグしてレポートまたはグラフオブジェクトを作成し、必要なサイズに調整します。

3. オブジェクトを右クリックし、ショートカットメニューから、[既存のプロシジャを参照] (Reference existing procedure) を選択します。

[ファイルを選択してください] (Get source file) ダイアログボックスが開きます。

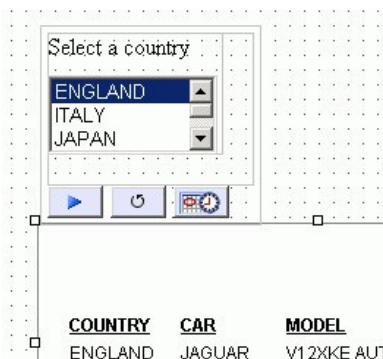
4. 既存のパラメータ付きレポートまたはグラフを選択し、[開く] (Open) をクリックします。

[新規パラメータ] (New Parameters) ダイアログボックスは、下図のように表示されます。

Name	Create control	Control Type	Chain control
COUNTRY	<input checked="" type="checkbox"/>	List box	<input type="checkbox"/>

5. [OK] をクリックし、新しいパラメータおよびフォームコントロールを HTML ページに追加します。

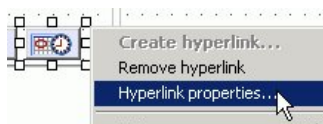
実行ボタン、リセットボタン、スケジュールボタンとそのパラメータがHTML ページに表示されます。



6. 必要に応じて、HTML ページのスケジュールボタンを選択し、プロシジャを表示または編集します。HTML コンポーザの [プロパティ](Properties) ウィンドウにプロパティが表示されます。
7. [タイトル](Title) プロパティの値フィールド内でダブルクリックし、スケジュールページウィンドウのタイトルを設定します。

スケジュールページウィンドウのデフォルトタイトルは、`domain¥ reports¥ folder¥ foldername` です。このタイトルを任意のテキストに変更することができます。

8. 必要に応じて、スケジュールボタンのハイパーリンクプロパティを開き、スケジュールページに適用するテンプレートを変更することができます。



スケジュールページに適用するテンプレートの変更方法についての詳細は、316 ページの「[スケジュールページのデフォルトテンプレートを変更するには](#)」を参照してください。

手順 **スケジュールボタンを手動で追加するには**

この手順では、HTML ページにスケジュールボタンを手動で追加する方法について説明します。この方法は、HTML ページにレポートまたはグラフがすでに参照されている場合やパラメータを使用せずにレポートまたはグラフを参照している場合に、スケジュールボタンを新しく追加したり、さらに追加したりする場合に役立ちます。

1. HTML コンポーザで、[挿入] (Insert) メニューの [コントロール] (Control) または [コンポーネント] (Components) サブメニューから、フォームコントロールの1つを選択します。スケジュールボタンとして、ブッシュボタン、イメージ、ハイパーリンクを挿入することができます。
 - a. スケジュールボタンとしてブッシュボタンを挿入する場合は、次の手順を実行します。
 - [挿入] (Insert) メニューから、[コントロール] (Controls)、[ブッシュボタン] (Push Button) を選択します。

マウスポインタが十字カーソルに変わります。
 - 十字カーソルをドラッグしてブッシュボタンオブジェクトを作成し、必要なサイズに調整します。
 - HTML ページでブッシュボタンオブジェクトを右クリックし、ショートカットメニューから [ハイパーリンクの作成] (Create hyperlink) を選択します。

ハイパーリンクのプロパティ] (Hyperlink Properties) ダイアログボックスが開きます。
 - [表示するテキスト] (Display Text) テキストボックスでブッシュボタンの名前を変更することができます。
 - b. スケジュールボタンとしてイメージを挿入する場合は、次の手順を実行します。
 - [挿入] (Insert) メニューから、[コンポーネント] (Component)、[イメージ] (Images) を選択します。

マウスポインタが十字カーソルに変わります。
 - 十字カーソルをドラッグしてイメージオブジェクトを作成します。

[ファイルを選択してください] (Get source file) ダイアログボックスが開きます。
 - イメージを選択し、[開く] (Open) をクリックします。

選択したイメージがHTML ページに追加されます。必要に応じて、イメージオブジェクトのサイズを変更することができます。
 - HTML ページでイメージオブジェクトを右クリックし、ショートカットメニューから [ハイパーリンクの作成] (Create hyperlink) を選択します。

ハイパーリンクのプロパティ] (Hyperlink Properties) ダイアログボックスが開きます。

- c. スケジュールボタンとしてハイパーリンクを挿入する場合は、次の手順を実行します。

- [挿入] (Insert) メニューから、[コンポーネント] (Components)、[ハイパーリンク] (Hyperlink) を選択します。

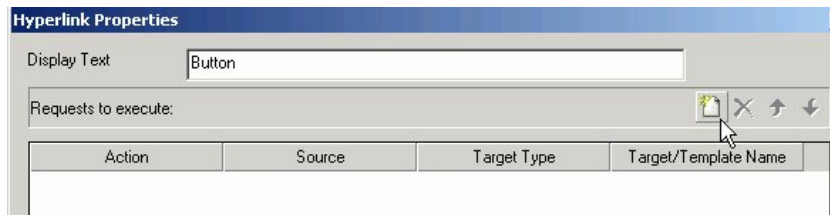
マウスポインタが十字カーソルに変わります。

- 十字カーソルをドラッグしてハイパーリンクオブジェクトを作成し、必要なサイズに調整します。

ハイパーリンクのプロパティ] (Hyperlink Properties) ダイアログボックスが開きます。

- [表示するテキスト] (Display Text) テキストボックスでハイパーリンクの名前を変更することができます。

2. [ハイパーリンクのプロパティ] (Hyperlink Properties) ダイアログボックスで [新規作成] (New) ボタンを選択し、実行するリクエストを追加します。



注意：[ハイパーリンクのプロパティ] (Hyperlink Properties) ダイアログボックスの [表示するテキスト] (Display Text) テキストボックスは、スケジュールボタンとしてプッシュボタンまたはハイパーリンクを挿入した場合にのみ使用可能になります。

3. [アクション] (Action)、[ソース] (Source)、[ターゲットフレーム] (Target/Template Name) をそれぞれ選択します。

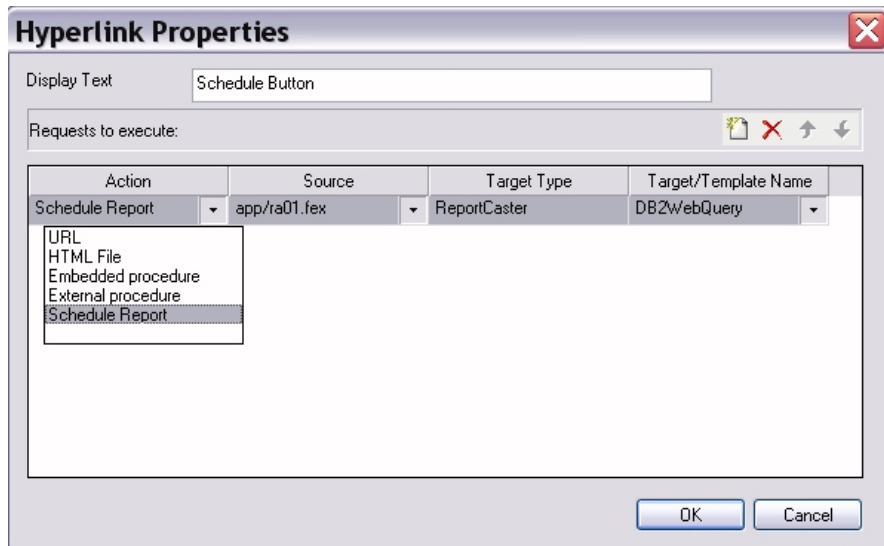
- [アクション] (Action) ドロップダウンリストから [スケジュールレポート] (Schedule Report) を選択します。

- [ソース] (Source) ドロップダウンリストからスケジュールレポートのソースを選択します。

[ソース](Source) ドロップダウンリストには、レイアウトで参照されているプロシジャのみが表示されます。

- アクションとして [スケジュールレポート] (Schedule Report) を選択した場合、[ターゲットのタイプ](Target Type) オプションは無効になり、デフォルトの [Report Broker] に設定されます。
- アクションとして [スケジュールレポート] (Schedule Report) を選択した場合、[ターゲットフレーム] (Target/Template Name) はデフォルトの [Email Library FTP] に設定されます。

スケジュールページに適用するテンプレートの変更方法についての詳細は、316 ページの「[スケジュールページのデフォルトテンプレートを変更するには](#)」を参照してください。



4. [OK] をクリックして [ハイパーリンクのプロパティ] (Hyperlink Properties) ダイアログボックスを閉じます。

選択したスケジュールボタン、イメージ、ハイパーリンクが HTML ページに追加されます。

5. 必要に応じて、スケジュールオブジェクトを選択し、プロパティを表示または編集します。HTML コンポーザの [プロパティ] (Properties) ウィンドウにプロパティが表示されます。

6. [タイトル](Title) プロパティの値フィールド内でダブルクリックし、スケジュールページウィンドウのタイトルを設定します。

スケジュールページウィンドウのデフォルトタイトルは、domain¥ reports¥ folder¥ foldername です。このタイトルを任意のテキストに変更することができます。

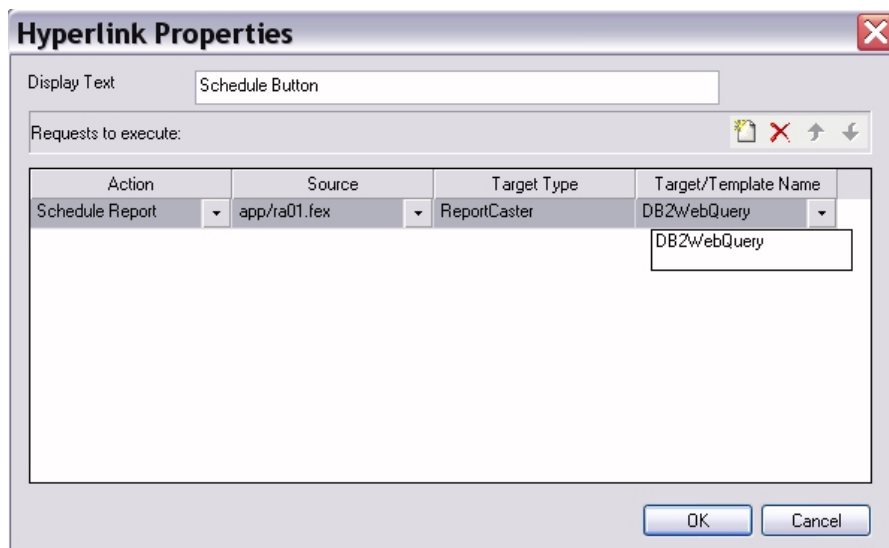
手順

スケジュールページのデフォルトテンプレートを変更するには

この手順では、[ハイパーリンクのプロパティ] (Hyperlink Properties) ダイアログボックスを使用して、スケジュールページのテンプレートを変更する方法について説明します。これは、レポート出力からスケジュールページを実行した際に表示されるテンプレートです。

1. HTML ページのスケジュールボタン、イメージ、ハイパーリンクのいずれかを右クリックし、ショートカットメニューから [ハイパーリンクのプロパティ] (Hyperlink Properties) を選択します。

ハイパーリンクのプロパティ] (Hyperlink Properties) ダイアログボックスが開きます。



2. [OK] をクリックして [ハイパーリンクのプロパティ] (Hyperlink Properties) ダイアログボックスを閉じます。

選択したテンプレートは、レポート出力からスケジュールページを実行した際に表示されます。

参照

Report Broker スケジュールページ

レポートを実行する際に、パラメータを選択し(該当する場合)、スケジュールボタンをクリックすると、Report Broker スケジュールページが表示されます。

ヒント：実行時に表示するスケジュールテンプレートを変更するには、[ハイパーリンクのプロパティ](Hyperlink Properties) ダイアログボックスを使用して[ターゲットフレーム](Target/Template Name)を変更します。

レポートおよび選択したパラメータは Report Broker でスケジュールされます。入力または選択した値は、Report Broker のスケジュール情報とともに格納されます。

スケジュールを実行するには、「スケジュール」ユーザ権限が必要です。

HTML コンポーザページでの JavaScript コードの使用

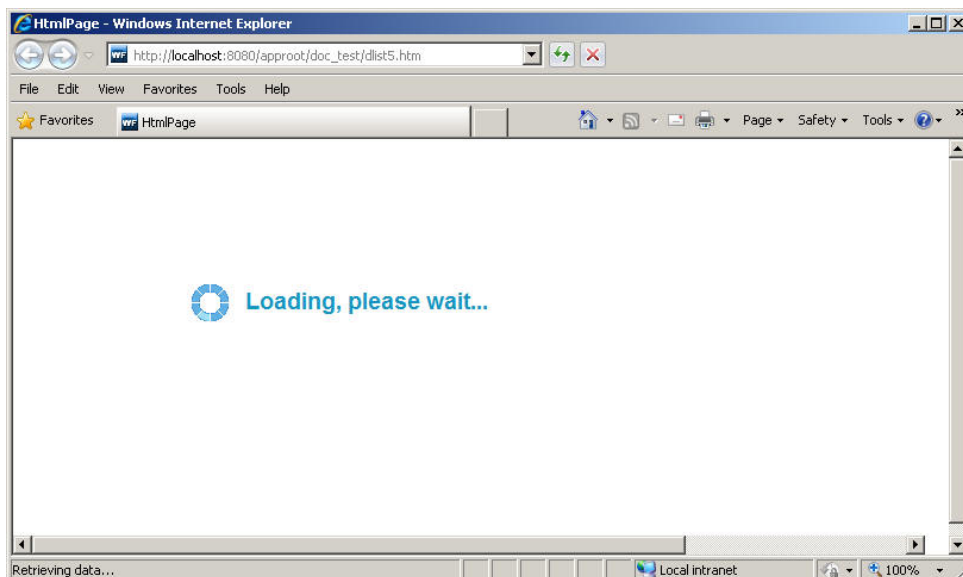
HTML レイアウトペインタは、JavaScript と完全に統合されていますが、HTML レイアウトペインタが生成したコントロールは、カスタム JavaScript コードで操作しないことをお勧めします。DB2 Web Query は、この種のカスタム JavaScript コードをサポートしません。また、そのような JavaScript コードは、今後のバージョンでの動作保証はされません。

ロード画面 HTML ファイルの指定

手順/構文

ロード画面用 HTML ファイルを指定するには

HTML コンポーザから HTML ページを実行すると、ページのロードが完了するまで、下図のように、Web ブラウザに「ロード中。しばらくお待ちください...」 (Loading, please wait) というメッセージが表示されます。

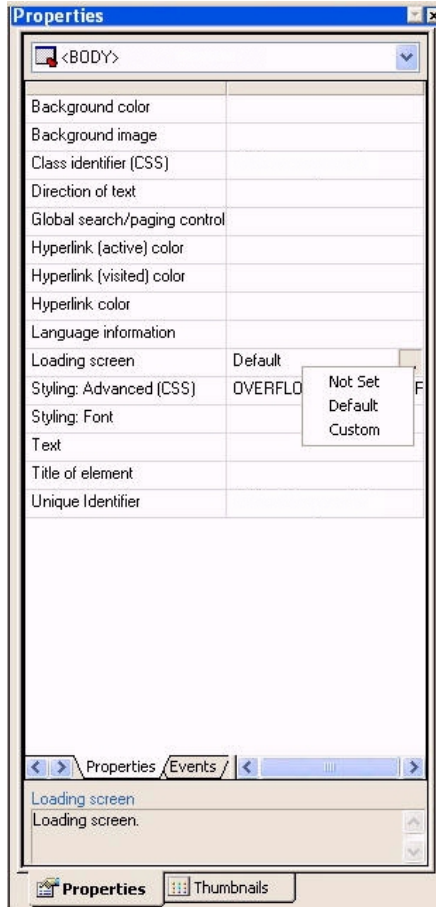


BODY オブジェクトの [ロード画面] (Loading screen) プロパティを使用して、ロード画面に独自の HTML ファイルを指定することができます。

手順

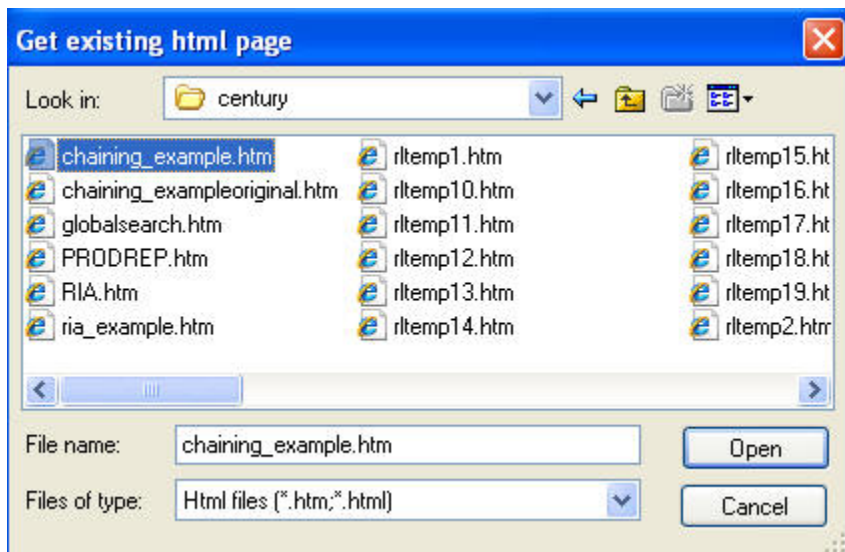
ロード画面用 HTML ファイルを指定するには

1. BODY オブジェクトの [プロパティ] (Properties) ウィンドウの [プロパティ] (Properties) タブで、[ロード画面] (Loading screen) プロパティをクリックします。



2. [ロード画面] (Loading screen) ドロップダウンリストから [カスタム] (Custom) を選択します。

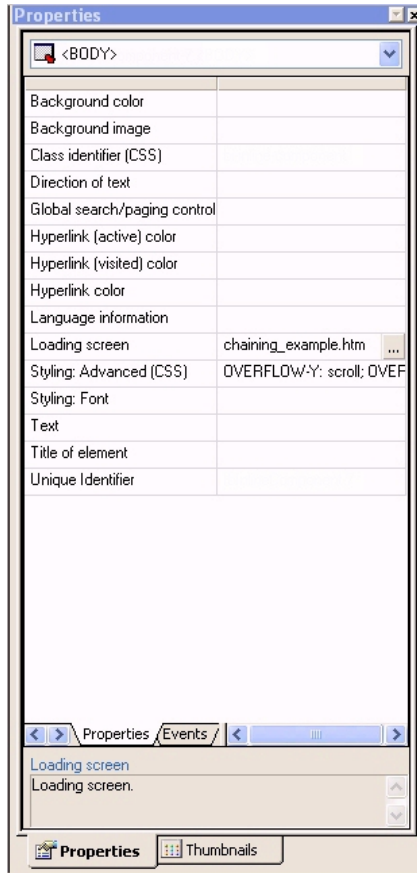
下図のように、[既存の HTML ファイルを選択してください。](Get existing html page) ダイアログボックスが開きます。



注意：[デフォルト]を選択すると、IBM が提供するロード画面が使用されます。[設定しない] (Not Set) を選択すると、ロード画面は使用されません。

3. HTML ファイルを選択して [開く] (Open) をクリックします。

下図のように、ファイルがプロパティに追加されます。



ページが実行されると、ページのロードが完了するまで、指定されたロード画面が表示されます。

インデックス

H

- HTML テンプレート 275
- HTML ファイル
 - ロード画面 318
- HTML ページ 8, 19, 32, 275, 276, 277, 290, 291, 293
 - HTML ページプロパティウィンドウ 276
 - オブジェクトのレイアウト 291, 293
 - カスタマイズ 277
 - 作成 8
 - スタイル 275
 - 線の追加 32
 - テーマ 275
 - テンプレート 275
 - レイアウト 290
- HTML ページオブジェクト追加 19, 20, 24, 32, 34, 37, 42, 45, 49, 51, 55
 - イメージ 34
 - グラフ 20
 - グループボックス 49
 - 線 32
 - テキスト 37
 - ハイパーリンク 42, 45
 - プッシュボタン 51
 - フレーム 24
 - リセットボタン 55
 - レポート 20
- HTML ページにオブジェクトを追加
 - タブコントロール 57
- HTML ページのカスタマイズ 277
- HTML ページプロパティ 276

I

- iframe 26

J

- JavaScript コード 318

R

- Report Broker スケジュールページ 309, 317

い

- イベントサブタブ 70
- イメージ 34, 48, 243, 259
 - HTML ページに追加 34
 - イメージプロパティウィンドウ 34
 - ハイパーリンク 48
 - バインド 243
 - パラメータ値の入力 259
- イメージのプロパティウィンドウ 34, 36
- インターフェース 10

お

- オブジェクトサイズ変更 291
- オブジェクトの関係 291, 293, 294
 - オブジェクトのグループ化 293
 - 解除 293
 - 距離の設定 291

オブジェクトの関係 (続く)

 サイズの設定 291

 配置ツールバー 294

オブジェクトのグループ化 293

か

外部レポート 259, 261

カスケードスタイルシート 275

カレンダー 231, 237

 プロパティウィンドウ 237

く

グラフ 20, 22, 23

 HTML ページに追加 20

 グラフプロパティウィンドウ 22, 23

グラフプロパティウィンドウ 22, 23

グループボックス 49, 50

 HTML ページに追加 49

 グループボックスプロパティウィンドウ 49,
 50

グループボックスプロパティウィンドウ 49, 50

グローバル検索とページオプション 182

け

検索コントロール 179

検索コントロールの追加 179

こ

項目の移動コントロールの追加 168

コンテナのみ削除オプション 147

コントロール 144, 145, 146, 243

 タイプ 146

 入力 243

 バインド 145

 連鎖 144

フォームコントロール

 HTML ページに追加 138

 チェックボックス 189

 テキストボックス 150

 ドロップダウンリスト 159

 パラメータ値の提供 78, 138

 変数パラメータの追加 139

 ラジオボタン 193

 リストボックス 165

コントロールの入力 243

コンポーネントツールバー 13

さ

サムネールタブ 70

し

実行ボタン 51, 52

書式設定ツールバー 17, 63

新規パラメータダイアログボックス 139, 213

シングルソースツリーコントロール 209

シングルレイヤフォーム 139

す

スケジュール機能 309

- スケジュールページ 316, 317
 - デフォルトテンプレート 316
- スケジュールボタン 309, 312
 - 手動追加 312
- スタイルダイアログボックス 26, 65, 278
- スタイルの設定
 - インターフェース効果 289
 - 境界スタイル 287
 - テキストスタイル 282
 - 背景のプロパティ 281
 - 配置 284
 - フォントスタイル 279
 - リストスタイル 288
 - レイアウトスタイル 285
- スライダコントロール 225, 228
 - デフォルトの変更 228
- スライダコントロールプロパティウィンドウ 230
- スライダバー 225

せ

- 静的値 84
- 静的パラメータ
 - インポート 100
- 線 32, 33
 - HTML ページに追加 32
 - フレームプロパティウィンドウ 33
- 全画面表示 59
- 全値オプション 97
- 全パラメータのコントロールの作成 142

そ

- その他のタブ 61

た

- タブ項目 64, 65
 - 背景イメージ 65
- タブコントロール 57, 58, 59, 61, 62, 63
 - 位置 63
 - サイズ 63
 - 全画面表示モード 59
 - フォーマット 63
 - 複数 61
 - プロパティ 62
- タブの角 63
- タブ本体 66
 - コンポーネントの追加 66
- ダブルリストコントロール 169
- ダブルリストボックスプロパティウィンドウ 173

ち

- チェックボックス
 - パラメータ値の入力 189
- チェックボックスのプロパティウィンドウ 192

つ

- ツールバー 10, 12, 13, 17, 294
 - コンポーネント 13
 - 配置 294
 - 標準 12
- ツリーコントロール 197, 199, 209, 213, 215
 - 新しいコントロールの作成 213
 - 静的値 209
 - マルチソース 199
 - 連鎖 215
- ツリーコントロール：プロパティ 224

ツリーコントロールの連鎖 215

て

テキスト

HTML ページに追加 37

テキストの追加 37

テキストのプロパティウィンドウ 37

テキストのフォーマット設定 38

テキストプロパティウィンドウ 37, 41

テキストボックス 150, 152, 154

プロパティ 154

マスクテキスト 152

テキストボックスプロパティウィンドウ 150, 154

テキスト領域 155

パラメータ値の入力 155

テキスト領域のプロパティウィンドウ 158

と

動的カレンダー 231

動的値 103

ドロップダウン リスト

パラメータ値の入力 159

ドロップダウンリスト 159, 161, 164

ドロップダウンリストのプロパティウィンドウ 164

複数の値 161

ドロップダウンリストのプロパティウィンドウ
161, 164

に

入力コントロール 149

は

背景イメージ 64, 65

ハイパーリンク 42, 45, 48, 243, 261

HTML ページに追加 42, 45

イメージ 48

テキストに追加 45

バインド 243

パラメータ値の提供 261

プッシュボタン 48

ハイパーリンクのプロパティ 316

ハイパーリンクのプロパティダイアログボックス
52

バインドボタン 243

パラメータ (動的値) タブ 104

パラメータタブ 78, 114

重複する値の確認 114

パラメータ値 78, 80, 84, 96, 97, 100, 103, 104,
108, 113, 114, 115, 116, 117, 129,
138, 139, 145, 149, 150, 155, 159,
165, 189, 193, 238, 240

インポート 100

作成 78

静的 84

静的リスト 78

全値オプション 97

ソート 113

チェックボックス 189

重複値 114

テキストボックス 150

テキスト領域 155

パラメータ値 (続く))

- デフォルト 129
- 動的 103, 108, 129
- 動的リスト 78
- ドロップダウンリスト 159
- 入力 138
- ハイパーリンクのアクション 240
- バインド 145
- パラメータ (静的、動的) ウィンドウ 84
- パラメータ (動的値) タブ 104
- パラメータタブ 78
- 非表示 238
- 表示値の送信 117
- フィールドの入力 115
- フォームコントロール 138
- 変数 139
- 未バインド 80
- 無視値オプション 96
- ラジオボタン 193
- リストオプション 116
- リストボックス 165
- パラメータ値の提供
 - ハイパーリンク 261
- パラメータ値の入力
 - イメージ 259
 - プッシュボタン 257
- パラメータ (静的値) ウィンドウ 84

ひ

- 非表示パラメータ 238
- 標準ツールバー 12

ふ

- フォームの設定ダイアログボックス 298, 307
 - 各連鎖を別の行に配置 298
 - コントロール間の上下の距離 298
 - スケジュールの追加ボタン 298
 - ディファードボタンの追加 298
 - デフォルトスライダコントロールタイプ 298
 - 列数 298
- 複数タブコントロール 61
- プッシュボタン 48, 51, 52, 54, 257
 - HTML ページに追加 51
 - ハイパーリンク 48
 - パラメータ値の入力 257
 - プッシュボタンプロパティウィンドウ 54
- プッシュボタンプロパティウィンドウ 54
- フレーム 24, 26, 31, 33
 - HTML ページに追加 24
 - 非表示 26
 - 表示 26
 - フレームプロパティウィンドウ 24, 31, 33
- フレームプロパティウィンドウ 24, 31, 33
- プロシジャのパラメータ値 99
- プロパティウィンドウ 54, 70, 73
 - 移動 73
- プロパティサブタブ 70
- プロパティと設定ダイアログボックス
 - 重複する値の確認 114
 - 動的値 104
 - 入力静的パラメータ 84
 - パラメータのバインド 89, 107
 - パラメータのバインド解除 86
 - 未バインドパラメータ 84

- へ
- ページコントロールの追加 174
- 変数パラメータ 139
- 変数 パラメータ
 - フォームコントロールの設定 139
- ま
- マスクテキストプロパティ 152
- マルチレイヤフォーム 139
- み
- 見出しと脚注 117
- 未バインドパラメータボックス 145
- む
- 無視値オプション 96
- ゆ
- ユーザインターフェースの設計 8
- ら
- ラジオボタンのプロパティウィンドウ 196
- ラベル 67, 69
 - 挿入 67
 - ラベルのプロパティウィンドウ 69
- ラベルのプロパティウィンドウ 69
- り
- リストボックス 165, 167, 168, 173
 - 値の順序変更 168
 - ダブルリストボックスプロパティウィンドウ 173
 - パラメータ値の入力 165
 - リストボックスパラメータウィンドウ 167
- リストボックスプロパティウィンドウ 167
- リセットボタン 55
- リセットボタンプロパティウィンドウ 56
- れ
- レポート
 - HTML ページに追加 20
 - レイアウト 19
 - レポートプロパティウィンドウ 22
- レポートプロパティウィンドウ 22, 23
- ろ
- ロード画面 318